

令和元年度  
男女共同参画社会づくりのための  
意識調査

報告書

令和元年9月調査  
大分県



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1. 調査目的 .....	1
2. 調査設計 .....	1
3. 回収結果 .....	1
4. 調査報告書の読み方及び注意事項 .....	1
<b>II 調査結果</b> .....	2
1. 対象者の概要 .....	2
2. 男女の意識について .....	5
3. 教育について .....	25
4. ドメスティック・バイオレンス（配偶者・恋人間の暴力）について .....	31
5. 性暴力について .....	56
6. 人権について .....	62
7. 女性の活躍について .....	77
8. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について .....	89
9. 地域活動について .....	96
10. 男女共同参画施策への要望について .....	100
<b>III 調査票</b> .....	110



# I 調査の概要

## 1. 調査目的

社会経済情勢の急激な変化や個人の生き方の多様化に伴い、変化している県民の意識や実態を把握することにより、男女共同参画社会づくりに向けた施策展開、「第4次おおいた男女共同参画プラン」改定の基礎資料とするとともに、県民の男女共同参画に関する意識啓発を行うことを目的とする。

## 2. 調査設計

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の男女3,000人
- (2) 調査期間 令和元年9月17日～10月7日
- (3) 調査方法 郵送による配付・回収

## 3. 回収結果

発送数	回収数	回収率
3,000	1,082	36.1%

## 4. 調査報告書の読み方及び注意事項

- (1) 調査結果の構成比はすべて百分比(%)で表しており、その質問の回答者総数を基数として、小数第2位以下を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- (2) 集計表は全体が回答者数、質問項目は回答率(%)で示している。
- (3) 複数回答形式の場合、構成比の合計は通常100%を超える。
- (4) グラフ中の「n」(net)とは、その質問への回答者数を表す。
- (5) 標本数(n)が10未満の項目についてはコメントをしない。
- (6) 調査結果の分析にあたり、使用した資料については文中で以下のとおり表記している。

「前回調査」：平成26年度大分県男女共同参画社会づくりに関する意識調査

「内閣府調査」：男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年度）

男女間における暴力に関する調査（平成29年度）

※男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年度調査）は調査員による個別面接聴取法、男女間における暴力に関する調査（平成29年度）は郵送留置訪問回収法で実施。

「福岡県」：平成26年度男女共同参画社会に向けての意識調査（郵送調査）

「佐賀県」：令和元年度男女共同参画社会づくりのための佐賀県民意識調査（郵送調査）

「長崎県」：令和元年度男女共同参画社会に向けての県民意識調査（郵送調査）

「熊本県」：令和元年度男女共同参画に関する県民意識調査（郵送調査）

「宮崎県」：平成27年度男女共同参画社会づくりのための県民意識調査（郵送調査）

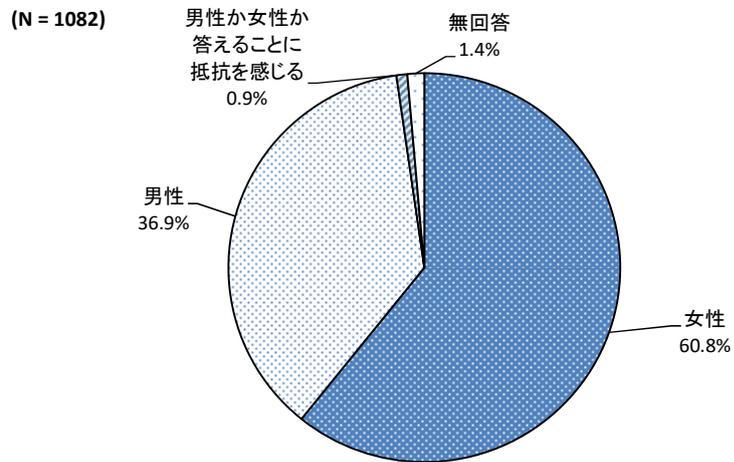
「鹿児島県」：平成28年度鹿児島県の男女の意識に関する調査（郵送調査）

「沖縄県」：平成27年度男女共同参画社会づくりに関する県民意識調査（郵送調査）

## Ⅱ 調査結果

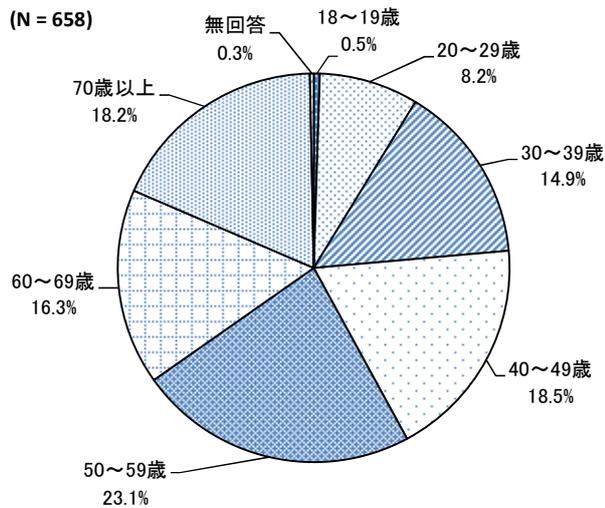
### 1. 対象者の概要

#### (1) 性別

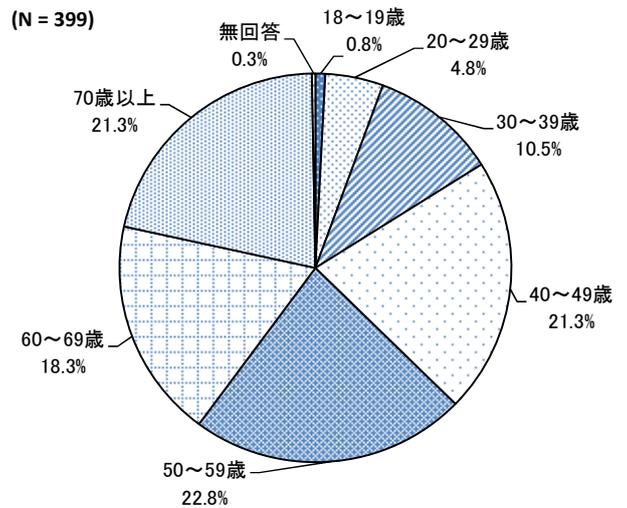


#### (2) 年齢

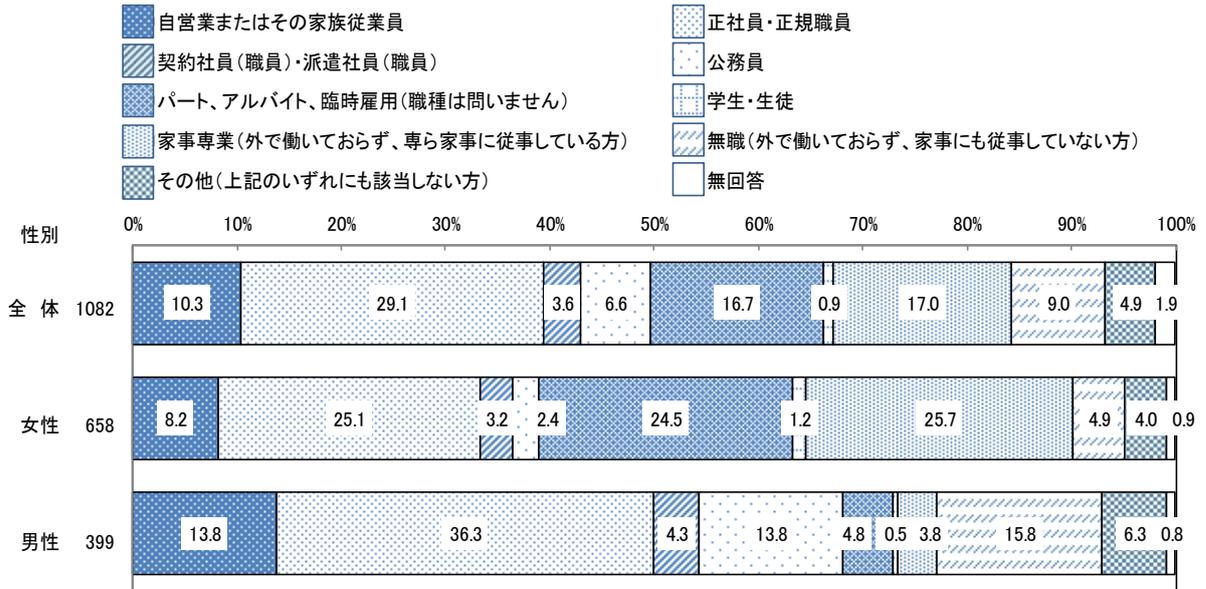
##### 女性



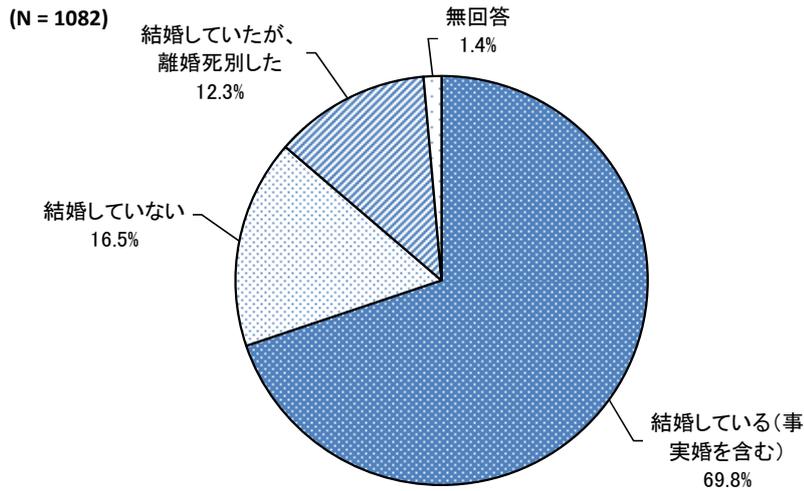
##### 男性



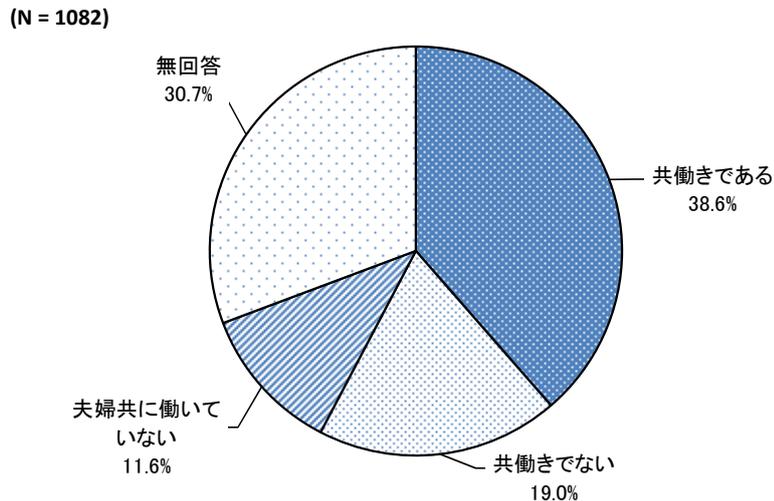
(3) 職業



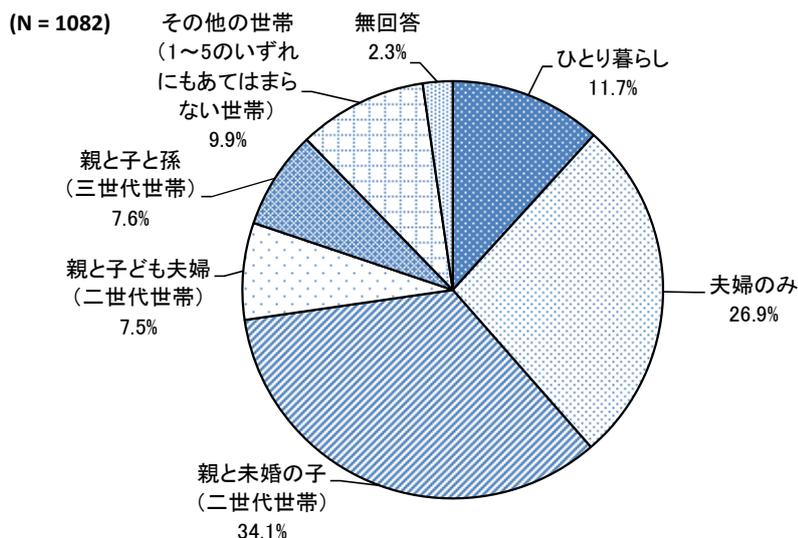
(4) 結婚の状況



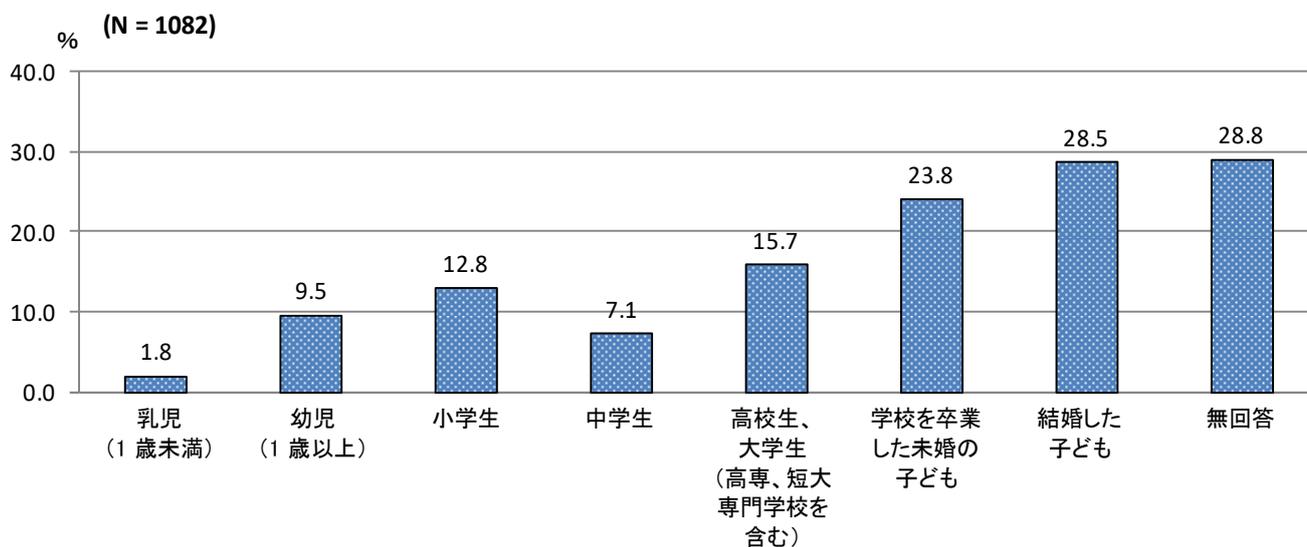
(5) 夫婦の就労状況



(6) 家族構成



(7) 子どもについて



(8) 居住地域

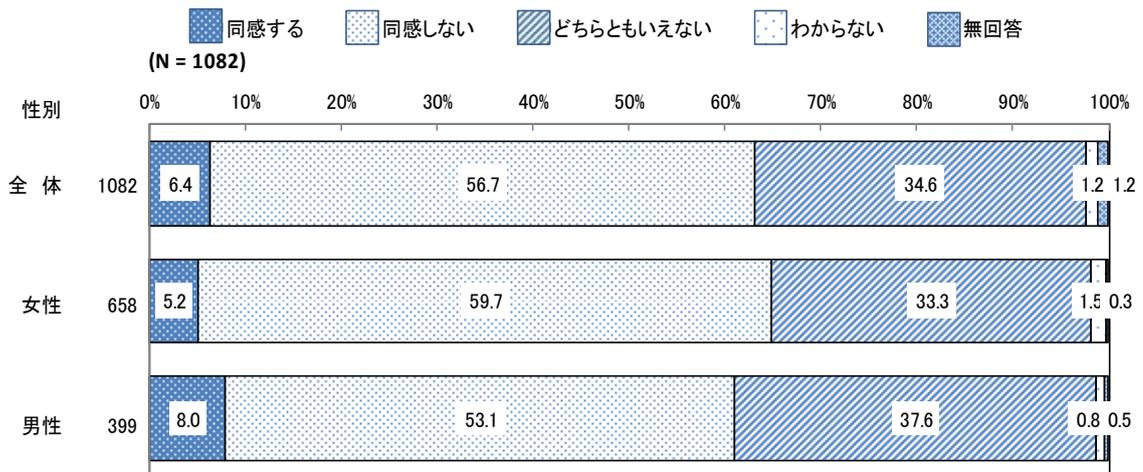
市町村	件数	全体 (%)	市町村	件数	全体 (%)
大分市	372	34.4	宇佐市	59	5.5
別府市	120	11.1	豊後大野市	42	3.9
中津市	72	6.7	由布市	44	4.1
日田市	56	5.2	国東市	25	2.3
佐伯市	86	7.9	姫島村	2	0.2
臼杵市	44	4.1	日出町	24	2.2
津久見市	17	1.6	九重町	8	0.7
竹田市	16	1.5	玖珠町	16	1.5
豊後高田市	22	2.0	無回答	16	1.5
杵築市	41	3.8	合計	1082	

## 2. 男女の意識について

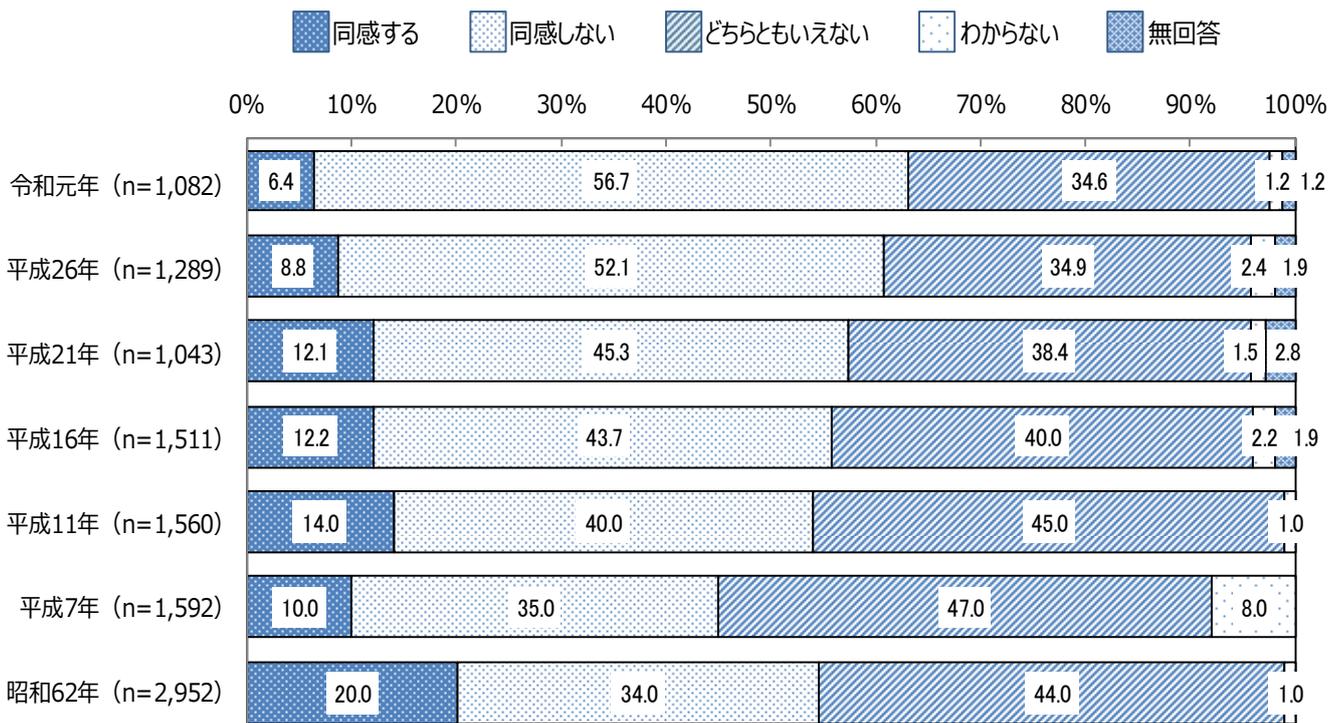
(全員が回答)

問1 「男は仕事、女は家庭」のように性別によって役割を固定する考え方がありますが、あなたはその考え方をどう思いますか。(〇は1つだけ)

- 全体では「同感しない」が5割半ばで最も高い。
- 性別で見ると、「同感しない」では、女性(59.7%)が男性(53.1%)より6.6ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、「同感しない」割合は、今回(56.7%)が前回(52.1%)より4.6ポイント高い。
- 各年調査結果をみると、「同感する」割合は、年々減少傾向にあり、「同感しない」割合は、年々増加傾向にある。



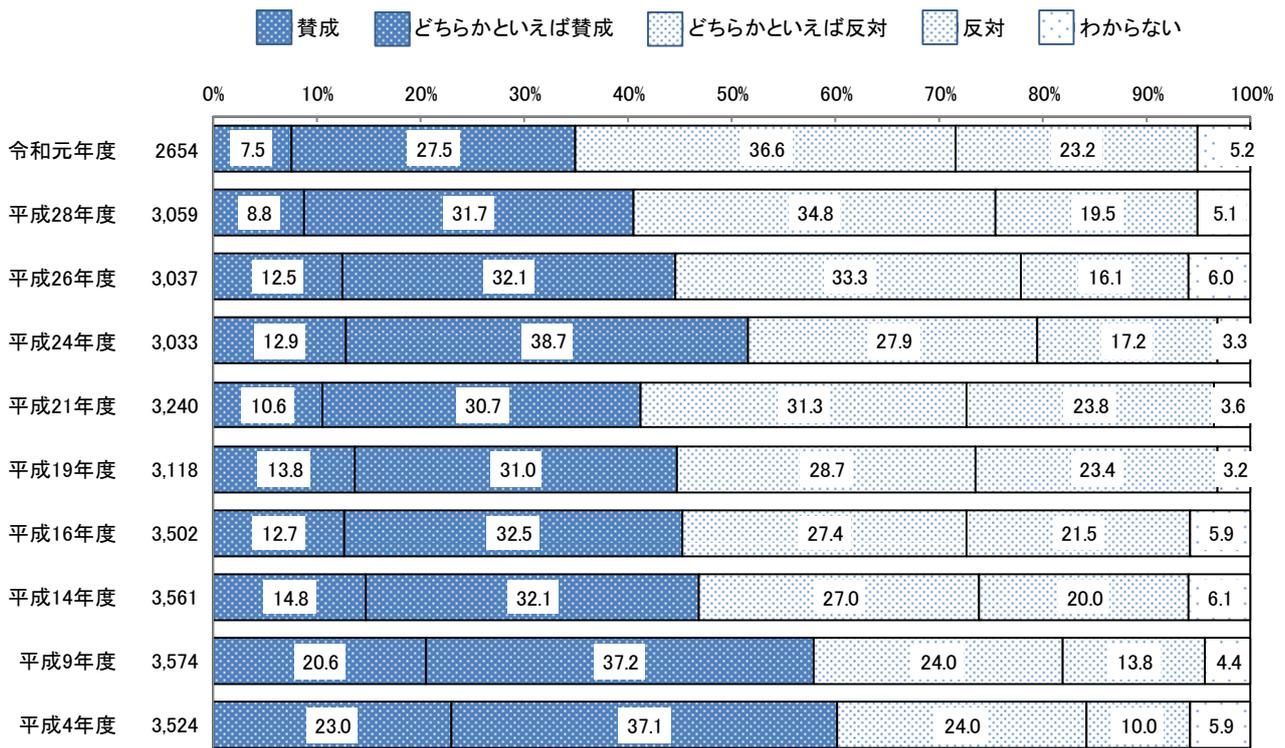
### 各年調査結果



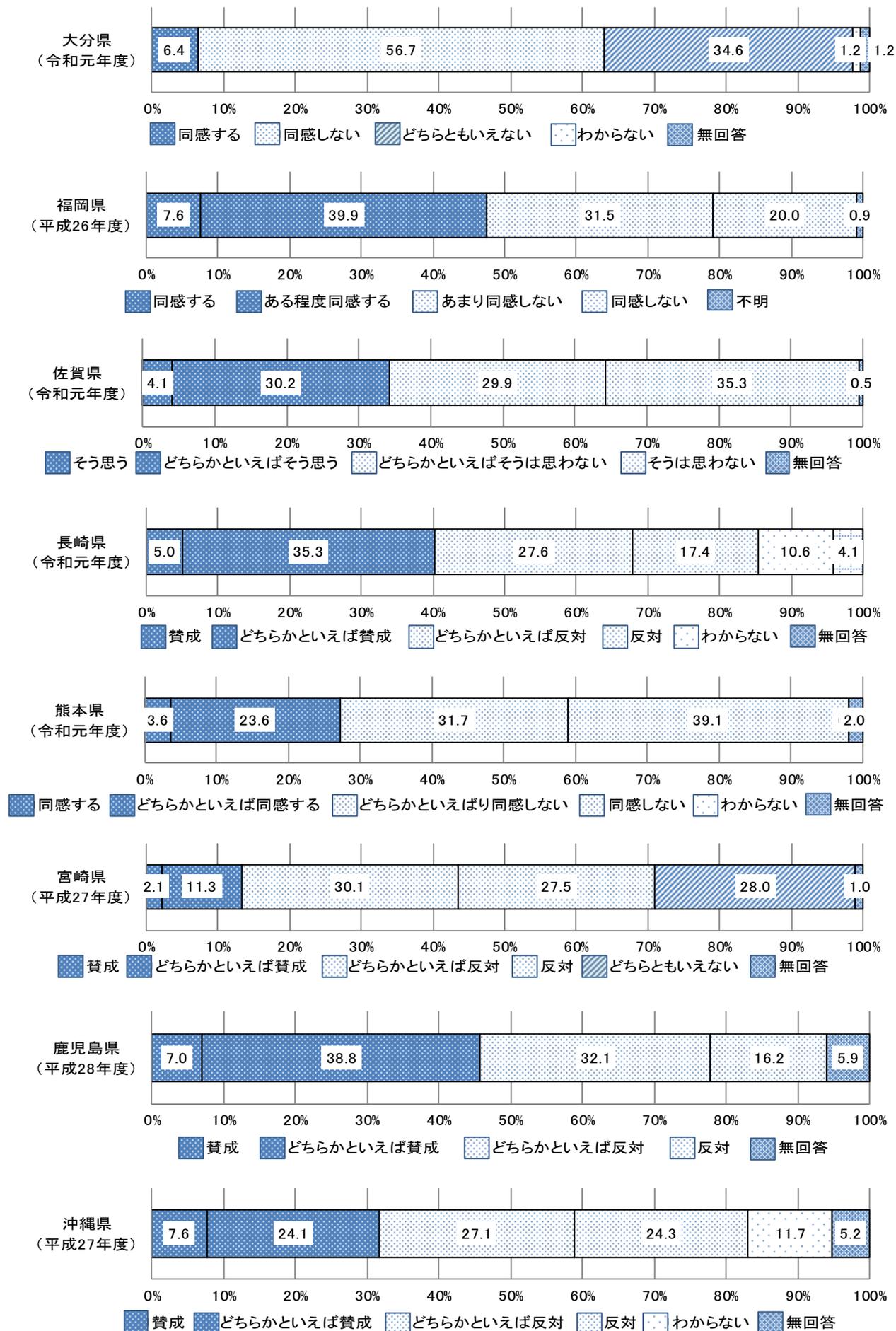
		全 体	同感する	同感しない	どちらとも いえない	わからない	無回答
全 体		1,082	6.4	56.7	34.6	1.2	1.2
性・ 年 齢 別	女性合計	658	5.2	59.7	33.3	1.5	0.3
	女性・18～29歳	57	3.5	64.9	31.6	0.0	0.0
	女性・30～39歳	98	1.0	63.3	33.7	2.0	0.0
	女性・40～49歳	122	4.9	68.9	25.4	0.8	0.0
	女性・50～59歳	152	5.9	62.5	30.9	0.0	0.7
	女性・60～69歳	107	5.6	52.3	42.1	0.0	0.0
	女性・70歳以上	120	8.3	47.5	37.5	5.8	0.8
	女性・無回答	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	8.0	53.1	37.6	0.8	0.5
	男性・18～29歳	22	9.1	54.5	31.8	4.5	0.0
	男性・30～39歳	42	2.4	61.9	35.7	0.0	0.0
	男性・40～49歳	85	4.7	49.4	44.7	1.2	0.0
	男性・50～59歳	91	2.2	54.9	42.9	0.0	0.0
	男性・60～69歳	73	8.2	57.5	32.9	0.0	1.4
男性・70歳以上	85	20.0	47.1	30.6	1.2	1.2	
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	111	11.7	55.9	30.6	0.9	0.9
	正社員・正規職員	315	4.1	58.4	36.8	0.3	0.3
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	0.0	66.7	30.8	2.6	0.0
	公務員	71	1.4	67.6	31.0	0.0	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	7.2	59.7	32.0	1.1	0.0
	学生・生徒	10	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	5.4	51.6	40.8	1.6	0.5
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	9.3	51.5	38.1	1.0	0.0
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	17.0	47.2	30.2	5.7	0.0
	無回答	21	4.8	23.8	19.0	4.8	47.6
前回調査	1,289	8.8	52.1	34.9	2.4	1.2	

(参考) 内閣府調査結果

※「内閣府調査結果」、「九州各県調査結果」について、大分県調査結果と比較するため、「賛成」や「どちらかといえば賛成」等の回答は「同感する」(■)として、「反対」や「どちらかといえば反対」等の回答は「同感しない」(□)としています。



(参考) 九州各県調査結果



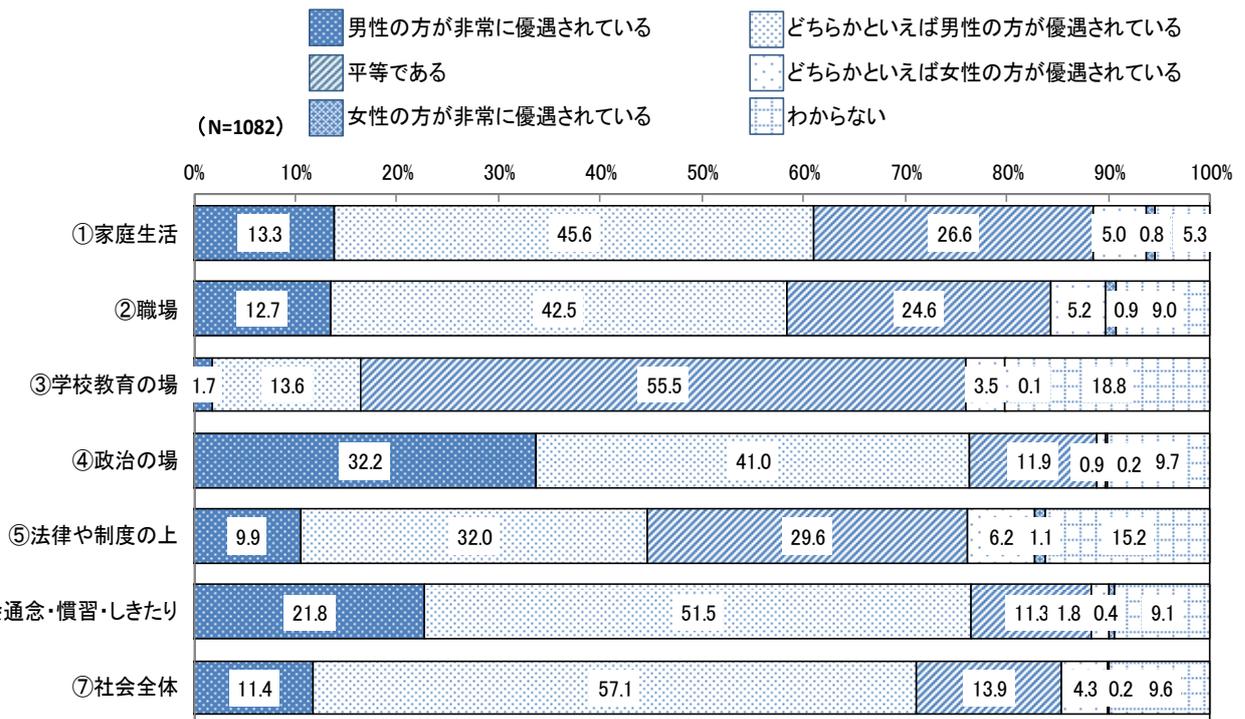
(全員が回答)

問2 あなたは、次の①～⑦にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(○はそれぞれ1つずつ)

- 「平等である」と回答した割合は、「③学校教育の場」が55.5%で最も高い。
- 「男性の方が優遇されている(計)※」は、「④政治の場」と「⑥社会通念・慣習・しきたり」で7割を超え、「女性の方が優遇されている(計)※」と比較して④では72.1ポイント、⑥では71.1ポイント高い。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「⑦社会全体」では、「平等である」は本県(13.9%)が内閣府調査(46.5%)より32.6ポイント低い。一方「どちらかといえば男性の方が優遇されている」では、内閣府調査(27.7%)より本県(57.1%)が29.4ポイント高い。

※「男性の方が優遇されている(計)」は、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算したもの。  
「女性の方が優遇されている(計)」は、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算したもの。

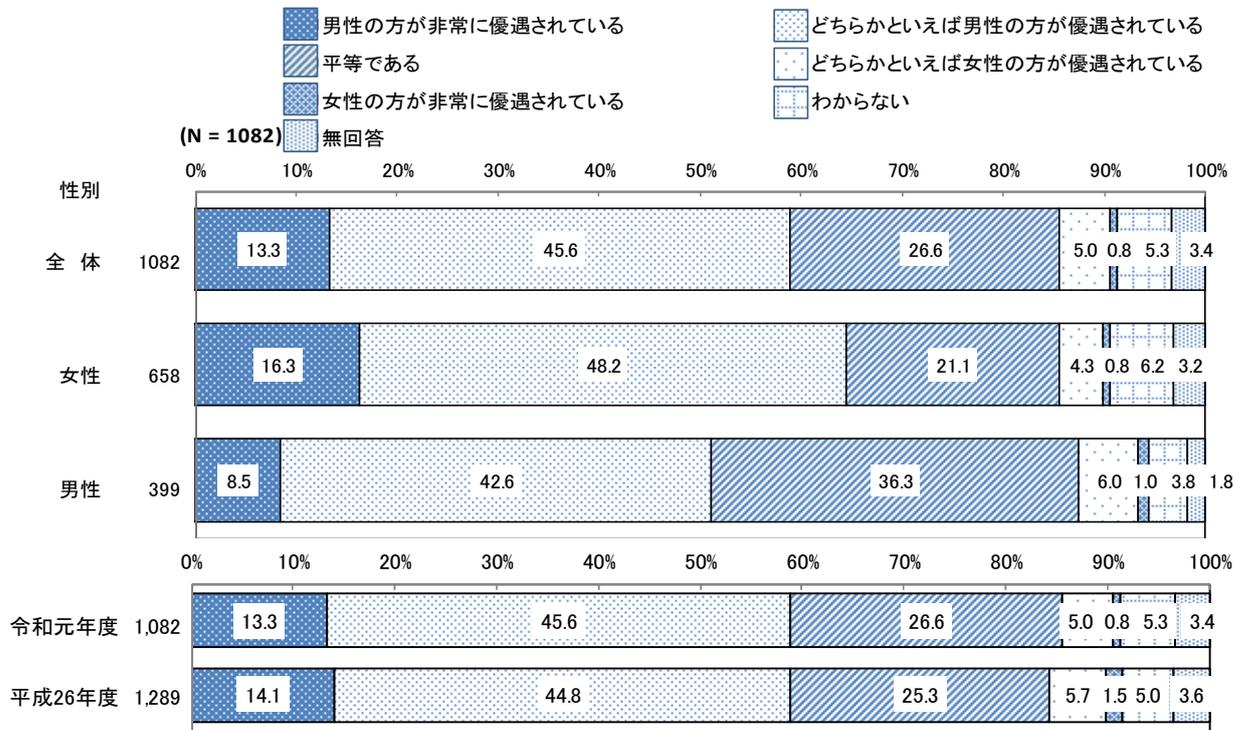
男女の地位の平等感



	家庭	職場	学校	政治	法律	習慣	社会
男性の方が非常に優遇されている	13.3	12.7	1.7	32.2	9.9	21.8	11.4
どちらかといえば男性の方が優遇されている	45.6	42.5	13.6	41.0	32.0	51.5	57.1
平等である	26.6	24.6	55.5	11.9	29.6	11.3	13.9
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5.0	5.2	3.5	0.9	6.2	1.8	4.3
女性の方が非常に優遇されている	0.8	0.9	0.1	0.2	1.1	0.4	0.2
わからない	5.3	8.8	18.8	9.7	15.2	9.1	9.6
無回答	3.4	5.4	6.9	4.1	6.0	4.1	3.5
男性の方が優遇されている(計)	58.9	55.2	15.3	73.2	41.9	73.3	68.5
女性の方が優遇されている(計)	5.8	6.1	3.6	1.1	7.3	2.2	4.5

# ①家庭生活

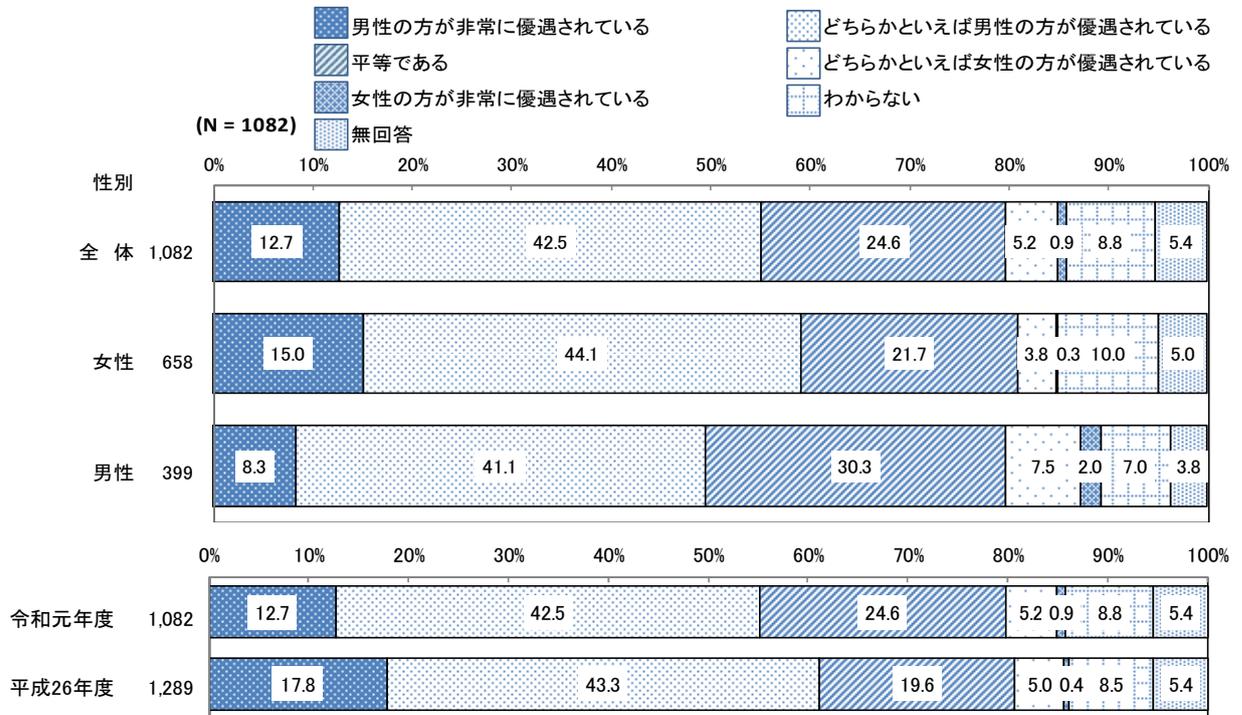
- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が4割半ばで最も高い。
- 性別でみると、「平等である」では、女性が21.1%、男性は36.3%となっている。
- 前回調査と比較すると大きな差はない。最も差がみられた「平等である」では、今回(26.6%)が前回(25.3%)より1.3ポイント高い。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、本県(26.6%)が内閣府調査(45.5%)より18.9ポイント低い。



	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	
全体	1,082	13.3	45.6	26.6	5.0	0.8	5.3	3.4	
性・年齢別	女性合計	658	16.3	48.2	21.1	4.3	0.8	6.2	3.2
	女性・18～29歳	57	15.8	42.1	24.6	3.5	3.5	10.5	0.0
	女性・30～39歳	98	12.2	38.8	23.5	8.2	0.0	17.3	0.0
	女性・40～49歳	122	23.0	47.5	18.0	4.9	0.8	4.1	1.6
	女性・50～59歳	152	15.1	57.9	18.4	3.3	0.7	2.6	2.0
	女性・60～69歳	107	19.6	49.5	24.3	1.9	0.0	2.8	1.9
	女性・70歳以上	120	11.7	45.8	20.8	4.2	0.8	5.0	11.7
	女性・無回答	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	8.5	42.6	36.3	6.0	1.0	3.8	1.8
	男性・18～29歳	22	0.0	31.8	59.1	4.5	0.0	4.5	0.0
	男性・30～39歳	42	9.5	35.7	26.2	14.3	4.8	4.8	4.8
	男性・40～49歳	85	5.9	41.2	35.3	7.1	2.4	7.1	1.2
	男性・50～59歳	91	15.4	46.2	27.5	6.6	0.0	3.3	1.1
男性・60～69歳	73	4.1	45.2	41.1	4.1	0.0	4.1	1.4	
男性・70歳以上	85	9.4	44.7	41.2	2.4	0.0	0.0	2.4	
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	11.7	48.6	31.5	4.5	0.0	2.7	0.9
	正社員・正規職員	315	12.7	49.2	22.5	6.7	1.9	6.3	0.6
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	20.5	46.2	20.5	5.1	2.6	5.1	0.0
	公務員	71	11.3	36.6	40.8	1.4	0.0	8.5	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	17.1	47.0	24.3	6.1	0.0	3.9	1.7
	学生・生徒	10	10.0	40.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	13.6	41.8	28.3	3.3	0.5	6.0	6.5
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	10.3	42.3	35.1	3.1	0.0	5.2	4.1
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	13.2	50.9	20.8	5.7	1.9	3.8	3.8
	無回答	21	4.8	28.6	4.8	4.8	0.0	0.0	57.1
前回調査	1,289	14.1	44.8	25.3	5.7	1.5	5.0	3.6	
内閣府調査	2,645	9.3	35.6	45.5	6.5	0.8	2.4	-	

## ②職場

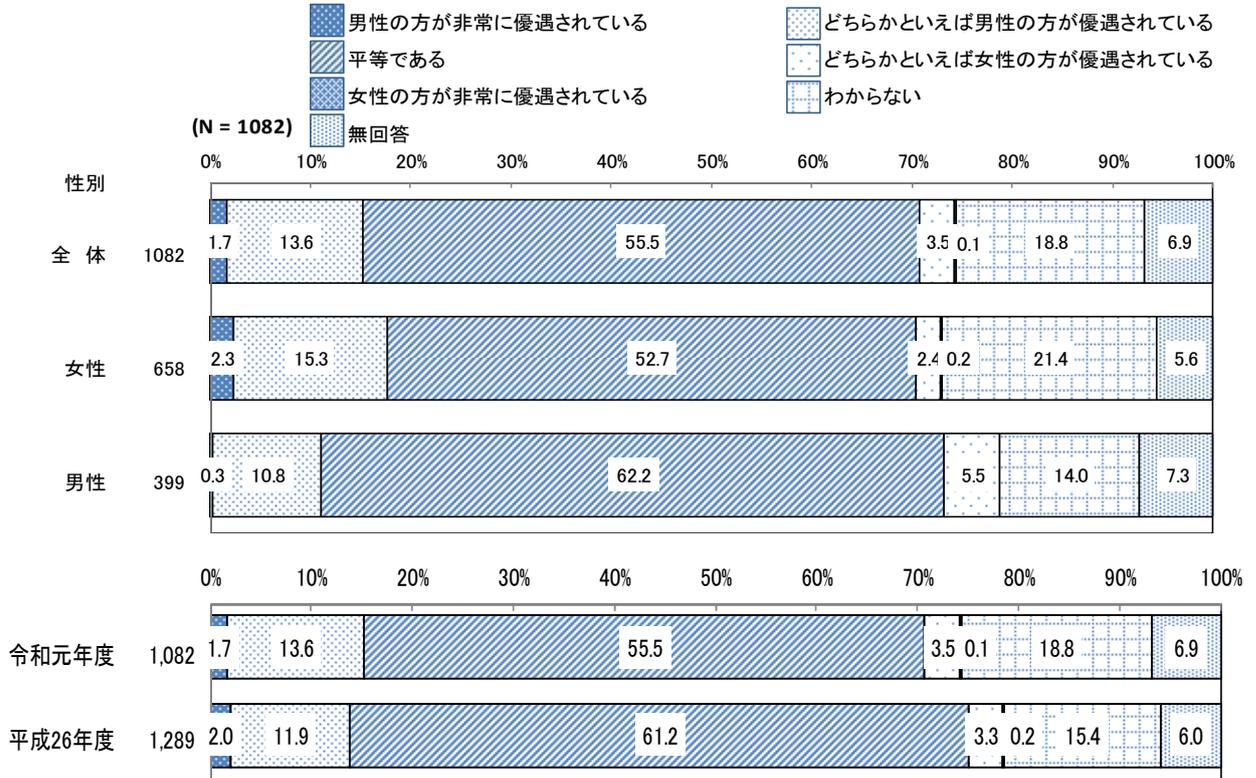
- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が4割を超え、最も高い。
- 性別で見ると、「平等である」では、男性（30.3%）が女性（21.7%）より8.6ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「男性の方が非常に優遇されている」では、今回（12.7%）が前回（17.8%）より5.1ポイント低い。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、本県（24.6%）が内閣府調査（30.7%）より6.1ポイント低い。



		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		1,082	12.7	42.5	24.6	5.2	0.9	8.8	5.4
性・年齢別	女性合計	658	15.0	44.1	21.7	3.8	0.3	10.0	5.0
	女性・18～29歳	57	7.0	40.4	36.8	3.5	0.0	12.3	0.0
	女性・30～39歳	98	13.3	50.0	19.4	6.1	0.0	11.2	0.0
	女性・40～49歳	122	18.9	45.9	27.0	2.5	0.0	5.7	0.0
	女性・50～59歳	152	15.1	50.7	20.4	6.6	0.0	5.3	2.0
	女性・60～69歳	107	24.3	39.3	18.7	2.8	0.9	8.4	5.6
	女性・70歳以上	120	8.3	35.0	15.0	0.8	0.8	20.0	20.0
	女性・無回答	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	8.3	41.1	30.3	7.5	2.0	7.0	3.8
	男性・18～29歳	22	9.1	13.6	27.3	22.7	4.5	9.1	0.0
	男性・30～39歳	42	7.1	47.6	31.0	7.1	2.4	0.0	4.8
	男性・40～49歳	85	7.1	44.7	30.6	9.4	4.7	2.4	1.2
	男性・50～59歳	91	7.7	44.0	36.3	5.5	1.1	4.4	1.1
男性・60～69歳	73	15.1	34.2	28.8	8.2	0.0	11.0	2.7	
男性・70歳以上	85	4.7	42.4	23.5	3.5	1.2	14.1	10.6	
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	10.8	44.1	27.0	3.6	0.9	9.0	4.5
	正社員・正規職員	315	13.0	44.4	28.6	9.2	1.3	3.5	0.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	7.7	35.9	35.9	2.6	2.6	12.8	2.6
	公務員	71	4.2	29.6	52.1	9.9	1.4	2.8	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	16.6	46.4	24.9	3.9	0.6	6.1	1.7
	学生・生徒	10	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	12.0	46.7	11.4	2.2	0.0	16.8	10.9
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	14.4	38.1	19.6	0.0	1.0	18.6	8.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	13.2	41.5	9.4	5.7	1.9	13.2	15.1
	無回答	21	14.3	4.8	14.3	4.8	0.0	0.0	61.9
前回調査	1,289	17.8	43.3	19.6	5.0	0.4	8.5	5.4	
内閣府調査	2,645	13.6	39.8	30.7	4.5	0.5	9.0	-	

### ③ 学校教育の場

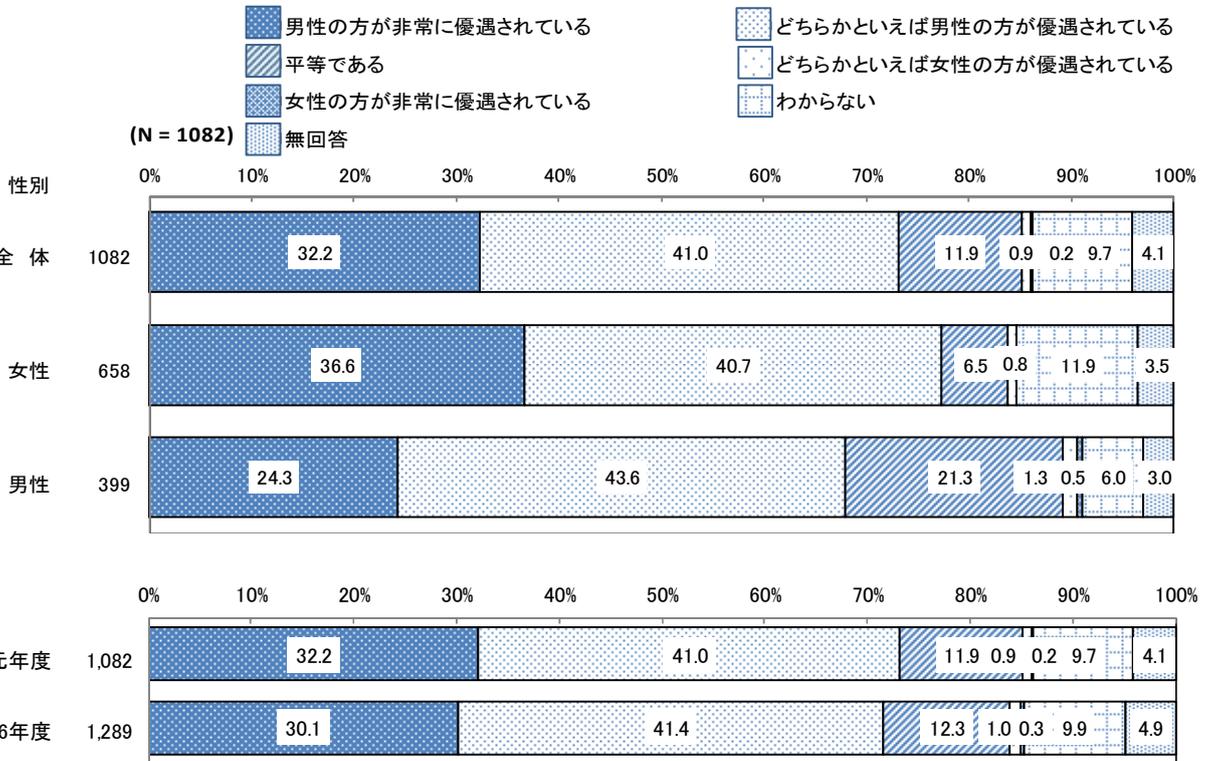
- 全体では、「平等である」が5割半ばを超え、最も高い。
- 性別でみると、「平等である」では、男性（62.2%）が女性（52.7%）より9.5ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、今回（55.5%）が前回（61.2%）より5.7ポイント低い。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、本県（55.5%）が内閣府調査（61.2%）より5.7ポイント低い。



		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		1,082	1.7	13.6	55.5	3.5	0.1	18.8	6.9
性・年齢別	女性合計	658	2.3	15.3	52.7	2.4	0.2	21.4	5.6
	女性・18～29歳	57	3.5	7.0	61.4	3.5	0.0	24.6	0.0
	女性・30～39歳	98	2.0	10.2	62.2	2.0	0.0	21.4	2.0
	女性・40～49歳	122	3.3	18.0	54.9	1.6	0.8	19.7	1.6
	女性・50～59歳	152	1.3	20.4	52.6	2.6	0.0	19.7	3.3
	女性・60～69歳	107	1.9	15.9	45.8	4.7	0.0	25.2	6.5
	女性・70歳以上	120	2.5	14.2	44.2	0.8	0.0	20.8	17.5
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	0.3	10.8	62.2	5.5	0.0	14.0	7.3
	男性・18～29歳	22	0.0	9.1	63.6	9.1	0.0	18.2	0.0
	男性・30～39歳	42	0.0	7.1	52.4	7.1	0.0	26.2	7.1
	男性・40～49歳	85	1.2	7.1	71.8	2.4	0.0	16.5	1.2
	男性・50～59歳	91	0.0	11.0	70.3	6.6	0.0	9.9	2.2
男性・60～69歳	73	0.0	13.7	52.1	8.2	0.0	15.1	11.0	
男性・70歳以上	85	0.0	14.1	56.5	3.5	0.0	8.2	17.6	
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	1.8	14.4	53.2	6.3	0.0	17.1	7.2
	正社員・正規職員	315	2.2	10.8	63.2	3.5	0.3	19.4	0.6
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	0.0	12.8	61.5	0.0	0.0	25.6	0.0
	公務員	71	1.4	9.9	70.4	2.8	0.0	12.7	2.8
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	1.1	11.6	55.2	4.4	0.0	21.5	6.1
	学生・生徒	10	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	1.6	17.4	44.6	3.3	0.0	21.7	11.4
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	2.1	20.6	50.5	1.0	0.0	13.4	12.4
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	1.9	15.1	49.1	5.7	0.0	13.2	15.1
	無回答	21	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	4.8	52.4
前回調査	1,289	2.0	11.9	61.2	3.3	0.2	15.4	6.0	
内閣府調査	2,645	3.3	15.2	61.2	2.3	0.3	17.7	-	

#### ④政治の場

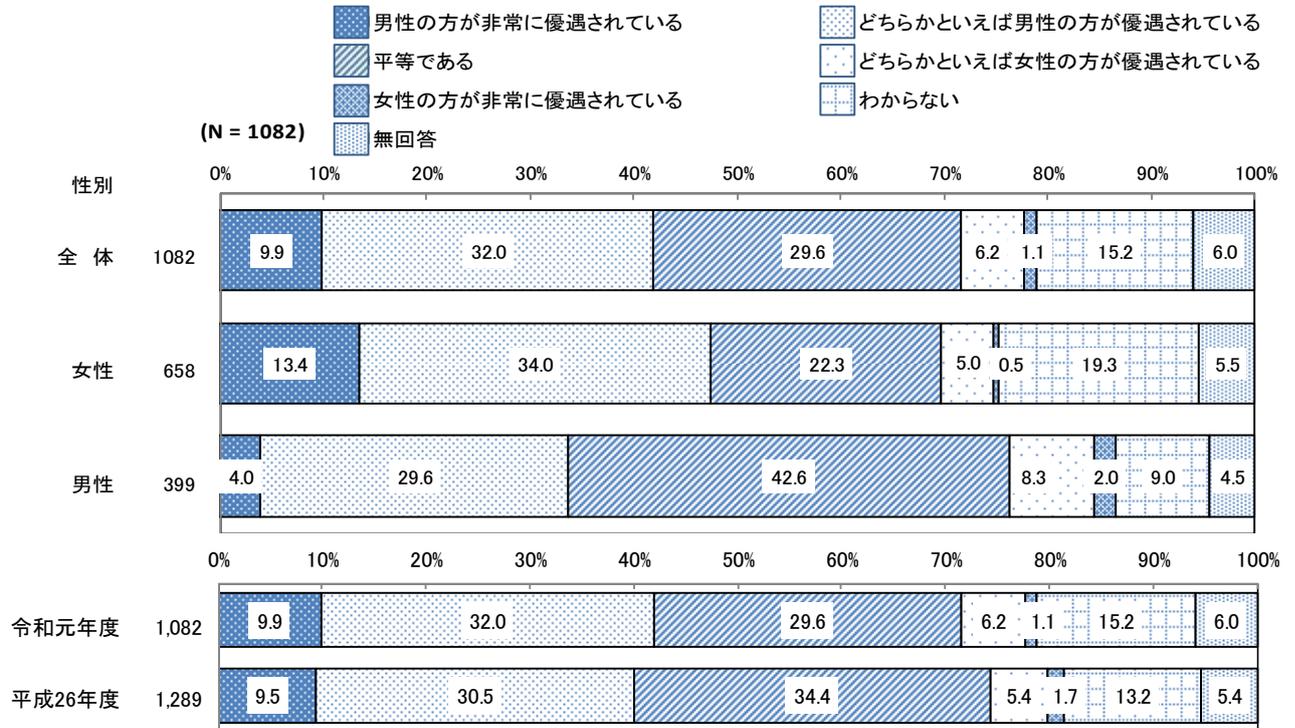
- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が4割を超え、最も高い。
- 性別で見ると、「平等である」では、男性（21.3%）が女性（6.5%）より14.8ポイント高い。
- 前回調査との比較では、大きな差はみられない。
- 内閣府調査と比較すると、「男性の方が優遇されている（計）」では、本県（73.2%）が内閣府調査（79.0%）より5.8ポイント低い。



		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		1,082	32.2	41.0	11.9	0.9	0.2	9.7	4.1
性別・年齢別	女性合計	658	36.6	40.7	6.5	0.8	0.0	11.9	3.5
	女性・18～29歳	57	40.4	47.4	1.8	0.0	0.0	10.5	0.0
	女性・30～39歳	98	37.8	40.8	9.2	1.0	0.0	11.2	0.0
	女性・40～49歳	122	50.0	35.2	2.5	1.6	0.0	10.7	0.0
	女性・50～59歳	152	32.2	52.0	5.9	0.0	0.0	7.2	2.6
	女性・60～69歳	107	35.5	39.3	4.7	1.9	0.0	15.0	3.7
	女性・70歳以上	120	27.5	29.2	13.3	0.0	0.0	17.5	12.5
	女性・無回答	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	24.3	43.6	21.3	1.3	0.5	6.0	3.0
	男性・18～29歳	22	36.4	40.9	13.6	0.0	0.0	9.1	0.0
	男性・30～39歳	42	28.6	31.0	23.8	4.8	2.4	4.8	4.8
	男性・40～49歳	85	25.9	40.0	25.9	1.2	0.0	5.9	1.2
	男性・50～59歳	91	25.3	45.1	19.8	2.2	0.0	6.6	1.1
男性・60～69歳	73	19.2	53.4	20.5	0.0	1.4	4.1	1.4	
男性・70歳以上	85	21.2	43.5	20.0	0.0	0.0	7.1	8.2	
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	29.7	38.7	15.3	0.9	0.0	11.7	3.6
	正社員・正規職員	315	32.7	42.5	13.7	1.9	0.0	8.3	1.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	20.5	53.8	15.4	0.0	0.0	10.3	0.0
	公務員	71	32.4	43.7	18.3	0.0	1.4	4.2	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	34.3	45.9	6.6	1.1	0.0	9.9	2.2
	学生・生徒	10	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	32.6	37.0	6.5	0.5	0.0	15.8	7.6
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	30.9	40.2	18.6	0.0	0.0	7.2	3.1
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	37.7	32.1	11.3	0.0	1.9	7.5	9.4
	無回答	21	23.8	9.5	9.5	0.0	0.0	4.8	52.4
前回調査	1,289	30.1	41.4	12.3	1.0	0.3	9.9	4.9	
内閣府調査	2,645	35.0	44.0	14.4	1.1	0.1	5.4	-	

⑤法律や制度の上において

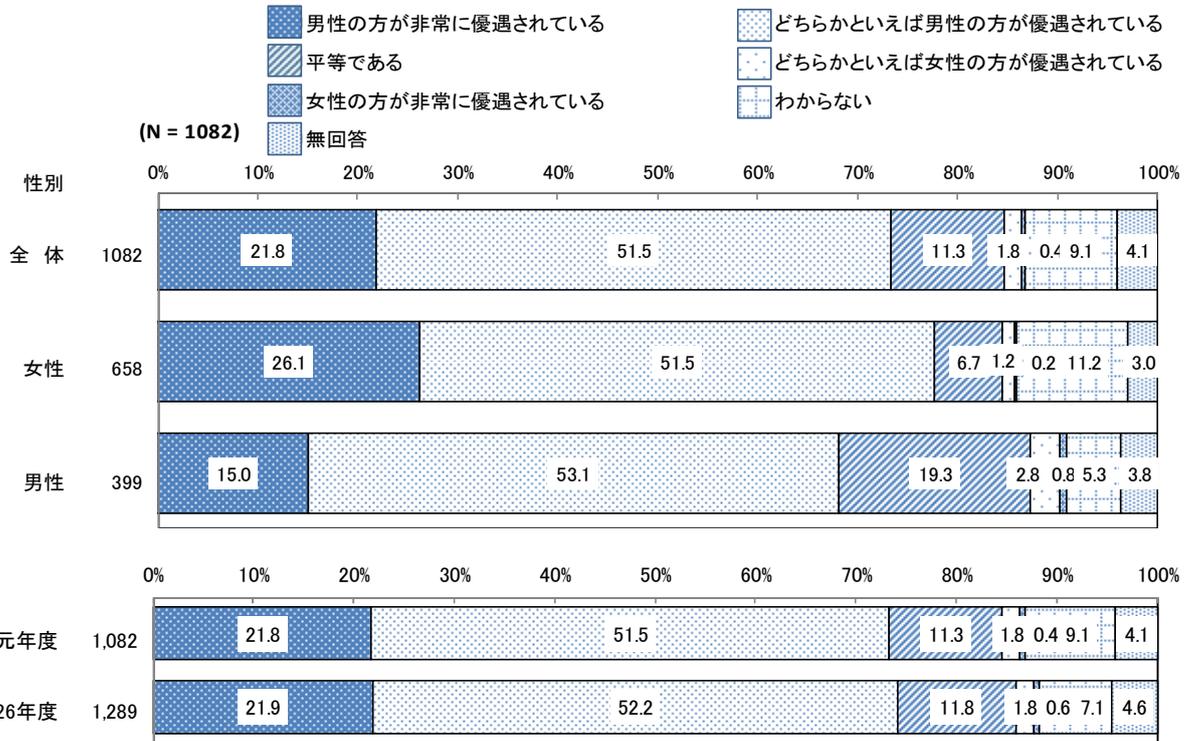
- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が3割を超え、最も高い。
- 性別でみると、「平等である」では、男性（42.6%）が女性（22.3%）より20.3ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、今回（29.6%）が前回（34.4%）より4.8ポイント低い。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、本県（29.6%）が内閣府調査（39.7%）より10.1ポイント低い。



		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		1,082	9.9	32.0	29.6	6.2	1.1	15.2	6.0
性別・年齢別	女性合計	658	13.4	34.0	22.3	5.0	0.5	19.3	5.5
	女性・18～29歳	57	22.8	24.6	22.8	8.8	1.8	19.3	0.0
	女性・30～39歳	98	9.2	30.6	25.5	10.2	0.0	23.5	1.0
	女性・40～49歳	122	18.0	34.4	18.9	5.7	0.8	19.7	2.5
	女性・50～59歳	152	13.8	40.8	21.1	3.9	0.0	17.8	2.6
	女性・60～69歳	107	12.1	38.3	26.2	2.8	0.9	13.1	6.5
	女性・70歳以上	120	8.3	28.3	21.7	1.7	0.0	22.5	17.5
	女性・無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	男性合計	399	4.0	29.6	42.6	8.3	2.0	9.0	4.5
	男性・18～29歳	22	4.5	13.6	63.6	4.5	9.1	4.5	0.0
	男性・30～39歳	42	9.5	19.0	33.3	21.4	2.4	9.5	4.8
	男性・40～49歳	85	5.9	25.9	37.6	12.9	2.4	14.1	1.2
男性・50～59歳	91	4.4	35.2	44.0	3.3	3.3	6.6	3.3	
男性・60～69歳	73	1.4	31.5	50.7	6.8	0.0	8.2	1.4	
男性・70歳以上	85	1.2	34.1	38.8	4.7	0.0	8.2	12.9	
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	11.7	21.6	38.7	8.1	0.9	11.7	7.2
	正社員・正規職員	315	10.2	32.7	30.2	9.8	2.2	13.7	1.3
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	7.7	28.2	25.6	12.8	0.0	23.1	2.6
	公務員	71	2.8	31.0	50.7	5.6	0.0	9.9	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	12.7	38.1	24.9	6.1	0.0	13.8	4.4
	学生・生徒	10	20.0	30.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	10.9	31.0	20.1	1.1	1.1	25.5	10.3
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	6.2	35.1	35.1	2.1	1.0	14.4	6.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	7.5	37.7	22.6	5.7	1.9	11.3	13.2
	無回答	21	9.5	14.3	19.0	0.0	0.0	0.0	57.1
前回調査	1,289	9.5	30.5	34.4	5.4	1.7	13.2	5.4	
内閣府調査	2,645	10.3	36.6	39.7	4.0	0.4	9.0	-	

⑥社会通念・慣習・しきたりにおいて

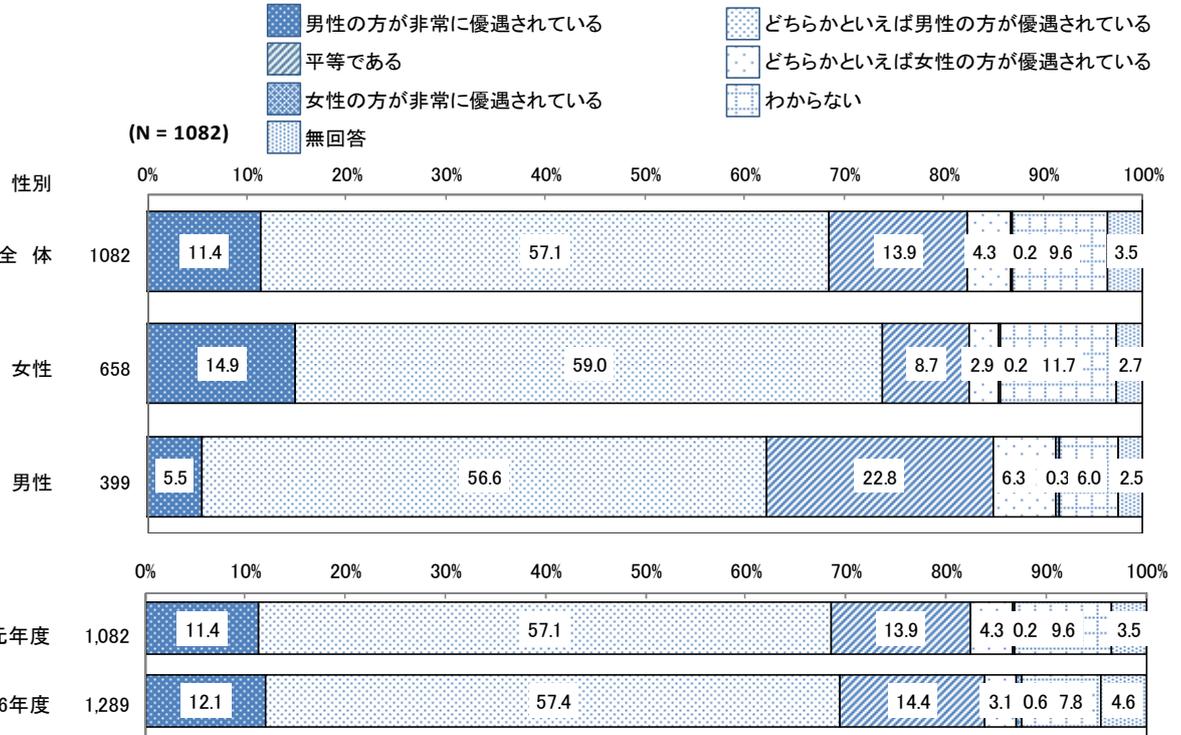
- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が5割を超え、最も高い。
- 性別で見ると、「男性の方が優遇されている（計）」では、女性（77.6%）が、男性（68.1%）より9.5ポイント高い。
- 前回調査との比較では、大きな差はみられない。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、本県（11.3%）が内閣府調査（22.6%）より11.3ポイント低い。



		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		1,082	21.8	51.5	11.3	1.8	0.4	9.1	4.1
性別・年齢別	女性合計	658	26.1	51.5	6.7	1.2	0.2	11.2	3.0
	女性・18～29歳	57	24.6	45.6	10.5	0.0	0.0	19.3	0.0
	女性・30～39歳	98	20.4	52.0	8.2	2.0	1.0	15.3	1.0
	女性・40～49歳	122	38.5	48.4	2.5	0.8	0.0	9.8	0.0
	女性・50～59歳	152	29.6	57.2	6.6	0.7	0.0	5.9	0.0
	女性・60～69歳	107	26.2	55.1	6.5	0.9	0.0	9.3	1.9
	女性・70歳以上	120	14.2	47.5	8.3	2.5	0.0	13.3	14.2
	女性・無回答	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	男性合計	399	15.0	53.1	19.3	2.8	0.8	5.3	3.8
	男性・18～29歳	22	9.1	36.4	36.4	4.5	4.5	9.1	0.0
	男性・30～39歳	42	14.3	54.8	11.9	9.5	0.0	7.1	2.4
	男性・40～49歳	85	15.3	51.8	20.0	2.4	0.0	7.1	3.5
	男性・50～59歳	91	26.4	47.3	16.5	2.2	1.1	3.3	3.3
男性・60～69歳	73	8.2	64.4	21.9	0.0	1.4	2.7	1.4	
男性・70歳以上	85	10.6	54.1	18.8	2.4	0.0	5.9	8.2	
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	21.6	54.1	12.6	2.7	0.0	5.4	3.6
	正社員・正規職員	315	23.8	50.2	14.0	2.9	0.6	7.6	1.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	10.3	59.0	7.7	0.0	0.0	20.5	2.6
	公務員	71	22.5	60.6	15.5	0.0	0.0	1.4	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	27.1	51.4	8.3	2.2	0.0	9.4	1.7
	学生・生徒	10	0.0	90.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	20.7	52.7	3.8	0.5	0.5	14.7	7.1
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	17.5	49.5	19.6	2.1	0.0	6.2	5.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	17.0	45.3	13.2	1.9	1.9	13.2	7.5
	無回答	21	19.0	9.5	9.5	0.0	0.0	9.5	52.4
前回調査	1,289	21.9	52.2	11.8	1.8	0.6	7.1	4.6	
内閣府調査	2,645	19.1	51.0	22.6	2.1	0.2	5.0	-	

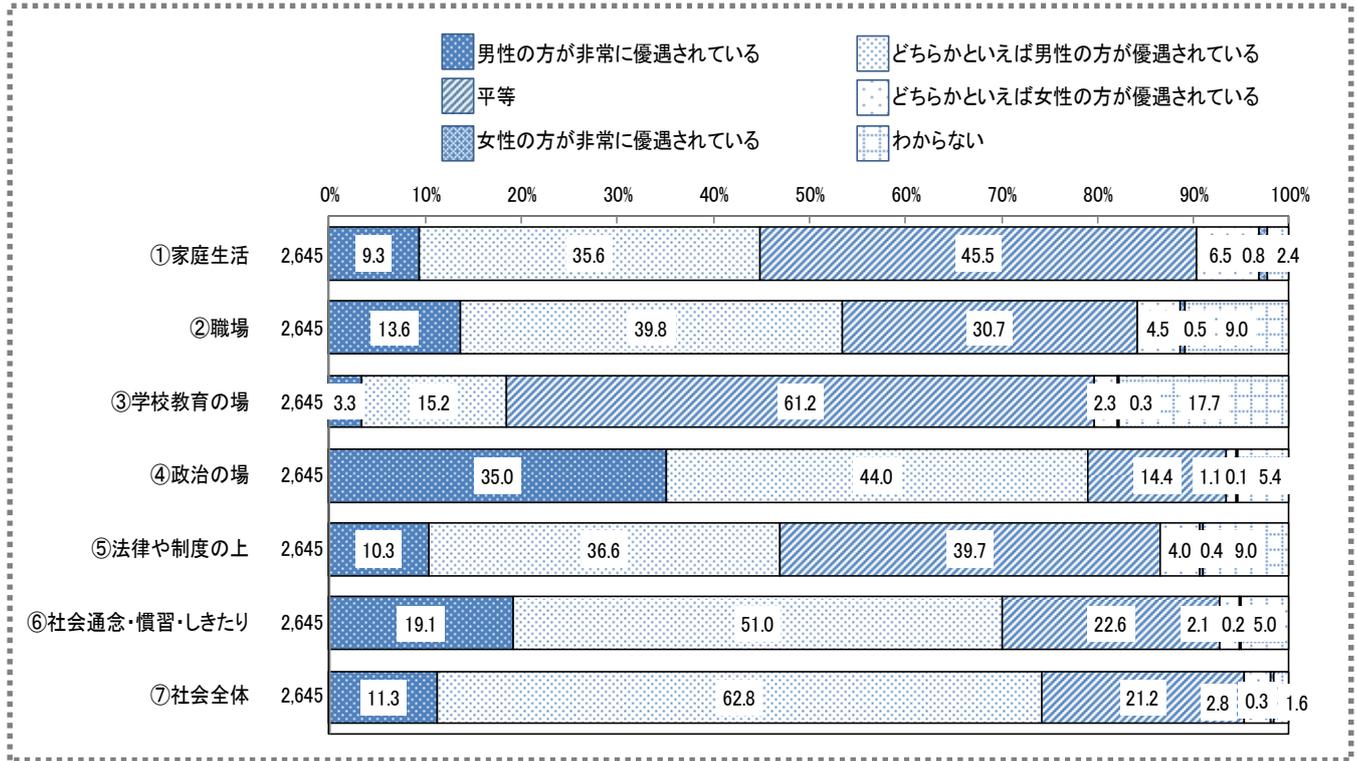
⑦社会全体において

- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が5割半ばを超え、最も高い。
- 性別でみると、「平等である」では、男性（22.8%）が女性（8.7%）より14.1ポイント高い。
- 前回調査との比較では、大きな差はみられない。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「平等である」では、本県（13.9%）が内閣府調査（21.2%）より7.3ポイント低い。



		全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全体		1,082	11.4	57.1	13.9	4.3	0.2	9.6	3.5
性・年齢別	女性合計	658	14.9	59.0	8.7	2.9	0.2	11.7	2.7
	女性・18～29歳	57	22.8	33.3	17.5	7.0	0.0	19.3	0.0
	女性・30～39歳	98	12.2	55.1	8.2	4.1	0.0	20.4	0.0
	女性・40～49歳	122	26.2	57.4	6.6	3.3	0.0	6.6	0.0
	女性・50～59歳	152	11.8	71.1	7.9	2.6	0.7	5.9	0.0
	女性・60～69歳	107	12.1	72.0	6.5	0.9	0.0	6.5	1.9
	女性・70歳以上	120	8.3	49.2	10.0	1.7	0.0	17.5	13.3
	女性・無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	男性合計	399	5.5	56.6	22.8	6.3	0.3	6.0	2.5
	男性・18～29歳	22	0.0	36.4	36.4	13.6	0.0	9.1	4.5
	男性・30～39歳	42	4.8	47.6	28.6	7.1	2.4	7.1	2.4
	男性・40～49歳	85	4.7	52.9	22.4	11.8	0.0	7.1	1.2
	男性・50～59歳	91	7.7	59.3	24.2	2.2	0.0	4.4	2.2
	男性・60～69歳	73	6.8	61.6	19.2	5.5	0.0	5.5	1.4
男性・70歳以上	85	4.7	62.4	18.8	3.5	0.0	5.9	4.7	
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	10.8	57.7	17.1	2.7	0.0	7.2	4.5
	正社員・正規職員	315	12.7	53.3	17.5	7.0	0.3	8.6	0.6
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	5.1	56.4	15.4	2.6	0.0	20.5	0.0
	公務員	71	7.0	59.2	23.9	2.8	0.0	7.0	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	12.2	68.5	8.3	2.8	0.0	7.2	1.1
	学生・生徒	10	10.0	60.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	10.3	57.6	8.2	2.7	0.5	15.2	5.4
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	10.3	53.6	19.6	4.1	0.0	7.2	5.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	15.1	58.5	1.9	7.5	0.0	11.3	5.7
	無回答	21	19.0	14.3	9.5	4.8	0.0	0.0	52.4
前回調査	1,289	12.1	57.4	14.4	3.1	0.6	7.8	4.6	
内閣府調査	2,645	11.3	62.8	21.2	2.8	0.3	1.6	-	

(参考) 内閣府調査結果



(現在、結婚している方(事実婚を含む)が回答)

問3 あなたのご家庭では、次の①～⑩にあげるような家庭内の役割を、主にどなたがしていますか。

(1)【現状】と右側の(2)【理想】からそれぞれお答えください。

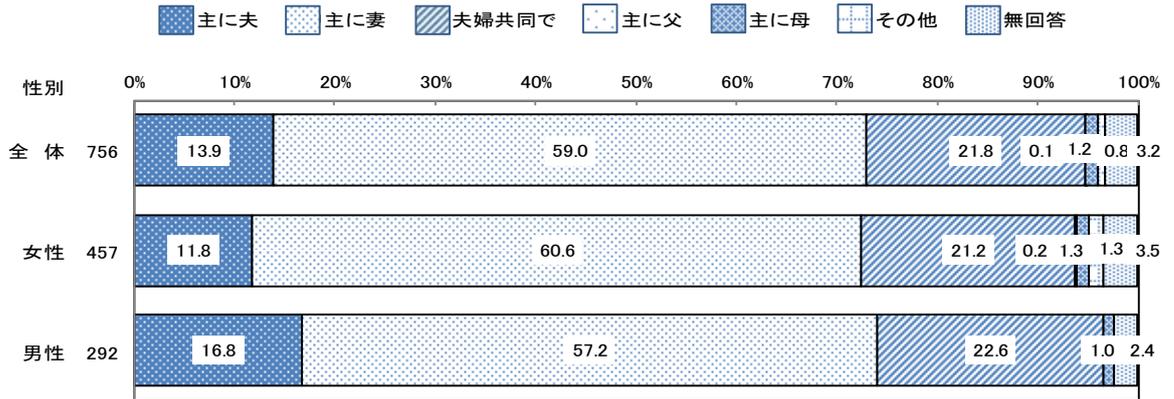
あてはまらない項目については記入する必要はありません。(〇はそれぞれ1つずつ)

- 全体でみると、各分野での理想は「夫婦共同で」が最も高く、現状では「主に妻」が最も高い。現状と理想で最も差がみられた「④食事の片づけ」の「主に妻」では、現状(70.5%)が理想(16.3%)より54.2ポイント高い。
- 現状では「③食事のしたく」の「主に妻」(82.0%)が最も高く、唯一8割を超えている。次いで「②食料品などの買い物」の「主に妻」(73.0%)、「⑤掃除・洗濯」の「主に妻」(71.7%)となっている。
- 理想では「⑦子どもの教育としつけ」の「夫婦共同で」(69.6%)が最も高く、次いで「④食事の片づけ」の「夫婦共同で」(68.4%)、「⑤掃除・洗濯」の「夫婦共同で」(67.7%)となっている。

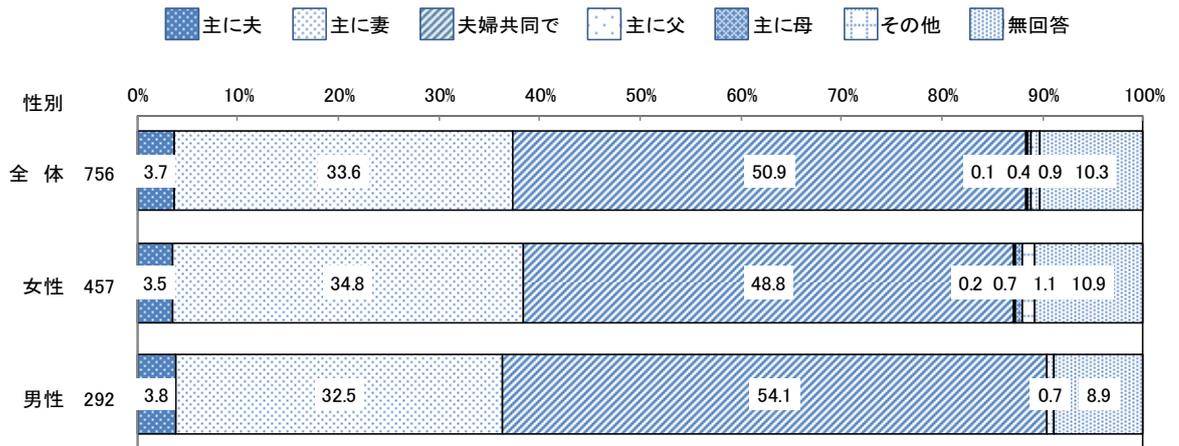
		全 体	主に夫	主に妻	夫婦共同で	主に父	主に母	その他	無回答
①家計の管理	【現状】	756	13.9	59.0	21.8	0.1	1.2	0.8	3.2
	【理想】	756	3.7	33.6	50.9	0.1	0.4	0.9	10.3
②食料品などの買い物	【現状】	756	2.5	73.0	20.1	0.1	1.2	0.5	2.5
	【理想】	756	0.4	31.9	57.4	0.0	0.0	1.1	9.3
③食事のしたく	【現状】	756	2.1	82.0	8.2	0.1	2.4	0.8	4.4
	【理想】	756	0.7	32.0	55.2	0.1	0.3	1.9	9.9
④食事の片づけ	【現状】	756	4.9	70.5	18.1	0.4	1.7	1.6	2.8
	【理想】	756	4.0	16.3	68.4	0.4	0.3	1.2	9.5
⑤掃除・洗濯	【現状】	756	2.4	71.7	17.3	0.3	2.1	1.3	4.9
	【理想】	756	0.9	18.7	67.7	0.4	0.4	1.1	10.8
⑥育児(乳幼児の世話)	【現状】	756	0.3	49.5	16.8	0.0	0.8	3.4	29.2
	【理想】	756	0.3	8.2	62.0	0.1	0.3	1.9	27.2
⑦子どもの教育としつけ	【現状】	756	1.2	35.4	34.4	0.3	1.3	2.4	25.0
	【理想】	756	0.5	3.2	69.6	0.1	0.3	1.3	25.0
⑧PTAへの出席	【現状】	756	0.7	56.5	10.6	0.1	0.8	4.1	27.2
	【理想】	756	0.7	11.6	59.0	0.3	0.0	2.4	26.1
⑨町内行事等への参加	【現状】	756	27.4	30.4	23.0	2.2	1.6	4.6	10.7
	【理想】	756	13.2	3.0	64.8	1.5	0.5	2.2	14.7
⑩高齢者の世話・介護	【現状】	756	1.9	32.0	21.0	0.3	1.5	13.6	29.8
	【理想】	756	0.6	2.5	42.5	0.1	0.2	4.5	49.6

## ① 家計の管理

### 現状

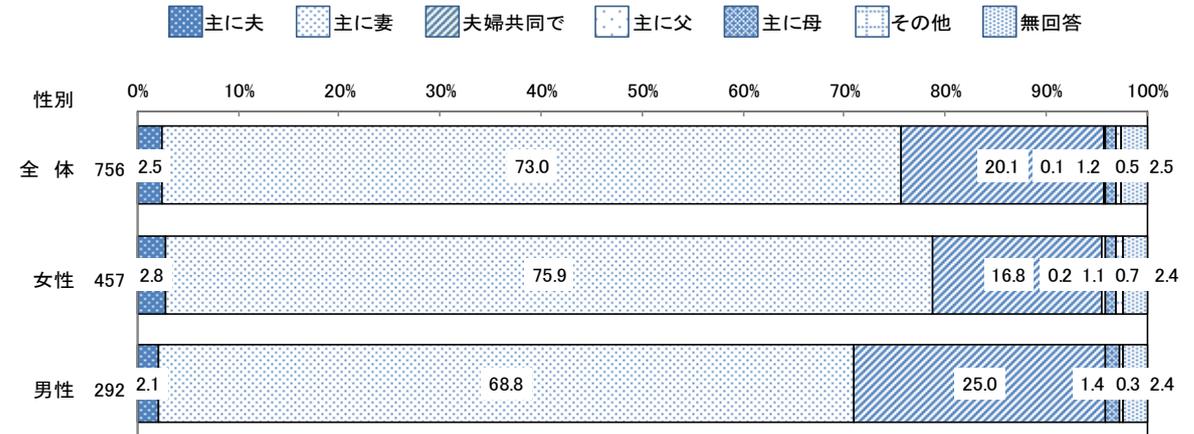


### 理想

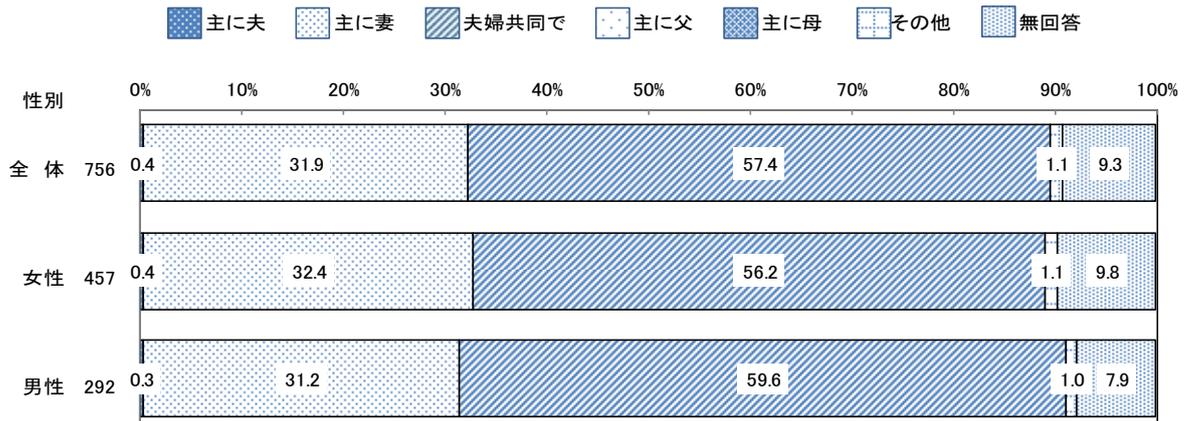


## ② 食料品などの買い物

### 現状

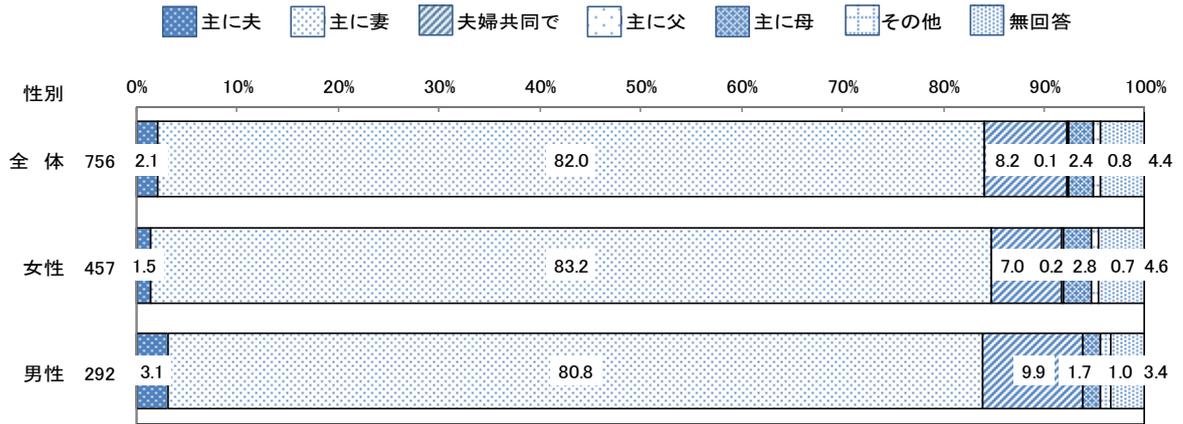


### 理想

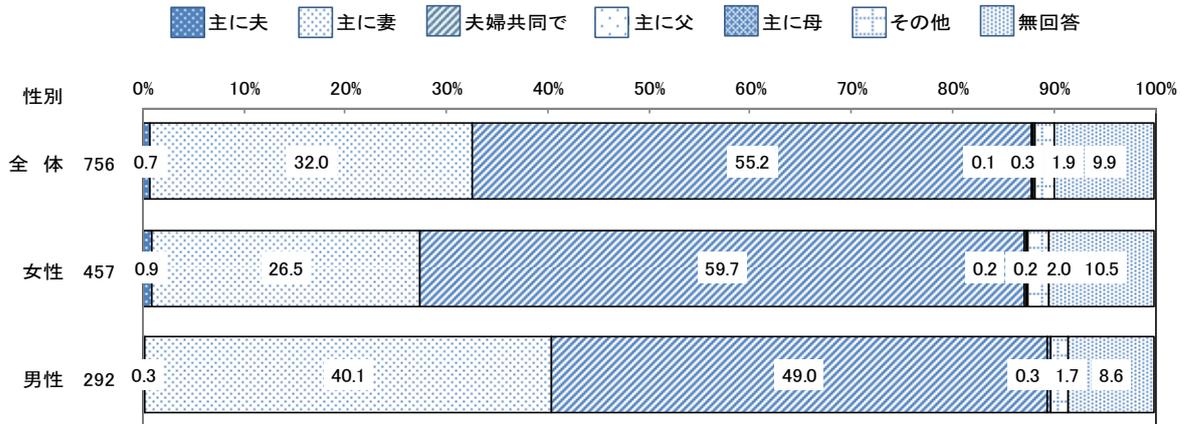


### ③ 食事のしたく

現状

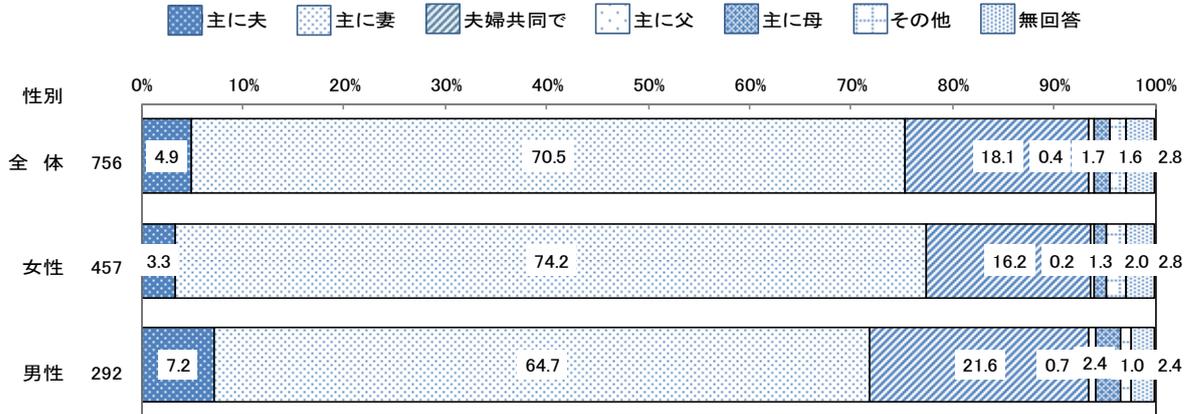


理想

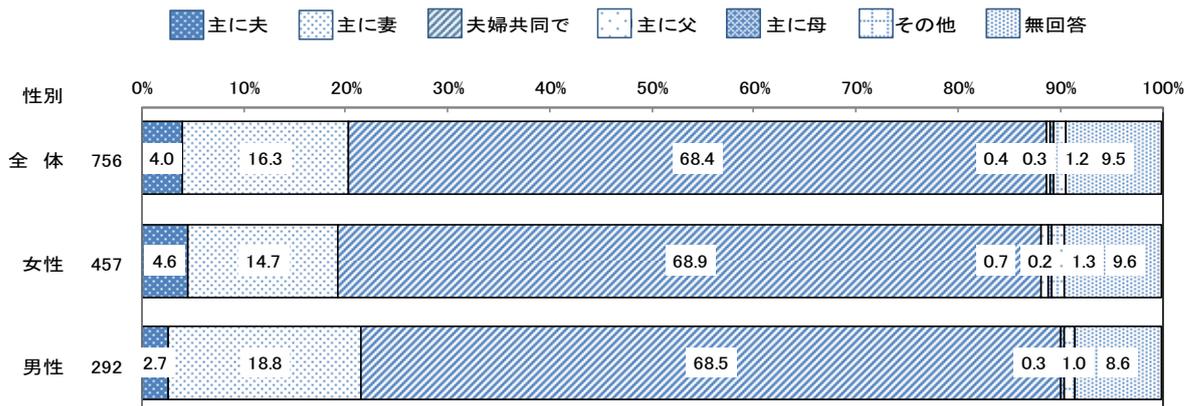


### ④ 食事の片づけ

現状

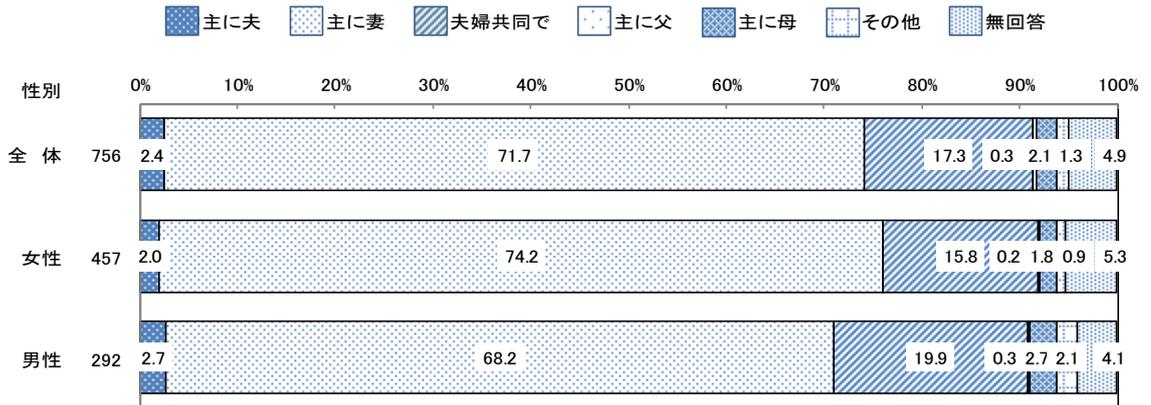


理想

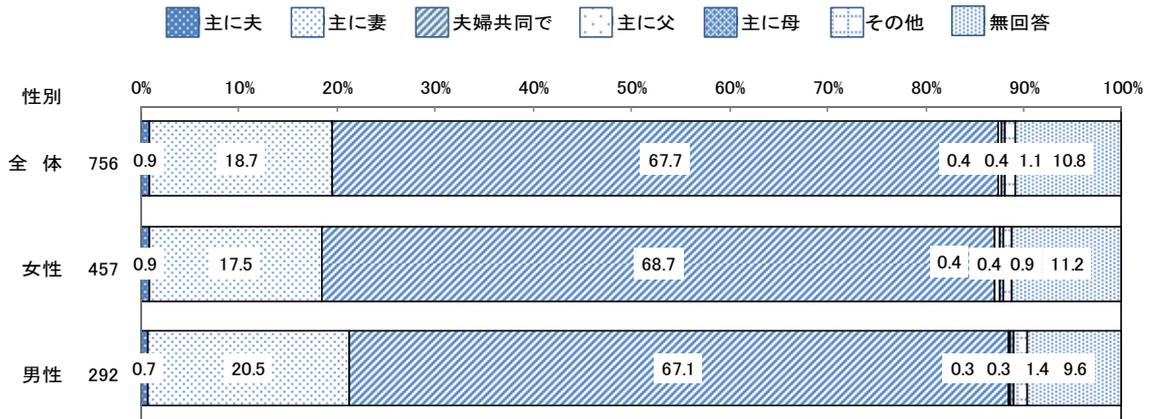


⑤ 掃除・洗濯

現状

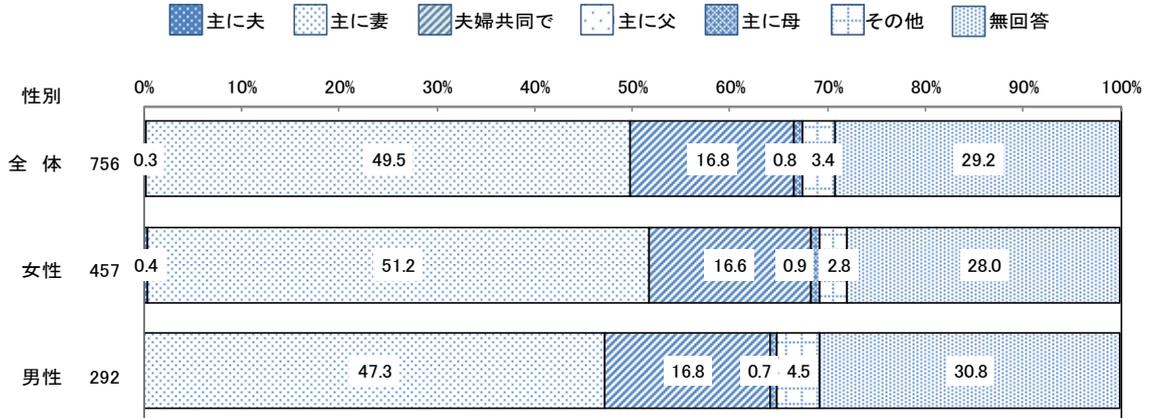


理想

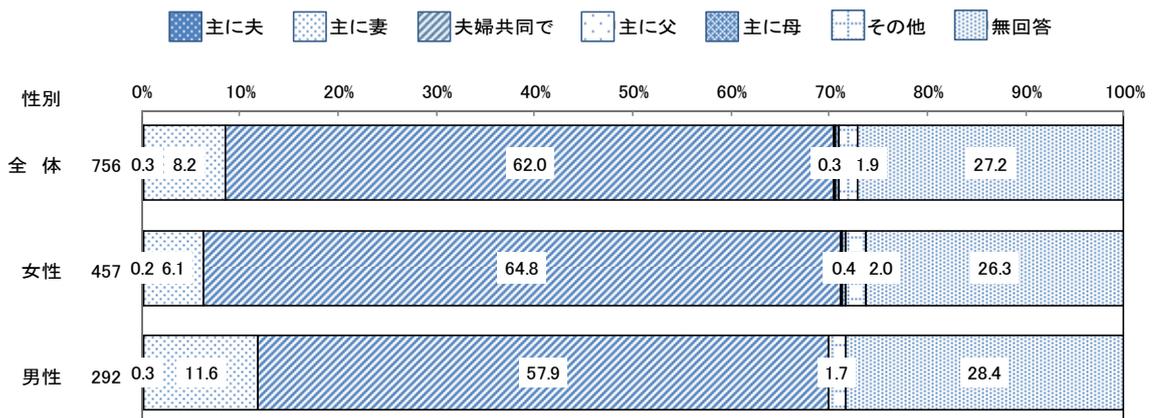


⑥ 育児 (乳幼児の世話)

現状

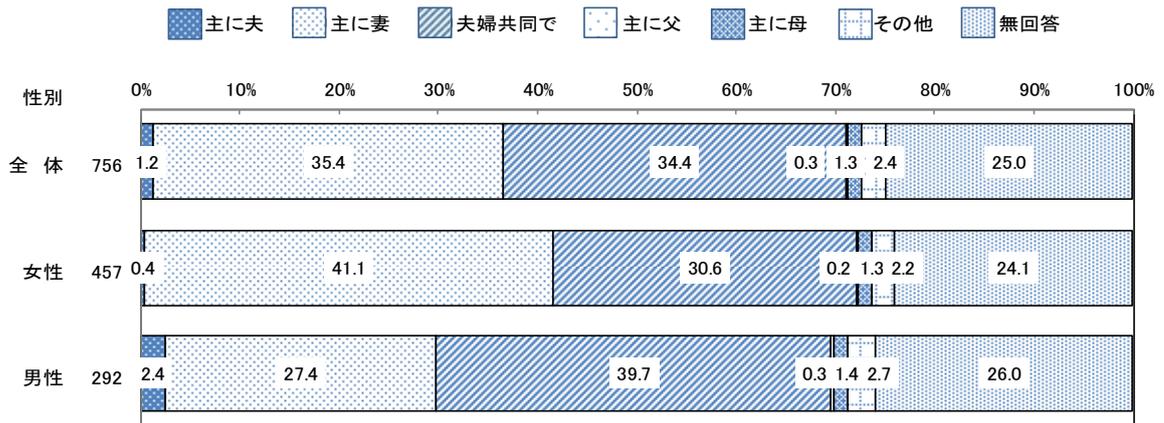


理想

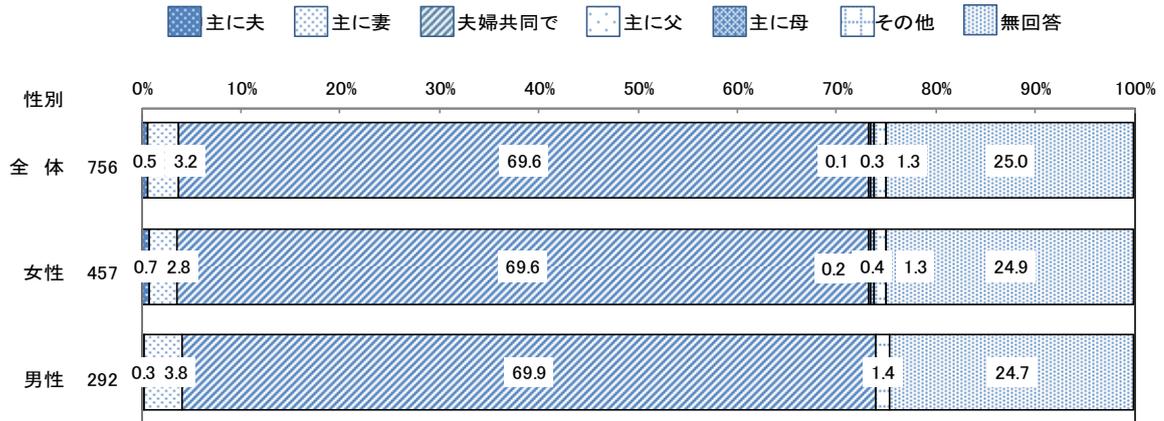


## ⑦子どもの教育とつけ

### 現状

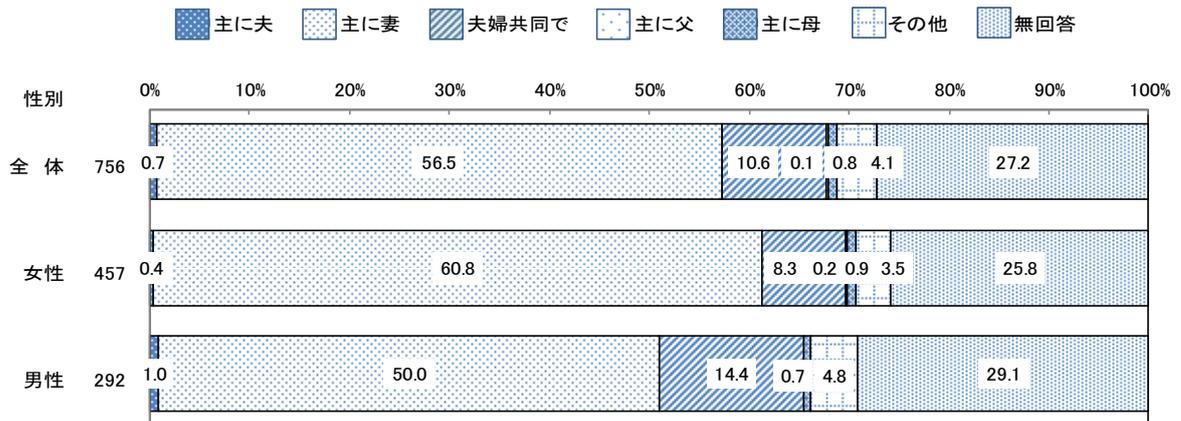


### 理想

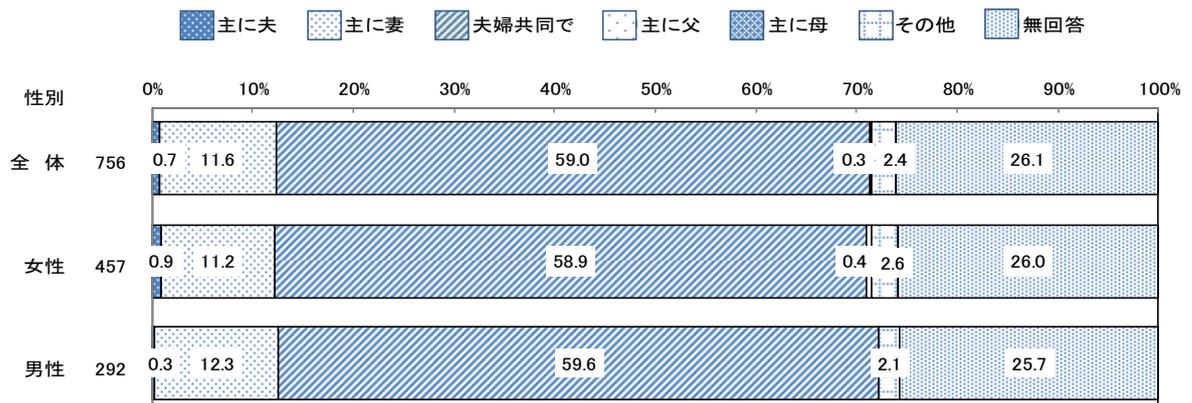


## ⑧PTAへの出席

### 現状

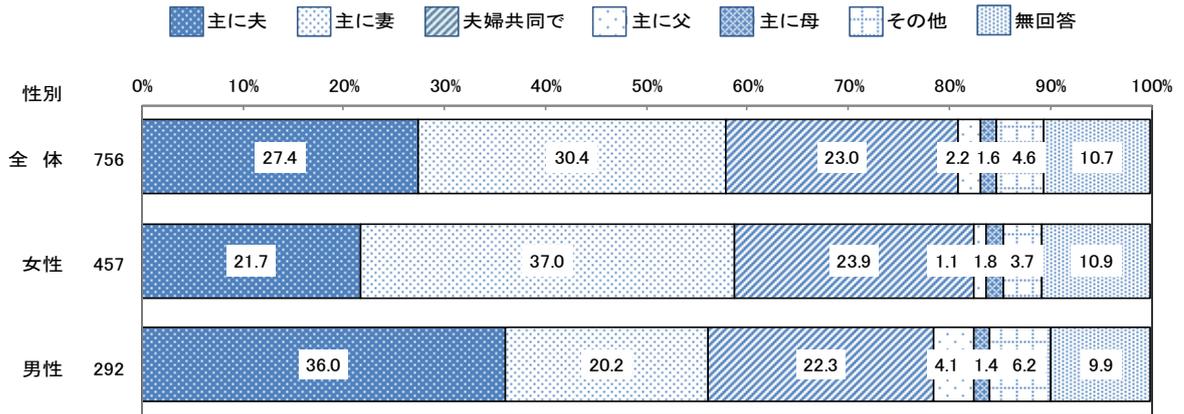


### 理想

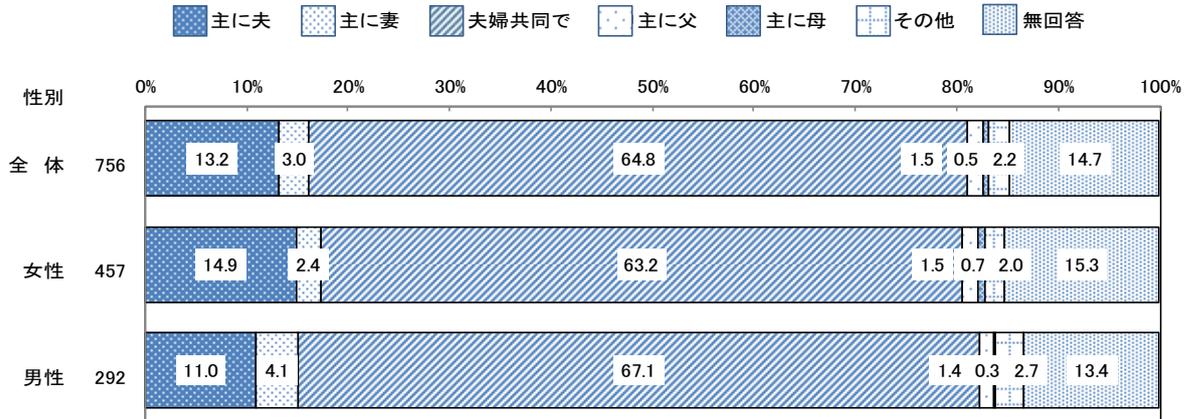


⑨町内行事等への参加

現状

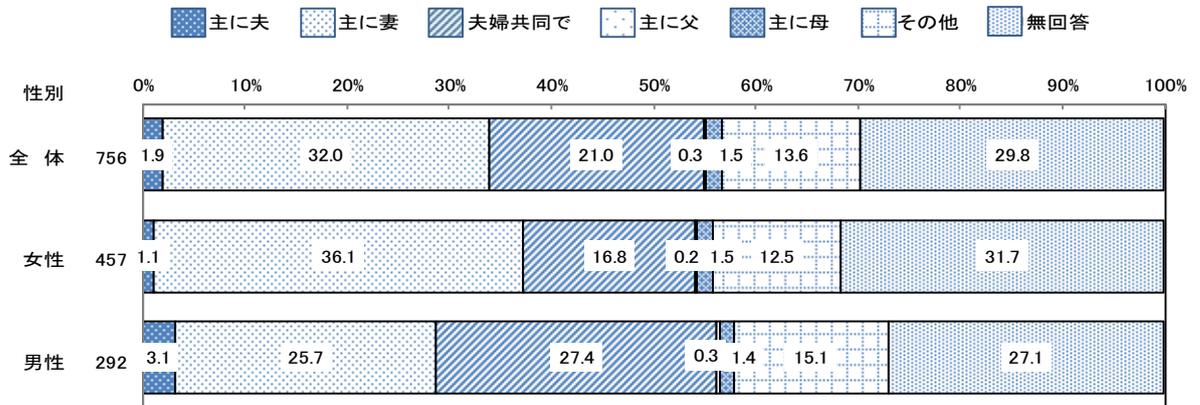


理想

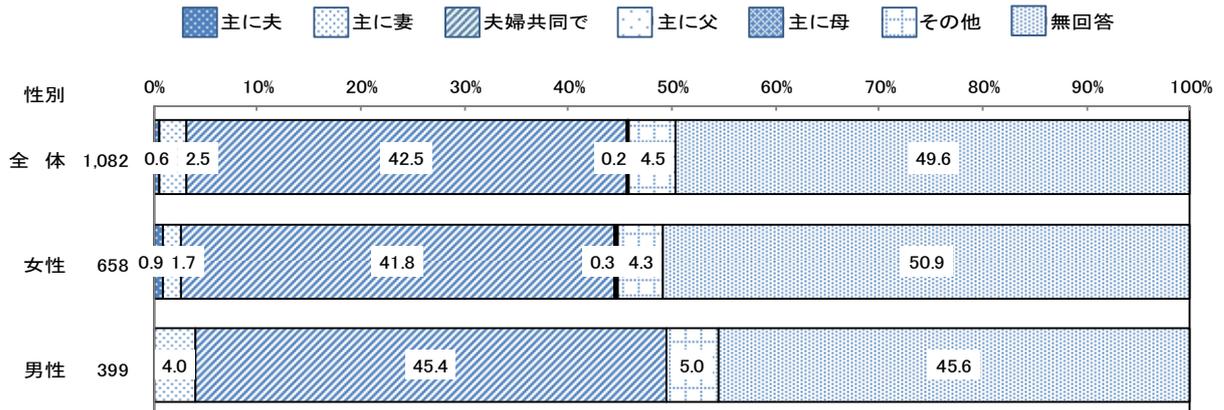


⑩高齢者の世話・介護

現状



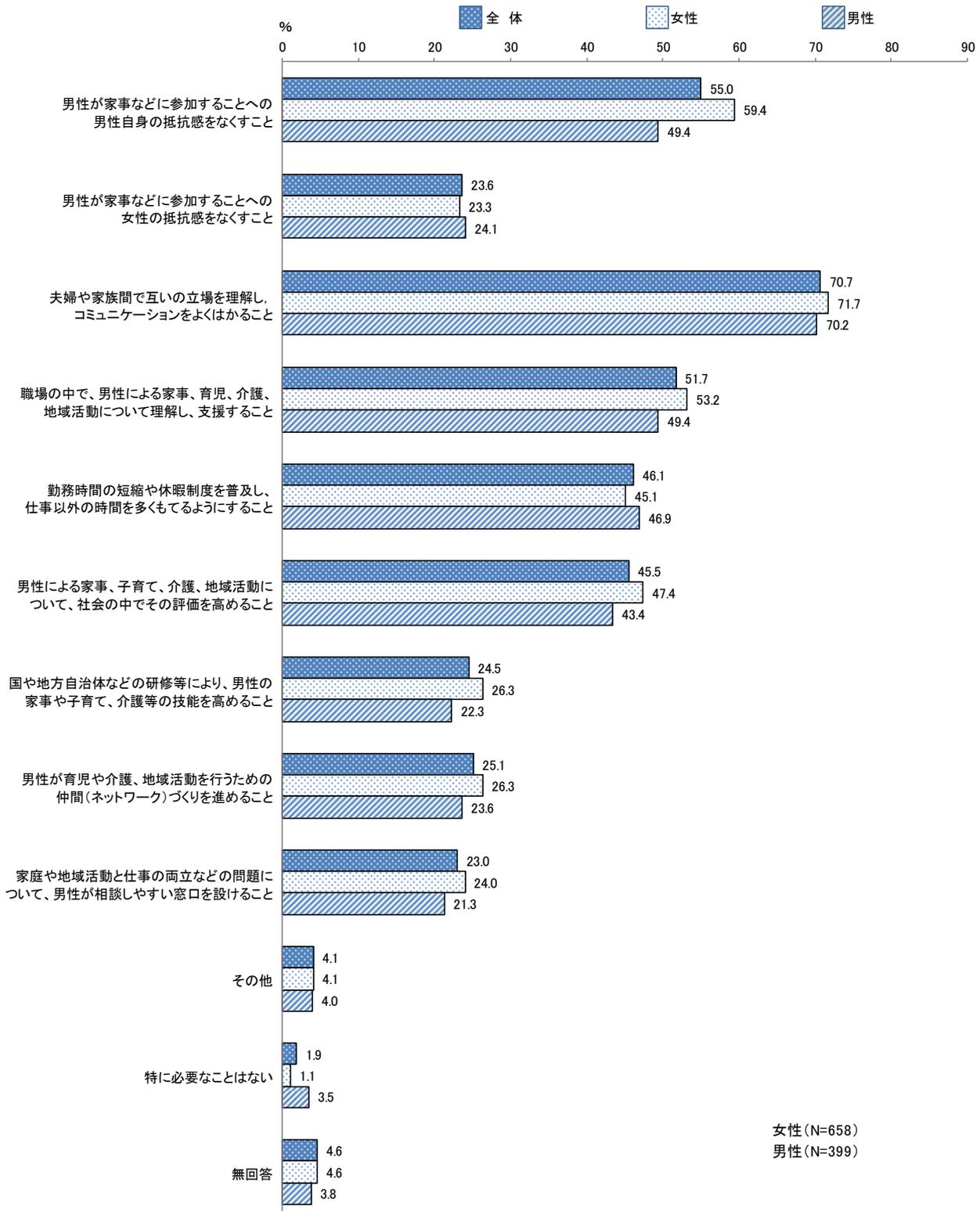
理想



(全員が回答)

問4 今後、男性が女性とともに家庭生活（家事、育児、介護）や地域活動等へ参加をしていくために必要なことは何だと思えますか。（〇はいくつでも）

- 全体では、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」が70.7%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することへの男性自身の抵抗感をなくすこと」が55.0%、「職場の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動について理解し、支援すること」が51.7%となっている。
- 性別でみると、女性も男性も「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」が7割を超えている。また「男性が家事などに参加することへの女性の抵抗感をなくすこと」では、女性（59.4%）が男性（49.4%）より10.0ポイント高い。



	全体	男性が自身の抵抗感をなくすことへの	女性が家事などに参加することへの	夫や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかめること	介護や地域活動について理解し、育児、支援すること	職場の中で、男性による家事、育児、仕事以外の時間を多くもてるように	勤務時間の短縮や休暇制度を普及し、	活動すること、社会の中で、その評価を	高めること、子育て、介護等の技能を	国や地方自治体などの研修等により、	進めること（ネットワーキング）づくりを	男性が育児や介護、地域活動を行うため	窓口に設けること	家庭や地域活動と仕事の両立しやすい	問題について、男性が相談しやすい	その他	特に必要なことはない	無回答
全体	1,082	55.0	23.6	70.7	51.7	46.1	45.5	24.5	25.1	23.0	4.1	1.9	4.6					
性・年齢別	女性合計	658	59.4	23.3	71.7	53.2	45.1	47.4	26.3	26.3	24.0	4.1	1.1	4.6				
	女性・18～29歳	57	68.4	29.8	77.2	73.7	66.7	47.4	31.6	43.9	36.8	1.8	0.0	3.5				
	女性・30～39歳	98	59.2	16.3	68.4	63.3	62.2	54.1	24.5	24.5	24.5	5.1	1.0	2.0				
	女性・40～49歳	122	57.4	20.5	75.4	60.7	53.3	51.6	22.1	25.4	18.9	5.7	3.3	0.0				
	女性・50～59歳	152	57.9	25.0	69.1	55.9	42.1	49.3	28.9	27.0	22.4	5.3	0.0	4.6				
	女性・60～69歳	107	58.9	15.9	69.2	42.1	29.9	42.1	27.1	21.5	25.2	2.8	0.9	8.4				
	女性・70歳以上	120	60.0	32.5	73.3	34.2	29.2	39.2	25.0	24.2	24.2	2.5	0.8	8.3				
	女性・無回答	2	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	男性合計	399	49.4	24.1	70.2	49.4	46.9	43.4	22.3	23.6	21.3	4.0	3.5	3.8				
	男性・18～29歳	22	40.9	22.7	68.2	81.8	63.6	59.1	31.8	22.7	27.3	4.5	0.0	0.0				
	男性・30～39歳	42	52.4	33.3	66.7	76.2	61.9	42.9	21.4	21.4	21.4	2.4	0.0	0.0				
	男性・40～49歳	85	44.7	22.4	62.4	48.2	47.1	45.9	12.9	25.9	17.6	7.1	5.9	3.5				
	男性・50～59歳	91	50.5	25.3	73.6	53.8	57.1	39.6	26.4	25.3	24.2	6.6	0.0	1.1				
	男性・60～69歳	73	50.7	21.9	72.6	39.7	39.7	39.7	23.3	20.5	21.9	1.4	5.5	4.1				
男性・70歳以上	85	52.9	22.4	75.3	32.9	30.6	44.7	24.7	23.5	20.0	1.2	4.7	9.4					
男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0					
職業	自営業またはその家族従業員	111	55.9	23.4	75.7	48.6	32.4	48.6	21.6	22.5	26.1	3.6	4.5	0.9				
	正社員・正規職員	315	54.6	22.9	68.3	59.7	58.1	47.6	21.9	26.3	19.7	5.4	1.9	2.9				
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	61.5	25.6	84.6	61.5	46.2	43.6	33.3	28.2	33.3	5.1	2.6	0.0				
	公務員	71	42.3	18.3	71.8	56.3	67.6	46.5	16.9	18.3	12.7	4.2	0.0	1.4				
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	54.1	23.2	67.4	52.5	40.3	43.1	26.5	26.5	28.2	3.3	2.2	5.0				
	学生・生徒	10	90.0	30.0	80.0	70.0	50.0	70.0	10.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0				
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	58.2	23.4	72.8	46.2	39.7	44.0	26.6	21.7	21.7	4.3	1.1	6.0				
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	58.8	26.8	74.2	34.0	36.1	46.4	29.9	25.8	20.6	2.1	2.1	8.2				
その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	54.7	32.1	66.0	41.5	30.2	35.8	28.3	32.1	28.3	3.8	1.9	15.1					
無回答	21	33.3	14.3	52.4	52.4	57.1	38.1	23.8	23.8	23.8	0.0	0.0	14.3					

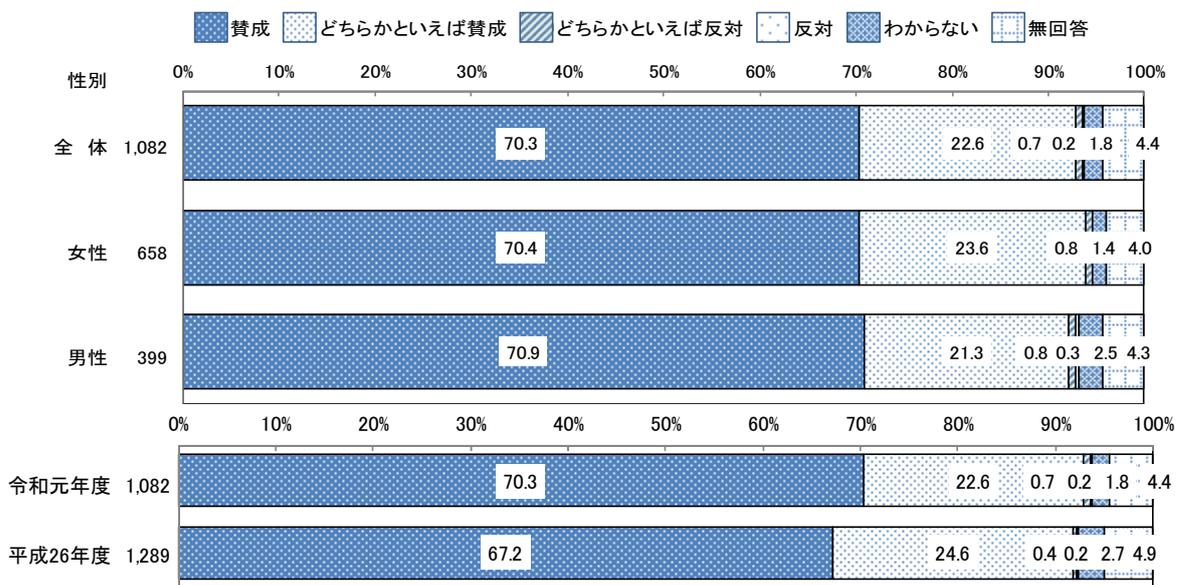
### 3. 教育について

(全員が回答)

問5 子どものしつけや教育について、次の①～④ではどのような考え方をお持ちですか。  
(○はそれぞれ1つずつ)

#### ①女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる方がよい

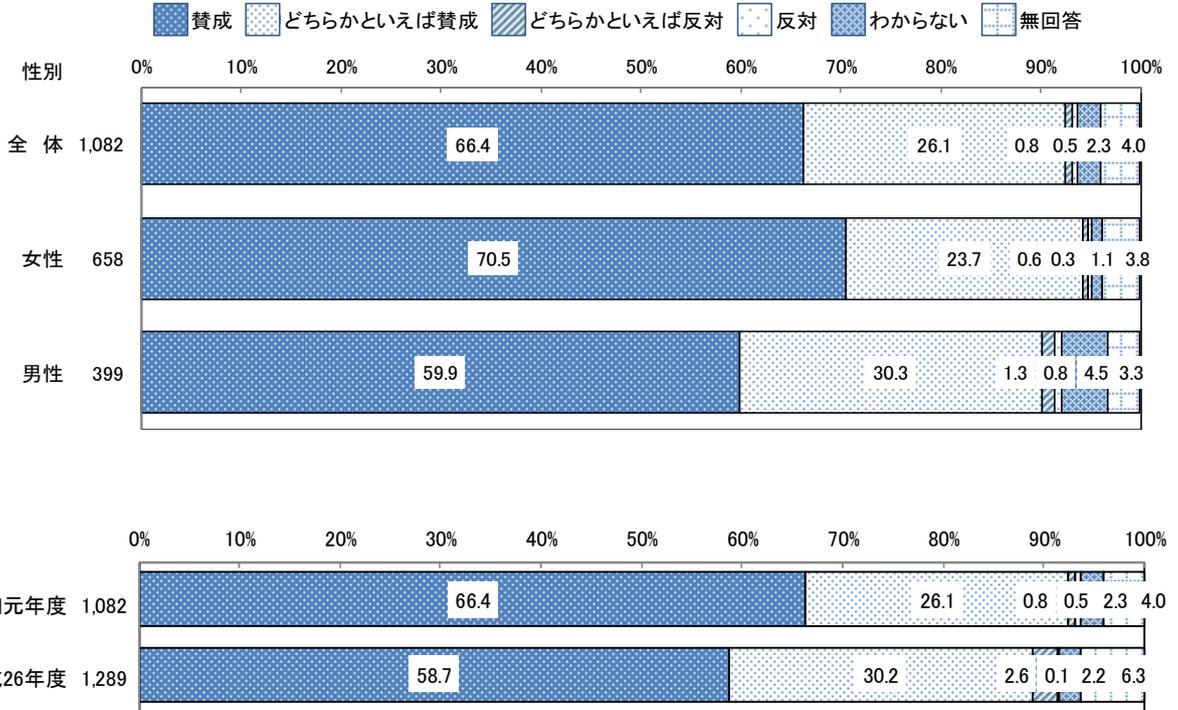
- 全体では、「賛成」が70.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば賛成」が22.6%、「わからない」が1.8%となっている。
- 性別で見ると、「賛成」は女性と男性では7割を超えている。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「賛成」では、今回(70.3%)が前回(67.2%)より3.1ポイント高い。



		全体	賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	わからない	無回答
全体		1,082	70.3	22.6	0.7	0.2	1.8	4.4
性・年齢別	女性合計	658	70.4	23.6	0.8	0.0	1.4	4.0
	女性・18～29歳	57	75.4	21.1	0.0	0.0	1.8	1.8
	女性・30～39歳	98	69.4	24.5	1.0	0.0	1.0	4.1
	女性・40～49歳	122	74.6	22.1	0.8	0.0	0.8	1.6
	女性・50～59歳	152	74.3	22.4	0.0	0.0	1.3	2.0
	女性・60～69歳	107	69.2	23.4	0.9	0.0	1.9	4.7
	女性・70歳以上	120	60.8	26.7	1.7	0.0	1.7	9.2
	女性・無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	70.9	21.3	0.8	0.3	2.5	4.3
	男性・18～29歳	22	77.3	13.6	4.5	0.0	0.0	4.5
	男性・30～39歳	42	73.8	21.4	0.0	0.0	4.8	0.0
	男性・40～49歳	85	64.7	28.2	1.2	0.0	3.5	2.4
男性・50～59歳	91	75.8	22.0	0.0	0.0	2.2	0.0	
男性・60～69歳	73	78.1	13.7	1.4	1.4	1.4	4.1	
男性・70歳以上	85	62.4	22.4	0.0	0.0	2.4	12.9	
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	76.6	18.0	0.0	0.9	0.9	3.6
	正社員・正規職員	315	74.6	21.3	1.0	0.3	1.0	1.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	71.8	23.1	0.0	0.0	5.1	0.0
	公務員	71	85.9	12.7	0.0	0.0	1.4	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	66.3	26.0	1.7	0.0	1.7	4.4
	学生・生徒	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	64.7	27.2	0.5	0.0	1.6	6.0
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	60.8	27.8	0.0	0.0	3.1	8.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	56.6	24.5	1.9	0.0	5.7	11.3
無回答	21	71.4	4.8	0.0	0.0	0.0	23.8	
前回調査	1,289	67.2	24.6	0.4	0.2	2.7	4.9	

②男の子にも炊事・掃除・洗濯など、家庭に必要な技術を身につけさせる方が良い

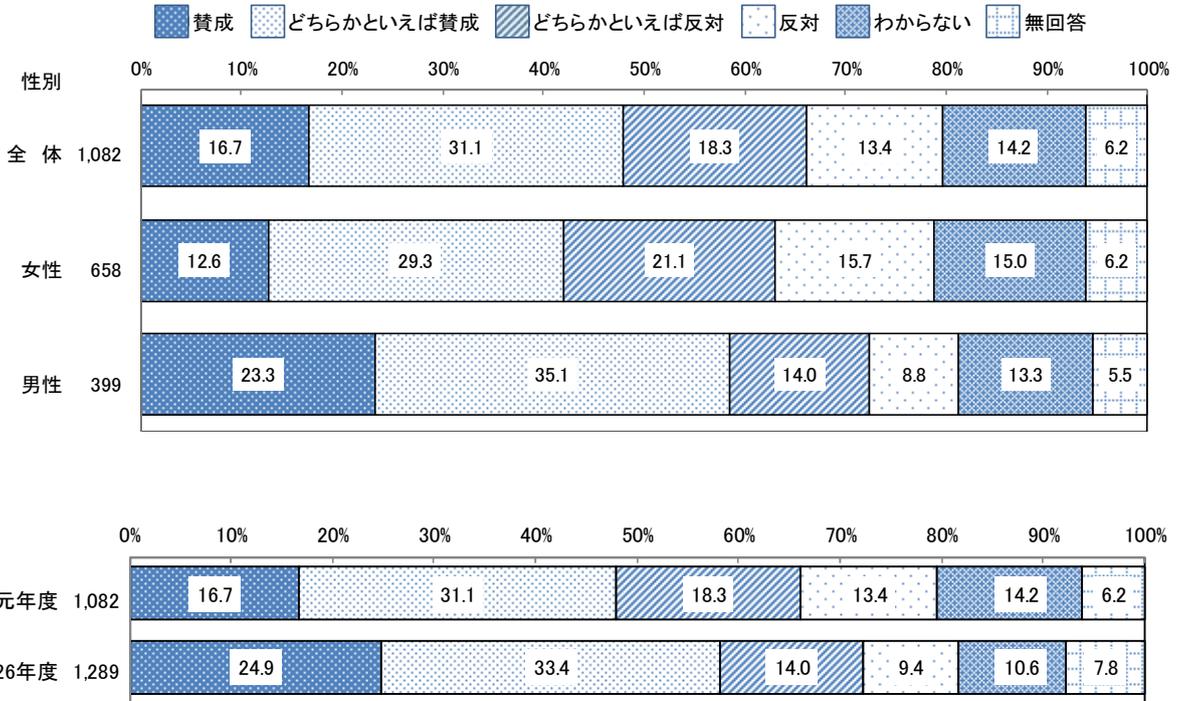
- 全体では、「賛成」が66.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば賛成」が26.1%、「わからない」が2.3%となっている。
- 性別で見ると、「賛成」は女性では7割を超えたが、男性では6割に留まった。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「賛成」では、今回(66.4%)が前回(58.7%)より7.7ポイント高い。



		全体	賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	わからない	無回答
全体		1,082	66.4	26.1	0.8	0.5	2.3	4.0
性・年齢別	女性合計	658	70.5	23.7	0.6	0.3	1.1	3.8
	女性・18～29歳	57	71.9	24.6	1.8	0.0	0.0	1.8
	女性・30～39歳	98	76.5	18.4	0.0	0.0	1.0	4.1
	女性・40～49歳	122	77.9	19.7	1.6	0.0	0.0	0.8
	女性・50～59歳	152	77.0	19.7	0.0	0.7	0.7	2.0
	女性・60～69歳	107	71.0	21.5	0.0	0.9	0.9	5.6
	女性・70歳以上	120	48.3	39.2	0.8	0.0	3.3	8.3
	女性・無回答	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	59.9	30.3	1.3	0.8	4.5	3.3
	男性・18～29歳	22	68.2	22.7	0.0	0.0	4.5	4.5
	男性・30～39歳	42	71.4	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0
男性・40～49歳	85	64.7	28.2	0.0	0.0	4.7	2.4	
男性・50～59歳	91	68.1	26.4	1.1	0.0	4.4	0.0	
男性・60～69歳	73	57.5	30.1	2.7	4.1	2.7	2.7	
男性・70歳以上	85	40.0	43.5	2.4	0.0	4.7	9.4	
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	65.8	25.2	2.7	1.8	2.7	1.8
	正社員・正規職員	315	71.7	24.8	0.3	0.0	1.6	1.6
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	69.2	20.5	0.0	2.6	7.7	0.0
	公務員	71	76.1	22.5	0.0	0.0	1.4	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	71.8	22.7	0.6	0.6	0.6	3.9
	学生・生徒	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	64.1	27.7	0.5	0.0	1.6	6.0
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	48.5	38.1	0.0	1.0	6.2	6.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	37.7	37.7	5.7	0.0	5.7	13.2
	無回答	21	66.7	9.5	0.0	0.0	0.0	23.8
前回調査	1,289	58.7	30.2	2.6	0.1	2.2	6.3	

### ③女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる方が良い

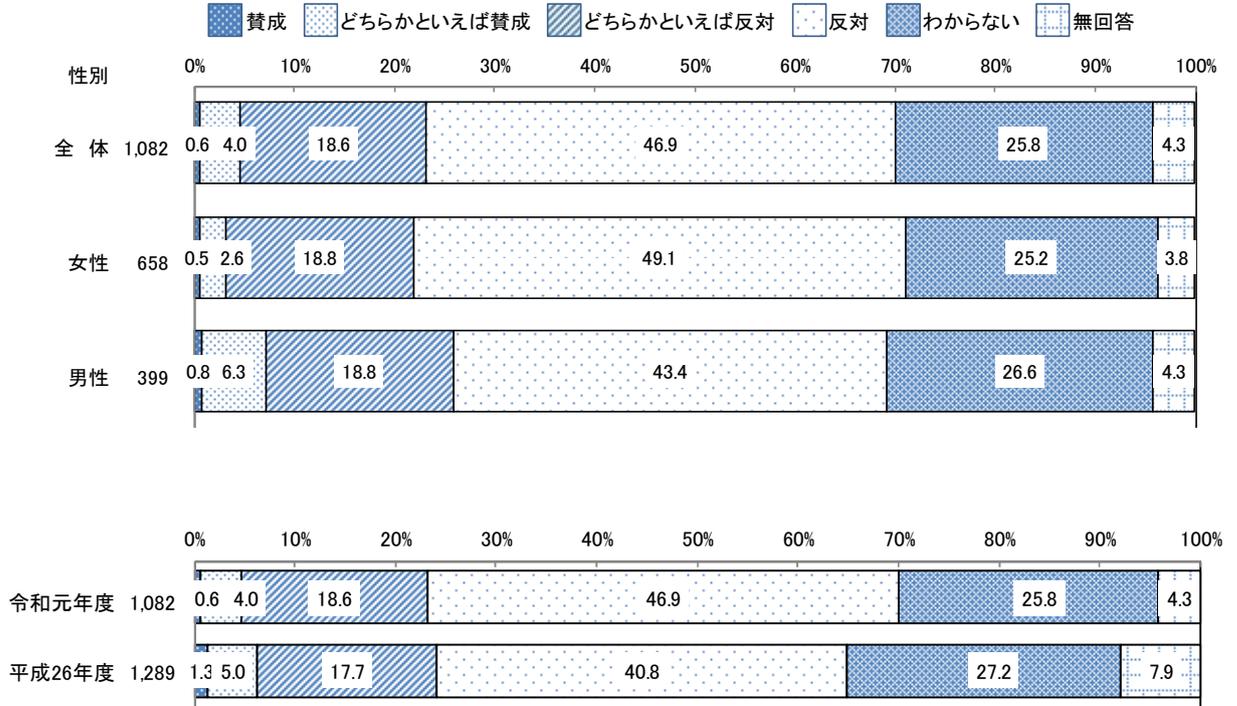
- 全体では、「どちらかといえば賛成」が31.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」が18.3%、「賛成」が16.7%となっている。
- 性別で見ると、「賛成」は男性（23.3%）が女性（12.6%）より10.7ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「賛成」では、今回（16.7%）が前回（24.9%）より8.2ポイント低い。



		全体	賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	わからない	無回答
全体		1,082	16.7	31.1	18.3	13.4	14.2	6.2
性・年齢別	女性合計	658	12.6	29.3	21.1	15.7	15.0	6.2
	女性・18～29歳	57	5.3	15.8	22.8	33.3	21.1	1.8
	女性・30～39歳	98	3.1	25.5	30.6	18.4	18.4	4.1
	女性・40～49歳	122	13.1	32.8	23.0	13.9	14.8	2.5
	女性・50～59歳	152	13.2	28.3	27.0	11.2	16.4	3.9
	女性・60～69歳	107	15.9	29.0	17.8	17.8	11.2	8.4
	女性・70歳以上	120	20.0	35.8	6.7	10.8	11.7	15.0
	女性・無回答	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	23.3	35.1	14.0	8.8	13.3	5.5
	男性・18～29歳	22	18.2	27.3	9.1	18.2	22.7	4.5
	男性・30～39歳	42	14.3	42.9	19.0	14.3	9.5	0.0
	男性・40～49歳	85	16.5	36.5	12.9	9.4	21.2	3.5
	男性・50～59歳	91	20.9	34.1	17.6	9.9	16.5	1.1
男性・60～69歳	73	35.6	28.8	15.1	6.8	6.8	6.8	
男性・70歳以上	85	27.1	38.8	9.4	3.5	7.1	14.1	
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	25.2	27.0	16.2	10.8	14.4	6.3
	正社員・正規職員	315	15.9	32.1	17.8	16.2	15.2	2.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	15.4	20.5	25.6	12.8	25.6	0.0
	公務員	71	11.3	38.0	21.1	12.7	15.5	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	11.6	30.9	25.4	13.8	12.2	6.1
	学生・生徒	10	0.0	30.0	30.0	20.0	20.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	13.0	34.8	15.2	12.0	14.7	10.3
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	22.7	38.1	11.3	9.3	9.3	9.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	35.8	13.2	13.2	13.2	13.2	11.3
	無回答	21	14.3	19.0	19.0	14.3	9.5	23.8
前回調査	1,289	24.9	33.4	14.0	9.4	10.6	7.8	

④男の子は理科系、女の子は文科系に進んだ方がよい

- 全体では、「反対」が46.9%と最も高く、次いで「わからない」が25.8%、「どちらかといえば反対」が18.6%となっている。
- 性別で見ると、いずれも「反対」が4割以上となり最も高く、他の項目で大きな差はみられない。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「反対」では、今回（46.9%）が前回（40.8%）より6.1ポイント高い。



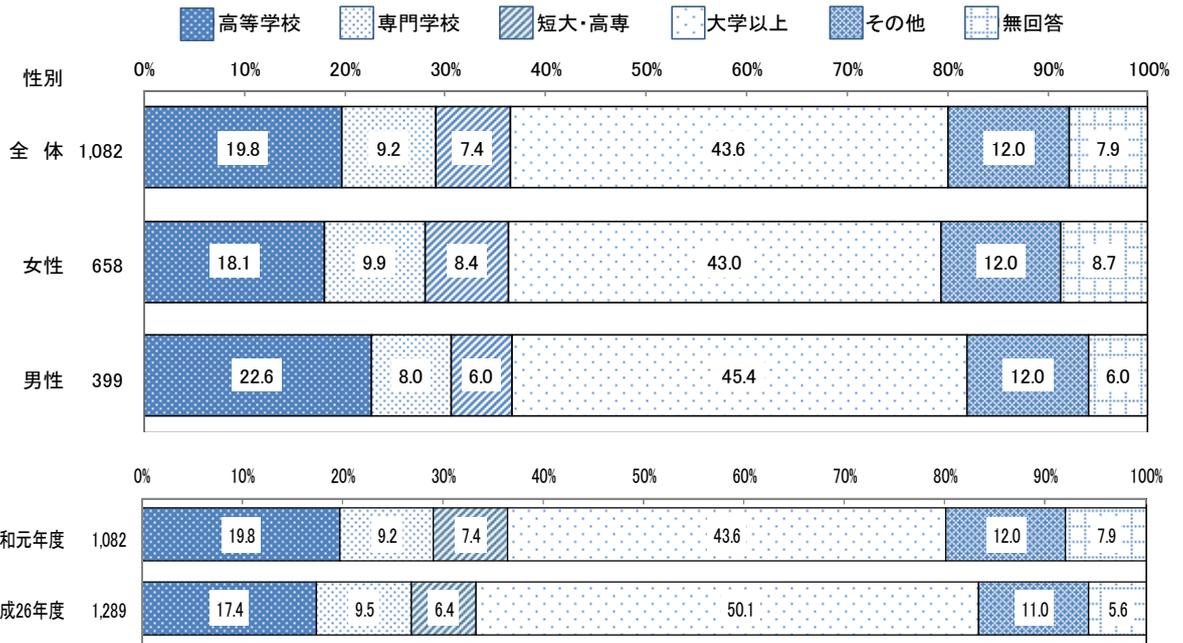
		全体	賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	わからない	無回答
全体		1,082	0.6	4.0	18.6	46.9	25.8	4.3
性・年齢別	女性合計	658	0.5	2.6	18.8	49.1	25.2	3.8
	女性・18～29歳	57	0.0	1.8	21.1	64.9	10.5	1.8
	女性・30～39歳	98	0.0	1.0	18.4	55.1	21.4	4.1
	女性・40～49歳	122	0.8	1.6	16.4	59.8	20.5	0.8
	女性・50～59歳	152	0.0	1.3	22.4	53.9	20.4	2.0
	女性・60～69歳	107	0.0	2.8	18.7	41.1	32.7	4.7
	女性・70歳以上	120	1.7	6.7	16.7	25.8	40.0	9.2
	女性・無回答	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
性・年齢別	男性合計	399	0.8	6.3	18.8	43.4	26.6	4.3
	男性・18～29歳	22	0.0	4.5	4.5	50.0	36.4	4.5
	男性・30～39歳	42	0.0	2.4	21.4	47.6	28.6	0.0
	男性・40～49歳	85	2.4	4.7	22.4	36.5	29.4	4.7
	男性・50～59歳	91	0.0	4.4	19.8	58.2	17.6	0.0
	男性・60～69歳	73	0.0	9.6	19.2	41.1	27.4	2.7
	男性・70歳以上	85	1.2	9.4	16.5	31.8	29.4	11.8
	男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
職業	自営業またはその家族従業員	111	0.0	7.2	17.1	43.2	30.6	1.8
	正社員・正規職員	315	0.6	2.9	15.9	53.7	24.8	2.2
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	0.0	5.1	17.9	51.3	25.6	0.0
	公務員	71	0.0	1.4	21.1	67.6	9.9	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	0.6	2.8	23.8	46.4	22.7	3.9
	学生・生徒	10	0.0	0.0	0.0	90.0	10.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	1.6	4.9	18.5	36.4	31.5	7.1
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	0.0	6.2	17.5	38.1	30.9	7.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	0.0	5.7	28.3	22.6	34.0	9.4
	無回答	21	0.0	0.0	4.8	61.9	9.5	23.8
前回調査	1,289	1.3	5.0	17.7	40.8	27.2	7.9	

(全員が回答)

問6 あなたは子どもの学歴は、次の①と②についてどこまで必要だと思いますか。  
(○はそれぞれ1つずつ)

① 男の子ども

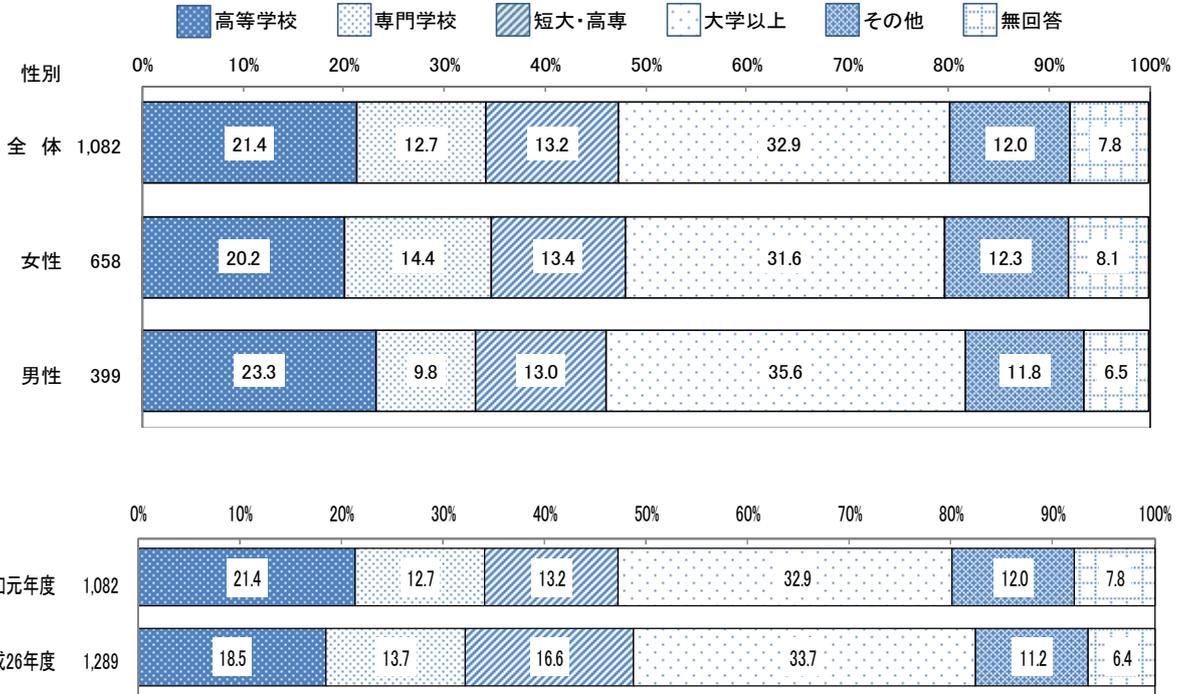
- 全体では、「大学以上」が43.6%と最も高く、次いで「高等学校」が19.8%、「その他」が12.0%となっている。
- 性別でみると、女性と男性では「大学以上」が4割を超え、最も高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「大学以上」では、今回（43.6%）が前回（50.1%）より6.5ポイント低い。



		全体	高等学校	専門学校	短大・高専	大学以上	その他	無回答
全体		1,082	19.8	9.2	7.4	43.6	12.0	7.9
性・年齢別	女性合計	658	18.1	9.9	8.4	43.0	12.0	8.7
	女性・18～29歳	57	33.3	3.5	10.5	42.1	7.0	3.5
	女性・30～39歳	98	24.5	8.2	5.1	34.7	20.4	7.1
	女性・40～49歳	122	23.0	8.2	4.1	48.4	13.9	2.5
	女性・50～59歳	152	19.7	13.2	9.9	39.5	13.2	4.6
	女性・60～69歳	107	9.3	10.3	8.4	51.4	7.5	13.1
	女性・70歳以上	120	6.7	11.7	12.5	41.7	8.3	19.2
	女性・無回答	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	男性合計	399	22.6	8.0	6.0	45.4	12.0	6.0
	男性・18～29歳	22	45.5	9.1	4.5	36.4	0.0	4.5
	男性・30～39歳	42	21.4	11.9	4.8	42.9	19.0	0.0
	男性・40～49歳	85	29.4	4.7	3.5	38.8	15.3	8.2
	男性・50～59歳	91	25.3	8.8	5.5	44.0	13.2	3.3
男性・60～69歳	73	15.1	11.0	5.5	49.3	12.3	6.8	
男性・70歳以上	85	14.1	5.9	10.6	52.9	7.1	9.4	
男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	14.4	12.6	7.2	44.1	10.8	10.8
	正社員・正規職員	315	25.7	9.8	7.3	40.3	13.0	3.8
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	25.6	7.7	5.1	38.5	17.9	5.1
	公務員	71	23.9	4.2	4.2	47.9	15.5	4.2
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	21.0	12.7	7.2	42.5	8.8	7.7
	学生・生徒	10	10.0	20.0	10.0	40.0	20.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	16.3	6.5	8.7	44.0	14.1	10.3
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	11.3	3.1	8.2	58.8	7.2	11.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	11.3	13.2	9.4	37.7	15.1	13.2
	無回答	21	19.0	9.5	4.8	38.1	0.0	28.6
前回調査	1,289	17.4	9.5	6.4	50.1	11.0	5.6	

② 女の子ども

- 全体では、「大学以上」が32.9%と最も高く、次いで「高等学校」が21.4%、「短大・高専」が13.2%となっている。
- 性別でみると、女性と男性では「大学以上」が3割を超え、最も高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「短大・高専」では、今回（13.2%）が前回（16.6%）より3.4ポイント低い。



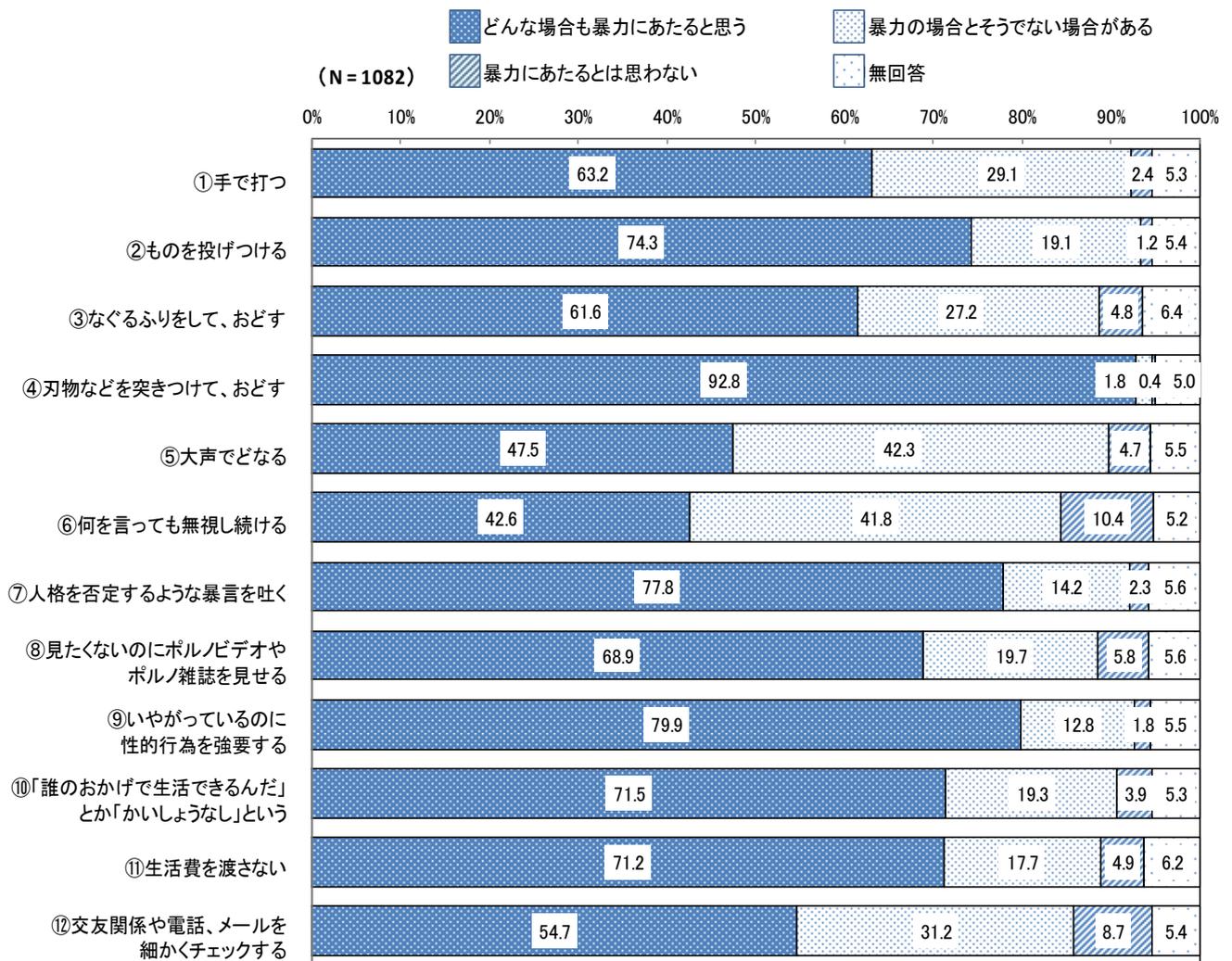
		全体	高等学校	専門学校	短大・高専	大学以上	その他	無回答
全体		1,082	21.4	12.7	13.2	32.9	12.0	7.8
性・年齢別	女性合計	658	20.2	14.4	13.4	31.6	12.3	8.1
	女性・18～29歳	54	33.3	5.6	11.1	37.0	9.3	3.7
	女性・30～39歳	98	25.5	9.2	8.2	26.5	21.4	9.2
	女性・40～49歳	122	23.8	12.3	11.5	35.2	13.9	3.3
	女性・50～59歳	152	23.0	15.8	11.8	32.2	13.2	3.9
	女性・60～69歳	107	10.3	18.7	19.6	33.6	7.5	10.3
	女性・70歳以上	120	12.5	20.0	15.8	25.8	8.3	17.5
	女性・無回答	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性合計	399	23.3	9.8	13.0	35.6	11.8	6.5
	男性・18～29歳	19	47.4	10.5	15.8	21.1	0.0	5.3
男性・30～39歳	42	28.6	4.8	11.9	35.7	19.0	0.0	
男性・40～49歳	85	25.9	5.9	8.2	37.6	15.3	7.1	
男性・50～59歳	91	26.4	9.9	11.0	35.2	13.2	4.4	
男性・60～69歳	73	15.1	15.1	16.4	37.0	11.0	5.5	
男性・70歳以上	85	16.5	9.4	17.6	36.5	7.1	12.9	
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	18.0	16.2	12.6	33.3	9.9	9.9
	正社員・正規職員	315	27.6	11.1	12.4	32.1	13.3	3.5
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	20.5	10.3	12.8	33.3	17.9	5.1
	公務員	71	23.9	7.0	5.6	43.7	15.5	4.2
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	23.8	17.7	13.3	28.2	9.4	7.7
	学生・生徒	10	10.0	20.0	10.0	40.0	20.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	17.4	13.0	15.8	30.4	14.1	9.2
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	14.4	5.2	16.5	43.3	7.2	13.4
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	11.3	18.9	17.0	26.4	13.2	13.2
	無回答	21	19.0	9.5	9.5	33.3	0.0	28.6
前回調査	1,289	18.5	13.7	16.6	33.7	11.2	6.4	

## 4. ドメスティック・バイオレンス（配偶者・恋人間の暴力）について

（全員が回答）

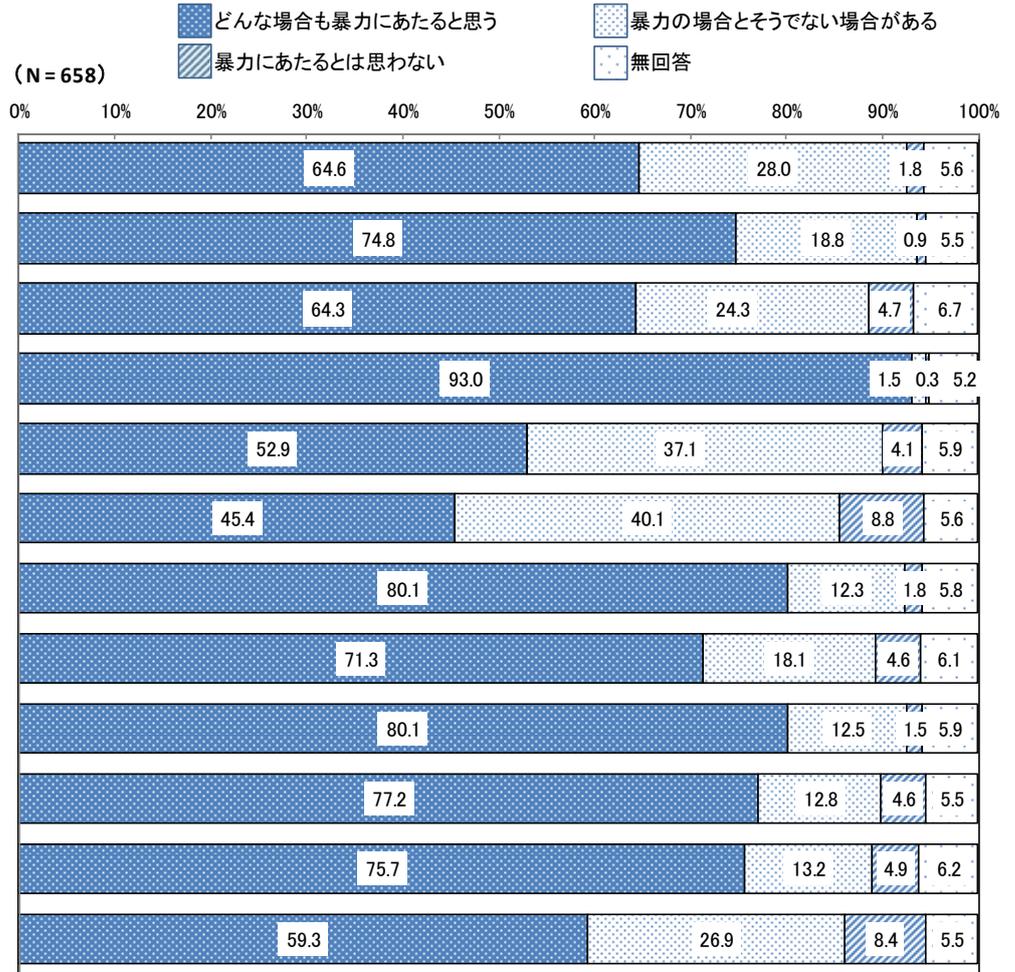
問7 あなたの配偶者または恋人が、次の①～⑫にあげるようなことをした場合、それを暴力だと思いますか。（○はそれぞれ1つずつ）

- 全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は「刃物などを突きつけて、おどす」が 92.8%と唯一 9割を超え最も高く、次いで「いやがっているのに性的行為を強要する」が 79.9%、「人格を否定するような暴言を吐く」が 77.8%となった。
- 性別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」では、「④刃物などを突きつけて、おどす」と「⑨いやがっているのに性的行為を強要する」を除き、女性が男性よりも高くなっている。また「大声でどなる」では、女性（52.9%）が男性（38.8%）より 14.1ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、「どんな場合も暴力にあたると思う」についてはいずれの項目も今回が前回より高い。

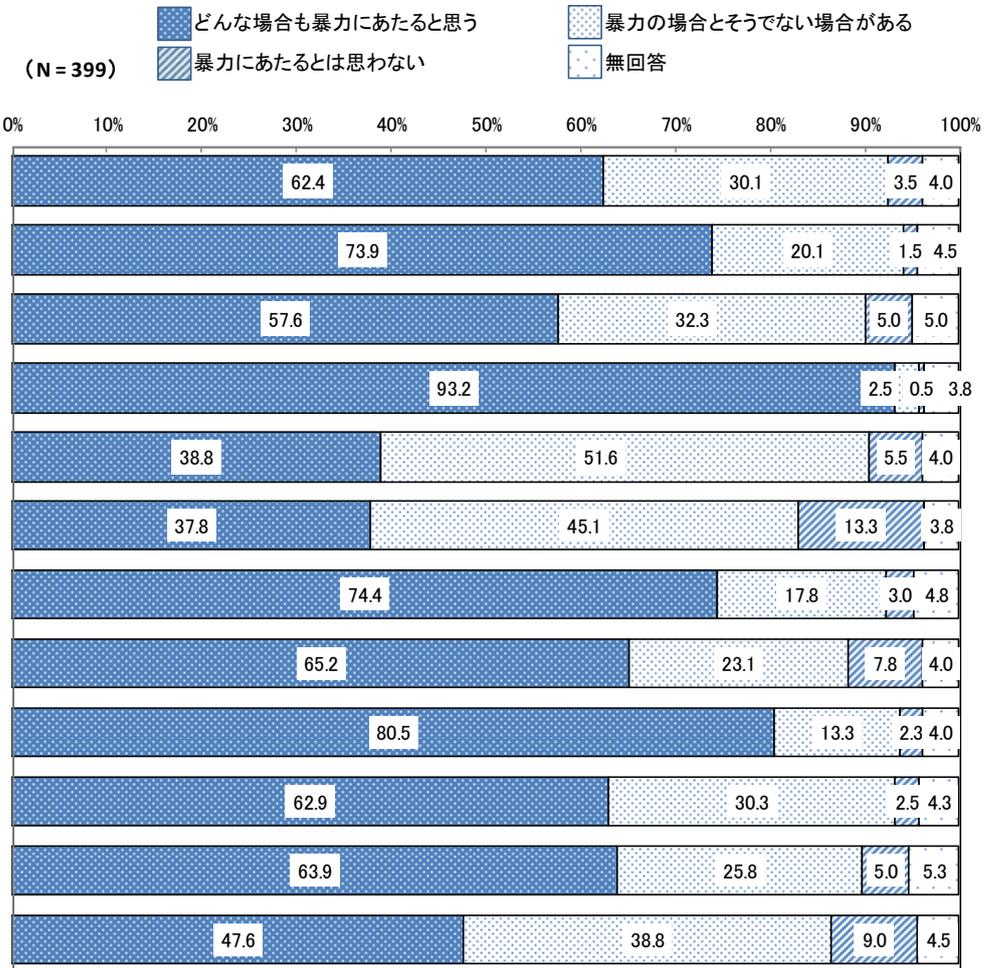


	全 体	どんな場合も 暴力にあた ると思う	暴力の場合 とそうでない 場合がある	暴力にあた ると思わな い	無回答
①手で打つ	1,082	63.2	29.1	2.4	5.3
女性	658	64.6	28.0	1.8	5.6
男性	399	62.4	30.1	3.5	4.0
②ものを投げつける	1,082	74.3	19.1	1.2	5.4
女性	658	74.8	18.8	0.9	5.5
男性	399	73.9	20.1	1.5	4.5
③なぐるふりをして、おどす	1,082	61.6	27.2	4.8	6.4
女性	658	64.3	24.3	4.7	6.7
男性	399	57.6	32.3	5.0	5.0
④刃物などを突きつけて、おどす	1,082	92.8	1.8	0.4	5.0
女性	658	93.0	1.5	0.3	5.2
男性	399	93.2	2.5	0.5	3.8
⑤大声でどなる	1,082	47.5	42.3	4.7	5.5
女性	658	52.9	37.1	4.1	5.9
男性	399	38.8	51.6	5.5	4.0
⑥何を言っても無視し続ける	1,082	42.6	41.8	10.4	5.2
女性	658	45.4	40.1	8.8	5.6
男性	399	37.8	45.1	13.3	3.8
⑦人格を否定するような暴言を吐く	1,082	77.8	14.2	2.3	5.6
女性	658	80.1	12.3	1.8	5.8
男性	399	74.4	17.8	3.0	4.8
⑧見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1,082	68.9	19.7	5.8	5.6
女性	658	71.3	18.1	4.6	6.1
男性	399	65.2	23.1	7.8	4.0
⑨いやがっているのに性的行為を強要する	1,082	79.9	12.8	1.8	5.5
女性	658	80.1	12.5	1.5	5.9
男性	399	80.5	13.3	2.3	4.0
⑩「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という	1,082	71.5	19.3	3.9	5.3
女性	658	77.2	12.8	4.6	5.5
男性	399	62.9	30.3	2.5	4.3
⑪生活費を渡さない	1,082	71.2	17.7	4.9	6.2
女性	658	75.7	13.2	4.9	6.2
男性	399	63.9	25.8	5.0	5.3
⑫交友関係や電話、メールを細かくチェックする	1,082	54.7	31.2	8.7	5.4
女性	658	59.3	26.9	8.4	5.5
男性	399	47.6	38.8	9.0	4.5

女性

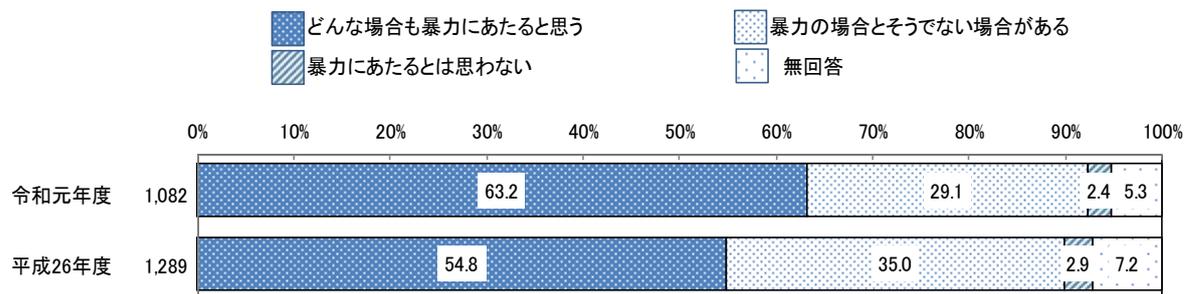


男性

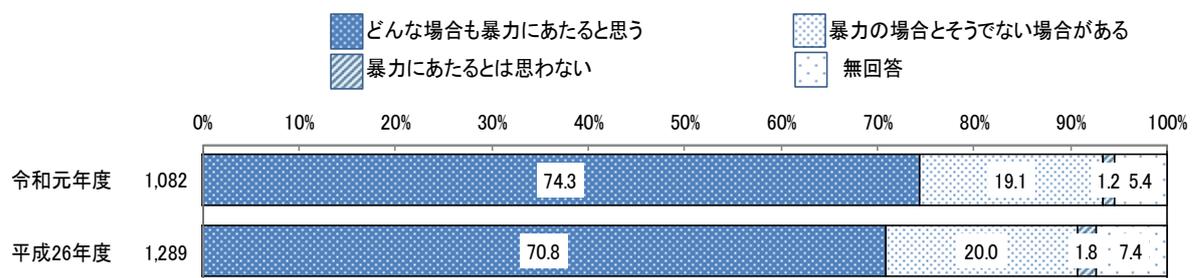


	全 体	どんな場合も暴力にあたると思う	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
<b>①手で打つ</b>					
今回調査	1,082	63.2	29.1	2.4	5.3
前回調査	1,289	54.8	35.0	2.9	7.2
<b>②ものを投げつける</b>					
今回調査	1,082	74.3	19.1	1.2	5.4
前回調査	1,289	70.8	20.0	1.8	7.4
<b>③なぐるふりをして、おどす</b>					
今回調査	1,082	61.6	27.2	4.8	6.4
前回調査	1,289	53.2	29.2	9.0	8.5
<b>④刃物などを突きつけて、おどす</b>					
今回調査	1,082	92.8	1.8	0.4	5.0
前回調査	1,289	90.4	2.0	0.5	7.1
<b>⑤大声でどなる</b>					
今回調査	1,082	47.5	42.3	4.7	5.5
前回調査	1,289	39.8	45.3	7.7	7.2
<b>⑥何を言っても無視し続ける</b>					
今回調査	1,082	42.6	41.8	10.4	5.2
前回調査	1,289	36.1	40.4	15.0	8.5
<b>⑦人格を否定するような暴言を吐く</b>					
今回調査	1,082	77.8	14.2	2.3	5.6
前回調査	1,289	68.7	20.2	3.0	8.1
<b>⑧見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる</b>					
今回調査	1,082	68.9	19.7	5.8	5.6
前回調査	1,289	58.9	21.4	11.2	8.5
<b>⑨いやがっているのに性的行為を強要する</b>					
今回調査	1,082	79.9	12.8	1.8	5.5
前回調査	1,289	71.3	17.7	2.7	8.3
<b>⑩「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしようなし」という</b>					
今回調査	1,082	71.5	19.3	3.9	5.3
前回調査	1,289	63.4	23.4	5.4	7.8
<b>⑪生活費を渡さない</b>					
今回調査	1,082	71.2	17.7	4.9	6.2
前回調査	1,289	67.5	18.5	5.9	8.1
<b>⑫交友関係や電話、メールを細かくチェックする</b>					
今回調査	1,082	54.7	31.2	8.7	5.4
前回調査	1,289	47.3	33.9	10.3	8.5

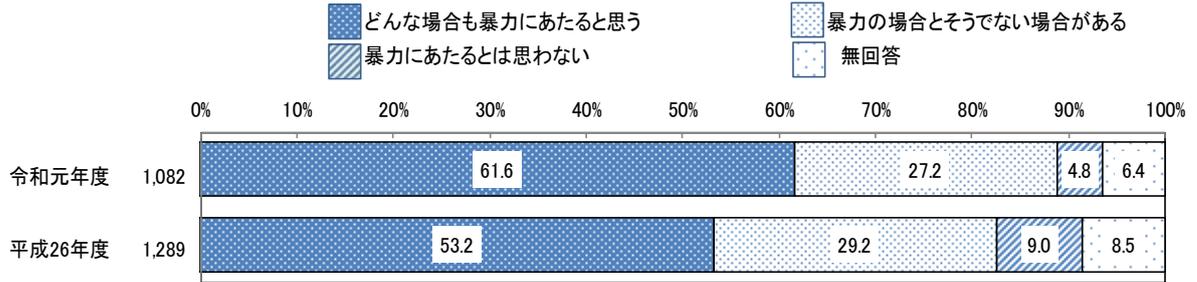
①手で打つ



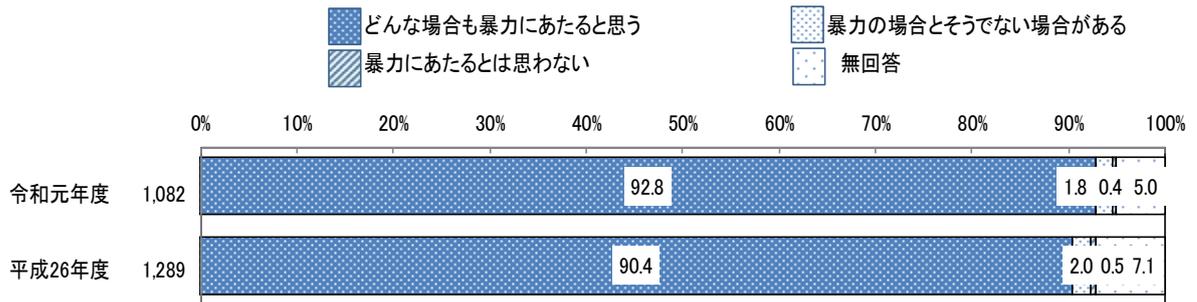
②ものを投げつける



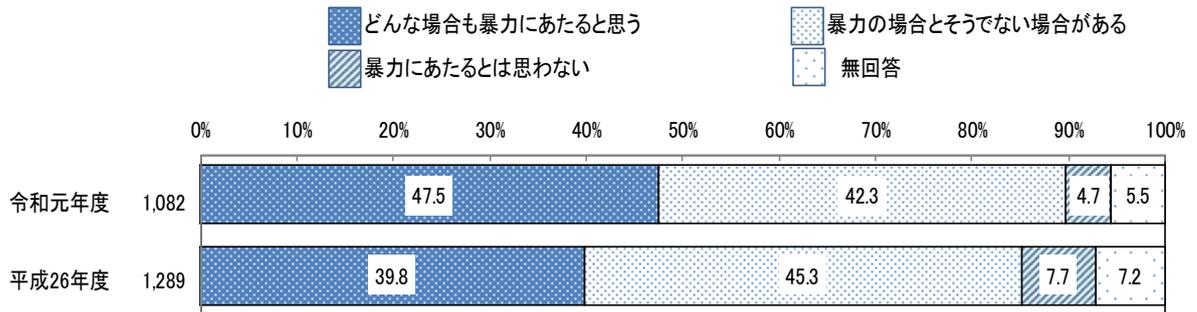
③ なぐるふりをして、おどす



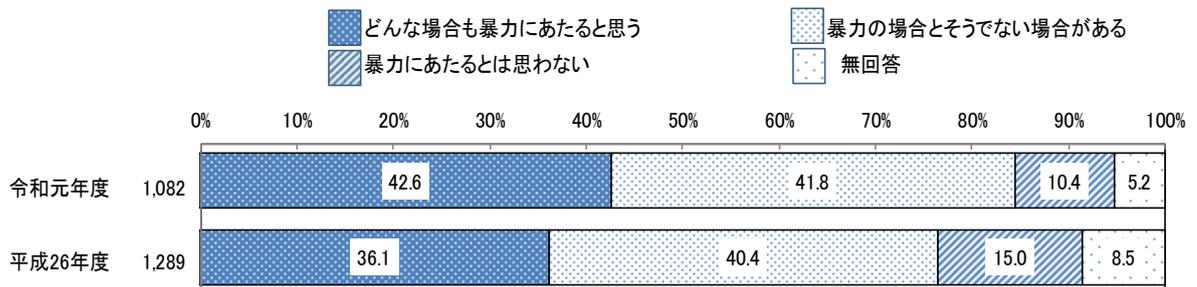
④ 刃物などを突きつけて、おどす



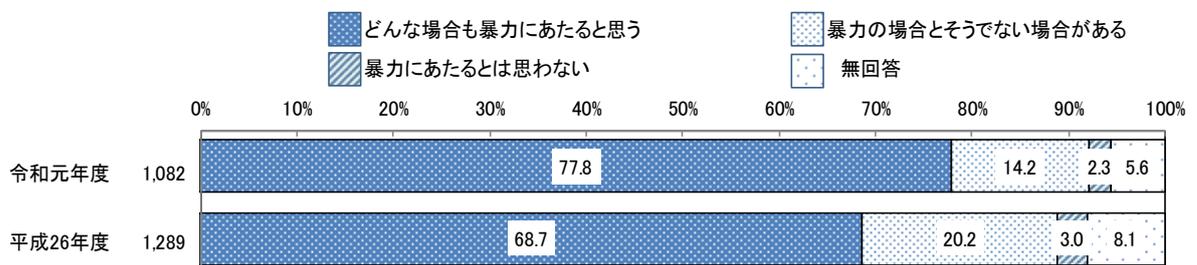
⑤ 大声でどなる



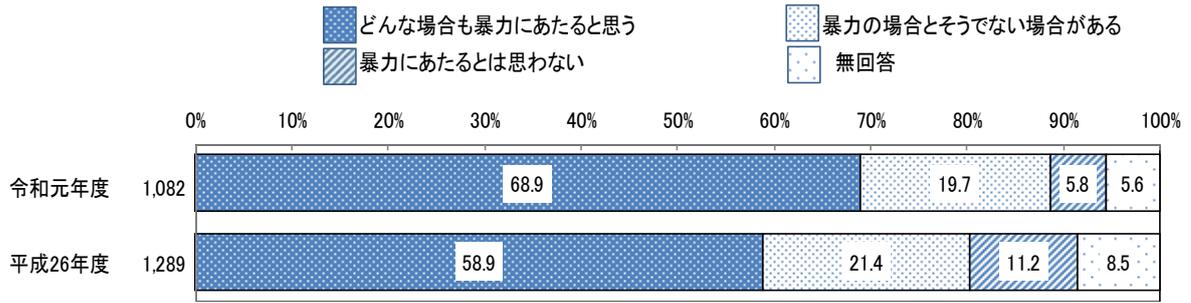
⑥ 何を言っても無視し続ける



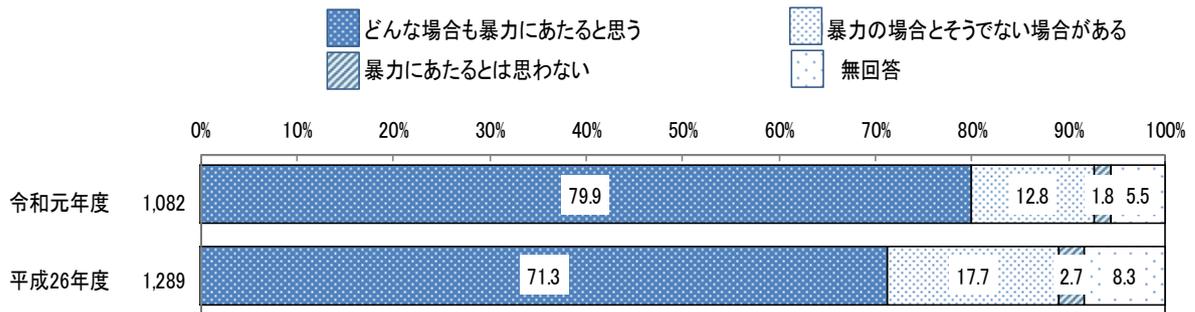
⑦ 人格を否定するような暴言を吐く



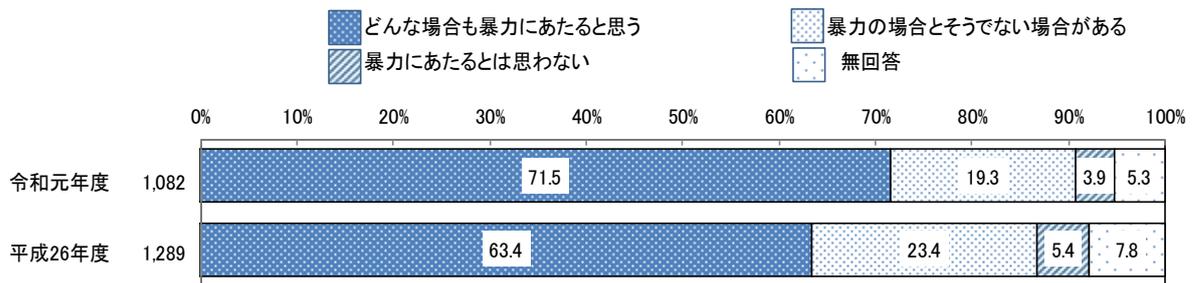
⑧ 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる



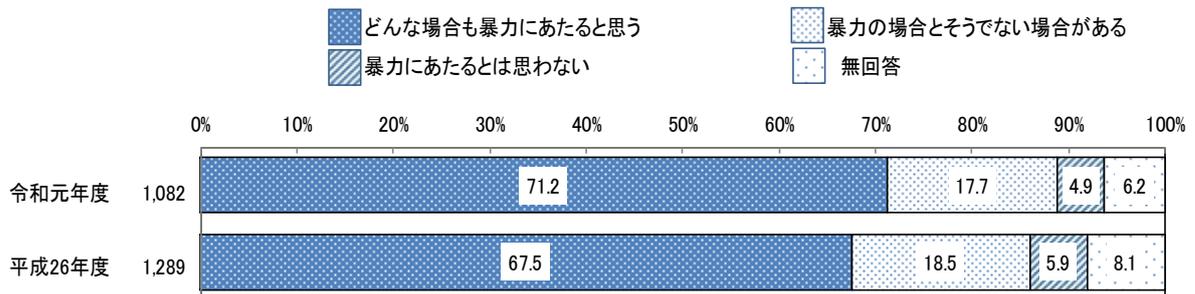
⑨ いやがっているのに性的行為を強要する



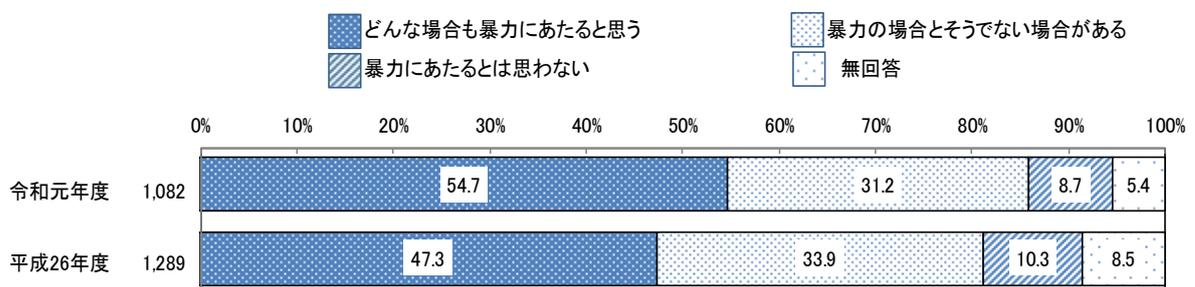
⑩「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という



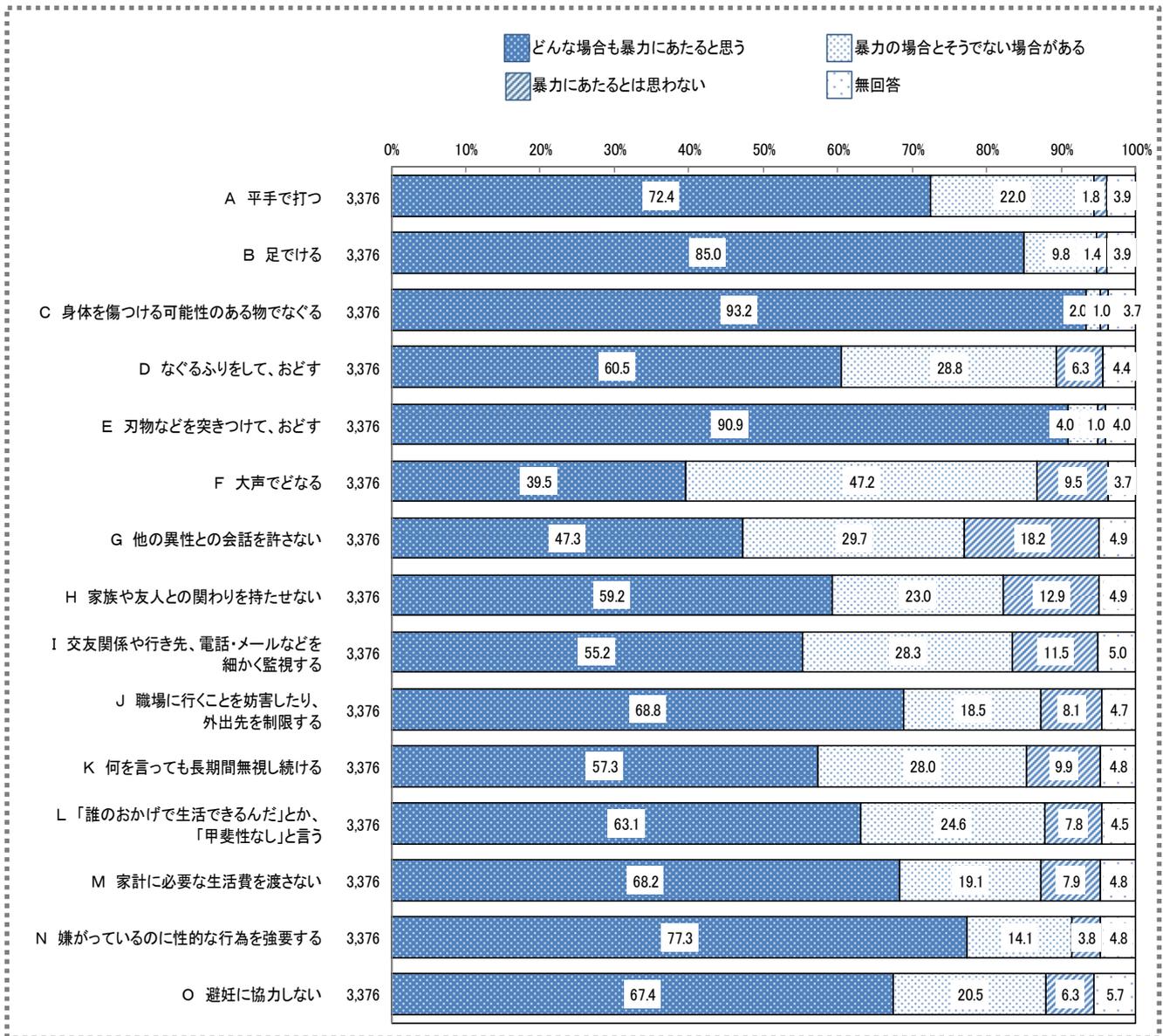
⑪ 生活費を渡さない



⑫ 交友関係や電話、メールを細かくチェックする



(参考) 内閣府調査結果



(全員が回答)

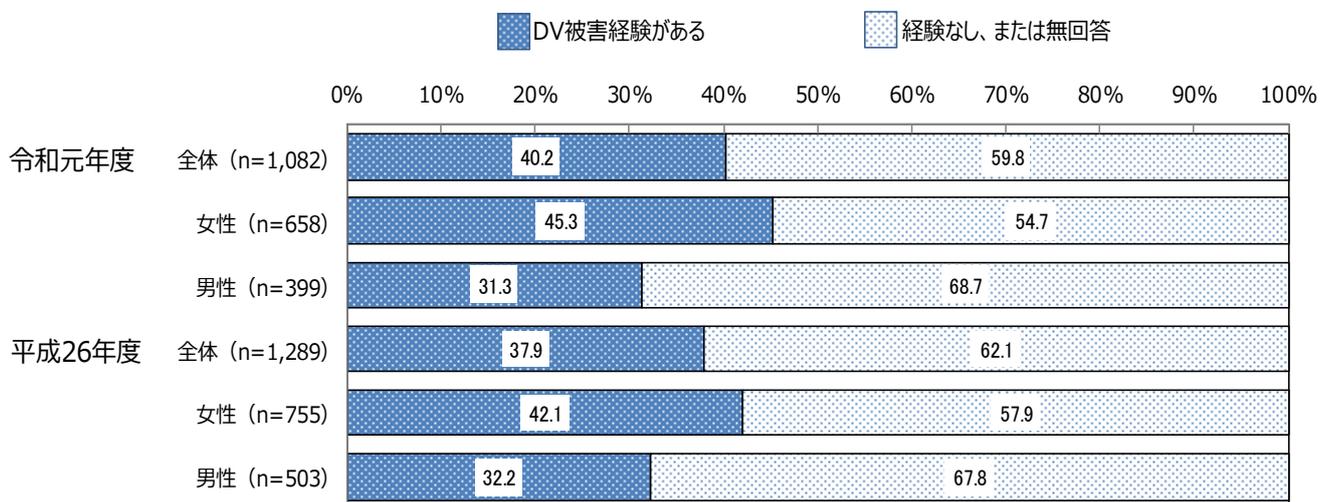
問8 あなたはこれまでに、配偶者や恋人など親密な人間関係にある人との間で、次の①～⑤のようなことを受けたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

- 身体的・精神的・性的・経済的・社会的暴力のいずれかの暴力を1度でも受けたことがあるDV被害経験者は、全体では40.2%となった。
- 性別で見ると、女性が45.3%、男性が31.3%となっている。
- 形態別で見ると、「精神的暴力」が32.2%で最も高く、次いで「身体的暴力」が20.3%、「経済的暴力」が12.3%と続いた。
- 前回調査と比較すると、いずれの項目も今回が前回より微増となった。「経験あり(計)※」で最も差がみられた「精神的暴力」では、今回(32.2%)が前回(29.0%)より3.2ポイント高い。

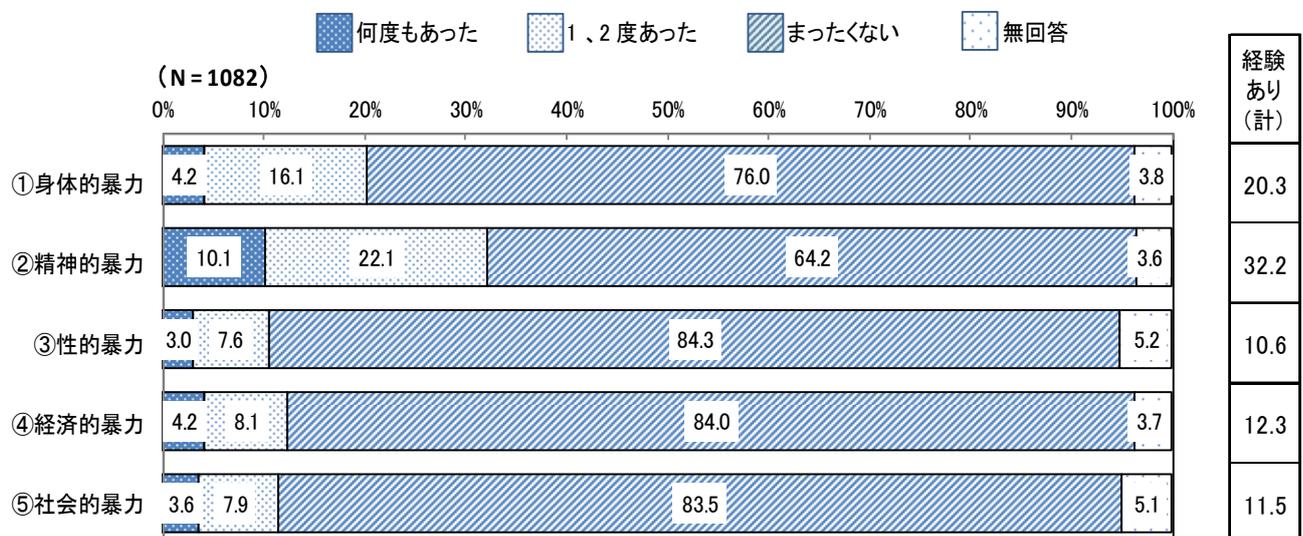
※「経験あり(計)」は、「何度もあった」と「1、2度あった」を合算したもの。

※前回調査と比較は42ページを参照。

### DV被害経験

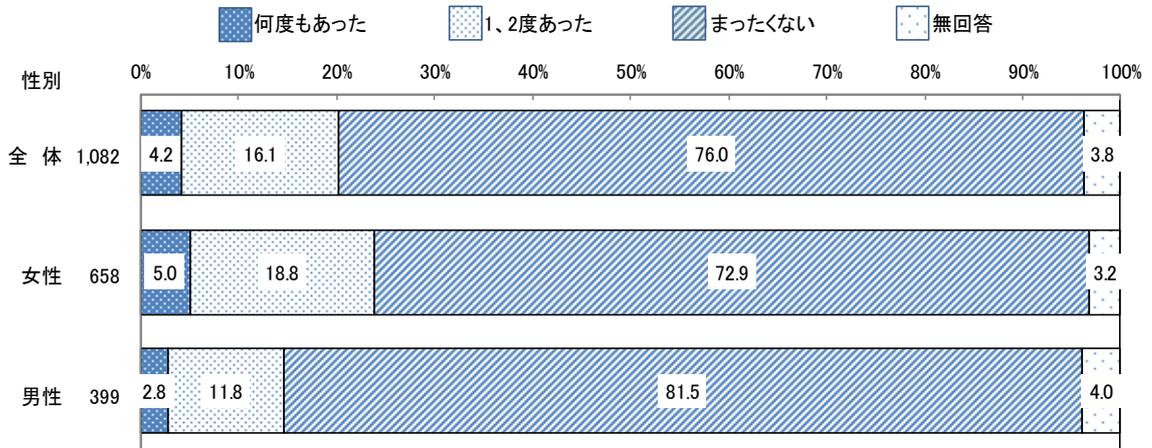


### 形態別

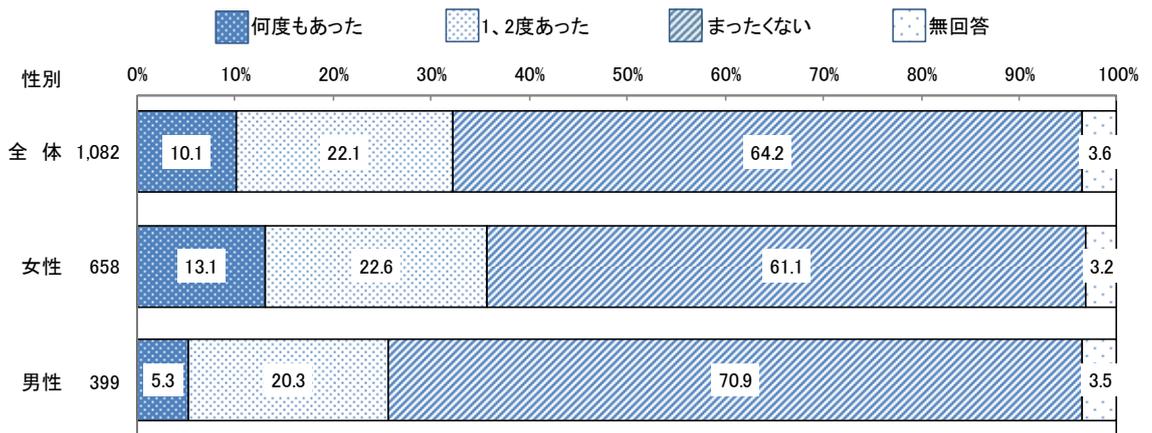


性別

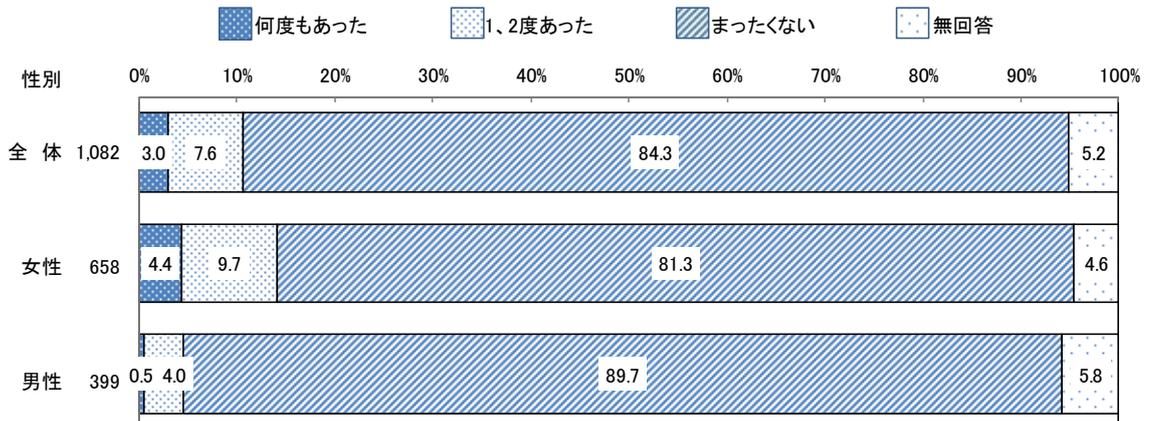
①身体的暴力 たたかれる。殴られる。蹴られる。ものを投げつけられる。  
首をしめられる。刃物などでおどされる。など



②精神的暴力 無視される。大声でどなられる。人前でバカにされる。  
人格を否定されるような暴言を吐かれる。脅迫される。など

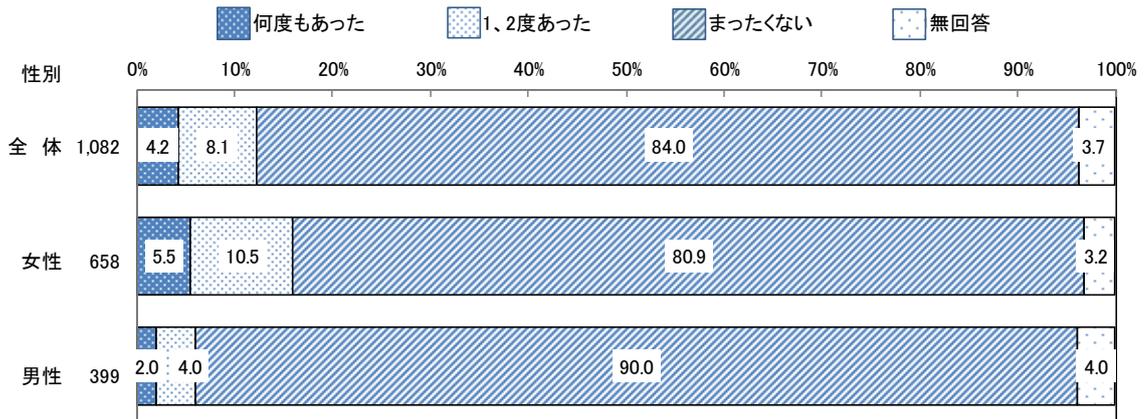


③性的暴力 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる。  
いやがっているのに性的行為を強要される。避妊に協力してくれない。など

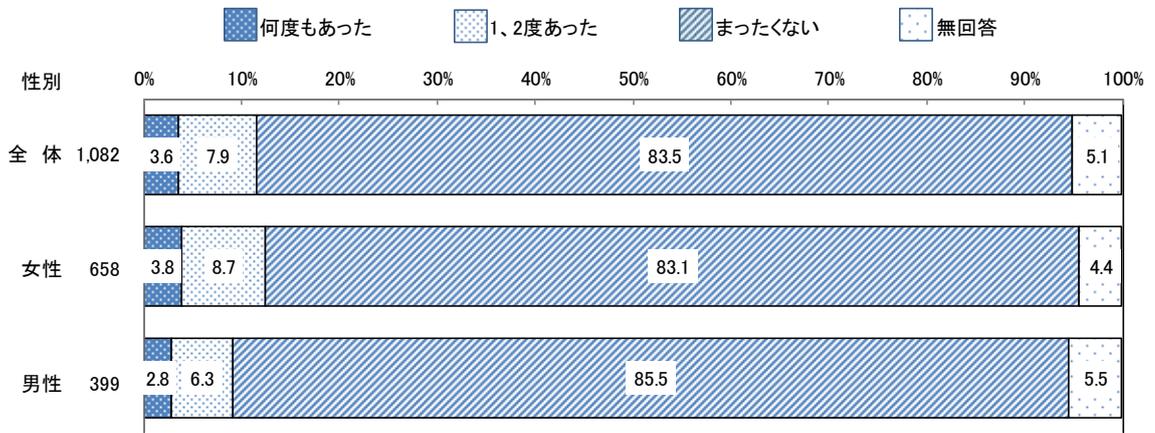


④経済的暴力 生活費を渡さない・使わせない。借金を強要される。

「誰のおかげで生活できるんだ」など見下して言われる。など

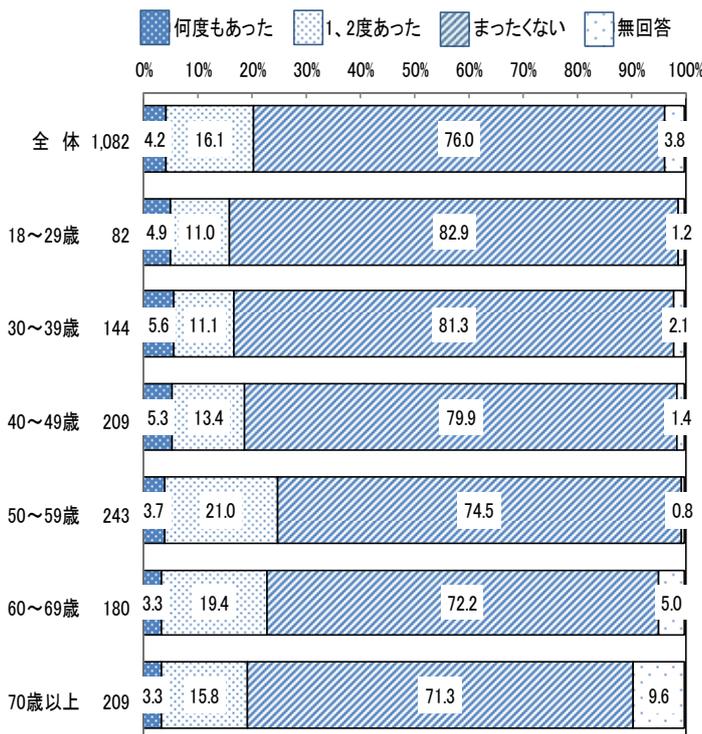


⑤社会的暴力 外出を制限される。交友関係、電話やメールを細かくチェックされる。など

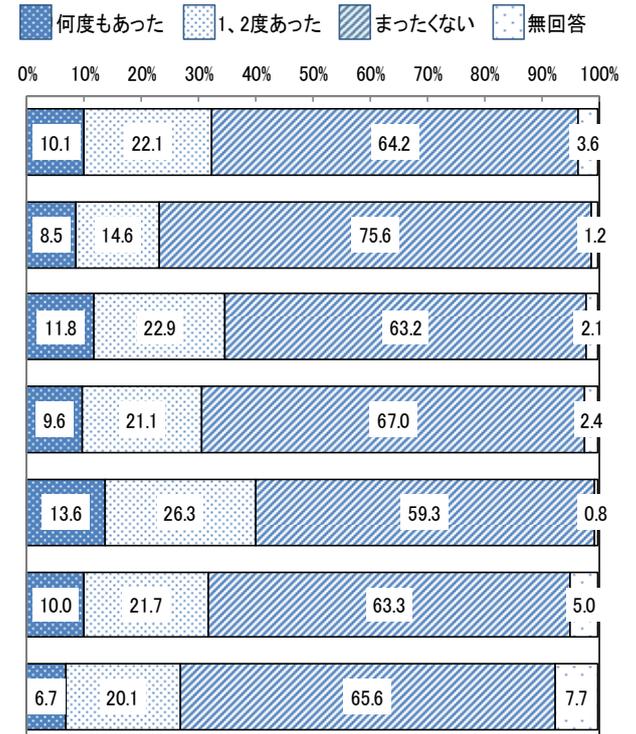


年齢別

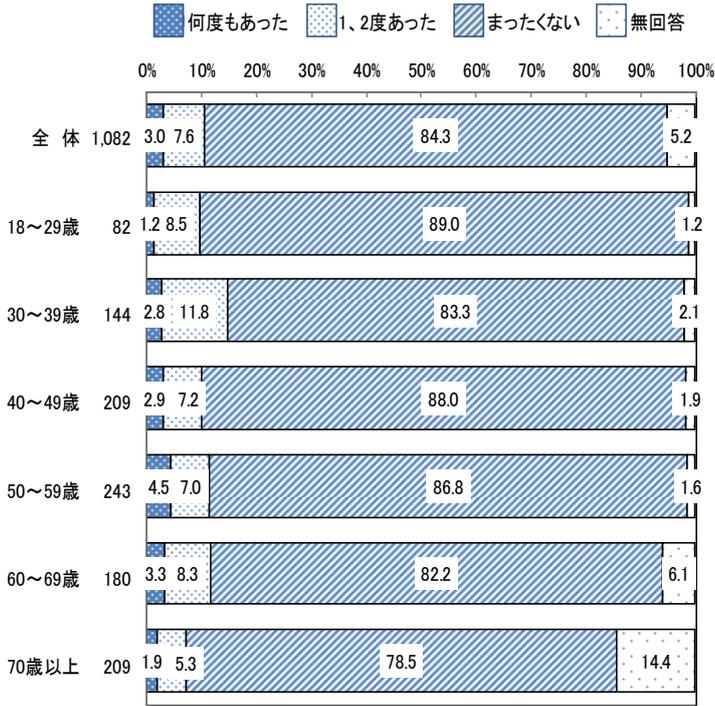
①身体的暴力



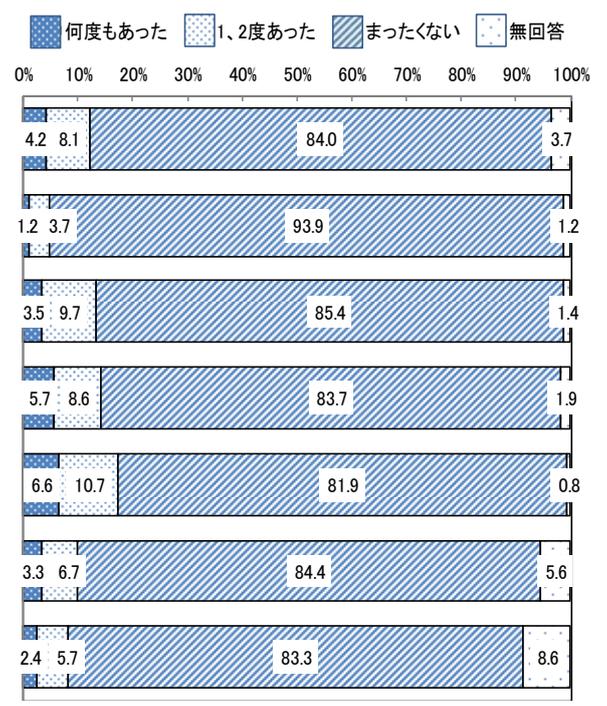
②精神的暴力



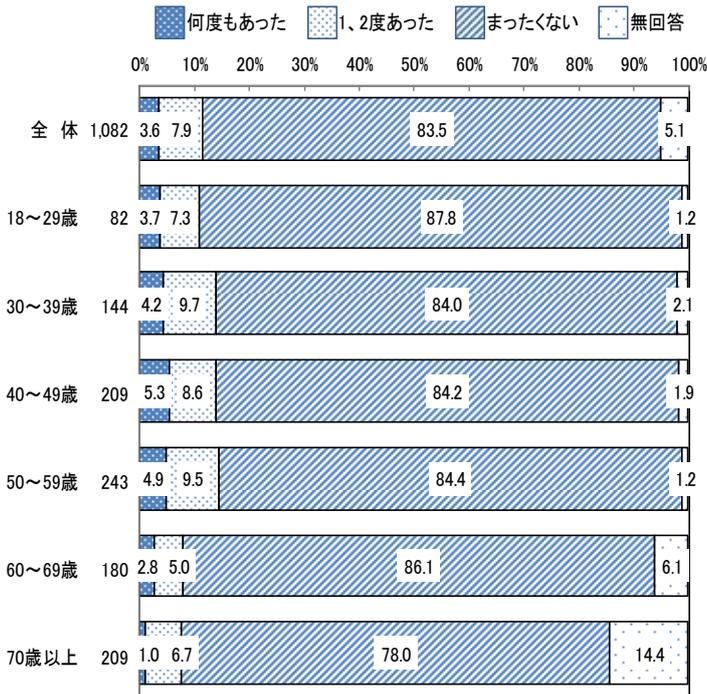
### ③性的暴力



### ④経済的暴力

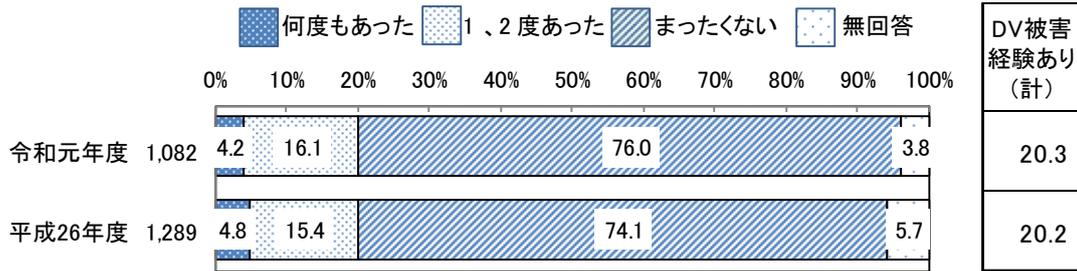


### ⑤社会的暴力

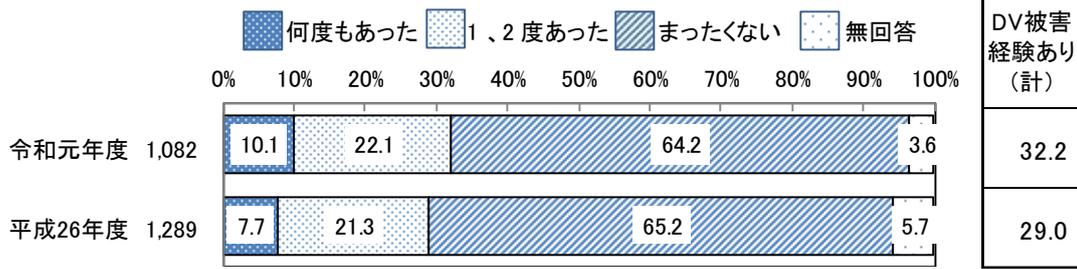


経年

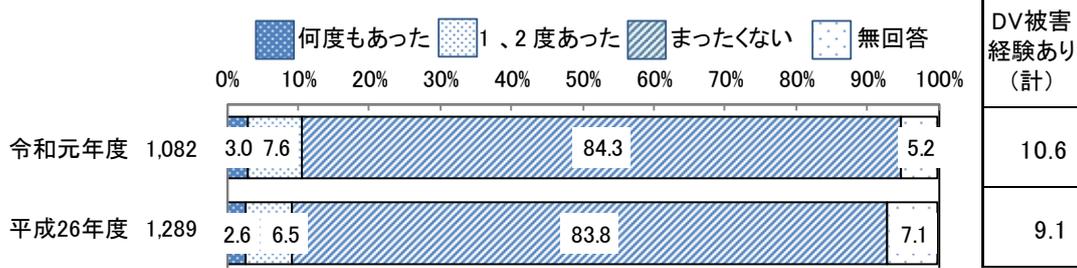
①身体的暴力



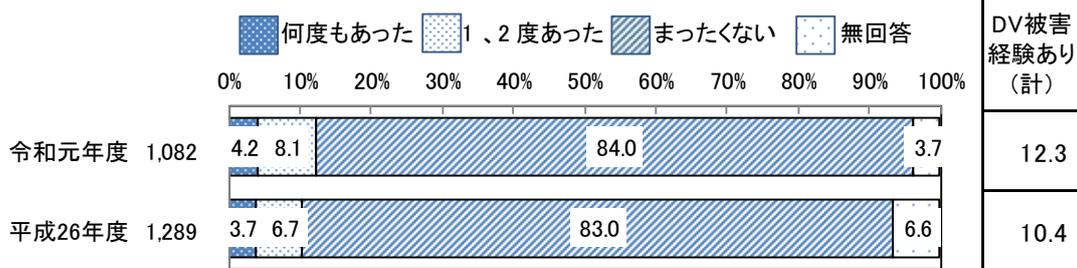
②精神的暴力



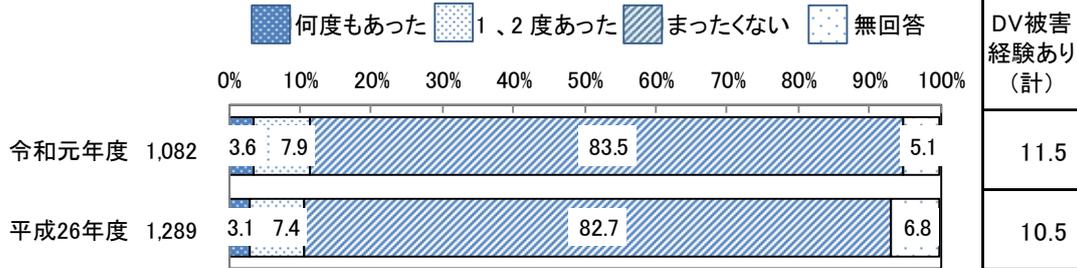
③性的暴力



④経済的暴力



⑤社会的暴力



①身体的暴力

		全 体	何度もあった	1、2度 あった	まったくない	無回答
全 体		1,082	4.2	16.1	76.0	3.8
性・ 年 齢 別	女性合計	658	5.0	18.8	72.9	3.2
	女性・18～29歳	57	5.3	12.3	80.7	1.8
	女性・30～39歳	98	6.1	15.3	76.5	2.0
	女性・40～49歳	122	5.7	13.9	80.3	0.0
	女性・50～59歳	152	5.9	25.7	67.1	1.3
	女性・60～69歳	107	3.7	25.2	66.4	4.7
	女性・70歳以上	120	3.3	15.8	71.7	9.2
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性合計	399	2.8	11.8	81.5	4.0
	男性・18～29歳	22	4.5	4.5	90.9	0.0
	男性・30～39歳	42	4.8	2.4	92.9	0.0
	男性・40～49歳	85	4.7	12.9	78.8	3.5
	男性・50～59歳	91	0.0	13.2	86.8	0.0
	男性・60～69歳	73	2.7	11.0	80.8	5.5
	男性・70歳以上	85	2.4	16.5	70.6	10.6
	男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0
職 業	自営業またはその家族従業員	111	1.8	18.9	74.8	4.5
	正社員・正規職員	315	4.8	15.9	78.1	1.3
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	2.6	17.9	76.9	2.6
	公務員	71	1.4	2.8	94.4	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	5.5	21.5	70.2	2.8
	学生・生徒	10	0.0	0.0	100.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	4.9	17.9	73.4	3.8
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	5.2	11.3	76.3	7.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	3.8	17.0	64.2	15.1
	無回答	21	0.0	9.5	76.2	14.3
	前回調査	1,289	4.8	15.4	74.1	5.7

②精神的暴力

		全 体	何度もあった	1、2度 あった	まったくない	無回答
全 体		1,082	10.1	22.1	64.2	3.6
性・ 年 齢 別	女性合計	658	13.1	22.6	61.1	3.2
	女性・18～29歳	57	7.0	17.5	73.7	1.8
	女性・30～39歳	98	15.3	23.5	59.2	2.0
	女性・40～49歳	122	12.3	22.1	63.9	1.6
	女性・50～59歳	152	17.8	28.9	52.6	0.7
	女性・60～69歳	107	15.0	23.4	57.0	4.7
	女性・70歳以上	120	7.5	16.7	67.5	8.3
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性合計	399	5.3	20.3	70.9	3.5
	男性・18～29歳	22	9.1	4.5	86.4	0.0
	男性・30～39歳	42	4.8	21.4	73.8	0.0
	男性・40～49歳	85	5.9	18.8	71.8	3.5
	男性・50～59歳	91	6.6	22.0	70.3	1.1
	男性・60～69歳	73	2.7	19.2	72.6	5.5
	男性・70歳以上	85	4.7	24.7	63.5	7.1
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	111	8.1	27.0	61.3	3.6
	正社員・正規職員	315	9.2	21.6	67.6	1.6
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	5.1	38.5	53.8	2.6
	公務員	71	1.4	19.7	77.5	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	16.6	19.3	60.2	3.9
	学生・生徒	10	10.0	0.0	90.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	11.4	22.8	62.5	3.3
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	7.2	22.7	63.9	6.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	17.0	17.0	54.7	11.3
	無回答	21	0.0	19.0	66.7	14.3
前回調査		1,289	7.7	21.3	65.2	5.7

③性的暴力

		全 体	何度もあった	1、2度 あった	まったくない	無回答
全 体		1,082	3.0	7.6	84.3	5.2
性・ 年 齢 別	女性合計	658	4.4	9.7	81.3	4.6
	女性・18～29歳	57	1.8	8.8	87.7	1.8
	女性・30～39歳	98	3.1	16.3	77.6	3.1
	女性・40～49歳	122	4.1	9.0	86.1	0.8
	女性・50～59歳	152	7.2	10.5	80.3	2.0
	女性・60～69歳	107	5.6	12.1	76.6	5.6
	女性・70歳以上	120	2.5	2.5	81.7	13.3
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性合計	399	0.5	4.0	89.7	5.8
	男性・18～29歳	22	0.0	4.5	95.5	0.0
	男性・30～39歳	42	2.4	2.4	95.2	0.0
	男性・40～49歳	85	1.2	3.5	91.8	3.5
	男性・50～59歳	91	0.0	1.1	97.8	1.1
	男性・60～69歳	73	0.0	2.7	90.4	6.8
	男性・70歳以上	85	0.0	9.4	74.1	16.5
	男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0
職 業	自営業またはその家族従業員	111	2.7	8.1	82.0	7.2
	正社員・正規職員	315	2.9	7.3	87.9	1.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	2.6	5.1	89.7	2.6
	公務員	71	0.0	2.8	95.8	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	3.3	14.4	78.5	3.9
	学生・生徒	10	10.0	0.0	90.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	4.3	5.4	83.2	7.1
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	2.1	5.2	82.5	10.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	3.8	9.4	73.6	13.2
	無回答	21	0.0	0.0	85.7	14.3
	前回調査	1,289	2.6	6.5	83.8	7.1

④経済的暴力

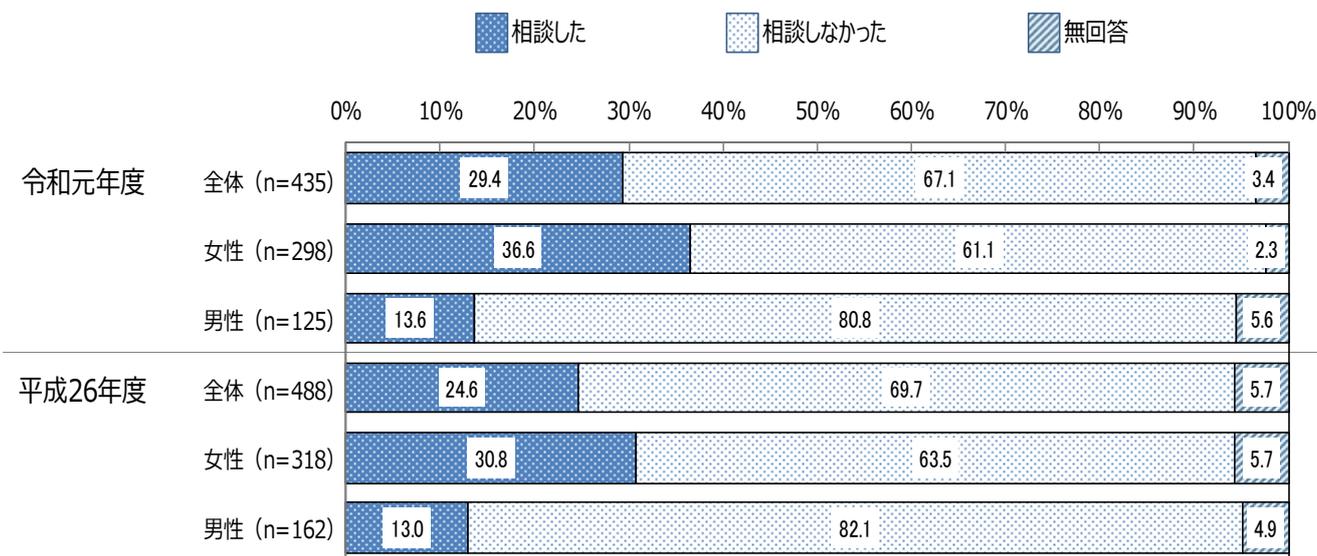
		全 体	何度もあった	1、2度 あった	まったくない	無回答
全 体		1,082	4.2	8.1	84.0	3.7
性・ 年 齢 別	女性合計	658	5.5	10.5	80.9	3.2
	女性・18～29歳	57	1.8	3.5	93.0	1.8
	女性・30～39歳	98	2.0	11.2	84.7	2.0
	女性・40～49歳	122	7.4	11.5	80.3	0.8
	女性・50～59歳	152	9.2	16.4	73.7	0.7
	女性・60～69歳	107	5.6	9.3	79.4	5.6
	女性・70歳以上	120	3.3	5.8	82.5	8.3
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性合計	399	2.0	4.0	90.0	4.0
	男性・18～29歳	22	0.0	4.5	95.5	0.0
	男性・30～39歳	42	7.1	7.1	85.7	0.0
	男性・40～49歳	85	2.4	4.7	89.4	3.5
	男性・50～59歳	91	2.2	1.1	95.6	1.1
	男性・60～69歳	73	0.0	2.7	91.8	5.5
	男性・70歳以上	85	1.2	5.9	83.5	9.4
	男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0
職 業	自営業またはその家族従業員	111	0.9	4.5	90.1	4.5
	正社員・正規職員	315	4.8	6.7	86.7	1.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	5.1	15.4	76.9	2.6
	公務員	71	1.4	5.6	91.5	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	5.0	13.8	78.5	2.8
	学生・生徒	10	10.0	0.0	90.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	6.5	8.7	81.5	3.3
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	3.1	5.2	84.5	7.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	1.9	5.7	81.1	11.3
	無回答	21	0.0	14.3	71.4	14.3
	前回調査	1,289	3.7	6.7	83.0	6.6

⑤社会的暴力

		全 体	何度もあった	1、2度 あった	まったくない	無回答
全 体		1,082	3.6	7.9	83.5	5.1
性・ 年 齢 別	女性合計	658	3.8	8.7	83.1	4.4
	女性・18～29歳	57	0.0	10.5	87.7	1.8
	女性・30～39歳	98	4.1	9.2	84.7	2.0
	女性・40～49歳	122	4.9	9.8	84.4	0.8
	女性・50～59歳	152	6.6	9.9	82.2	1.3
	女性・60～69歳	107	3.7	6.5	84.1	5.6
	女性・70歳以上	120	0.8	6.7	78.3	14.2
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性合計	399	2.8	6.3	85.5	5.5
	男性・18～29歳	22	4.5	0.0	95.5	0.0
	男性・30～39歳	42	4.8	9.5	85.7	0.0
	男性・40～49歳	85	5.9	7.1	83.5	3.5
	男性・50～59歳	91	2.2	8.8	87.9	1.1
	男性・60～69歳	73	1.4	2.7	89.0	6.8
	男性・70歳以上	85	0.0	5.9	78.8	15.3
	男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0
職 業	自営業またはその家族従業員	111	4.5	4.5	83.8	7.2
	正社員・正規職員	315	4.8	9.5	84.1	1.6
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	2.6	10.3	84.6	2.6
	公務員	71	1.4	5.6	90.1	2.8
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	4.4	8.3	84.0	3.3
	学生・生徒	10	10.0	0.0	90.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	2.2	8.7	82.1	7.1
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	2.1	4.1	83.5	10.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	3.8	11.3	71.7	13.2
	無回答	21	0.0	4.8	81.0	14.3
前回調査	1,289	3.1	7.4	82.7	6.8	

(問8で1 つでも「何度もあった」または「1、2 度あった」と答えた方が回答)  
 問9 あなたは、その受けた行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
 (〇は1 つだけ)

- 全体では、「相談した」が29.4%、「相談しなかった」が67.1%となっている。
- 性別で見ると、「相談した」では、女性が36.6%、男性は13.6%となっている。
- 前回調査と比較すると、「相談した」では、今回(29.4%)が前回(24.6%)より4.8ポイント高い。

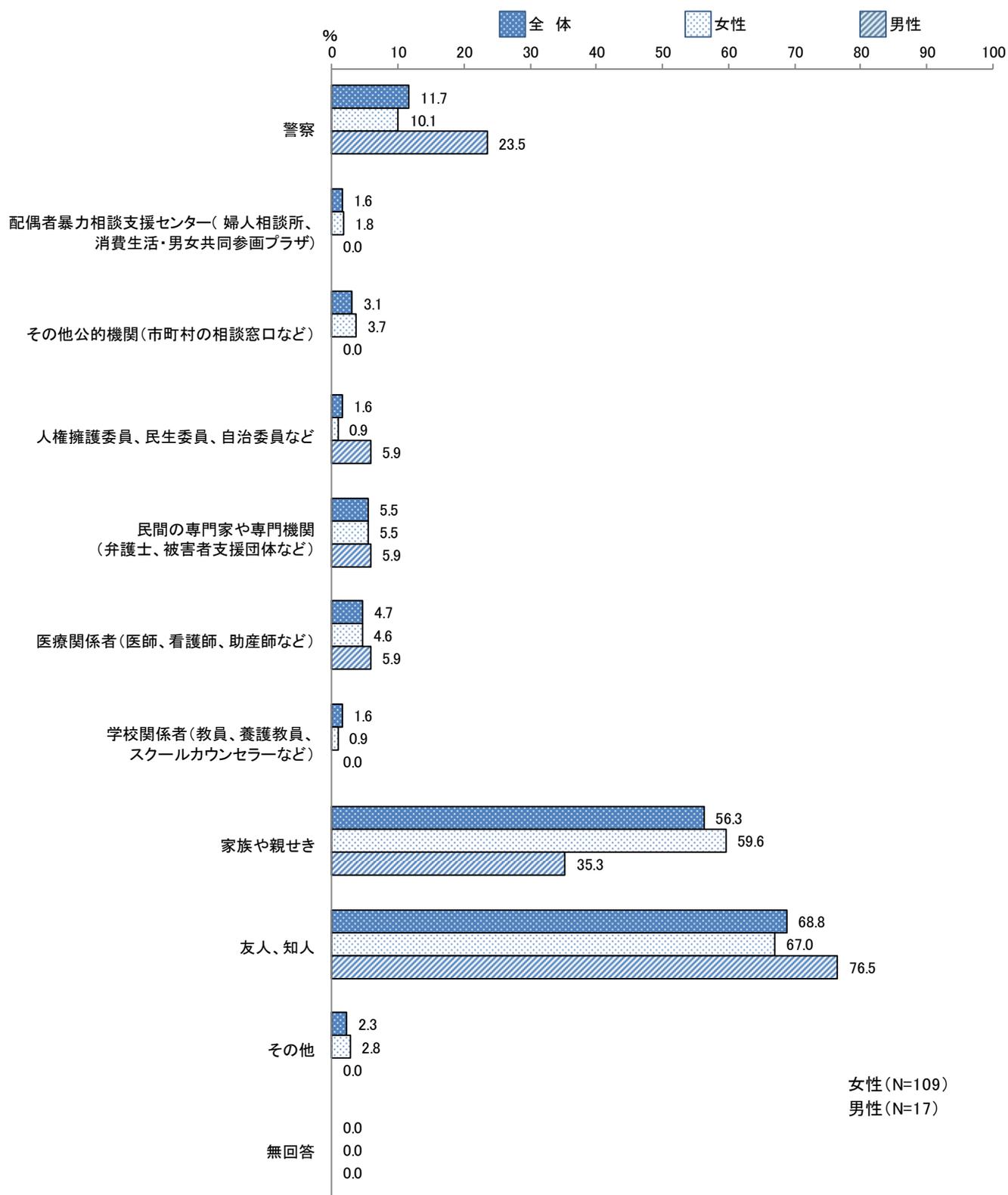


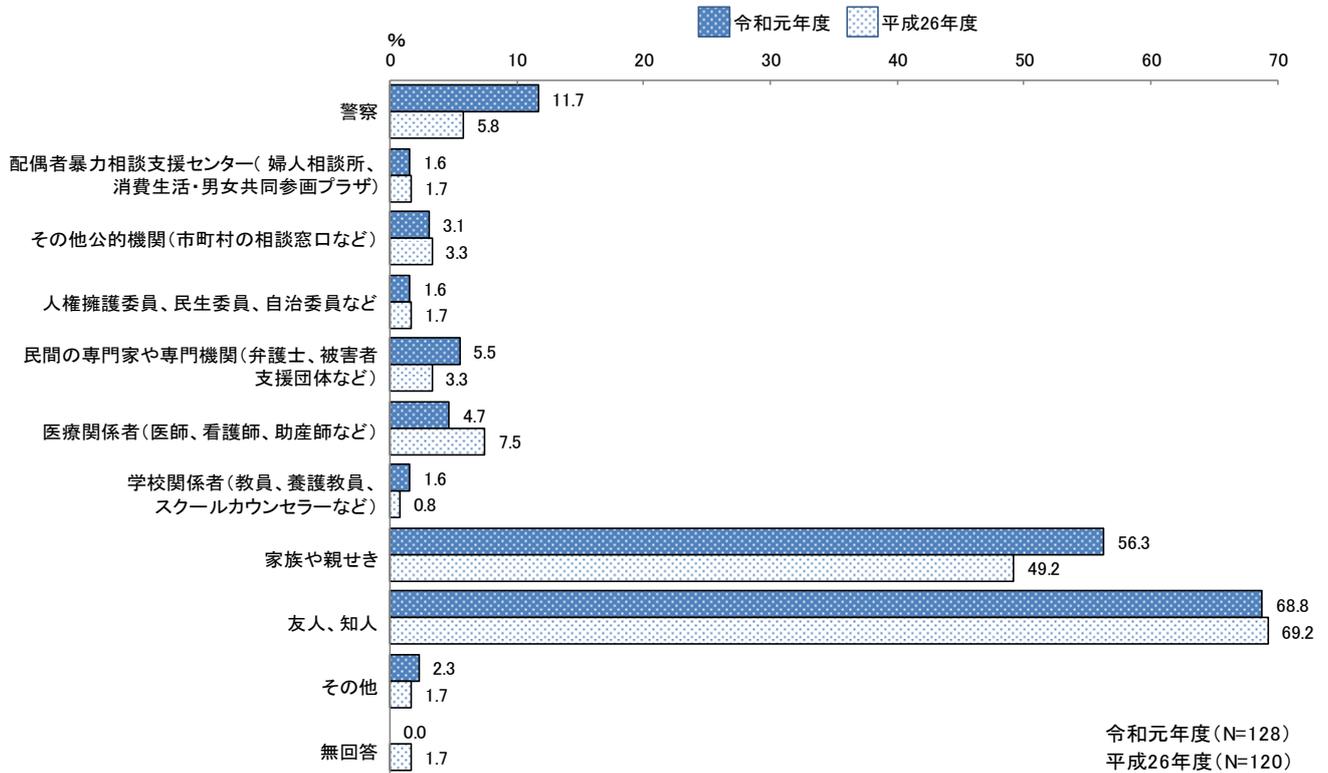
		全 体	相談した	相談しなかった	無回答
全 体		435	29.4	67.1	3.4
性・年齢別	女性合計	298	36.6	61.1	2.3
	女性・18～29歳	19	52.6	47.4	0.0
	女性・30～39歳	47	51.1	48.9	0.0
	女性・40～49歳	54	44.4	55.6	0.0
	女性・50～59歳	87	41.4	54.0	4.6
	女性・60～69歳	53	11.3	86.8	1.9
	女性・70歳以上	38	23.7	71.1	5.3
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	125	13.6	80.8	5.6
	男性・18～29歳	4	0.0	100.0	0.0
	男性・30～39歳	12	66.7	25.0	8.3
	男性・40～49歳	29	10.3	89.7	0.0
	男性・50～59歳	32	12.5	84.4	3.1
	男性・60～69歳	19	0.0	89.5	10.5
男性・70歳以上	29	6.9	82.8	10.3	
男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	40	15.0	82.5	2.5
	正社員・正規職員	134	34.3	62.7	3.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	20	50.0	50.0	0.0
	公務員	19	21.1	73.7	5.3
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	83	33.7	65.1	1.2
	学生・生徒	2	50.0	50.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	76	30.3	63.2	6.6
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	32	15.6	81.3	3.1
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	24	16.7	75.0	8.3
	無回答	5	20.0	80.0	0.0
前回調査	488	24.6	69.7	5.7	

(問9で「1 相談した」と答えた方が回答)

問10 あなたが相談した人(場所)を教えてください。(〇はいくつでも)

- 全体では、「友人、知人」が68.8%と最も高く、次いで「家族や親せき」が56.3%、「警察」が11.7%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「家族や親せき」では、女性(59.6%)が男性(35.3%)より24.3ポイント高い。次いで差がみられた「警察」では、男性(23.5%)が女性(10.1%)より13.4ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「家族や親せき」では、今回(56.3%)が前回(49.2%)より7.1ポイント高い。



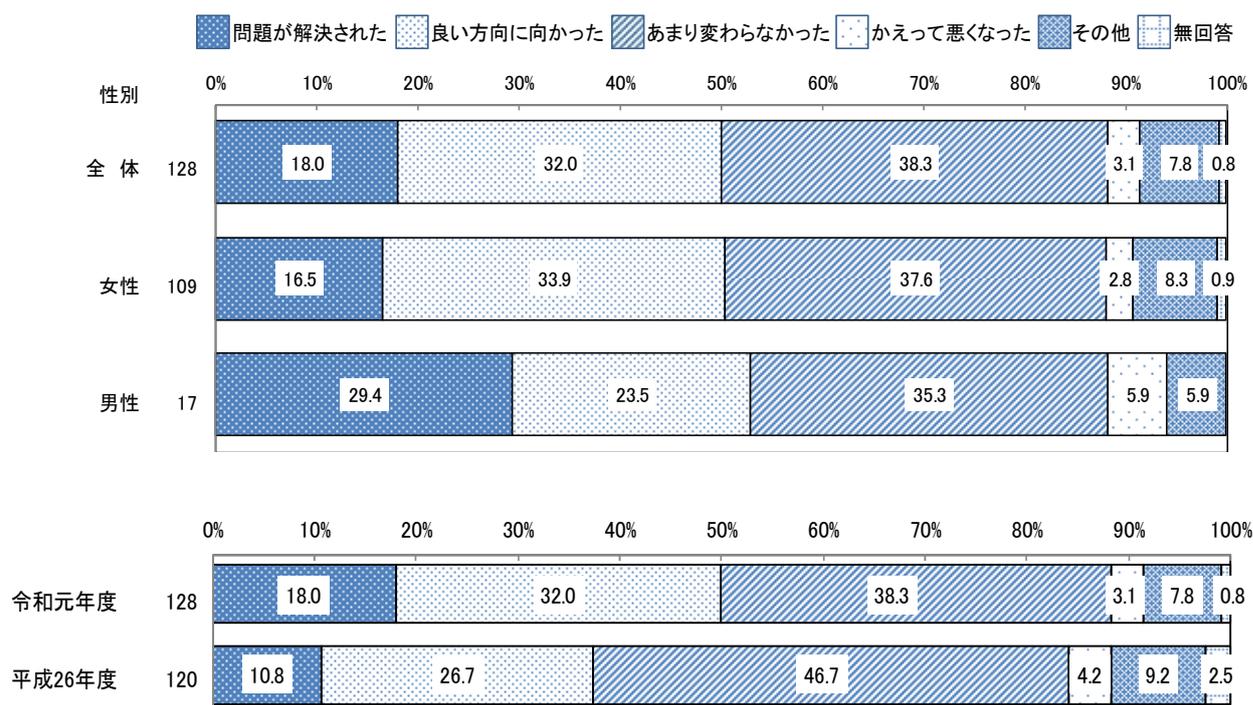


	全 体	警 察	配 偶 者 暴 力 相 談 支 援 セ ン タ ー ( 婦 人 相 談 所 、 消 費 生 活 ・ 男 女 共 同 参 画 プ ラ ザ )	そ の 他 の 公 的 機 関 ( 市 町 村 の 相 談 窓 口 な ど )	人 権 擁 護 委 員 、 民 生 委 員 、 自 治 委 員 な ど	民 間 の 専 門 家 や 専 門 機 関 ( 弁 護 士 、 被 害 者 支 援 団 体 な ど )	医 療 関 係 者 ( 医 師 、 看 護 師 、 助 産 師 な ど )	学 校 関 係 者 ( 教 員 、 養 護 教 員 、 ス ク ー ル カ ウ ン セ ー ラ ー な ど )	家 族 や 親 せ き	友 人 、 知 人	そ の 他	無 回 答	
全 体	128	11.7	1.6	3.1	1.6	5.5	4.7	1.6	56.3	68.8	2.3	0.0	
性・年齢別	女性合計	109	10.1	1.8	3.7	0.9	5.5	4.6	0.9	59.6	67.0	2.8	0.0
	女性・18～29歳	10	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	70.0	80.0	10.0	0.0
	女性・30～39歳	24	8.3	4.2	0.0	0.0	8.3	8.3	4.2	41.7	91.7	0.0	0.0
	女性・40～49歳	24	8.3	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	66.7	58.3	0.0	0.0
	女性・50～59歳	36	11.1	0.0	5.6	2.8	5.6	2.8	0.0	55.6	61.1	5.6	0.0
	女性・60～69歳	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0
	女性・70歳以上	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	33.3	0.0	0.0
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	17	23.5	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	35.3	76.5	0.0	0.0
	男性・18～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30～39歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	87.5	0.0	0.0
	男性・40～49歳	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	男性・50～59歳	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0
男性・60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
男性・70歳以上	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	83.3	0.0	0.0
	正社員・正規職員	46	8.7	4.3	0.0	0.0	6.5	2.2	2.2	52.2	80.4	0.0	0.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	10	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	50.0	60.0	0.0	0.0
	公務員	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	28	17.9	0.0	7.1	7.1	3.6	3.6	0.0	46.4	71.4	3.6	0.0
	学生・生徒	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	23	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0	65.2	52.2	4.3	0.0
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	40.0	0.0	0.0
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	50.0	25.0	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
前回調査	120	5.8	1.7	3.3	1.7	3.3	7.5	0.8	49.2	69.2	1.7	1.7	

(問9で「1 相談した」と答えた方が回答)

問1 1 相談した結果、状況はどうなりましたか。(○は1つだけ)

- 全体では、「あまり変わらなかった」が38.3%と最も高く、次いで「良い方向に向かった」が32.0%、「問題が解決された」が18.0%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「問題が解決された」では、男性(29.4%)が女性(16.5%)より12.9ポイント高い。次いで差がみられた「良い方向に向かった」では、女性(33.9%)が男性(23.5%)より10.4ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「あまり変わらなかった」では、今回(38.3%)が前回(47.7%)より9.4ポイント低い。一方、「問題が解決された」で7.2ポイント、「良い方向に向かった」で5.3ポイント、それぞれ高くなっている。

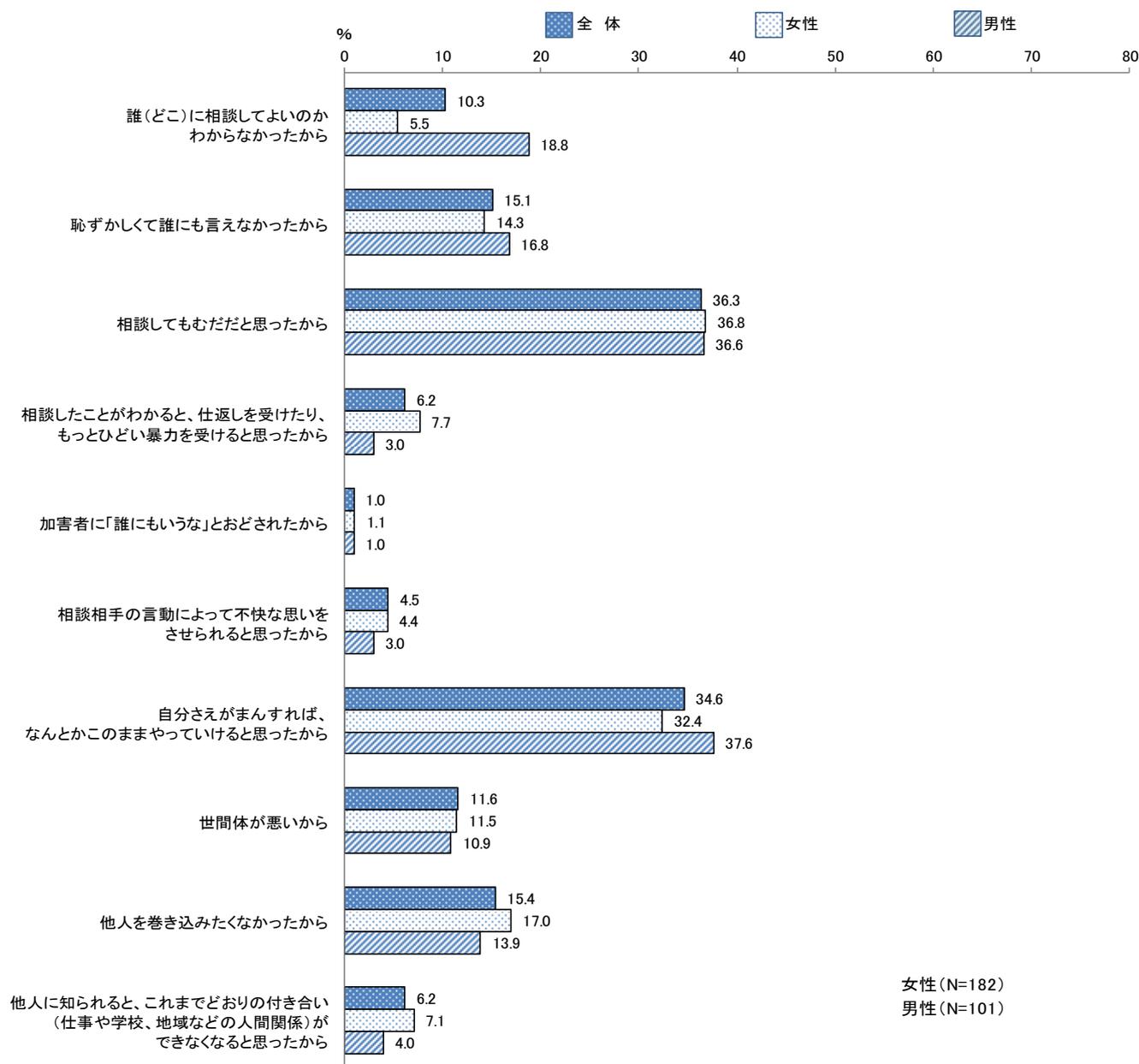


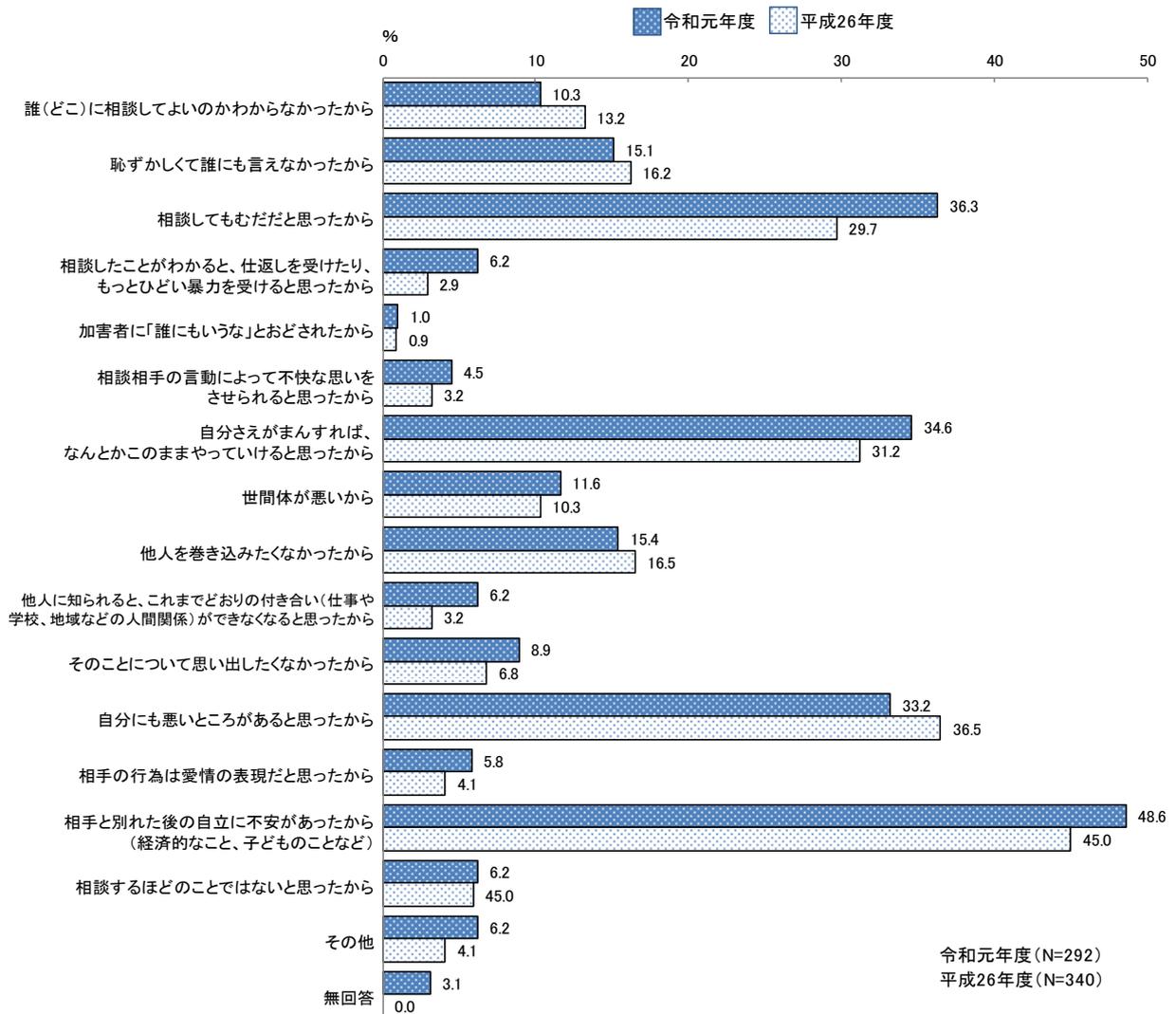
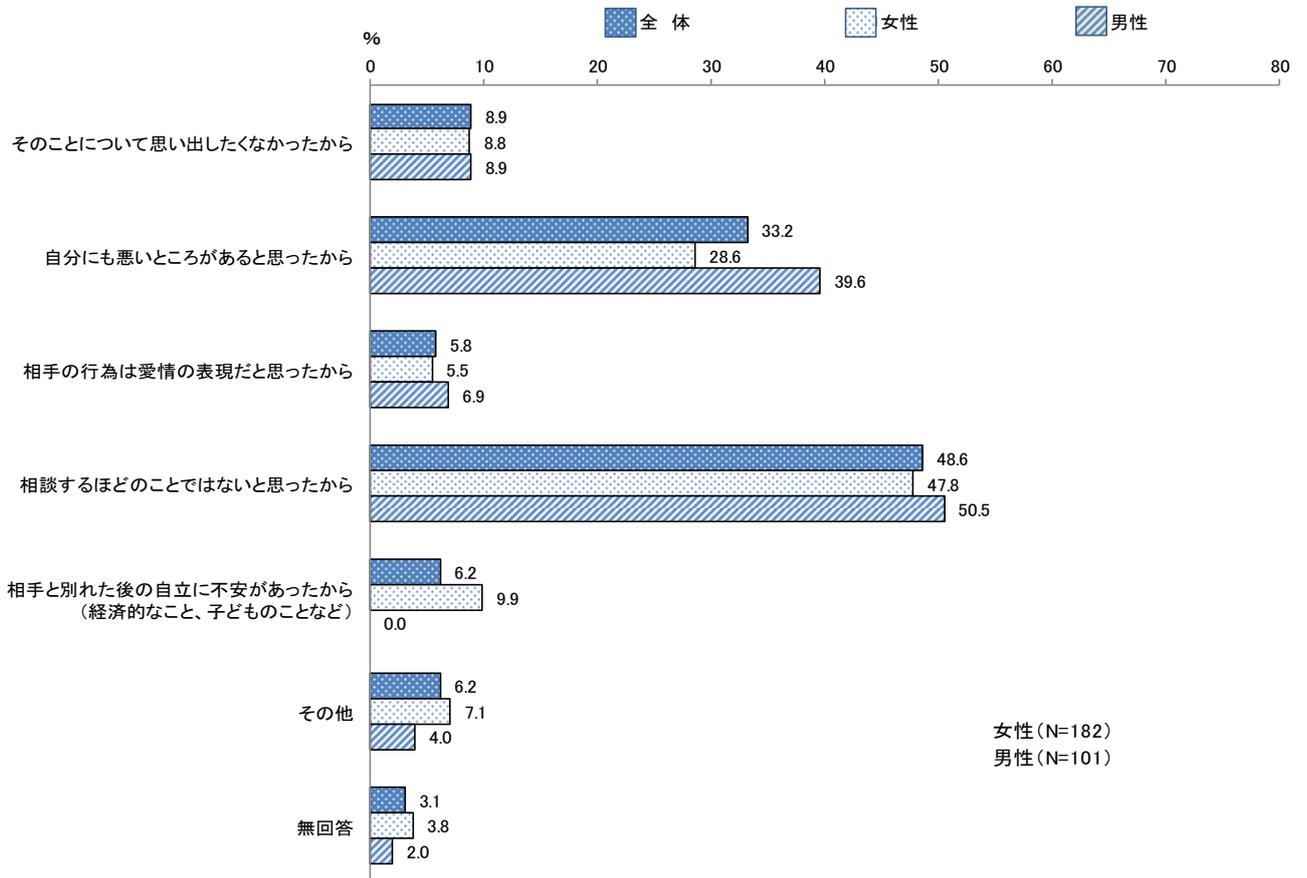
		全 体	問題が解決された	良い方向に向かった	あまり変わらなかった	かえって悪くなった	その他	無回答
全 体		128	18.0	32.0	38.3	3.1	7.8	0.8
性・年齢別	女性合計	109	16.5	33.9	37.6	2.8	8.3	0.9
	女性・18～29歳	10	20.0	40.0	30.0	0.0	10.0	0.0
	女性・30～39歳	24	12.5	20.8	45.8	0.0	20.8	0.0
	女性・40～49歳	24	16.7	41.7	33.3	4.2	4.2	0.0
	女性・50～59歳	36	19.4	30.6	41.7	0.0	5.6	2.8
	女性・60～69歳	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	女性・70歳以上	9	11.1	44.4	33.3	11.1	0.0	0.0
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	17	29.4	23.5	35.3	5.9	5.9	0.0
	男性・18～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30～39歳	8	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	男性・40～49歳	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	男性・50～59歳	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男性・60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性・70歳以上	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	6	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0
	正社員・正規職員	46	17.4	37.0	30.4	2.2	13.0	0.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	10	20.0	30.0	40.0	0.0	10.0	0.0
	公務員	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	28	25.0	25.0	39.3	3.6	7.1	0.0
	学生・生徒	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	23	4.3	39.1	47.8	4.3	0.0	4.3
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
前回調査	120	10.8	26.7	47.7	4.2	9.2	2.5	

(問9で「2 相談しなかった」と答えた方が回答)

問12 あなたが、誰(どこ)にも相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」が48.6%と最も高く、次いで「相談してもむだだと思ったから」が36.3%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が34.6%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから」では、男性(18.8%)が女性(5.5%)より13.3ポイント高い。次いで差がみられた「自分にも悪いところがあると思ったから」でも、男性(39.6%)が女性(28.6%)より11.0ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「相談してもむだだと思ったから」では、今回(36.3%)が前回(29.7%)より6.6ポイント高い。





	全 体	誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから										相手が悪いから										その他									
		誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから	相手が悪いから	その他	相手が悪いから	その他	相手が悪いから	その他	相手が悪いから	その他	相手が悪いから	その他																			
全体	292	10.3	15.1	36.3	6.2	1.0	4.5	34.6	11.6	15.4	6.2	8.9	33.2	5.8	48.6	6.2	6.2	6.2	3.1												
性・年齢別	女性合計	182	5.5	14.3	36.8	7.7	1.1	4.4	32.4	11.5	17.0	7.1	8.8	28.6	5.5	47.8	9.9	7.1	3.8												
	女性・18～29歳	9	22.2	11.1	55.6	22.2	11.1	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	44.4	33.3	55.6	11.1	11.1	0.0												
	女性・30～39歳	23	4.3	4.3	34.8	0.0	0.0	4.3	26.1	4.3	8.7	4.3	8.7	21.7	8.7	56.5	0.0	4.3	0.0												
	女性・40～49歳	30	6.7	16.7	43.3	13.3	3.3	0.0	36.7	10.0	16.7	6.7	3.3	40.0	6.7	60.0	10.0	3.3	0.0												
	女性・50～59歳	47	6.4	17.0	34.0	8.5	0.0	2.1	36.2	17.0	27.7	10.6	8.5	29.8	6.4	42.6	12.8	6.4	6.4												
	女性・60～69歳	46	4.3	15.2	39.1	4.3	0.0	8.7	28.3	10.9	17.4	6.5	13.0	26.1	0.0	39.1	13.0	10.9	2.2												
	女性・70歳以上	27	0.0	14.8	25.9	7.4	0.0	3.7	29.6	11.1	7.4	3.7	3.7	18.5	0.0	48.1	7.4	7.4	11.1												
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												
	男性合計	101	18.8	16.8	36.6	3.0	1.0	3.0	37.6	10.9	13.9	4.0	8.9	39.6	6.9	50.5	0.0	4.0	2.0												
	男性・18～29歳	4	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0												
	男性・30～39歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0												
	男性・40～49歳	26	30.8	11.5	46.2	0.0	3.8	0.0	26.9	3.8	7.7	3.8	15.4	23.1	7.7	42.3	0.0	3.8	3.8												
	男性・50～59歳	27	18.5	14.8	25.9	0.0	0.0	3.7	33.3	18.5	11.1	3.7	3.7	40.7	11.1	59.3	0.0	3.7	0.0												
	男性・60～69歳	17	5.9	23.5	35.3	5.9	0.0	5.9	47.1	5.9	17.6	5.9	5.9	52.9	5.9	52.9	0.0	5.9	0.0												
男性・70歳以上	24	12.5	16.7	33.3	4.2	0.0	0.0	50.0	16.7	25.0	0.0	12.5	54.2	0.0	54.2	0.0	0.0	4.2													
男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0													
職業	自営業またはその家族従業員	33	12.1	9.1	42.4	0.0	0.0	6.1	42.4	6.1	12.1	6.1	6.1	27.3	6.1	45.5	3.0	9.1	0.0												
	正社員・正規職員	84	14.3	16.7	41.7	8.3	1.2	3.6	32.1	13.1	13.1	9.5	6.0	29.8	8.3	52.4	4.8	6.0	2.4												
	契約社員（職員）・派遣社員（職員）	10	10.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	20.0	30.0	30.0	0.0	10.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0												
	公務員	14	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	7.1	21.4	0.0	14.3	14.3	7.1	64.3	0.0	0.0	0.0												
	パート、アルバイト、臨時雇用（職種は問いません）	54	5.6	14.8	37.0	7.4	1.9	3.7	37.0	13.0	22.2	7.4	13.0	37.0	3.7	42.6	11.1	7.4	1.9												
	学生・生徒	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0												
	家事専業（外で働いておらず、専ら家事に従事している方）	48	8.3	18.8	27.1	10.4	0.0	8.3	27.1	10.4	12.5	4.2	10.4	35.4	4.2	45.8	12.5	8.3	6.3												
	無職（外で働いておらず、家事にも従事していない方）	26	11.5	11.5	34.6	0.0	0.0	3.8	42.3	3.8	11.5	0.0	11.5	38.5	3.8	53.8	0.0	3.8	3.8												
	その他（上記のいずれにも該当しない方）	18	11.1	11.1	38.9	11.1	5.6	0.0	50.0	22.2	16.7	11.1	5.6	44.4	11.1	44.4	5.6	0.0	11.1												
	無回答	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0												
前回調査	340	13.2	16.2	29.7	2.9	0.9	3.2	31.2	10.3	16.5	3.2	6.8	36.5	4.1	45.0	5.9	4.1	-													

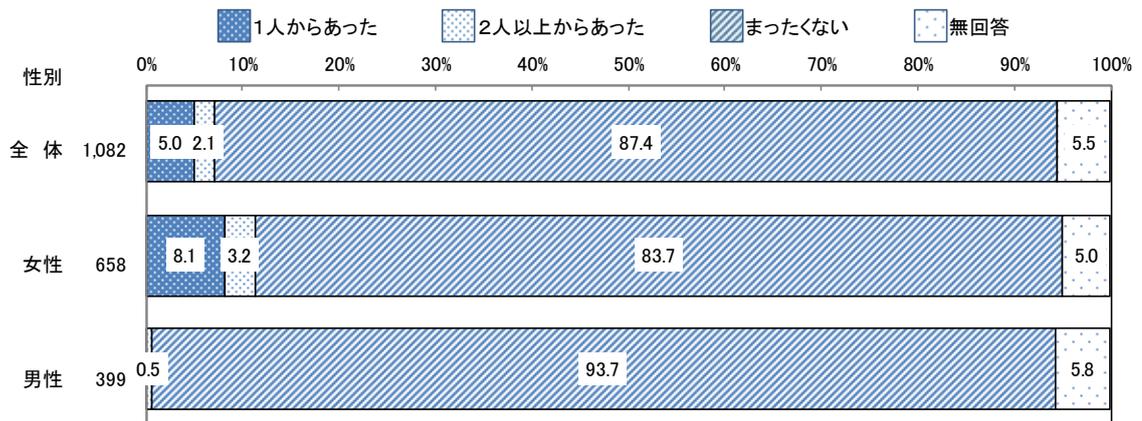
## 5. 性暴力について

(全員が回答)

問13 あなたはこれまでに、相手の性別を問わず、無理やり(暴力や脅迫を用いられたものに限りにません)に性交等(性交、肛門性交又は口腔性交)をされたことがありますか。(○は1つだけ)

- 全体では、「まったくない」が87.4%と大多数を占めた。「1人からあった」が5.0%、「2人以上からあった」は2.1%となっている。
- 性別でみると、性暴力被害「経験あり(計)※」では、女性(11.3%)が男性(0.5%)より10.8ポイント高い。

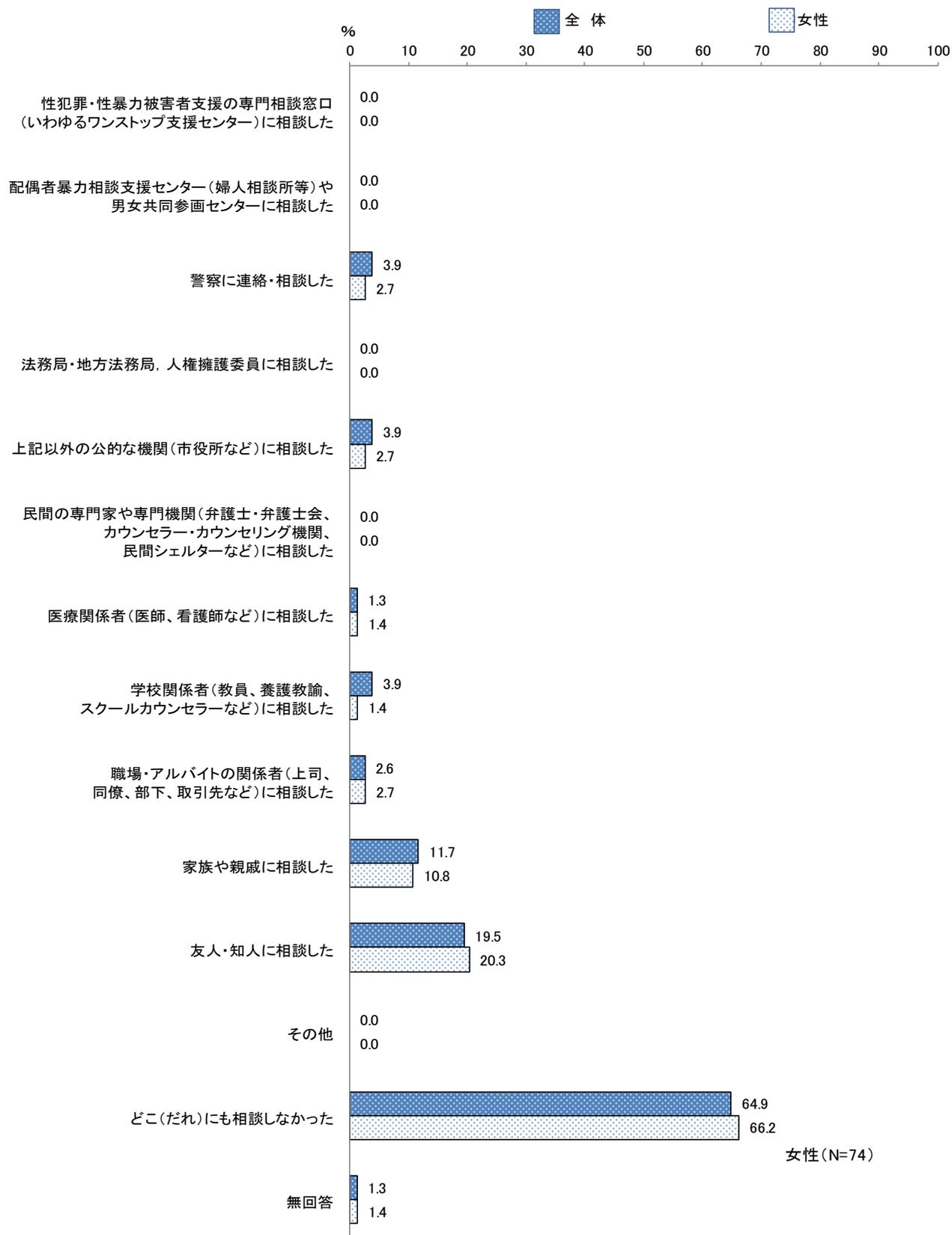
※「経験あり(計)」は、「1人からあった」と「2人以上からあった」を合算したもの。



		全体	1人からあった	2人以上からあった	まったくない	無回答
全体		1,082	5.0	2.1	87.4	5.5
性・年齢別	女性合計	658	8.1	3.2	83.7	5.0
	女性・18～29歳	57	7.0	7.0	86.0	0.0
	女性・30～39歳	98	8.2	4.1	87.8	0.0
	女性・40～49歳	122	9.0	2.5	86.9	1.6
	女性・50～59歳	152	14.5	3.9	78.9	2.6
	女性・60～69歳	107	3.7	3.7	86.9	5.6
	女性・70歳以上	120	3.3	0.0	79.2	17.5
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
性・年齢別	男性合計	399	0.0	0.5	93.7	5.8
	男性・18～29歳	22	0.0	0.0	95.5	4.5
	男性・30～39歳	42	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・40～49歳	85	0.0	1.2	91.8	7.1
	男性・50～59歳	91	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・60～69歳	73	0.0	1.4	93.2	5.5
	男性・70歳以上	85	0.0	0.0	85.9	14.1
	男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0
職業	自営業またはその家族従業員	111	2.7	0.0	94.6	2.7
	正社員・正規職員	315	5.7	1.3	90.2	2.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	2.6	0.0	94.9	2.6
	公務員	71	1.4	0.0	97.2	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	9.9	4.4	81.8	3.9
	学生・生徒	10	0.0	0.0	100.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	4.3	2.7	85.3	7.6
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	2.1	0.0	85.6	12.4
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	3.8	11.3	69.8	15.1
	無回答	21	4.8	0.0	76.2	19.0

(問13で「1 1人からあった」又は「2 2人以上からあった」と答えた方が回答)  
 問14 あなたはこれまでの被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
 (〇はいくつでも)

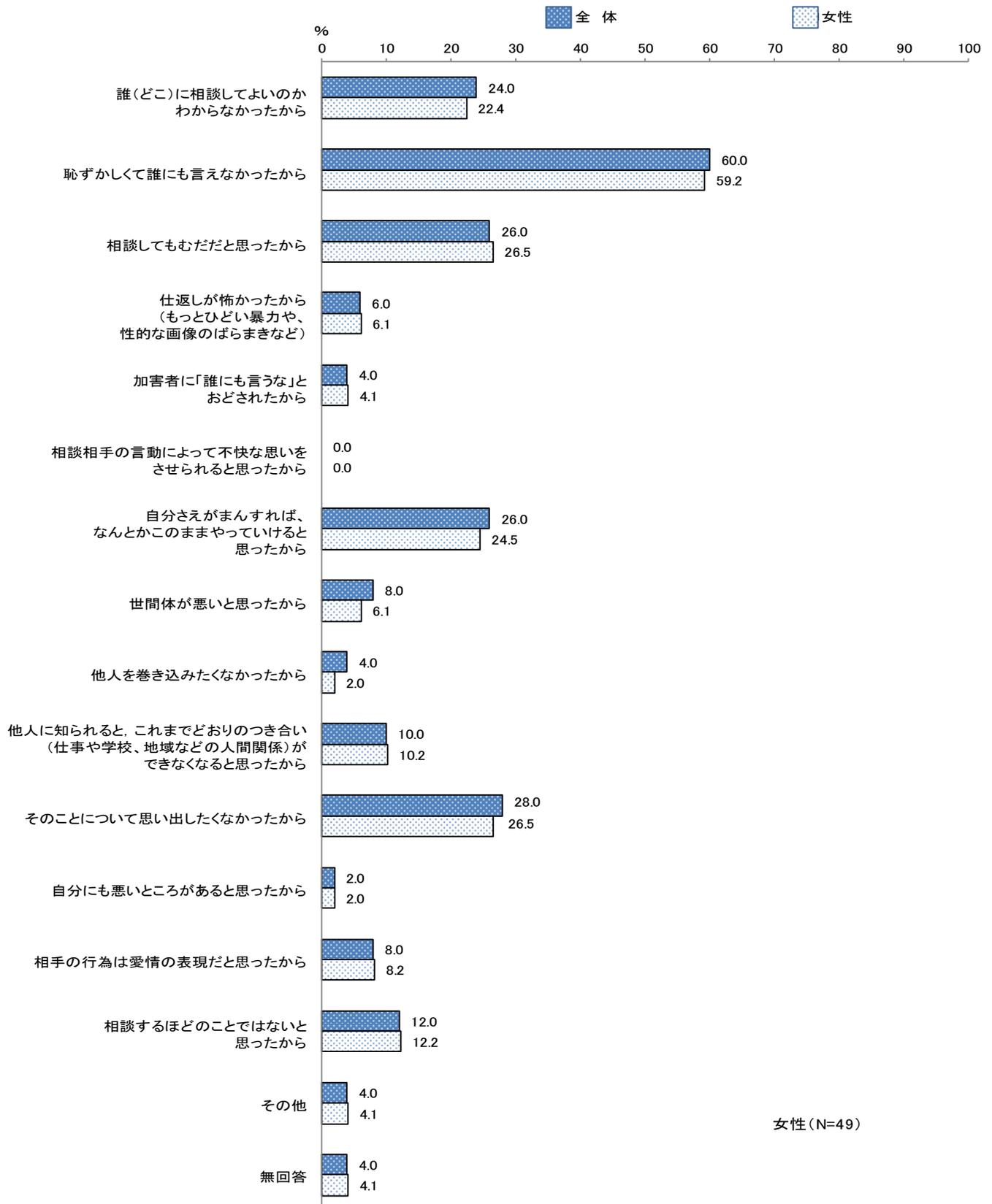
- 全体では、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が64.9%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」が19.5%、「家族や親戚に相談した」が11.7%となっている。
- 性別でみると、「どこ(だれ)にも相談しなかった」は女性(66.2%)が全体(64.9%)より1.3ポイント高い。





問14で「13 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方が回答  
 問15 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が60.0%と最も高く、次いで「そのことについて思い出したくなかったから」が28.0%、「相談してもむだだと思ったから」及び「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が26.0%となっている。
- 性別で見ると、女性では「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が59.2%と最も高い。

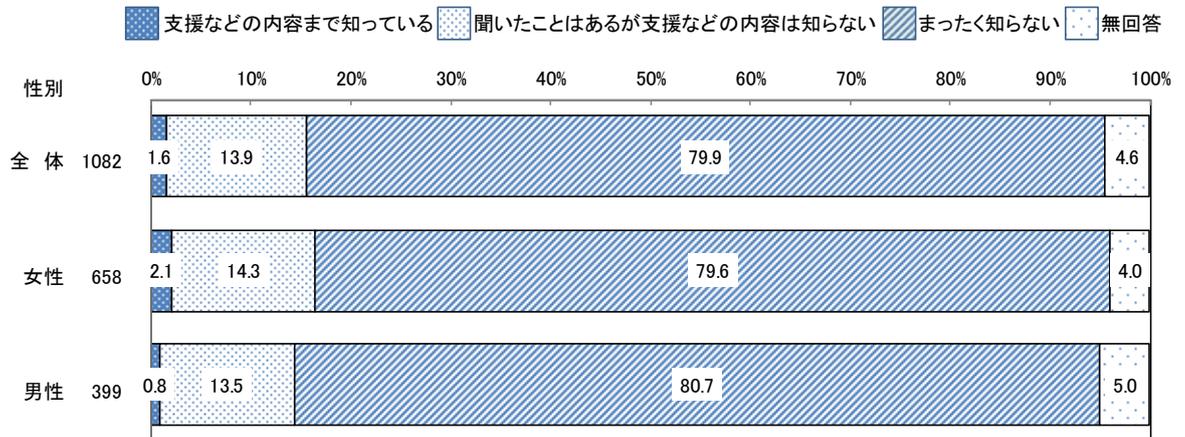


	全 体	誰 か ら な か つ た か ら	誰 か し く て 誰 に も 言 え な か つ た か ら	恥 ず か し く て 誰 に も 言 え な か つ た か ら	相 談 し て も む だ だ と 思 つ た か ら	仕 返 し が 怖 か つ た か ら (も っ と ひ ど い 暴 力 や 、 性 的 な 画 像 の ば ら ま き な ど)	加 害 者 に 「 誰 に も 言 う な 」 と お ど さ れ た か ら	相 談 相 手 の 言 動 に よ つ て 不 快 な 思 い を さ せ ら れ る と 思 つ た か ら	自 分 さ え が ま ん ず れ ば 、 な ん と か こ の ま ま や つ つ て い け る と 思 つ た か ら	世 間 体 が 悪 い と 思 つ た か ら	他 人 を 巻 き 込 み た く な か つ た か ら	思 事 や 学 校 、 地 域 な ど の 人 間 関 係 が で き な く な る と	他 人 に 知 ら れ る と 、 こ れ ま で お り の つ き 合 い と	そ の こ と に つ い て 思 い 出 し た く な か つ た か ら	自 分 に も 悪 い と こ ろ が あ る と 思 つ た か ら	相 手 の 行 為 は 愛 情 の 表 現 だ と 思 つ た か ら	相 談 す る ほ ど の こ と で は な い と 思 つ た か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	50	24.0	60.0	26.0	6.0	4.0	0.0	26.0	8.0	4.0	10.0	28.0	2.0	8.0	12.0	4.0	4.0		
性・年齢別	女性合計	49	22.4	59.2	26.5	6.1	4.1	0.0	24.5	6.1	2.0	10.2	26.5	2.0	8.2	12.2	4.1	4.1	
	女性・18～29歳	5	60.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性・30～39歳	7	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	
	女性・40～49歳	9	22.2	77.8	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	
	女性・50～59歳	19	21.1	63.2	31.6	10.5	0.0	0.0	21.1	10.5	0.0	10.5	26.3	5.3	10.5	10.5	5.3	0.0	
	女性・60～69歳	6	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	
	女性・70歳以上	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性合計	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・18～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・40～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・50～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
男性・60～69歳	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
男性・70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職 業	自営業またはその家族従業員	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	正社員・正規職員	13	7.7	76.9	30.8	0.0	0.0	0.0	38.5	0.0	0.0	7.7	23.1	0.0	7.7	23.1	7.7	0.0	
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	公務員	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	17	41.2	47.1	11.8	5.9	5.9	0.0	11.8	11.8	5.9	5.9	11.8	0.0	17.6	5.9	0.0	5.9	
	学生・生徒	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	9	22.2	55.6	44.4	22.2	11.1	0.0	44.4	11.1	0.0	22.2	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	7	14.3	71.4	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(全員が回答)

問16 あなたは、「おおいた性暴力救援センター・すみれ」を知っていますか。(○は1つだけ)

- 全体では、「まったく知らない」が79.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが支援などの内容は知らない」が13.9%となり、「支援などの内容まで知っている」は1.6%であった。
- 性別でみると、大きな差はみられない。



		全体	支援などの内容まで知っている	聞いたことはあるが支援などの内容は知らない	まったく知らない	無回答
全体		1,082	1.6	13.9	79.9	4.6
性・年齢別	女性合計	658	2.1	14.3	79.6	4.0
	女性・18～29歳	57	1.8	12.3	84.2	1.8
	女性・30～39歳	98	2.0	11.2	86.7	0.0
	女性・40～49歳	122	4.1	13.1	78.7	4.1
	女性・50～59歳	152	2.0	17.8	79.6	0.7
	女性・60～69歳	107	0.9	12.1	81.3	5.6
	女性・70歳以上	120	0.8	16.7	71.7	10.8
	女性・無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性合計	399	0.8	13.5	80.7	5.0
	男性・18～29歳	22	0.0	4.5	95.5	0.0
	男性・30～39歳	42	0.0	11.9	83.3	4.8
	男性・40～49歳	85	1.2	15.3	80.0	3.5
	男性・50～59歳	91	2.2	17.6	79.1	1.1
	男性・60～69歳	73	0.0	12.3	80.8	6.8
男性・70歳以上	85	0.0	11.8	77.6	10.6	
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	0.9	16.2	78.4	4.5
	正社員・正規職員	315	1.3	12.7	83.5	2.5
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	2.6	12.8	79.5	5.1
	公務員	71	4.2	21.1	73.2	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	1.7	13.3	81.8	3.3
	学生・生徒	10	10.0	20.0	70.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	2.2	14.1	77.7	6.0
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	0.0	13.4	80.4	6.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	0.0	13.2	73.6	13.2
	無回答	21	0.0	0.0	81.0	19.0

## 6. 人権について

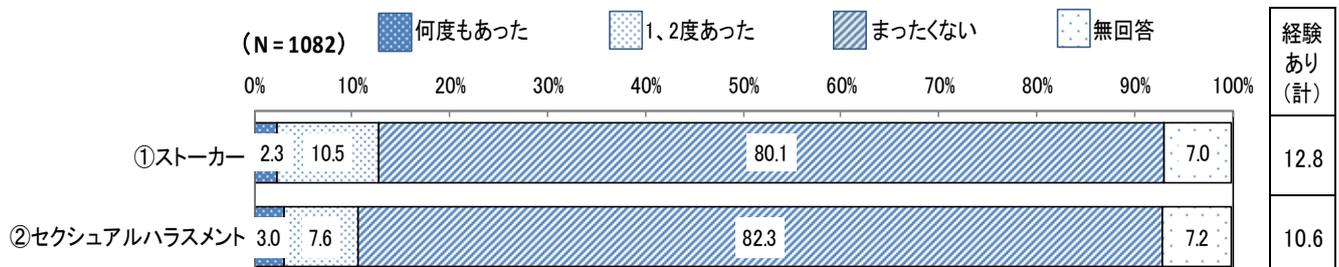
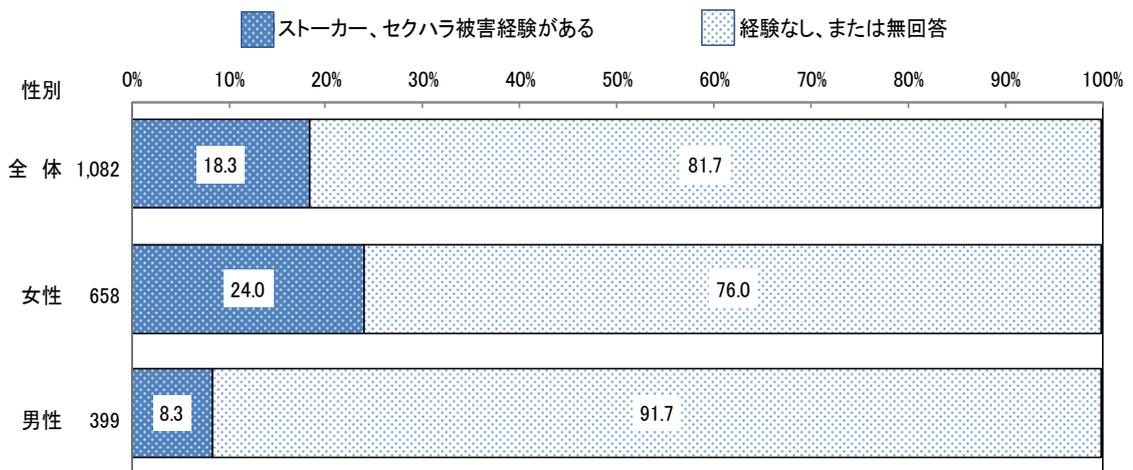
(全員が回答)

問17 あなたはこれまでに、次の①～②のようなことを受けたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

- ストーカー・セクシュアルハラスメントのいずれかの行為を1度でも受けたことがある経験者は、全体では18.3%となった。
- 性別で見ると、「ストーカー、セクハラ被害経験がある」女性は24.0%、男性は8.3%となっている。
- 形態別で見ると、「経験あり(計)※」は「ストーカー」では12.8%、「セクシュアルハラスメント」では10.6%となった。

※「経験あり(計)」は、「何度もあった」と「1、2度あった」を合算したもの。

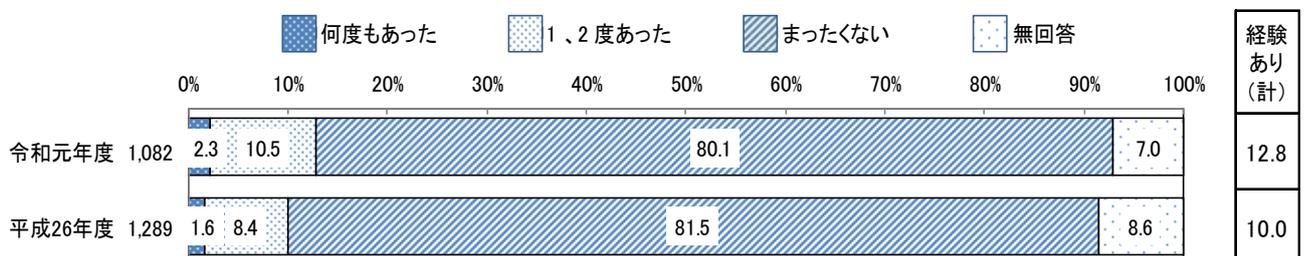
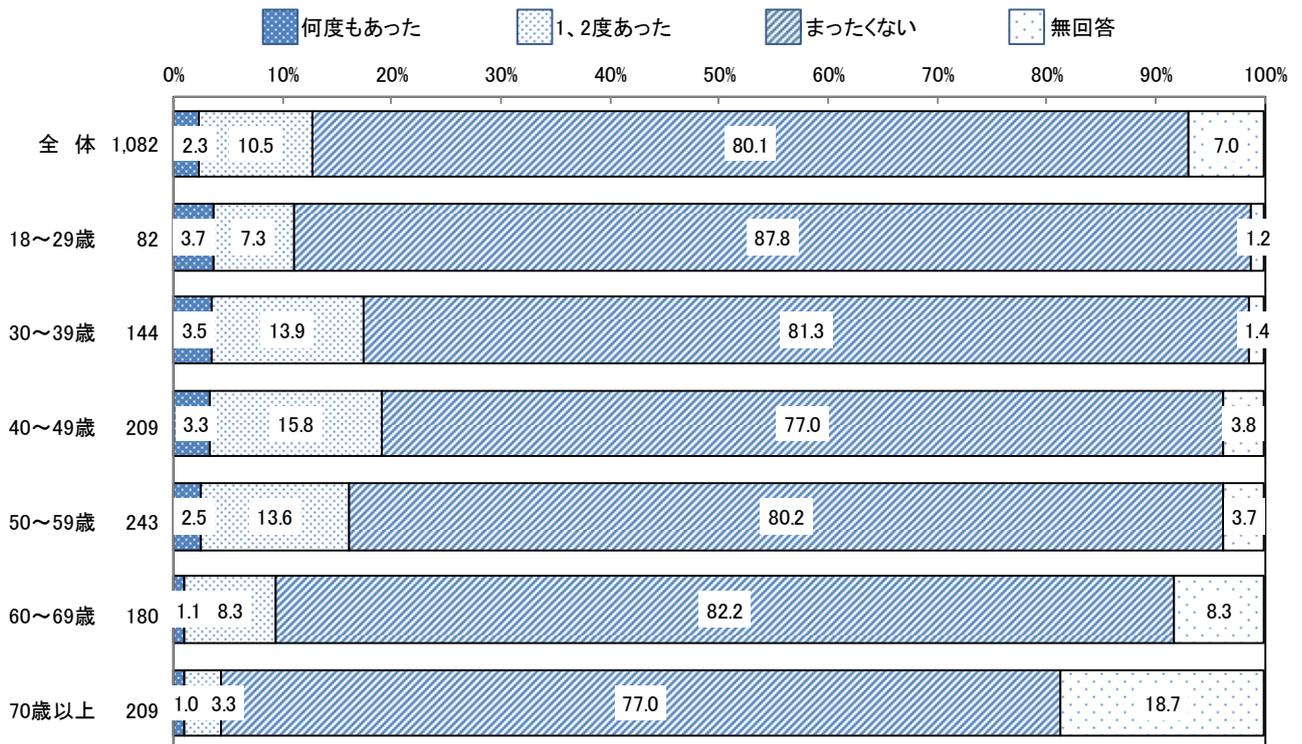
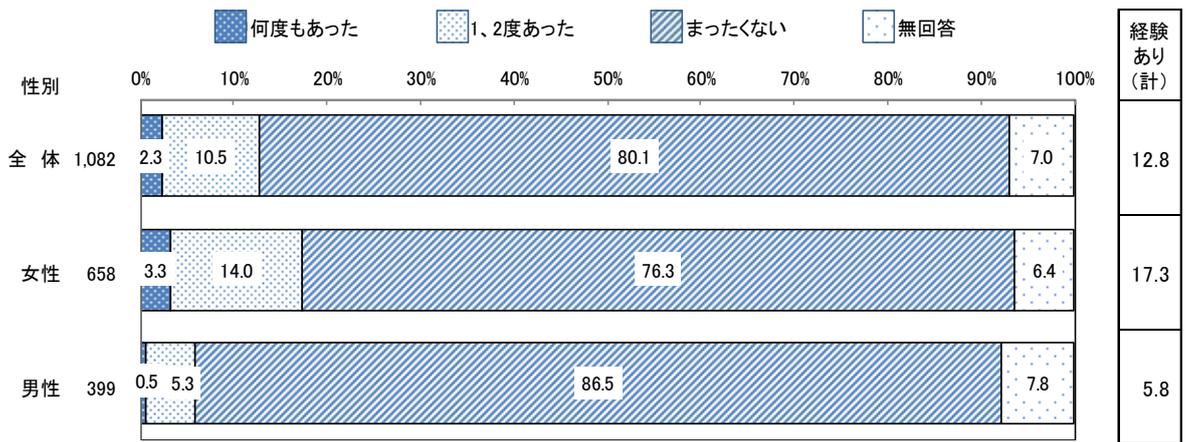
### 被害経験



①ストーカー つきまといや待ち伏せ、押し掛けたりされる。メールを毎日何十通も送りつける。

無言電話、面会・交際の要求 など

- 全体では、「まったくない」が80.1%と最も高く、次いで「1、2度あった」が10.5%、「何度もあった」が2.3%となっている。
- 性別で見ると、1度でもストーカーを受けたことがあるという回答は、女性が17.3%、男性が5.8%となっている。
- 前回調査と比較すると、1度でもストーカーを受けたことがあるという回答は、今回(12.8%)が前回(10.0%)より2.8ポイント高い。



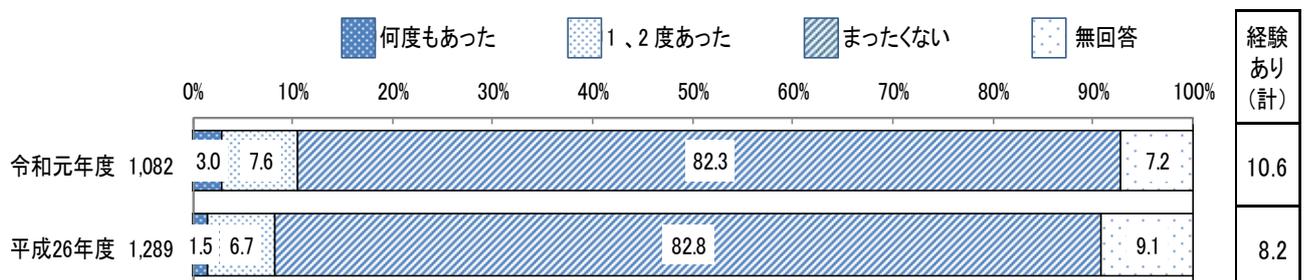
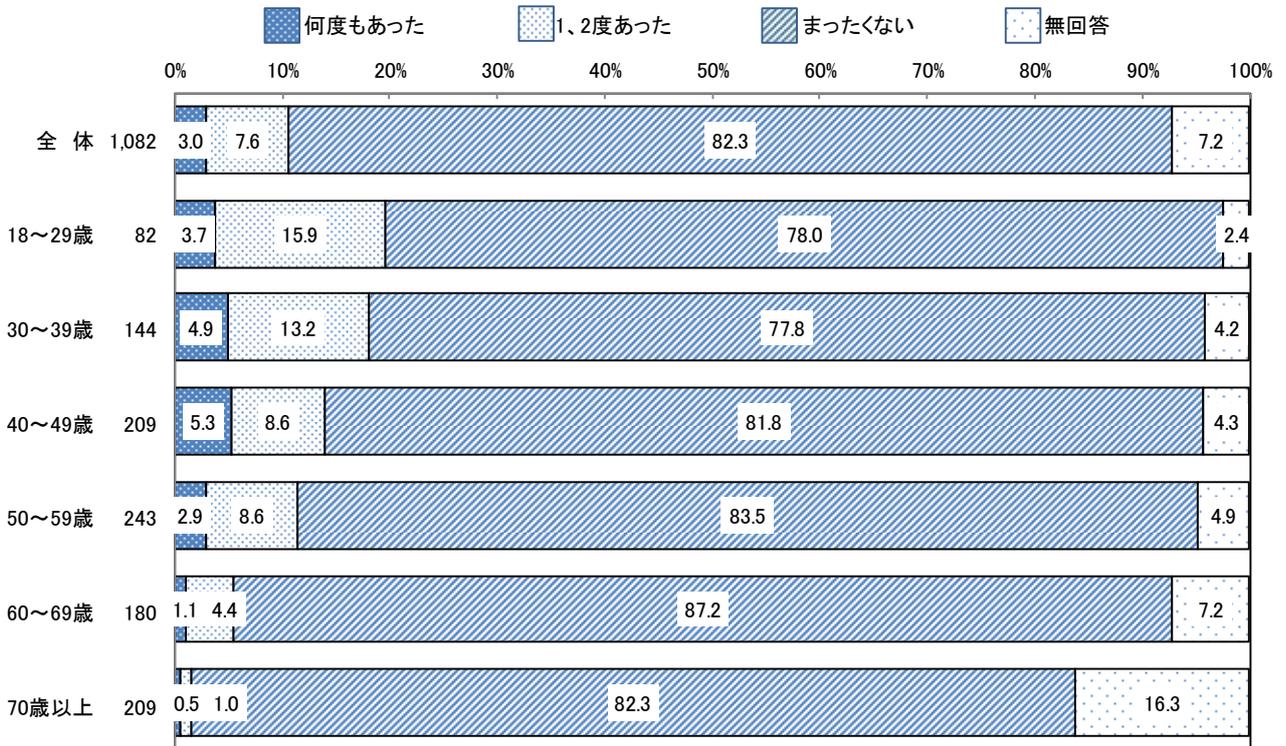
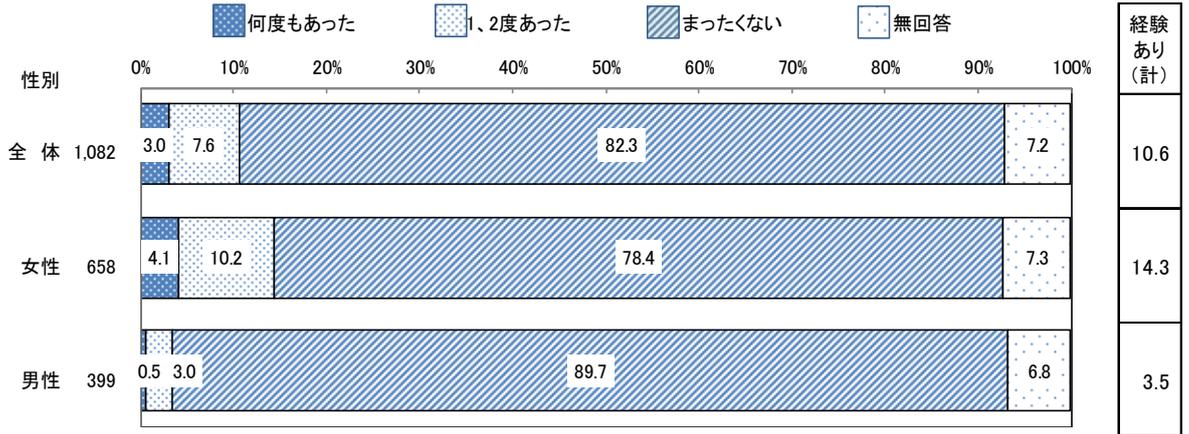
		全 体	何度もあった	1、2度 あった	まったくない	無回答
全 体		1,082	2.3	10.5	80.1	7.0
性・年齢別	女性合計	658	3.3	14.0	76.3	6.4
	女性・18～29歳	57	5.3	10.5	84.2	0.0
	女性・30～39歳	98	5.1	18.4	74.5	2.0
	女性・40～49歳	122	4.1	17.2	73.8	4.9
	女性・50～59歳	152	3.9	19.1	73.0	3.9
	女性・60～69歳	107	1.9	12.1	81.3	4.7
	女性・70歳以上	120	0.8	4.2	75.8	19.2
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性合計	399	0.5	5.3	86.5	7.8
	男性・18～29歳	22	0.0	0.0	95.5	4.5
	男性・30～39歳	42	0.0	4.8	95.2	0.0
	男性・40～49歳	85	2.4	12.9	82.4	2.4
	男性・50～59歳	91	0.0	4.4	92.3	3.3
	男性・60～69歳	73	0.0	2.7	83.6	13.7
	男性・70歳以上	85	0.0	2.4	80.0	17.6
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	111	0.9	7.2	85.6	6.3
	正社員・正規職員	315	3.8	14.0	79.0	3.2
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	0.0	17.9	74.4	7.7
	公務員	71	0.0	4.2	94.4	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	1.7	13.3	81.8	3.3
	学生・生徒	10	0.0	10.0	80.0	10.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	3.3	9.2	76.6	10.9
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	1.0	3.1	78.4	17.5
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	3.8	11.3	71.7	13.2
	無回答	21	0.0	4.8	76.2	19.0
前回調査		1,289	1.6	8.4	81.5	8.6

②セクシュアルハラスメント

結婚や出産など、プライベートなことについてしつこく言う。

地位や権限を利用して、性的関係を迫ってくる。性的な話や冗談、性的な内容の手紙やメール、電話をしてくる など

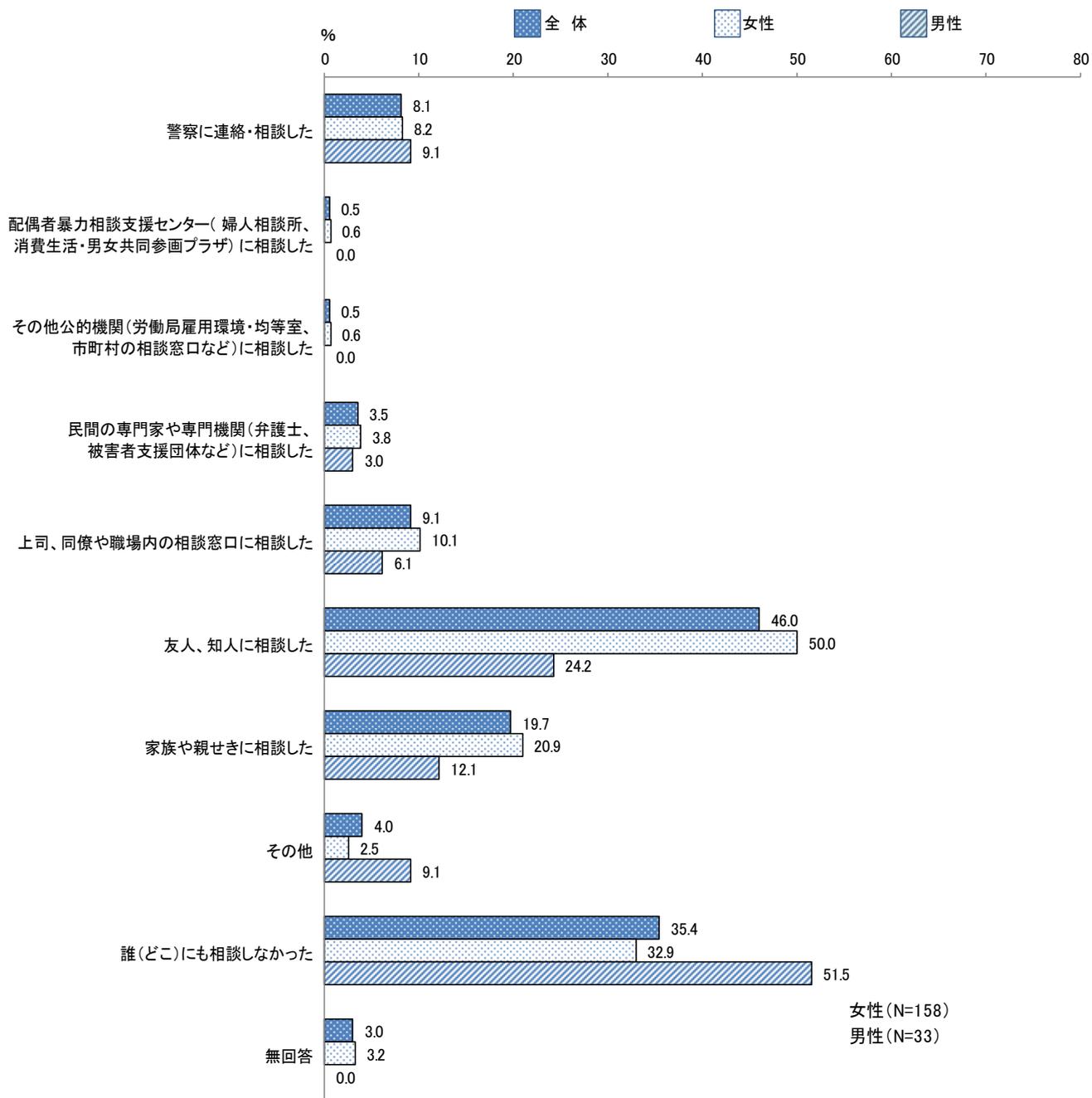
- 全体では、「まったくない」が 82.3%と最も高く、次いで「1、2度あった」が 7.6%、「何度もあった」が 3.0%となっている。
- 性別でみると、1 度でもセクシュアルハラスメントを受けたことがあるという回答は、女性が 14.3%、男性が 3.5%となっている
- 前回調査と比較すると、1 度でもストーカーを受けたことがあるという回答は、今回(10.6%)が前回(8.2%)より 2.4ポイント高い。

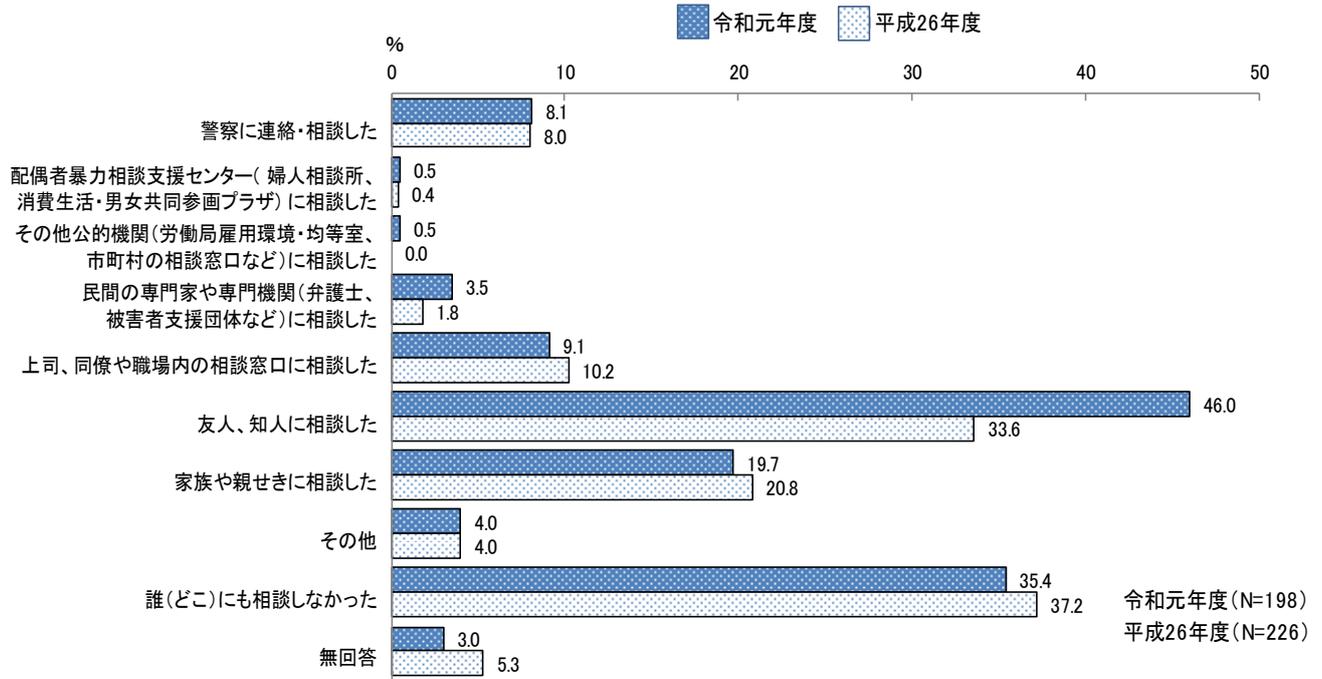


		全 体	何度もあった	1、2度 あった	まったくない	無回答
全 体		1,082	3.0	7.6	82.3	7.2
性・年齢別	女性合計	658	4.1	10.2	78.4	7.3
	女性・18～29歳	57	3.5	22.8	71.9	1.8
	女性・30～39歳	98	7.1	16.3	70.4	6.1
	女性・40～49歳	122	8.2	9.8	78.7	3.3
	女性・50～59歳	152	3.9	13.2	77.0	5.9
	女性・60～69歳	107	1.9	4.7	87.9	5.6
	女性・70歳以上	120	0.0	0.8	80.8	18.3
	女性・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性合計	399	0.5	3.0	89.7	6.8
	男性・18～29歳	22	0.0	0.0	95.5	4.5
	男性・30～39歳	42	0.0	4.8	95.2	0.0
	男性・40～49歳	85	1.2	5.9	87.1	5.9
	男性・50～59歳	91	1.1	1.1	94.5	3.3
	男性・60～69歳	73	0.0	4.1	86.3	9.6
	男性・70歳以上	85	0.0	1.2	85.9	12.9
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	111	0.9	5.4	87.4	6.3
	正社員・正規職員	315	3.5	11.1	81.3	4.1
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	2.6	12.8	79.5	5.1
	公務員	71	2.8	4.2	93.0	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	3.3	8.8	82.9	5.0
	学生・生徒	10	10.0	10.0	70.0	10.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	3.3	5.4	80.4	10.9
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	1.0	2.1	81.4	15.5
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	3.8	1.9	79.2	15.1
	無回答	21	4.8	14.3	66.7	14.3
前回調査		1,289	1.5	6.7	82.8	9.1

(問17で1つでも「何度もあった」または「1、2度あった」と答えた方が回答)  
 問18 あなたは、その受けた行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
 (〇はいくつでも)

- 「友人、知人に相談した」が46.0%と最も高く、次いで「誰(どこ)にも相談しなかった」が35.4%、「家族や親せきに相談した」が19.7%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「友人、知人に相談した」では、女性(50.0%)が男性(24.2%)より25.8ポイント高い。次いで差がみられた「誰(どこ)にも相談しなかった」では、男性(51.5%)が女性(32.9%)より18.6ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「友人、知人に相談した」では、今回(46.0%)が前回(33.6%)より12.4ポイント高い。他の項目では大きな差はみられない。



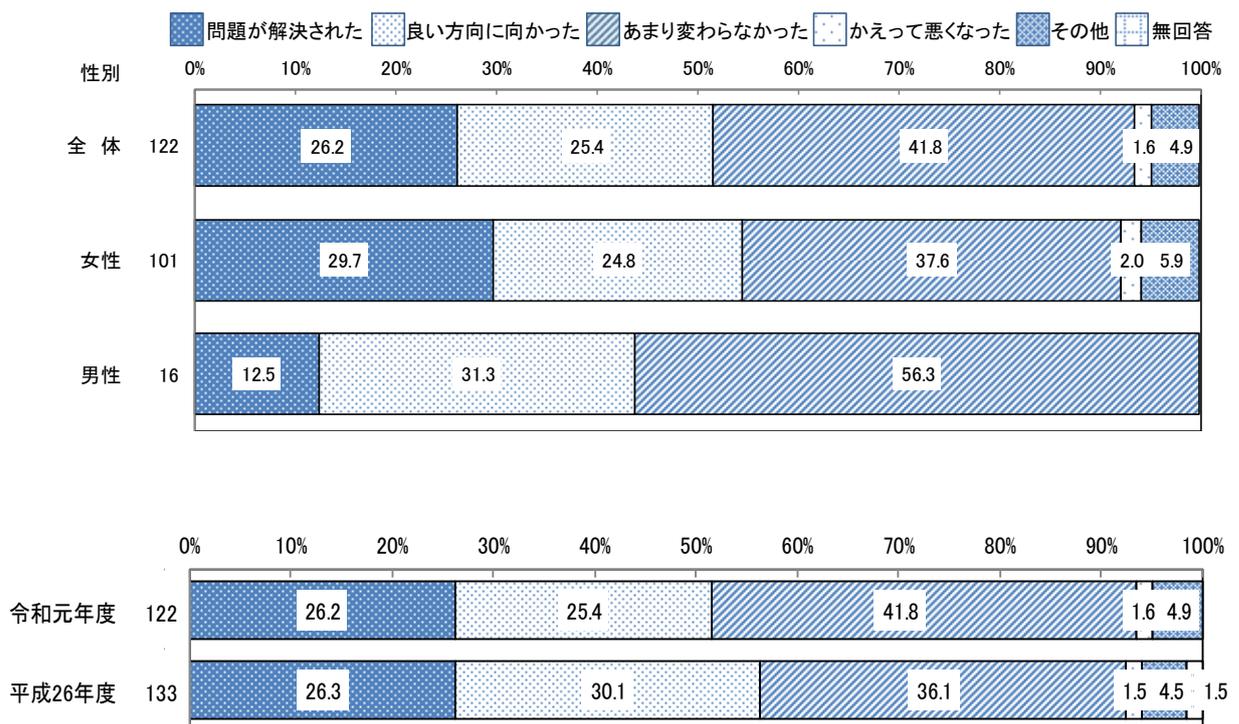


		全 体	警 察 に 連 絡 ・ 相 談 し た	共 同 参 画 プ ラ ザ に 相 談 し た	配 偶 者 暴 力 相 談 支 援 セ ン タ ー に 相 談 し た	其 他 公 的 機 関 ( 労 働 局 雇 用 環 境 ・ 均 等 室 、 市 町 村 の 相 談 窓 口 な ど に 相 談 し た	民 間 の 専 門 家 や 専 門 機 関 ( 弁 護 士 、 被 害 者 支 援 団 体 な ど に 相 談 し た	上 司 、 同 僚 や 職 場 内 の 相 談 窓 口 に 相 談 し た	友 人 、 知 人 に 相 談 し た	家 族 や 親 せ き に 相 談 し た	其 他	誰 ( ど こ ) に も 相 談 し な か っ た	無 回 答
全 体		198	8.1	0.5	0.5	3.5	9.1	46.0	19.7	4.0	35.4	3.0	
性・年齢別	女性合計	158	8.2	0.6	0.6	3.8	10.1	50.0	20.9	2.5	32.9	3.2	
	女性・18～29歳	19	15.8	0.0	0.0	0.0	5.3	42.1	36.8	10.5	31.6	5.3	
	女性・30～39歳	36	8.3	0.0	0.0	8.3	11.1	61.1	22.2	2.8	22.2	5.6	
	女性・40～49歳	38	7.9	2.6	0.0	5.3	21.1	63.2	23.7	0.0	26.3	0.0	
	女性・50～59歳	43	4.7	0.0	0.0	2.3	4.7	41.9	14.0	2.3	41.9	2.3	
	女性・60～69歳	16	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	25.0	12.5	0.0	56.3	0.0	
	女性・70歳以上	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性合計	33	9.1	0.0	0.0	3.0	6.1	24.2	12.1	9.1	51.5	0.0	
	男性・18～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
男性・30～39歳	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0		
男性・40～49歳	16	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0	12.5	6.3	50.0	0.0		
男性・50～59歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	66.7	0.0		
男性・60～69歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0		
男性・70歳以上	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0		
男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職 業	自営業またはその家族従業員	12	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3	33.3	8.3	8.3	58.3	0.0	
	正社員・正規職員	83	8.4	1.2	0.0	3.6	13.3	49.4	18.1	1.2	34.9	1.2	
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	9	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	22.2	0.0	22.2	0.0	
	公務員	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	66.7	0.0	
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	38	5.3	0.0	0.0	2.6	13.2	55.3	26.3	5.3	23.7	5.3	
	学生・生徒	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	28	10.7	0.0	3.6	0.0	0.0	46.4	25.0	7.1	25.0	7.1	
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	25.0	0.0	50.0	0.0	
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	
前回調査	226	8.0	0.4	0.0	1.8	10.2	33.6	20.8	4.0	37.2	5.3		

(問18で、1～8のどれかに○をつけた方が回答)

問19 相談した結果、状況はどうなりましたか。(○は1つだけ)

- 全体では、「あまり変わらなかった」が41.8%と最も高く、次いで「問題が解決された」が26.2%、「良い方向に向かった」が25.4%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「あまり変わらなかった」では、男性(56.3%)が女性(37.6%)より18.7ポイント高い。次いで差がみられた「問題が解決された」では、女性(29.7%)が男性(12.5%)より17.2ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「あまり変わらなかった」では、今回(41.8%)が前回(36.1%)より5.7ポイント高い。

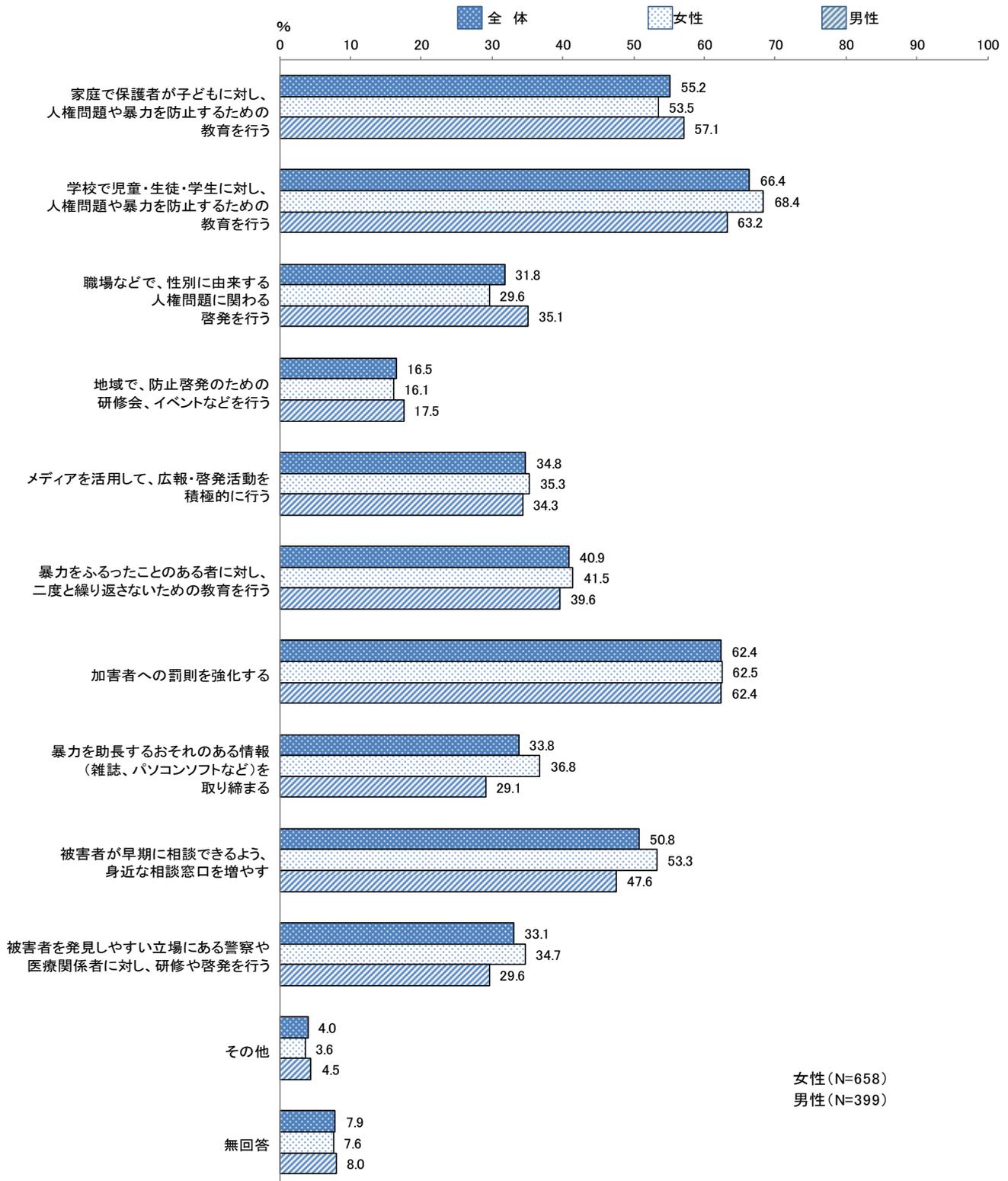


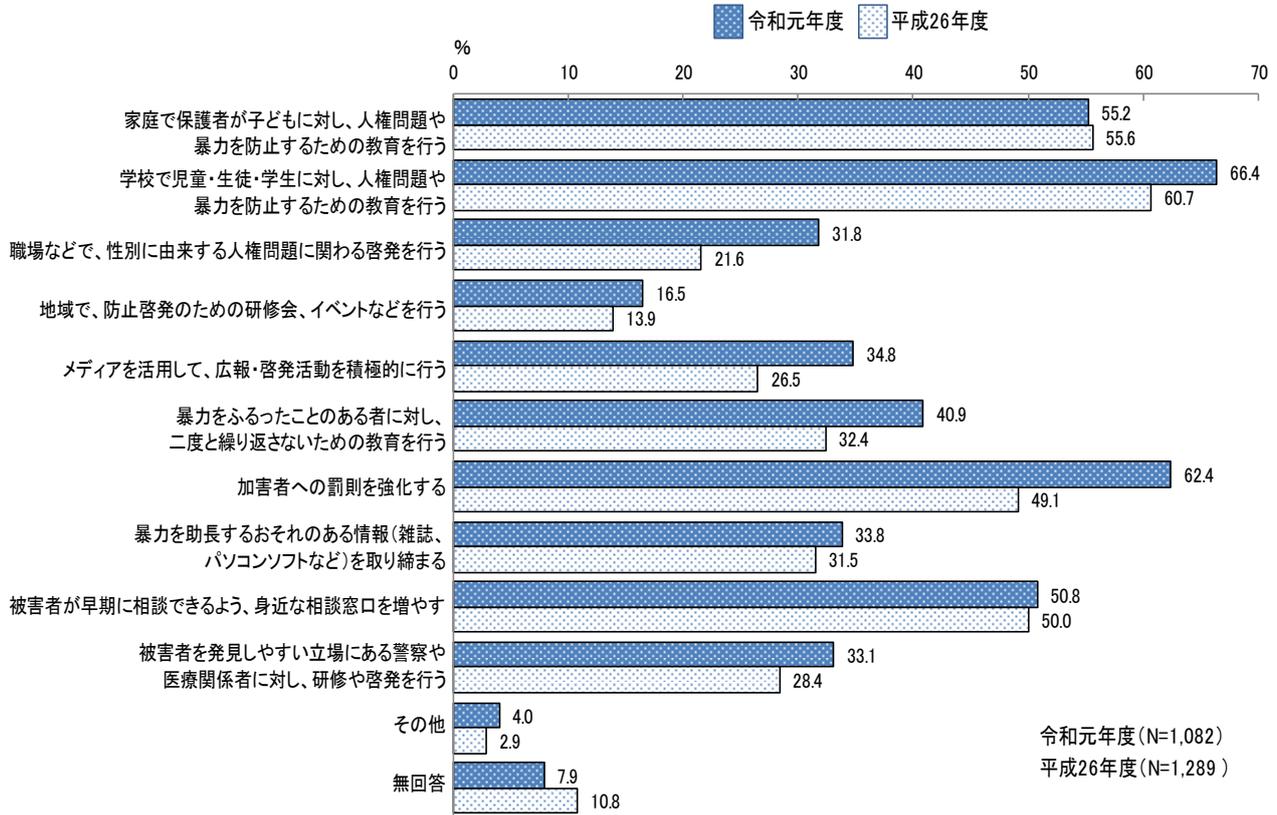
		全 体	問題が解決 された	良い方向に 向かった	あまり変わら なかった	かえって 悪くなった	その他	無回答
全 体		122	26.2	25.4	41.8	1.6	4.9	0.0
性・ 年 齢 別	女性合計	101	29.7	24.8	37.6	2.0	5.9	0.0
	女性・18～29歳	12	33.3	16.7	41.7	0.0	8.3	0.0
	女性・30～39歳	26	34.6	23.1	30.8	0.0	11.5	0.0
	女性・40～49歳	28	28.6	32.1	32.1	3.6	3.6	0.0
	女性・50～59歳	24	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	女性・60～69歳	7	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0
	女性・70歳以上	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	16	12.5	31.3	56.3	0.0	0.0	0.0
	男性・18～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30～39歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男性・40～49歳	8	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0
	男性・50～59歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・60～69歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性・70歳以上	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	
男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	正社員・正規職員	53	26.4	26.4	43.4	1.9	1.9	0.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	7	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	公務員	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	27	37.0	25.9	29.6	0.0	7.4	0.0
	学生・生徒	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	19	15.8	15.8	57.9	5.3	5.3	0.0
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
前回調査	133	26.3	30.1	36.1	1.5	4.5	1.5	

(全員が回答)

問20 性犯罪、売買春(援助交際を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の暴力をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「学校で児童・生徒・学生に対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う」が66.4%と最も高く、次いで「加害者への罰則を強化する」が62.4%、「家庭で保護者が子どもに対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う」が55.2%となっている。
- 性別で見ると、女性も男性も上位3位は全体と同じ項目となっている。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「加害者への罰則を強化する」では、今回(62.4%)が前回(49.1%)より13.3ポイント高い。



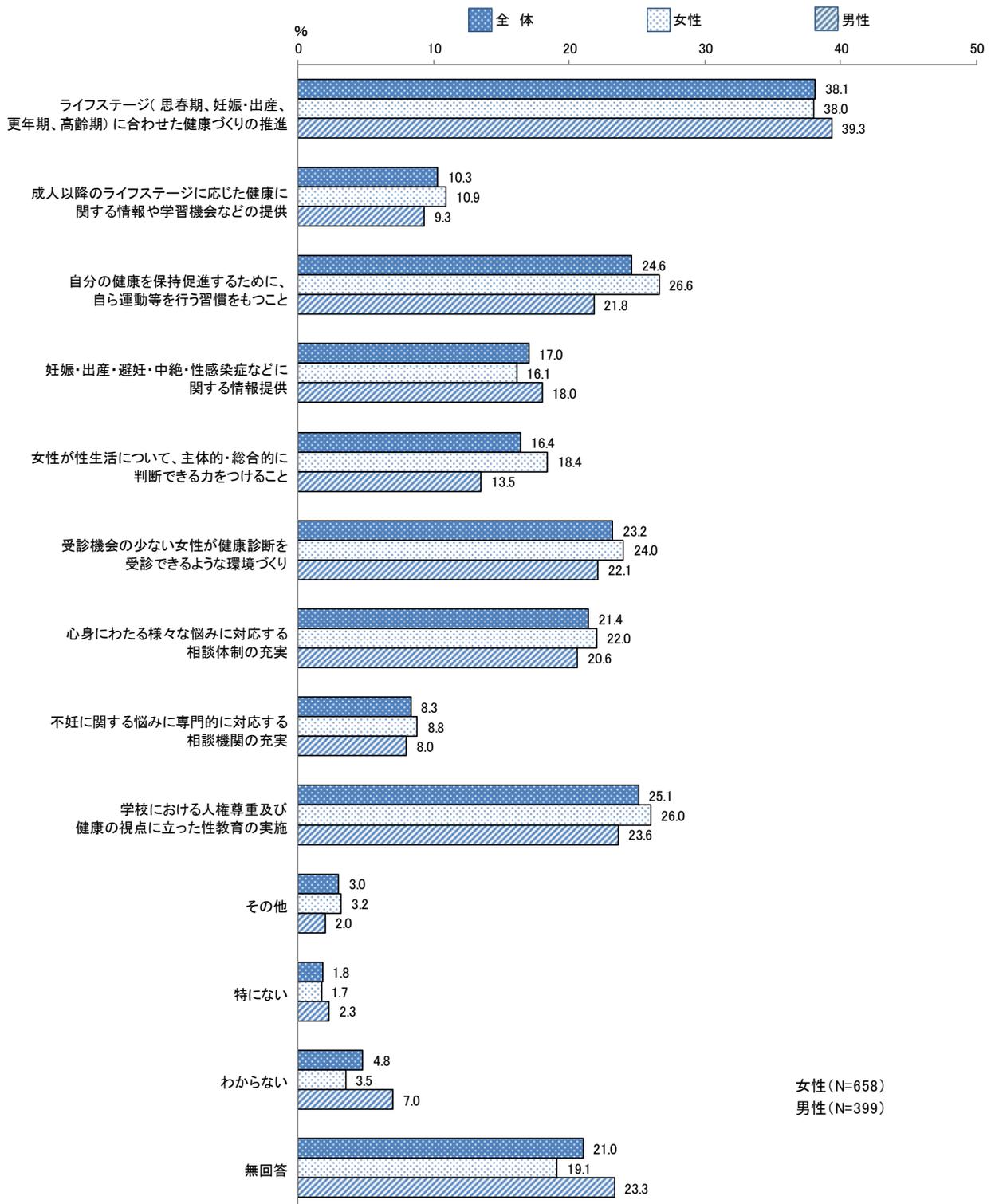


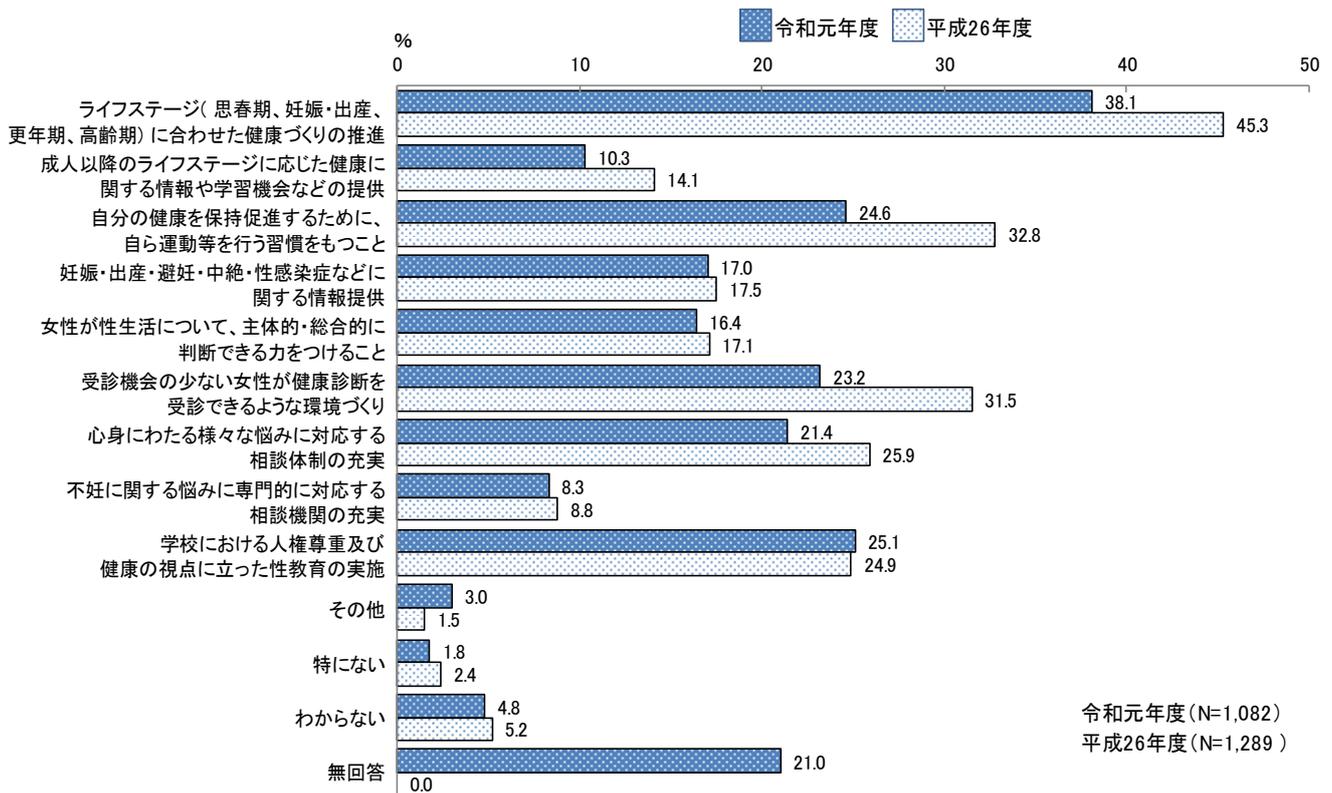
	全体	実施内容												
		家庭での教育	学校での教育	職場での啓発	地域での啓発	メディア活用	加害者への罰則強化	情報取り締まり	相談窓口増設	警察・医療関係者への啓発	その他	無回答		
全体	1,082	55.2	66.4	31.8	16.5	34.8	40.9	62.4	33.8	50.8	33.1	4.0	7.9	
性・年齢別	女性合計	658	53.5	68.4	29.6	16.1	35.3	41.5	62.5	36.8	53.3	3.6	7.6	
	女性・18～29歳	57	54.4	71.9	33.3	21.1	35.1	36.8	68.4	21.1	59.6	5.3	3.5	
	女性・30～39歳	98	53.1	70.4	26.5	14.3	42.9	44.9	77.6	31.6	52.0	10.2	2.0	
	女性・40～49歳	122	59.8	73.8	40.2	16.4	43.4	52.5	73.0	41.8	46.7	4.9	1.6	
	女性・50～59歳	152	59.2	73.7	34.2	19.7	42.1	46.7	67.8	39.5	57.9	34.9	0.7	3.9
	女性・60～69歳	107	53.3	70.1	27.1	14.0	25.2	33.6	50.5	42.1	61.7	29.0	2.8	7.5
	女性・70歳以上	120	40.0	51.7	16.7	11.7	20.0	30.0	40.8	35.0	45.8	20.0	0.8	25.0
	女性・無回答	2	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性合計	399	57.1	63.2	35.1	17.5	34.3	39.6	62.4	29.1	47.6	29.6	4.5	8.0
	男性・18～29歳	22	50.0	63.6	54.5	22.7	36.4	36.4	68.2	13.6	54.5	45.5	13.6	4.5
	男性・30～39歳	42	47.6	54.8	26.2	9.5	31.0	38.1	76.2	9.5	45.2	28.6	9.5	2.4
	男性・40～49歳	85	65.9	68.2	34.1	18.8	27.1	43.5	67.1	25.9	43.5	28.2	5.9	5.9
	男性・50～59歳	91	64.8	65.9	40.7	19.8	42.9	50.5	61.5	35.2	52.7	29.7	1.1	5.5
	男性・60～69歳	73	53.4	64.4	28.8	20.5	34.2	32.9	58.9	35.6	43.8	30.1	1.4	12.3
男性・70歳以上	85	50.6	58.8	35.3	14.1	34.1	31.8	54.1	34.1	49.4	27.1	3.5	12.9	
男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	56.8	64.0	25.2	16.2	36.9	41.4	62.2	41.4	51.4	35.1	3.6	9.0
	正社員・正規職員	315	57.1	67.0	34.0	17.8	34.6	41.0	68.3	27.6	52.1	35.2	5.1	4.4
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	59.0	66.7	33.3	28.2	43.6	51.3	59.0	41.0	51.3	41.0	5.1	2.6
	公務員	71	62.0	77.5	45.1	22.5	42.3	49.3	71.8	35.2	46.5	31.0	4.2	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	54.7	67.4	32.0	14.9	36.5	43.6	69.6	43.6	53.0	38.1	2.8	4.4
	学生・生徒	10	60.0	70.0	30.0	0.0	40.0	40.0	70.0	30.0	50.0	30.0	20.0	10.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	53.8	66.8	27.2	12.5	28.8	36.4	50.5	33.2	48.9	22.3	3.3	16.8
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	48.5	59.8	29.9	12.4	32.0	36.1	50.5	27.8	45.4	29.9	3.1	10.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	45.3	60.4	34.0	26.4	35.8	37.7	52.8	32.1	56.6	35.8	1.9	11.3
	無回答	21	57.1	61.9	28.6	9.5	33.3	33.3	66.7	23.8	52.4	42.9	4.8	14.3
前回調査	1,289	55.6	60.7	21.6	13.9	26.5	32.4	49.1	31.5	50.0	28.4	2.9	10.8	

(全員が回答)

問2 1 妊娠・出産を担う女性は、男性とは異なった体や心の問題に直面することがありますが、女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために、どのようなことが大事だと思いますか。(〇は3つまで)

- 全体では、「ライフステージ(思春期、妊娠・出産、更年期、高齢期)に合わせた健康づくりの推進」が38.1%と最も高く、次いで「学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施」が25.1%、「自分の健康を保持促進するために、自ら運動等を行う習慣をもつこと」が24.6%となっている。
- 性別でみると、最も差がみられた「女性が性生活について、主体的・総合的に判断できる力をつけること」では、女性(18.4%)が男性(13.5%)より4.9ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「受診機会の少ない女性が健康診断を受診できるような環境づくり」では、今回(23.2%)が前回(31.5%)より8.3ポイント低い。



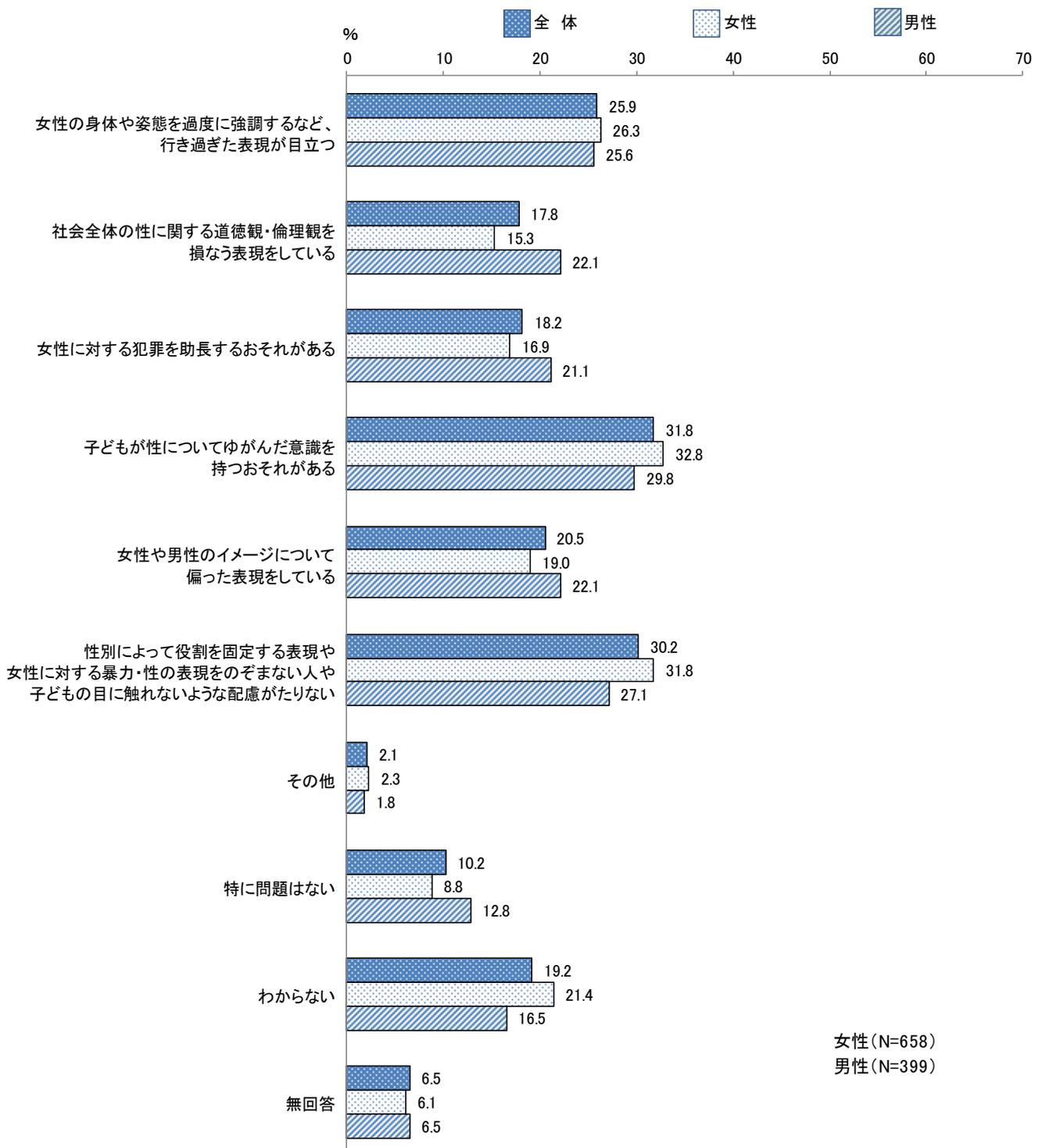


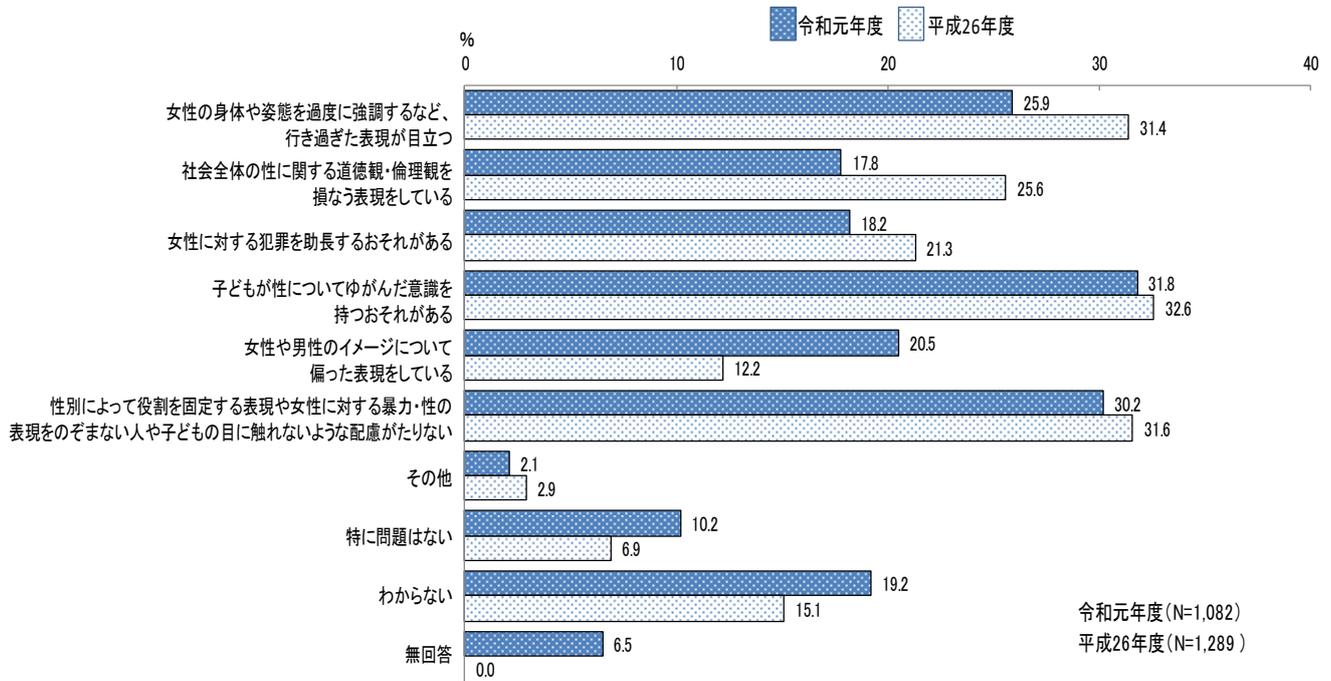
	全体	に合わせた健康づくりの推進	成人以降のライフステージに応じた健康に関する情報や学習機会などの提供	自分の健康を保持促進するために、自ら運動等を行う習慣をもつこと	妊娠・出産・避妊・中絶・性感染症などに関する情報提供	女性が性生活について、主体的・総合的に判断できる力をつけること	受診機会の少ない女性が健康診断を受診できるような環境づくり	心身にわたる様々な悩みに対応する相談体制の充実	不妊に関する悩みに専門的に対応する相談機関の充実	学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1,082	38.1	10.3	24.6	17.0	16.4	23.2	21.4	8.3	25.1	3.0	1.8	4.8	21.0	
性・年齢別	女性合計	658	38.0	10.9	26.6	16.1	18.4	24.0	22.0	8.8	26.0	3.2	1.7	3.5	19.1
	女性・18~29歳	57	33.3	8.8	24.6	36.8	22.8	17.5	17.5	7.0	3.5	0.0	3.5	22.8	
	女性・30~39歳	98	33.7	5.1	13.3	18.4	12.2	28.6	19.4	10.2	24.5	7.1	0.0	4.1	26.5
	女性・40~49歳	122	40.2	10.7	23.0	13.1	13.1	29.5	22.1	12.3	20.5	5.7	0.8	2.5	18.9
	女性・50~59歳	152	41.4	16.4	29.6	15.1	17.8	28.3	24.3	3.3	30.3	2.0	0.7	3.3	15.8
	女性・60~69歳	107	39.3	9.3	33.6	19.6	26.2	21.5	27.1	13.1	36.4	0.0	2.8	1.9	11.2
	女性・70歳以上	120	35.8	10.8	32.5	5.8	20.0	14.2	19.2	2.5	26.7	1.7	5.0	5.8	23.3
	女性・無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	39.3	9.3	21.8	18.0	13.5	22.1	20.6	8.0	23.6	2.0	2.3	7.0	23.3
	男性・18~29歳	22	50.0	13.6	36.4	13.6	13.6	31.8	22.7	13.6	13.6	4.5	0.0	0.0	18.2
男性・30~39歳	42	31.0	9.5	26.2	31.0	21.4	38.1	28.6	16.7	19.0	9.5	2.4	7.1	4.8	
男性・40~49歳	85	38.8	16.5	24.7	20.0	8.2	23.5	12.9	10.6	24.7	1.2	0.0	5.9	24.7	
男性・50~59歳	91	40.7	11.0	12.1	22.0	13.2	22.0	28.6	7.7	20.9	0.0	3.3	11.0	19.8	
男性・60~69歳	73	32.9	2.7	15.1	15.1	15.1	16.4	19.2	1.4	17.8	0.0	4.1	11.0	31.5	
男性・70歳以上	85	44.7	4.7	29.4	9.4	14.1	15.3	15.3	5.9	35.3	1.2	2.4	2.4	29.4	
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	41.4	7.2	24.3	15.3	14.4	21.6	25.2	6.3	27.9	2.7	1.8	9.0	16.2
	正社員・正規職員	315	37.5	11.1	20.3	20.0	13.7	27.3	21.3	11.4	23.2	4.4	1.9	5.4	20.6
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	33.3	12.8	28.2	12.8	17.9	30.8	12.8	10.3	20.5	5.1	0.0	5.1	25.6
	公務員	71	45.1	16.9	18.3	23.9	11.3	15.5	23.9	5.6	22.5	4.2	0.0	4.2	25.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	35.9	5.5	26.5	16.6	18.8	29.3	21.5	7.2	24.3	1.7	1.7	4.4	17.7
	学生・生徒	10	40.0	10.0	0.0	40.0	0.0	30.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	20.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	39.7	12.5	32.1	13.0	24.5	17.9	19.6	7.6	25.0	1.6	2.7	2.2	19.6
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	38.1	8.2	29.9	8.2	14.4	16.5	20.6	4.1	32.0	1.0	2.1	3.1	26.8
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	37.7	13.2	22.6	20.8	15.1	13.2	28.3	9.4	28.3	1.9	3.8	5.7	24.5
	無回答	21	19.0	9.5	14.3	23.8	9.5	28.6	14.3	4.8	28.6	9.5	0.0	4.8	33.3
前回調査	1,289	45.3	14.1	32.8	17.5	17.1	31.5	25.9	8.8	24.9	1.5	2.4	5.2	0.0	

(全員が回答)

問22 テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどメディアでの固定的な性別役割分担の表現（男は仕事、女は家庭など）や暴力、性の表現について、あなたはどのようにお考えですか。（〇はいくつでも）

- 全体では、「子どもが性についてゆがんだ意識を持つおそれがある」が31.8%と最も高く、次いで「性別によって役割を固定する表現や女性に対する暴力・性の表現をのぞまない人や子どもの目に触れないような配慮がたりない」が30.2%、「女性の身体や姿態を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」が25.9%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「社会全体の性に関する道徳観・倫理観を損なう表現をしている」では、男性（21.1%）が女性（15.3%）より5.8ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「女性や男性のイメージについて偏った表現をしている」では、今回（20.5%）が前回（12.2%）より8.3ポイント高い。





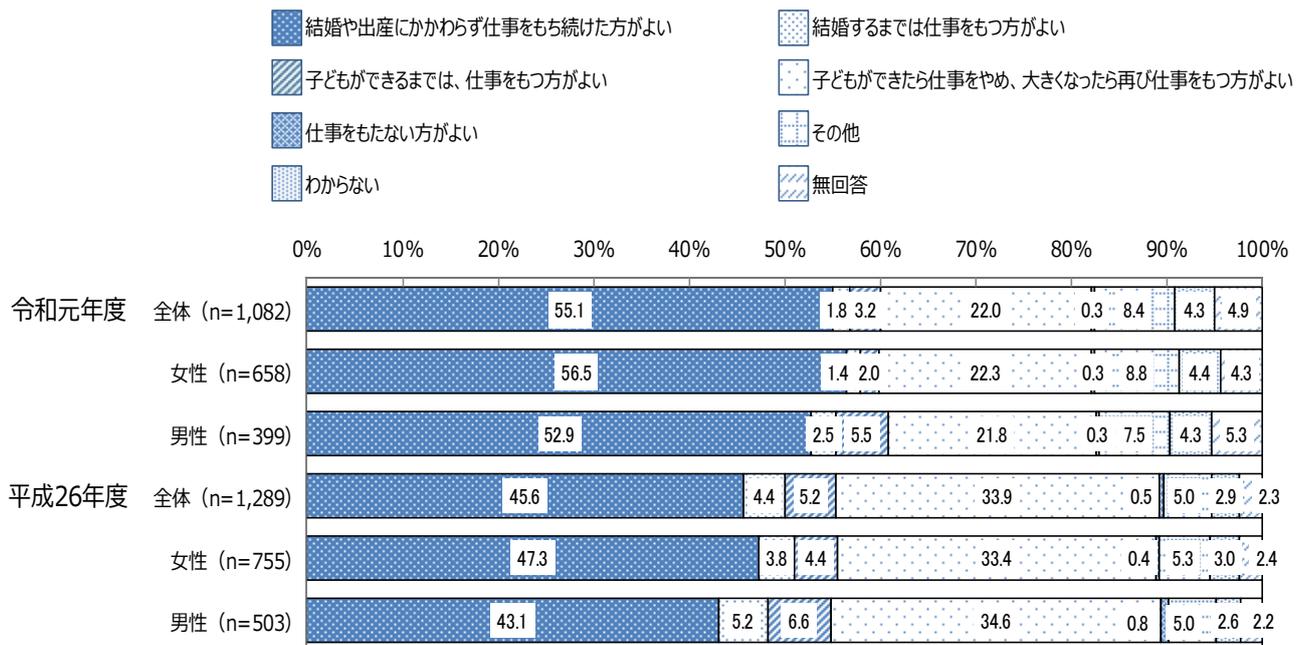
	全体	女性 の身体 や姿態 が過度 に強調 するな ど、 行き過 ぎた表 現が目 立つ	社会 全体の 性に関 する道 徳観・ 倫理観 を損な う表現 をして いる	女性 に対す る犯罪 を助長 するお それがある	子ども が性につ いてゆ がんだ 意識を持 つおそれ がある	女性 や男性 のイメ ージにつ いて偏 った表 現をし ている	性別 によつ て役割 を固定 する表 現や女 性に対 する暴 力・性 の表現 をのぞ まない 人やこ どもの 目に触 れない ような 配慮が たりな い	その他	特に 問題は ない	わか らな い	無 回 答	
全体	1,082	25.9	17.8	18.2	31.8	20.5	30.2	2.1	10.2	19.2	6.5	
性・年齢別	女性合計	658	26.3	15.3	16.9	32.8	19.0	31.8	2.3	8.8	21.4	6.1
	女性・18～29歳	57	24.6	15.8	12.3	29.8	35.1	29.8	1.8	10.5	29.8	0.0
	女性・30～39歳	98	18.4	8.2	9.2	35.7	22.4	26.5	4.1	15.3	25.5	2.0
	女性・40～49歳	122	18.9	10.7	14.8	26.2	24.6	27.0	3.3	9.0	27.0	3.3
	女性・50～59歳	152	34.2	21.1	21.7	36.8	23.0	38.2	1.3	7.2	16.4	2.6
	女性・60～69歳	107	33.6	18.7	28.0	38.3	10.3	36.4	0.9	4.7	15.9	10.3
	女性・70歳以上	120	25.0	15.8	11.7	28.3	5.8	30.0	2.5	7.5	20.0	15.8
	女性・無回答	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性合計	399	25.6	22.1	21.1	29.8	22.1	27.1	1.8	12.8	16.5	6.5
	男性・18～29歳	22	13.6	18.2	9.1	27.3	18.2	13.6	4.5	4.5	36.4	4.5
	男性・30～39歳	42	14.3	9.5	14.3	33.3	42.9	19.0	2.4	23.8	11.9	4.8
	男性・40～49歳	85	12.9	9.4	14.1	24.7	22.4	25.9	3.5	22.4	15.3	5.9
	男性・50～59歳	91	30.8	27.5	26.4	38.5	29.7	34.1	0.0	11.0	14.3	3.3
	男性・60～69歳	73	32.9	28.8	20.5	21.9	11.0	23.3	0.0	11.0	23.3	4.1
男性・70歳以上	85	35.3	30.6	29.4	31.8	14.1	30.6	2.4	3.5	11.8	14.1	
男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	18.9	18.0	22.5	31.5	18.0	21.6	2.7	10.8	23.4	5.4
	正社員・正規職員	315	23.5	13.0	18.7	27.6	26.3	28.3	1.3	13.3	20.6	3.8
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	20.5	30.8	17.9	28.2	17.9	33.3	0.0	10.3	20.5	0.0
	公務員	71	22.5	18.3	11.3	32.4	25.4	29.6	4.2	18.3	11.3	4.2
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	28.2	16.6	16.0	35.4	20.4	34.3	1.1	8.8	21.0	6.6
	学生・生徒	10	30.0	20.0	20.0	40.0	30.0	20.0	0.0	10.0	30.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	30.4	18.5	18.5	33.2	14.1	31.5	2.7	5.4	21.2	9.2
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	34.0	24.7	22.7	37.1	19.6	36.1	3.1	4.1	17.5	9.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	26.4	28.3	18.9	30.2	15.1	32.1	3.8	9.4	7.5	15.1
	無回答	21	19.0	9.5	4.8	33.3	4.8	28.6	4.8	14.3	0.0	14.3
前回調査	1,289	31.4	25.6	21.3	32.6	12.2	31.6	2.9	6.9	15.1	0.0	

## 7. 女性の活躍について

(全員が回答)

問23 一般的に、女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つだけ)

- 全体では、「結婚や出産にかかわらず仕事をもち続けた方がよい」が55.1%と最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が22.0%、「子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい」が3.2%となっている。
- 性別でみると、最も差がみられた「結婚や出産にかかわらず仕事をもち続けた方がよい」では、女性(56.5%)が男性(52.9%)より3.6ポイント高い。
- 女性の30～39歳では、「その他」と回答した方が24.5%となっており、「個人(人それぞれ)の自由だと思う」という意見が多く見られた。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」では、今回(22.0%)が前回(33.9%)より11.9ポイント低い。
- 内閣府調査と比較すると、「結婚や出産にかかわらず仕事をもち続けた方がよい」では、本県(55.1%)が内閣府調査(61.0%)より5.9ポイント低い。また「子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい」では、本県(3.2%)が内閣府調査(6.5%)より3.3ポイント低い。

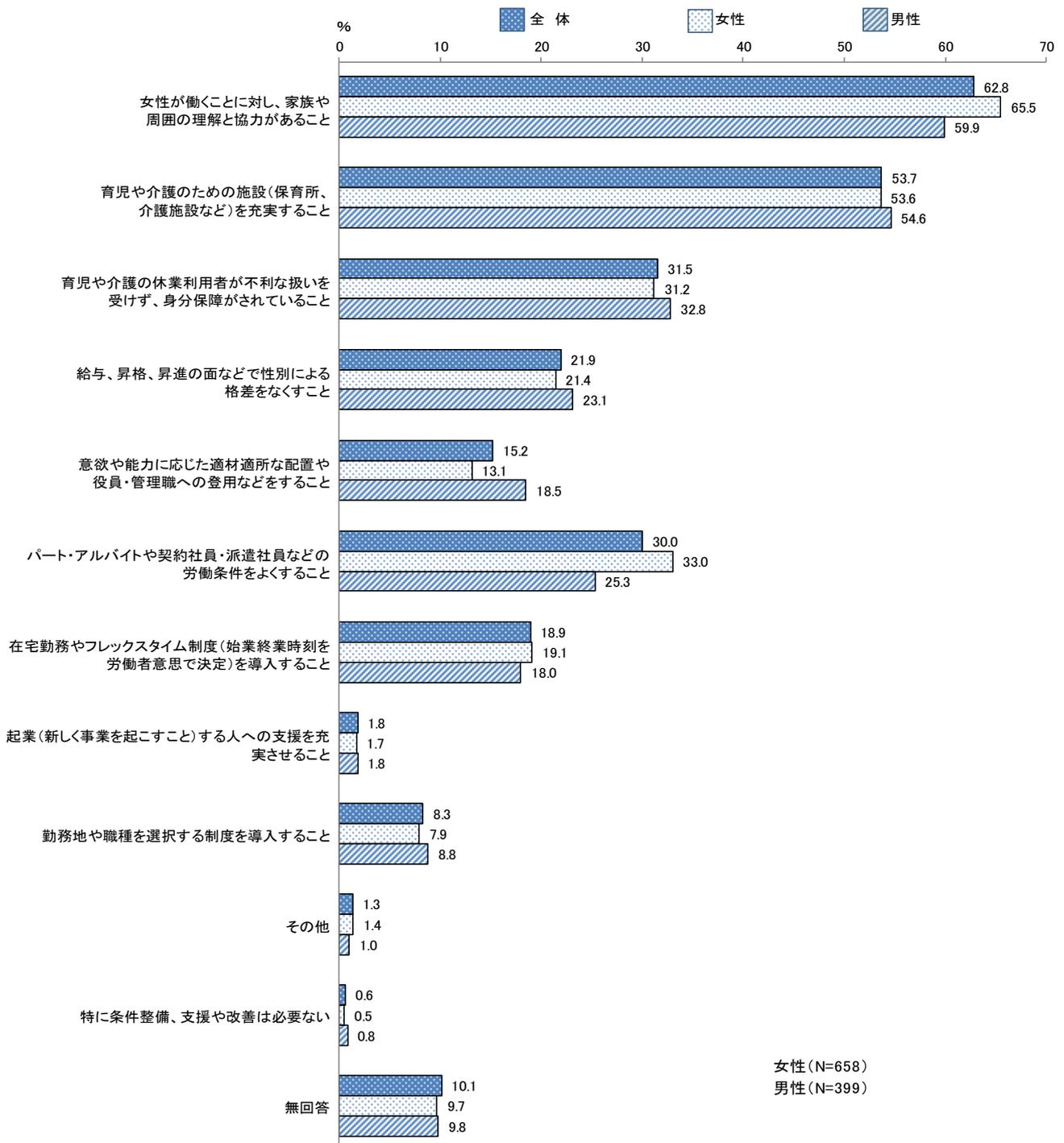


		全 体	結 婚 も ち 続 け た 方 が よ い	結 婚 す る ま で は 仕 事 を も つ 方 が よ い	子 ど も が で き る ま で は 、 仕 事 を も つ 方 が よ い	子 ど も が で き た ら 仕 事 を や め 、 大 き く な っ た ら 再 び 仕 事 を も つ 方 が よ い	仕 事 を も た な い 方 が よ い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,082	55.1	1.8	3.2	22.0	0.3	8.4	4.3	4.9
性・年齢別	女性合計	658	56.5	1.4	2.0	22.3	0.3	8.8	4.4	4.3
	女性・18～29歳	57	52.6	1.8	7.0	19.3	0.0	14.0	1.8	3.5
	女性・30～39歳	98	55.1	0.0	1.0	11.2	0.0	24.5	7.1	1.0
	女性・40～49歳	122	61.5	0.0	1.6	19.7	1.6	8.2	4.9	2.5
	女性・50～59歳	152	60.5	1.3	2.0	19.7	0.0	9.2	3.9	3.3
	女性・60～69歳	107	55.1	3.7	0.9	30.8	0.0	0.9	2.8	5.6
	女性・70歳以上	120	50.8	1.7	0.8	31.7	0.0	0.8	5.0	9.2
	女性・無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	52.9	2.5	5.5	21.8	0.3	7.5	4.3	5.3
	男性・18～29歳	22	54.5	9.1	0.0	22.7	0.0	13.6	0.0	0.0
	男性・30～39歳	42	54.8	4.8	2.4	19.0	0.0	9.5	4.8	4.8
	男性・40～49歳	85	54.1	0.0	5.9	14.1	1.2	12.9	8.2	3.5
	男性・50～59歳	91	65.9	1.1	3.3	15.4	0.0	7.7	4.4	2.2
	男性・60～69歳	73	45.2	1.4	6.8	30.1	0.0	5.5	4.1	6.8
男性・70歳以上	85	43.5	4.7	9.4	29.4	0.0	1.2	1.2	10.6	
男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	51.4	1.8	2.7	27.0	0.9	8.1	4.5	3.6
	正社員・正規職員	315	63.5	0.6	4.4	14.3	0.3	10.8	4.1	1.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	61.5	5.1	7.7	7.7	0.0	10.3	2.6	5.1
	公務員	71	59.2	0.0	0.0	15.5	0.0	16.9	2.8	5.6
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	51.9	2.8	1.7	25.4	0.0	7.7	6.1	4.4
	学生・生徒	10	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	45.1	1.6	1.1	32.6	0.5	6.0	4.9	8.2
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	54.6	2.1	6.2	28.9	0.0	0.0	1.0	7.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	49.1	5.7	7.5	18.9	0.0	3.8	5.7	9.4
無回答	21	38.1	0.0	0.0	23.8	0.0	19.0	9.5	9.5	
前回調査	1,289	45.6	4.4	5.2	33.9	0.5	5.0	2.9	2.3	
内閣府調査	2,645	61.0	4.8	6.5	20.3	3.9	1.7	1.7	-	

(全員が回答)

問24 あなたは女性が仕事もち続けていくためには、どのような支援や改善が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

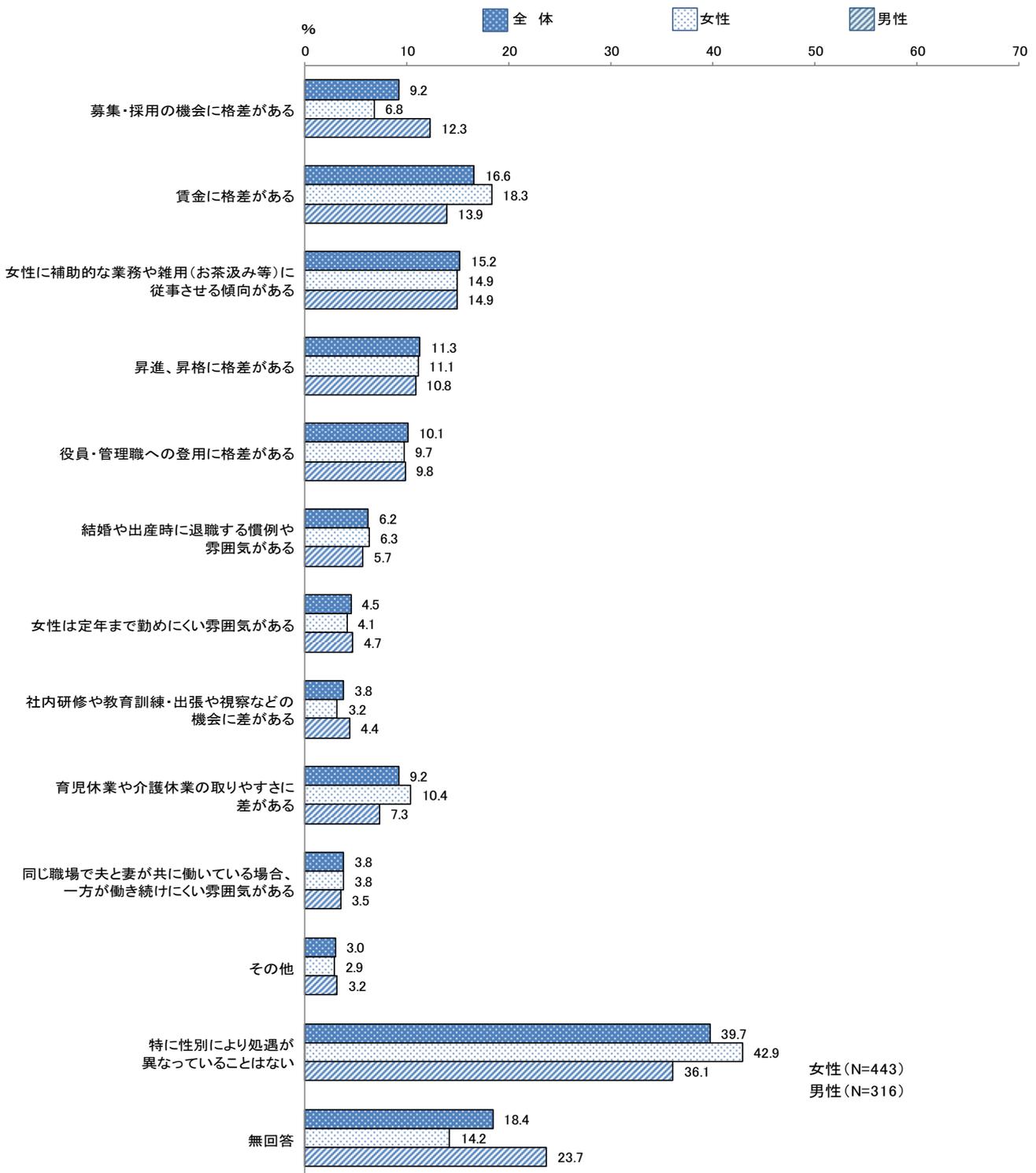
- 全体では、「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」が62.8%と最も高く、次いで「育児や介護のための施設(保育所、介護施設など)を充実すること」が53.7%、「育児や介護の休業利用者が不利な扱いを受けず、身分保障がされていること」が31.5%となっている。
- 性別でみると、男女で差がみられたのは「パート・アルバイトや契約社員・派遣社員などの労働条件をよくすること」で、女性(33.0%)が男性(25.3%)より7.7ポイント高い。次いで差がみられたのは「女性が働くことに対し、家族や周囲の協力があること」で、女性(65.5%)が男性(59.9%)より5.6ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「パート・アルバイトや契約社員・派遣社員などの労働条件をよくすること」では、今回(30.0%)が前回(39.4%)より9.4ポイント低い。

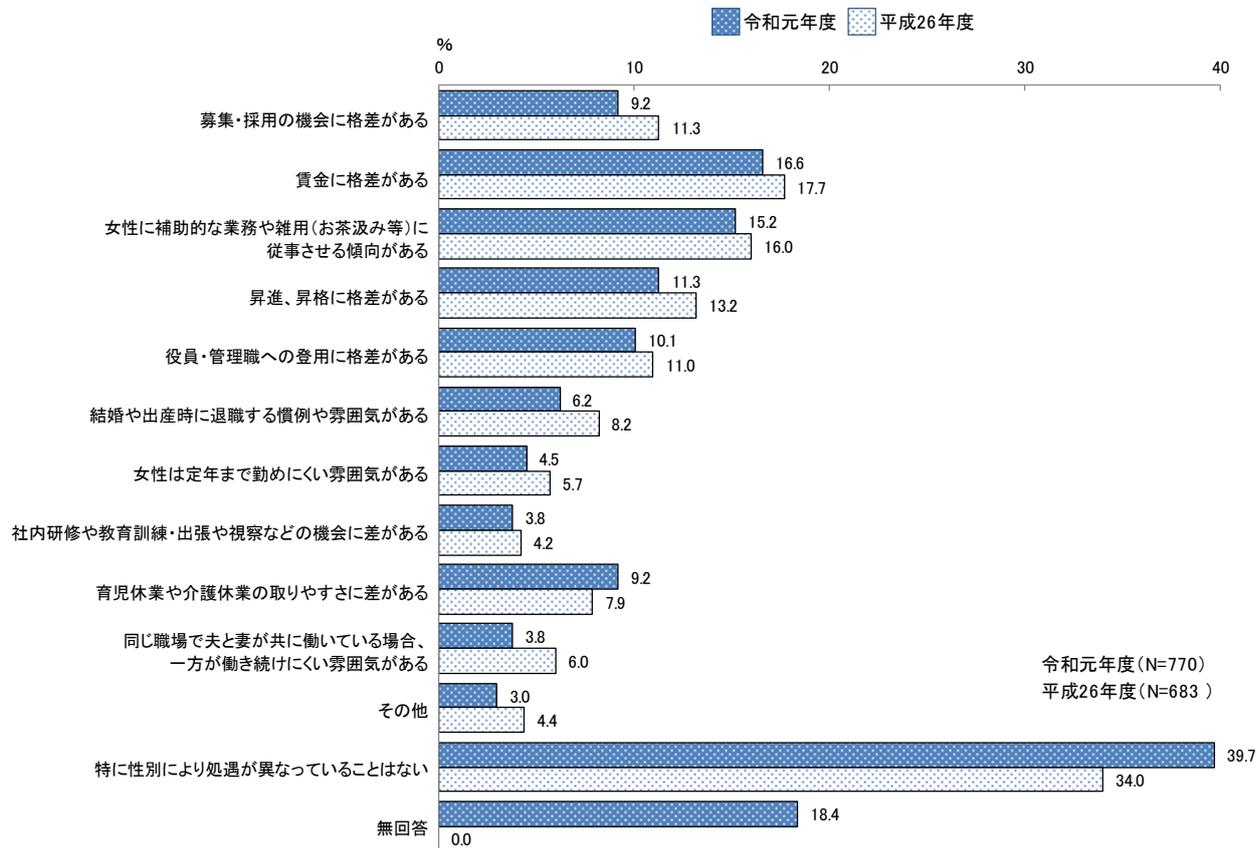




(現在、就業 (パート・アルバイト含む) されている方が回答)  
 問 2 5 あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「特に性別により処遇が異なっていることはない」が 39.7%と最も高く、次いで「賃金に格差がある」が 16.6%、「女性に補助的な業務や雑用 (お茶汲み等) に従事させる傾向がある」が 15.2%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「特に性別により処遇が異なっていることはない」では、女性 (42.9%) が男性 (36.1%) より 6.8 ポイント高い。次いで差がみられた「募集・採用の機会に格差がある」では、男性 (12.3%) が女性 (6.8%) より 5.5 ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「特に性別により処遇が異なっていることはない」では、今回 (39.7%) が前回 (34.0%) より 5.7 ポイント高い。





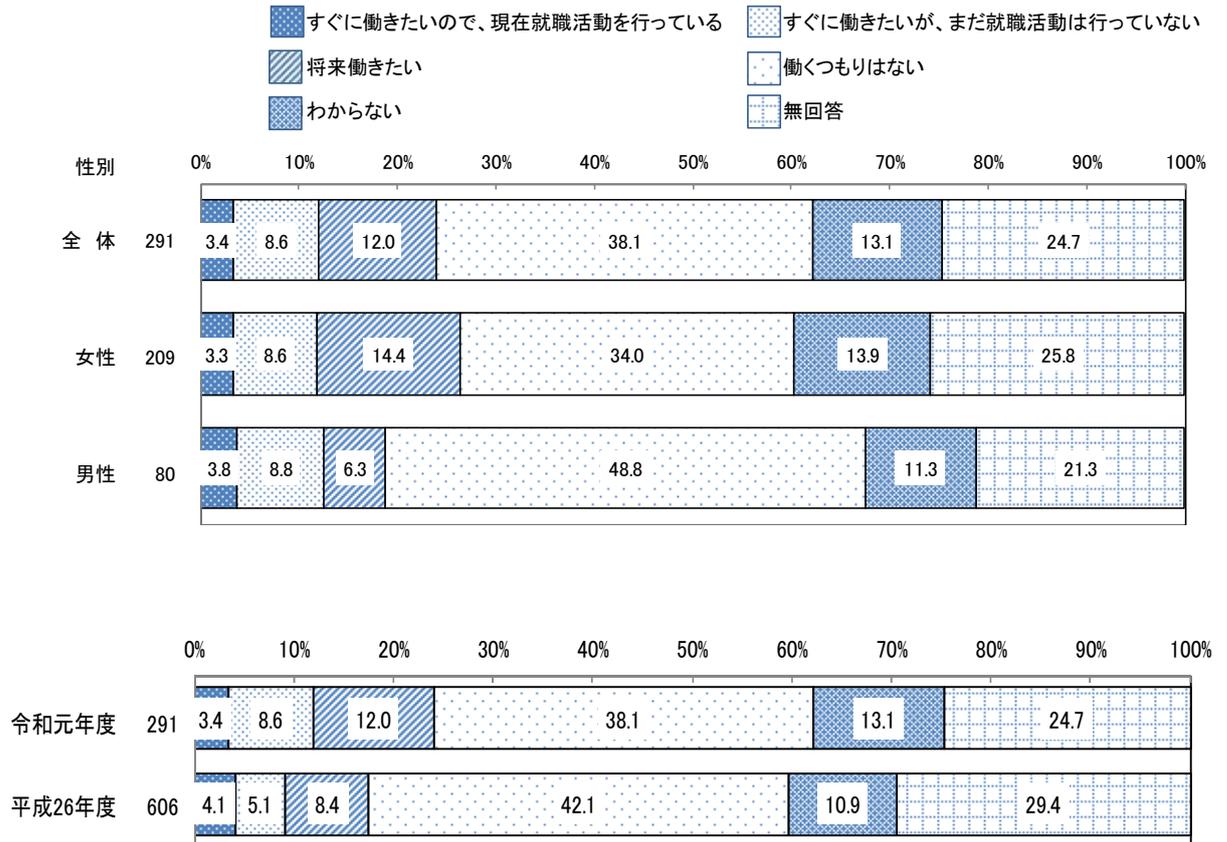
令和元年度(N=770)  
平成26年度(N=683)

	全体	募集・採用の機会に格差がある	賃金に格差がある	女性に補助的な業務や雑用(お茶汲み等)に従事させる傾向がある	昇進、昇格に格差がある	役員・管理職への登用に格差がある	結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある	女性は定年まで勤めにくい雰囲気がある	社内研修や教育訓練・出張や視察などの機会に差がある	育児休業や介護休業の取りやすさに差がある	同じ職場で夫と妻が共に働いている場合、一方が働き続けにくい雰囲気がある	その他	特に性別により処遇が異なっていることはない	無回答	
全体	770	9.2	16.6	15.2	11.3	10.1	6.2	4.5	3.8	9.2	3.8	3.0	39.7	18.4	
性・年齢別	女性合計	443	6.8	18.3	14.9	11.1	9.7	6.3	4.1	10.4	3.8	2.9	42.9	14.2	
	女性・18~29歳	46	4.3	8.7	15.2	8.7	6.5	13.0	8.7	2.2	10.9	4.3	6.5	45.7	10.9
	女性・30~39歳	80	3.8	16.3	18.8	7.5	7.5	5.0	5.0	2.5	16.3	6.3	2.5	50.0	7.5
	女性・40~49歳	102	8.8	19.6	22.5	21.6	16.7	3.9	4.9	4.9	10.8	2.9	1.0	46.1	5.9
	女性・50~59歳	116	6.9	20.7	12.9	11.2	12.1	7.8	3.4	2.6	11.2	2.6	3.4	45.7	7.8
	女性・60~69歳	62	11.3	22.6	6.5	4.8	1.6	8.1	1.6	1.6	6.5	4.8	3.2	40.3	24.2
	女性・70歳以上	35	2.9	17.1	2.9	2.9	5.7	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	2.9	11.4	62.9
	女性・無回答	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性合計	316	12.3	13.9	14.9	10.8	9.8	5.7	4.7	4.4	7.3	3.5	3.2	36.1	23.7
	男性・18~29歳	20	15.0	0.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	15.0	15.0	0.0	0.0	45.0	15.0
	男性・30~39歳	41	19.5	17.1	19.5	14.6	17.1	9.8	4.9	7.3	9.8	7.3	4.9	36.6	12.2
	男性・40~49歳	83	16.9	14.5	15.7	8.4	13.3	7.2	7.2	3.6	9.6	2.4	2.4	41.0	14.5
男性・50~59歳	83	10.8	18.1	13.3	15.7	10.8	2.4	2.4	4.8	6.0	4.8	2.4	41.0	20.5	
男性・60~69歳	55	9.1	14.5	20.0	9.1	3.6	3.6	5.5	1.8	5.5	1.8	5.5	36.4	25.5	
男性・70歳以上	33	0.0	6.1	6.1	3.0	3.0	9.1	3.0	0.0	0.0	3.0	3.0	6.1	69.7	
男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	5.4	9.0	7.2	4.5	2.7	5.4	0.9	2.7	2.7	3.6	4.5	35.1	45.0
	正社員・正規職員	315	12.4	20.3	21.6	16.5	15.9	7.0	5.1	5.1	13.3	3.5	3.8	38.7	10.5
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	17.9	25.6	12.8	15.4	17.9	7.7	5.1	7.7	7.7	5.1	0.0	41.0	10.3
	公務員	71	5.6	2.8	14.1	5.6	12.7	0.0	5.6	1.4	14.1	7.0	0.0	43.7	14.1
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	8.3	19.9	13.3	8.3	4.4	6.6	3.9	3.3	6.1	3.9	2.8	50.8	6.1
	学生・生徒	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	0.0	11.3	3.8	9.4	1.9	9.4	9.4	0.0	3.8	0.0	1.9	11.3	64.2
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前回調査	683	11.3	17.7	16.0	13.2	11.0	8.2	5.7	4.2	7.9	6.0	4.4	34.0	-	

(現在、就業されていない方が回答)

問26 あなたは、今後のご自身の仕事についてどうお考えですか。(○は1つだけ)

- 全体では、「働くつもりはない」が38.1%と最も高く、次いで「将来働きたい」が12.0%、「すぐに働きたいが、まだ就職活動は行っていない」が8.6%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「働くつもりはない」では、男性(48.8%)が女性(34.0%)より14.8ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「働くつもりはない」では、今回(38.1%)が前回(42.1%)より4.0ポイント低い。

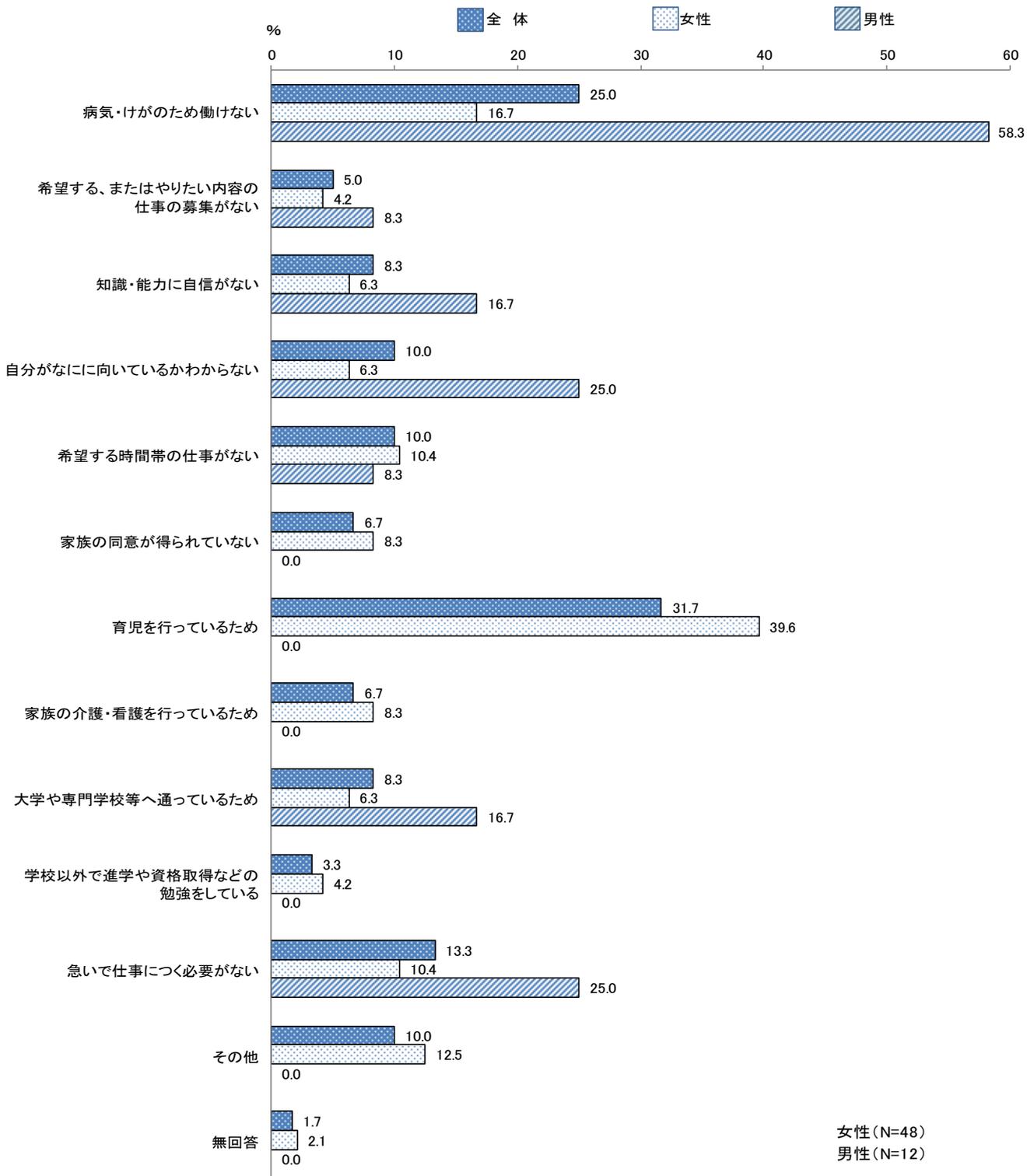


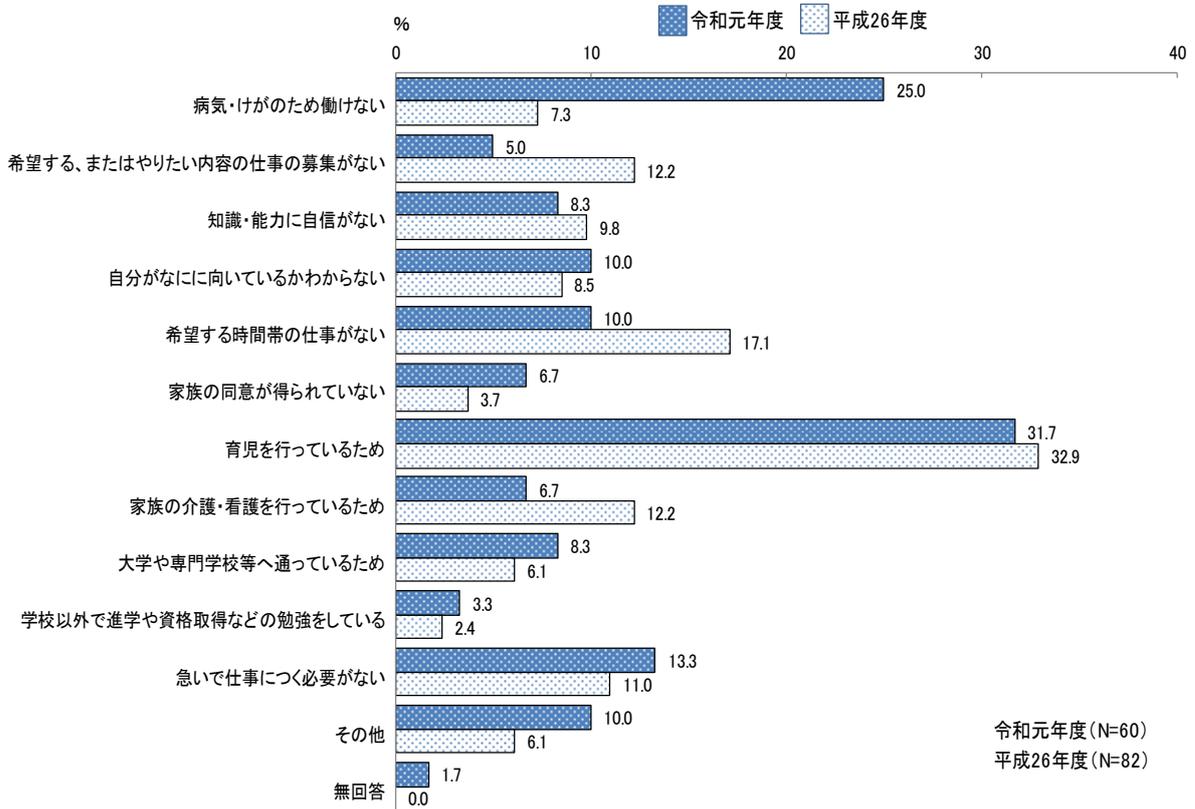
		全 体	すぐに働きたいので、現在就職活動を行っている	すぐに働きたいが、まだ就職活動は行っていない	将来働きたい	働くつもりはない	わからない	無回答
全 体		291	3.4	8.6	12.0	38.1	13.1	24.7
性・年齢別	女性合計	209	3.3	8.6	14.4	34.0	13.9	25.8
	女性・18～29歳	11	0.0	27.3	45.5	0.0	0.0	27.3
	女性・30～39歳	16	12.5	18.8	56.3	0.0	12.5	0.0
	女性・40～49歳	19	15.8	31.6	31.6	5.3	10.5	5.3
	女性・50～59歳	35	2.9	8.6	20.0	34.3	31.4	2.9
	女性・60～69歳	44	2.3	6.8	6.8	47.7	18.2	18.2
	女性・70歳以上	84	0.0	0.0	0.0	44.0	7.1	48.8
	女性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	80	3.8	8.8	6.3	48.8	11.3	21.3
	男性・18～29歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30～39歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・40～49歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・50～59歳	7	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3
	男性・60～69歳	17	5.9	0.0	5.9	41.2	29.4	17.6
	男性・70歳以上	51	0.0	7.8	0.0	58.8	7.8	25.5
	男性・無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業	自営業またはその家族従業員	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正社員・正規職員	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	公務員	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生・生徒	10	20.0	20.0	30.0	0.0	0.0	30.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	2.2	8.7	14.7	35.3	16.3	22.8
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	4.1	7.2	5.2	47.4	8.2	27.8
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
前回調査		606	4.1	5.1	8.4	42.1	10.9	29.4

(問26で「2 すぐに働きたいが、まだ就職活動を行っていない」、または「3 将来働きたい」と答えた方が回答)

問27 現在、就職活動をされていない理由は何ですか？ (〇は2つまで)

- 全体では、「育児を行っているため」が31.7%と最も高く、次いで「病気・けがのため働けない」が25.0%、「急いで仕事につく必要がない」が13.3%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「病気・けがのため働けない」では、男性(58.3%)が女性(16.7%)より41.6ポイント高い。次いで差がみられた「育児を行っているため」では、男性の回答がなく、女性が39.6ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「病気・けがのため働けない」では、今回(25.0%)が前回(7.3%)より17.7ポイント高い。



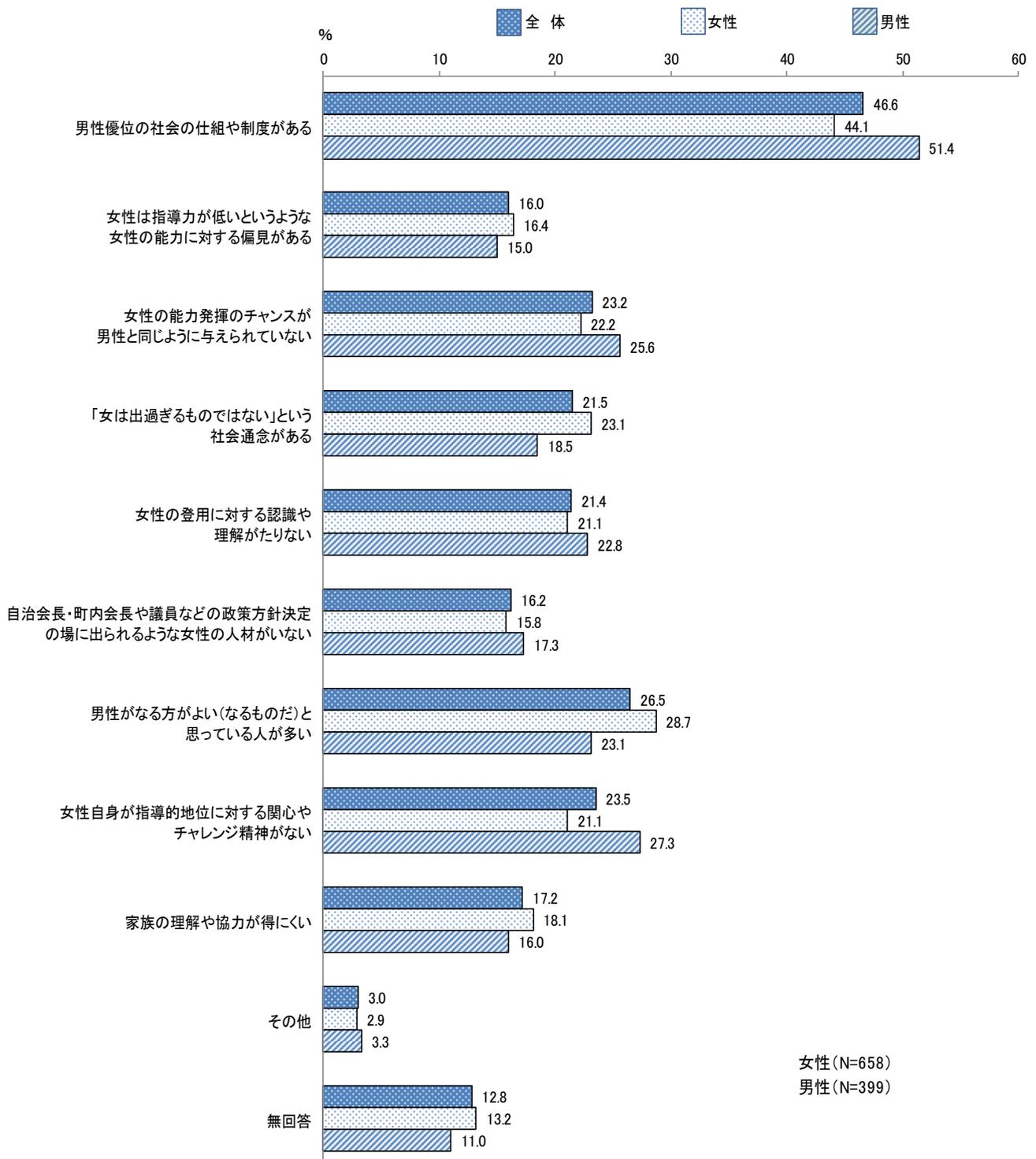


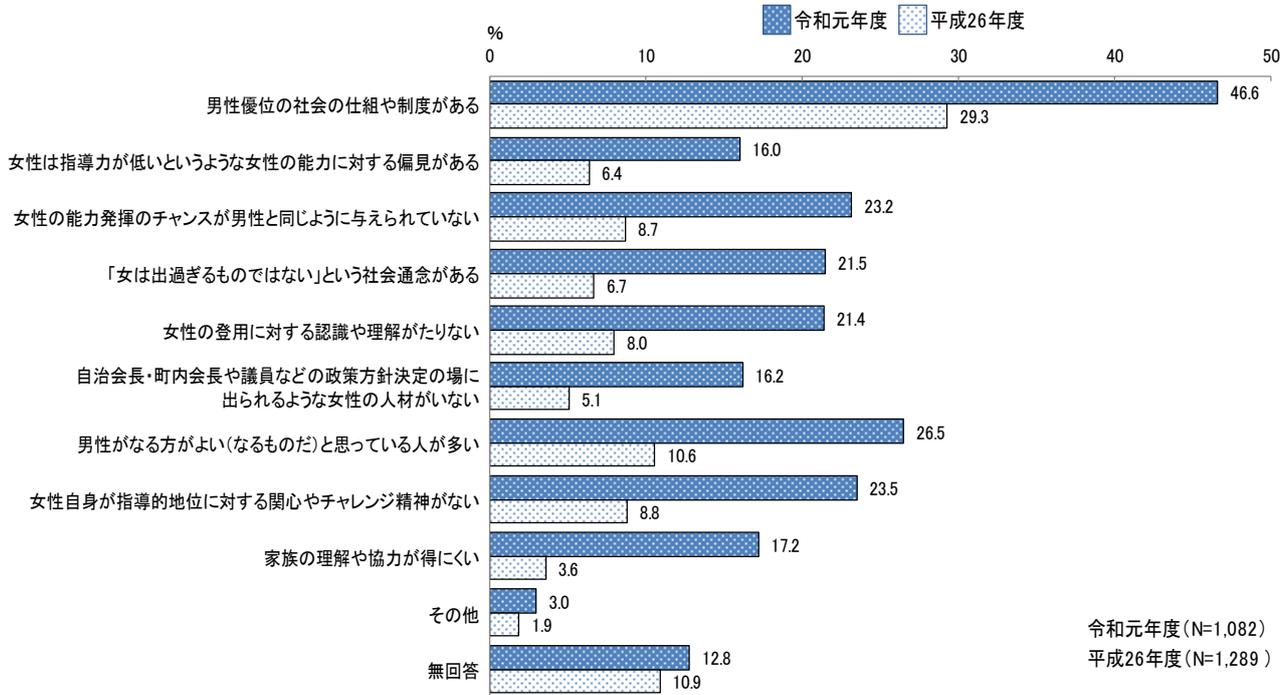
		全	働	の	や	希	な	い	自	仕	希	得	家	た	育	行	家	通	大	を	学	必	急	そ	無
		体	け	募	望	い	知	分	分	事	事	家	族	め	児	っ	族	っ	学	学	校	要	い	他	回
			気	集	す	る	識	か	か	が	が	れ	の	を	を	て	の	て	校	校	取	い	で	な	答
			な	ま	い	な	・	な	に	す	す	同	同	行	行	介	介	専	専	得	な	事	に		
			い	の	た	に	能	に	向	間	間	い	い	っ	っ	護	護	門	門	外	で	づ	づ		
			が	た	は	向	力	に	い	帯	帯	な	な	た	た	を	を	校	校	進	進	づ	づ		
			た	事	事	い	が	に	て	の	の	い	い	め	め	を	を	等	等	学	学	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	勉	勉	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			た	事	事	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		
			め	は	は	て	が	に	て	の	の	い	い	を	を	を	を	等	等	強	強	づ	づ		

(全員が回答)

問28 女性の社会進出が進んでいますが、議員、審議会委員や役員・管理職などの指導的地位や自治会・町内会の長などに占める女性の割合はまだ低いのが現状です。  
このように指導的地位等に女性の参画が少ない理由は何だと思いませんか。(〇は3つまで)

- 全体では、「男性優位の社会の仕組みや制度がある」が46.6%と最も高く、次いで「男性になる方がよい(なるものだ)」と思っている人が多い」が26.5%、「女性自身が指導的地位に対する関心やチャレンジ精神がない」が23.5%となっている。
- 性別で見ると、男女で最も差がみられた「男性優位の社会の仕組みや制度がある」では、男性(51.4%)が女性(44.1%)より7.3ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「男性優位の社会の仕組みや制度がある」では、今回(46.6%)が前回(29.3%)より17.3ポイント高い。





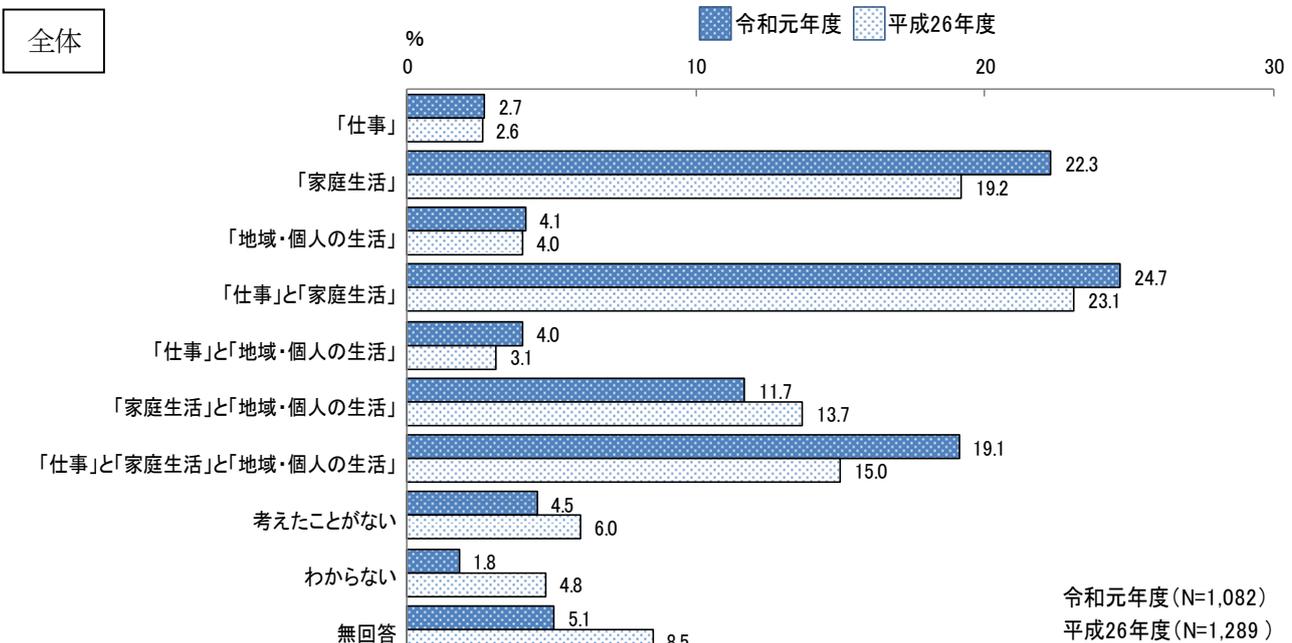
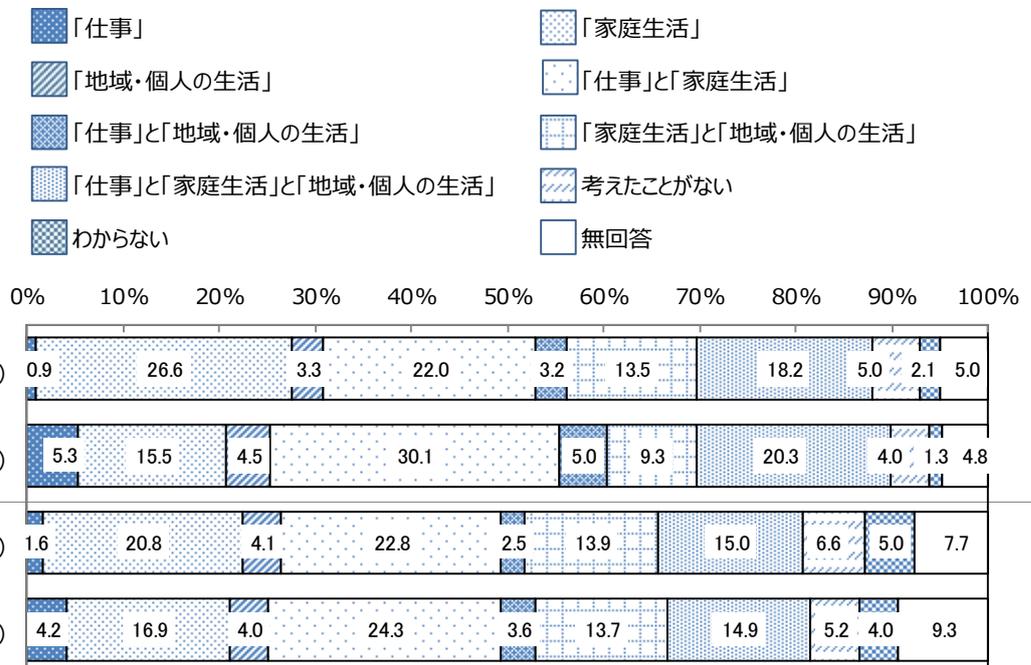
	全 体	令和元年度											
		ある男性優位の社会の仕組みや制度がある	ある女性是指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある	ない女性是指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある	女性と男性の能力発揮の機会が均等に与えられていない	「女は出過ぎるものではない」という社会通念がある	女性自身の能力に対する認識や理解がたりない	自治会長・町内会長や議員などの政策方針決定の場に出られるような女性の人材が少ない	男性になる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い	女性自身が指導的地位に対する関心やチャレンジ精神がない	家族の理解や協力が得にくい	その他	無回答
全体	1,082	46.6	16.0	23.2	21.5	21.4	16.2	26.5	23.5	17.2	3.0	12.8	
性・年齢別	女性合計	658	44.1	16.4	22.2	23.1	21.1	15.8	28.7	21.1	18.1	2.9	13.2
	女性・18～29歳	57	31.6	22.8	22.8	21.1	19.3	15.8	35.1	12.3	15.8	3.5	17.5
	女性・30～39歳	98	42.9	11.2	25.5	25.5	25.5	15.3	31.6	22.4	17.3	2.0	10.2
	女性・40～49歳	122	55.7	16.4	16.4	23.0	20.5	13.9	32.8	13.9	24.6	3.3	10.7
	女性・50～59歳	152	46.7	17.8	23.0	27.6	21.7	17.1	27.6	23.7	19.7	2.0	7.9
	女性・60～69歳	107	48.6	13.1	24.3	22.4	24.3	15.9	28.0	27.1	17.8	0.0	15.9
	女性・70歳以上	120	32.5	19.2	22.5	17.5	15.8	15.8	20.8	22.5	11.7	6.7	20.0
	女性・無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	男性合計	399	51.4	15.0	25.6	18.5	22.8	17.3	23.1	27.3	16.0	3.3	11.0
	男性・18～29歳	22	50.0	22.7	27.3	4.5	18.2	9.1	36.4	27.3	13.6	0.0	9.1
	男性・30～39歳	42	45.2	14.3	23.8	23.8	14.3	23.8	33.3	21.4	16.7	11.9	4.8
	男性・40～49歳	85	51.8	11.8	21.2	15.3	16.5	16.5	27.1	32.9	22.4	2.4	12.9
	男性・50～59歳	91	56.0	17.6	26.4	24.2	29.7	19.8	24.2	27.5	15.4	1.1	6.6
	男性・60～69歳	73	52.1	11.0	24.7	15.1	23.3	24.7	16.4	24.7	9.6	2.7	13.7
男性・70歳以上	85	49.4	17.6	30.6	20.0	27.1	7.1	15.3	25.9	16.5	2.4	15.3	
男性・無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	46.8	13.5	26.1	20.7	25.2	20.7	24.3	20.7	17.1	5.4	12.6
	正社員・正規職員	315	48.6	17.5	19.7	20.6	21.0	20.0	31.7	26.3	18.4	3.8	10.2
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	43.6	15.4	23.1	25.6	15.4	12.8	30.8	12.8	23.1	2.6	12.8
	公務員	71	45.1	11.3	19.7	29.6	19.7	18.3	26.8	38.0	18.3	1.4	4.2
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	48.1	12.2	22.1	24.9	21.5	15.5	27.6	22.1	20.4	1.1	12.2
	学生・生徒	10	70.0	20.0	40.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	46.7	19.6	25.0	20.1	24.5	9.8	26.1	17.4	16.8	1.6	15.2
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	40.2	16.5	30.9	15.5	21.6	13.4	13.4	27.8	8.2	4.1	17.5
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	41.5	17.0	24.5	20.8	11.3	13.2	20.8	18.9	11.3	5.7	22.6
	無回答	21	42.9	19.0	19.0	19.0	19.0	14.3	23.8	28.6	19.0	0.0	19.0
前回調査	1,289	29.3	6.4	8.7	6.7	8.0	5.1	10.6	8.8	3.6	1.9	10.9	

## 8. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

（全員が回答）

問29 あなたの希望について、お聞きします。「仕事」、「家庭生活」（家事・育児・介護等）、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）について、優先したいものはどれですか。（〇は1つだけ）

- 性別でみると、「家庭生活」では、女性（26.6%）が男性（15.5%）より11.1ポイント高い。『「仕事」と「家庭生活」』では、男性（30.1%）が女性（22.0%）より8.1ポイント高い。
- 全体では、『「仕事」と「家庭生活」』が24.7%と最も高く、次いで「家庭生活」が22.3%、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」』が19.1%となっている。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」』では、今回（19.1%）が前回（15.0%）より4.1ポイント高い。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「仕事」では、本県（2.7%）が内閣府調査（9.9%）より7.2ポイント低い。

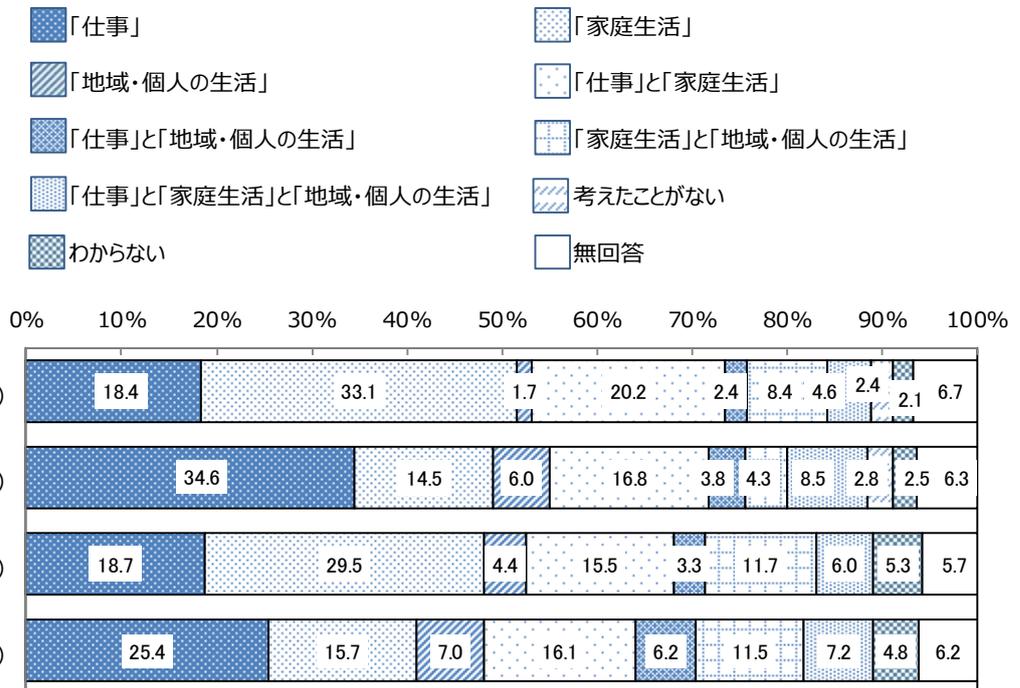


		全 体	「 仕 事 」	「 家 庭 生 活 」	「 地 域 ・ 個 人 の 生 活 」	「 仕 事 」 と 「 家 庭 生 活 」	生 活 」	人 の 生 活 」	「 家 庭 生 活 」 と 「 地 域 ・ 個 人 の 生 活 」	「 地 域 ・ 個 人 の 生 活 」 と 「 仕 事 」	「 仕 事 」 と 「 家 庭 生 活 」 と 「 地 域 ・ 個 人 の 生 活 」	考 え た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,082	2.7	22.3	4.1	24.7	4.0	11.7	19.1	4.5	1.8	5.1		
性・ 年 齢 別	女性合計	658	0.9	26.6	3.3	22.0	3.2	13.5	18.2	5.0	2.1	5.0		
	女性・18～29歳	57	1.8	33.3	7.0	14.0	7.0	17.5	12.3	5.3	0.0	1.8		
	女性・30～39歳	98	3.1	31.6	1.0	26.5	3.1	12.2	14.3	5.1	2.0	1.0		
	女性・40～49歳	122	0.0	36.9	1.6	28.7	2.5	8.2	18.0	2.5	0.0	1.6		
	女性・50～59歳	152	0.7	27.6	2.6	27.0	2.0	8.6	27.0	3.3	0.0	1.3		
	女性・60～69歳	107	0.9	17.8	2.8	17.8	5.6	19.6	19.6	7.5	1.9	6.5		
	女性・70歳以上	120	0.0	15.8	6.7	13.3	1.7	19.2	11.7	7.5	8.3	15.8		
	女性・無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0		
	男性合計	399	5.3	15.5	4.5	30.1	5.0	9.3	20.3	4.0	1.3	4.8		
	男性・18～29歳	22	4.5	31.8	4.5	18.2	4.5	18.2	9.1	4.5	0.0	4.5		
	男性・30～39歳	42	2.4	21.4	0.0	28.6	2.4	16.7	28.6	0.0	0.0	0.0		
	男性・40～49歳	85	7.1	16.5	2.4	40.0	4.7	3.5	16.5	4.7	1.2	3.5		
	男性・50～59歳	91	4.4	8.8	4.4	40.7	4.4	5.5	28.6	0.0	0.0	3.3		
	男性・60～69歳	73	2.7	19.2	4.1	30.1	5.5	11.0	17.8	4.1	1.4	4.1		
男性・70歳以上	85	8.2	10.6	9.4	12.9	7.1	11.8	16.5	9.4	3.5	10.6			
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
職 業	自営業またはその家族従業員	111	4.5	11.7	4.5	23.4	11.7	3.6	28.8	8.1	1.8	1.8		
	正社員・正規職員	315	1.9	22.5	2.5	34.0	2.5	8.3	22.2	3.2	0.0	2.9		
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	5.1	23.1	5.1	35.9	10.3	0.0	15.4	2.6	0.0	2.6		
	公務員	71	1.4	21.1	5.6	32.4	1.4	9.9	26.8	0.0	0.0	1.4		
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	1.7	29.3	1.7	29.3	3.9	8.8	17.7	2.8	1.7	3.3		
	学生・生徒	10	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0		
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	0.5	31.5	3.3	9.2	1.1	26.1	10.9	3.3	4.3	9.8		
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	5.2	13.4	8.2	15.5	4.1	18.6	8.2	10.3	4.1	12.4		
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	7.5	5.7	13.2	17.0	3.8	11.3	18.9	11.3	3.8	7.5		
	無回答	21	4.8	19.0	4.8	4.8	4.8	9.5	28.6	9.5	4.8	9.5		
前回調査	1,289	2.6	19.2	4.0	23.1	3.1	13.7	15.0	6.0	4.8	8.5			
内閣府調査	2,645	9.9	28.4	4.7	28.7	3.3	10.1	13.1	-	1.9	-			

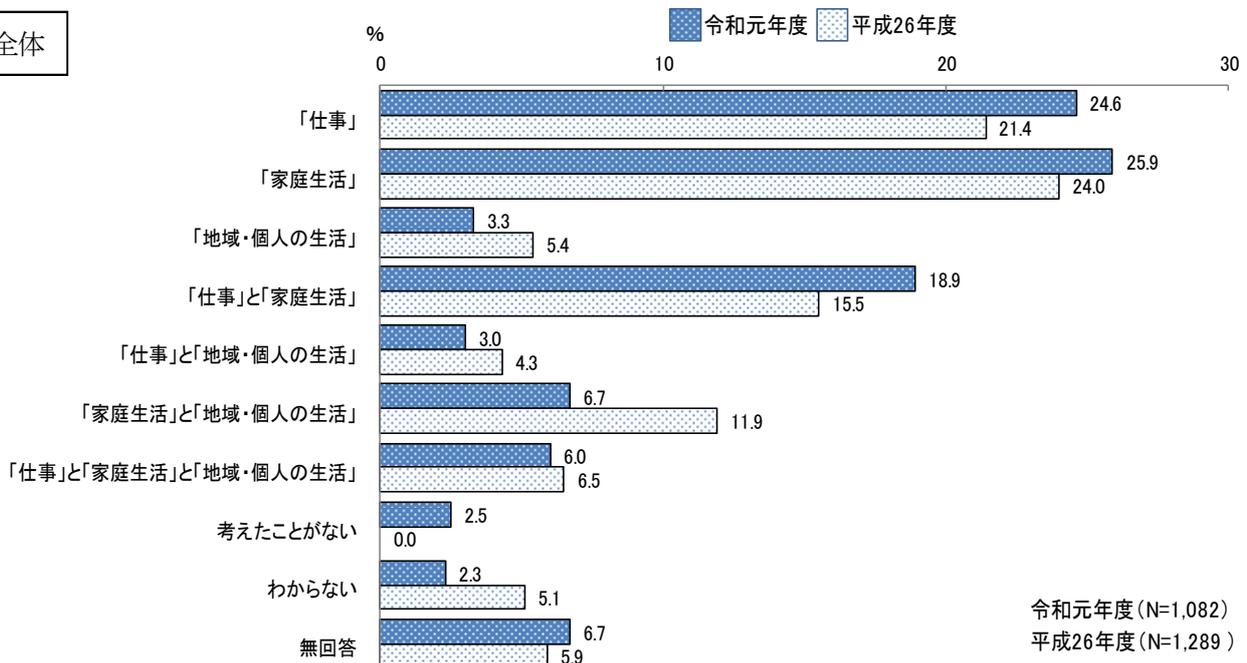
(全員が回答)

問30 問29では、希望をお聞きしましたが、あなたの現在の生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)について、現実に優先しているものはどれですか。(〇は1つだけ)

- 性別で見ると、「仕事」では、男性(34.6%)が女性(18.4%)より16.2ポイント高い。「家庭生活」では女性(33.1%)が男性(14.5%)より18.6ポイント高い。
- 全体では、「家庭生活」が25.9%と最も高く、次いで「仕事」が24.6%、『「仕事」と「家庭生活」』が18.9%となっている。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた『「家庭生活」と「地域・個人の生活」』では、今回(6.7%)が前回(11.9%)より5.2ポイント低い。
- 内閣府調査と比較すると、最も差がみられた「家庭生活」では、本県(25.9%)が内閣府調査(30.3%)より4.4ポイント低い。



全体

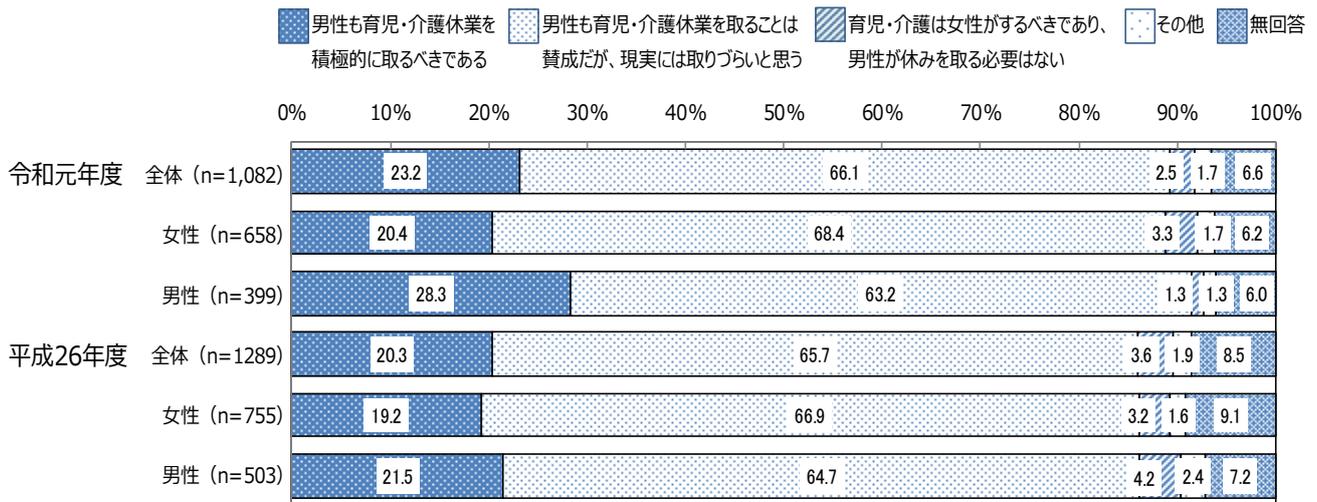


		全 体	「 仕事 」	「 家庭 生活 」	「 地域 ・個人 の生活 」	「 仕事 」と 「 家庭 生活 」	「 地域 ・個人 の生活 」	「 家庭 生活 」と 「 地域 ・個人 の生活 」	「 仕事 」と 「 家庭 生活 」と 「 地域 ・個人 の生活 」	考 え た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,082	24.6	25.9	3.3	18.9	3.0	6.7	6.0	2.5	2.3	6.7
性・ 年 齢 別	女性合計	658	18.4	33.1	1.7	20.2	2.4	8.4	4.6	2.4	2.1	6.7
	女性・18～29歳	57	36.8	24.6	7.0	12.3	10.5	1.8	0.0	5.3	1.8	0.0
	女性・30～39歳	98	26.5	36.7	1.0	17.3	1.0	4.1	7.1	1.0	3.1	2.0
	女性・40～49歳	122	20.5	36.1	0.0	28.7	1.6	2.5	6.6	0.8	3.3	0.0
	女性・50～59歳	152	21.7	32.2	2.0	29.6	2.6	4.6	3.3	0.7	0.7	2.6
	女性・60～69歳	107	9.3	31.8	2.8	18.7	1.9	17.8	3.7	2.8	0.9	10.3
	女性・70歳以上	120	5.0	33.3	0.0	6.7	0.8	17.5	5.0	5.8	3.3	22.5
	女性・無回答	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	34.6	14.5	6.0	16.8	3.8	4.3	8.5	2.8	2.5	6.3
	男性・18～29歳	22	36.4	13.6	9.1	13.6	4.5	0.0	9.1	9.1	4.5	0.0
	男性・30～39歳	42	45.2	11.9	0.0	23.8	4.8	7.1	4.8	0.0	2.4	0.0
	男性・40～49歳	85	48.2	10.6	1.2	22.4	3.5	0.0	3.5	2.4	3.5	4.7
	男性・50～59歳	91	49.5	5.5	4.4	19.8	3.3	1.1	9.9	1.1	2.2	3.3
	男性・60～69歳	73	26.0	20.5	8.2	15.1	2.7	2.7	11.0	1.4	2.7	9.6
男性・70歳以上	85	5.9	24.7	12.9	7.1	4.7	12.9	11.8	5.9	1.2	12.9	
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	111	24.3	10.8	0.9	27.0	7.2	2.7	17.1	0.9	1.8	7.2
	正社員・正規職員	315	41.6	12.1	1.0	27.3	3.8	2.2	6.0	1.3	1.6	3.2
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	38.5	10.3	2.6	33.3	2.6	0.0	5.1	0.0	2.6	5.1
	公務員	71	56.3	9.9	4.2	19.7	4.2	0.0	2.8	1.4	1.4	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	18.2	40.3	0.6	23.8	2.2	2.8	5.0	2.2	2.2	2.8
	学生・生徒	10	10.0	10.0	30.0	10.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	1.1	52.7	2.7	2.2	0.0	21.2	2.2	2.7	2.2	13.0
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	4.1	33.0	15.5	4.1	1.0	14.4	3.1	9.3	4.1	11.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	13.2	22.6	7.5	13.2	3.8	7.5	7.5	1.9	5.7	17.0
	無回答	21	28.6	19.0	0.0	9.5	0.0	4.8	9.5	4.8	4.8	19.0
前回調査	1,289	21.4	24.0	5.4	15.5	4.3	11.9	6.5	-	5.1	5.9	
内閣府調査	2,645	25.9	30.3	4.5	21.0	3.1	8.1	5.1	-	1.9	-	

(全員が回答)

問3 1 男性も育児・介護休業を取ることができますが、このことについてあなたはどのように思いますか。  
(○は1つだけ)

- 全体では、「男性も育児・介護休業を取ることができ、現実には取りづらいと思う」が66.1%と最も高く、次いで「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」が23.2%となっている。
- 性別でみると、「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」では、女性(20.4%)が男性(28.3%)より7.9ポイント低く、「男性も育児・介護休業を取ることができ、現実には取りづらいと思う」では女性(68.4%)が男性(63.2%)より5.2ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」では、今回(23.2%)が前回(20.3%)より2.9ポイント高い。

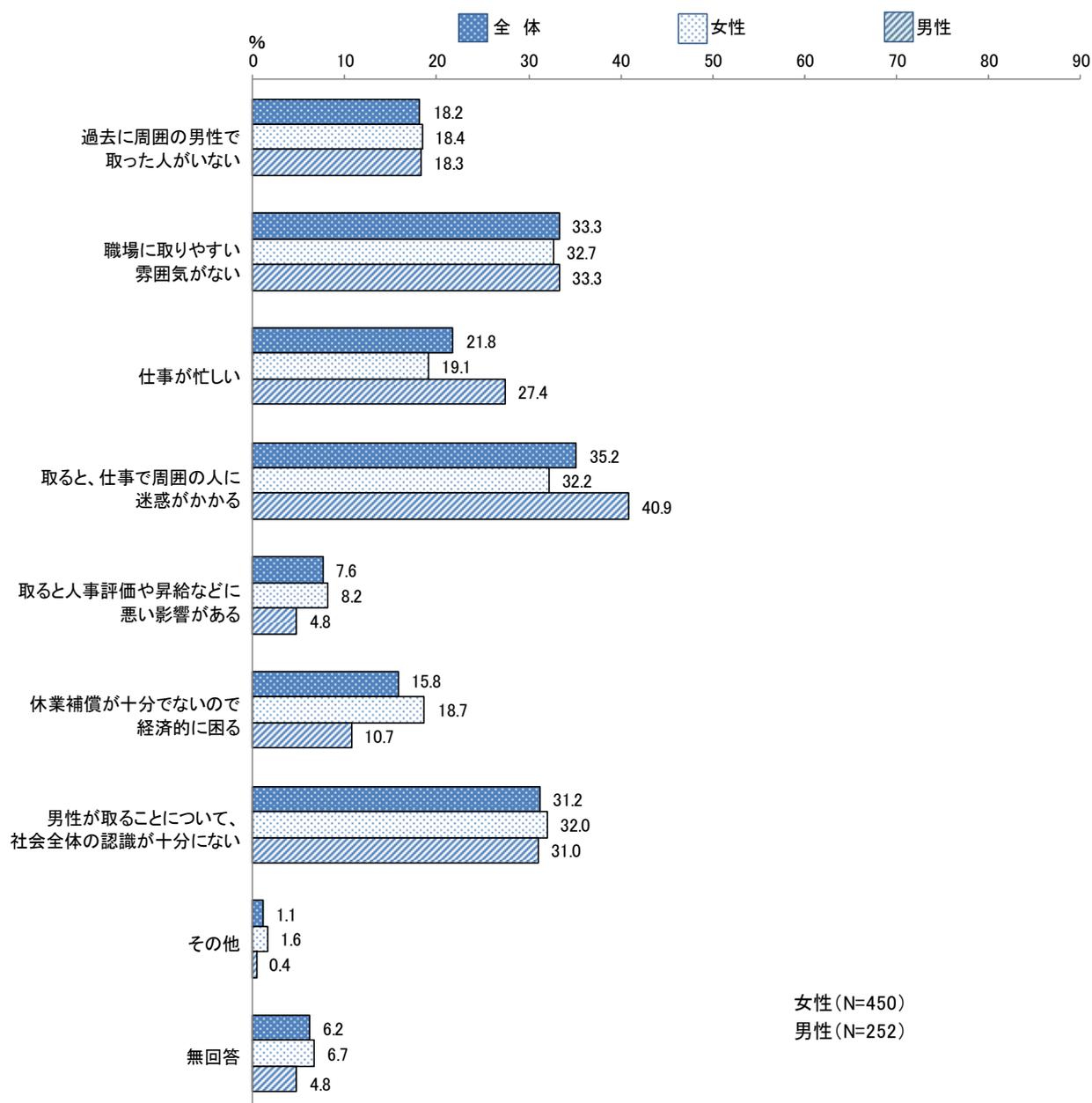


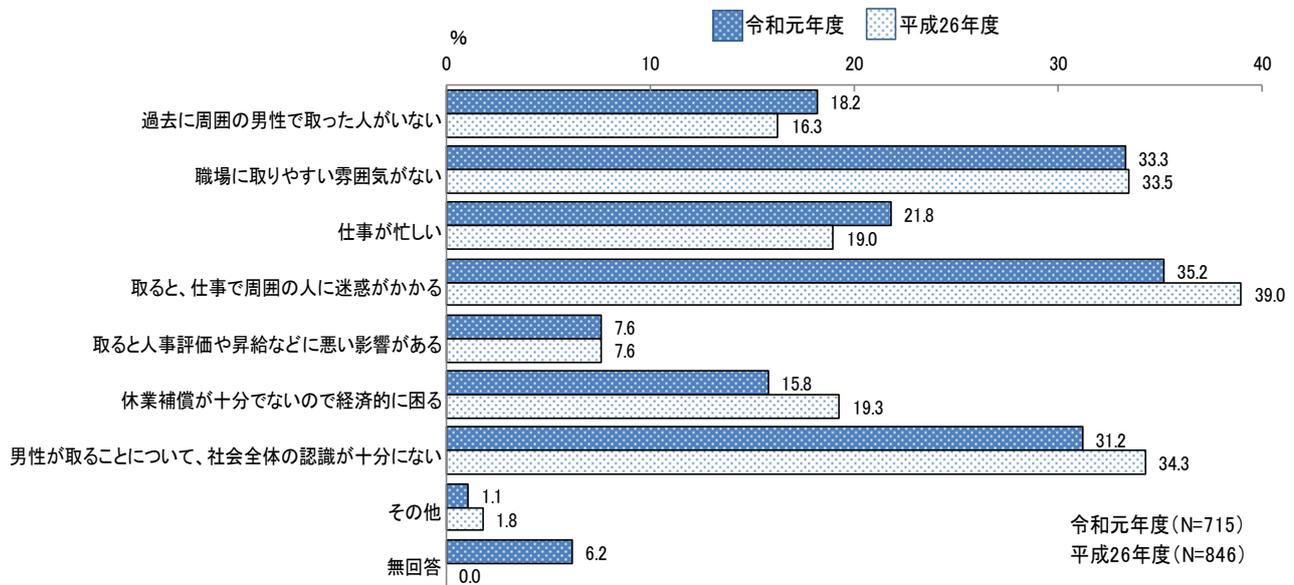
		全体	男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである	男性も育児・介護休業を取ることができ、現実には取りづらいと思う	育児・介護は女性がすべきであり、男性が休みを取る必要はない	その他	無回答
全体		1,082	23.2	66.1	2.5	1.7	6.6
性別・年齢別	女性合計	658	20.4	68.4	3.3	1.7	6.2
	女性・18～29歳	57	26.3	71.9	1.8	0.0	0.0
	女性・30～39歳	98	25.5	67.3	2.0	5.1	0.0
	女性・40～49歳	122	19.7	73.0	4.1	2.5	0.8
	女性・50～59歳	152	19.1	74.3	2.6	1.3	2.6
	女性・60～69歳	107	19.6	70.1	2.8	0.0	7.5
	女性・70歳以上	120	15.8	54.2	5.8	0.8	23.3
	女性・無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	28.3	63.2	1.3	1.3	6.0
	男性・18～29歳	22	31.8	68.2	0.0	0.0	0.0
	男性・30～39歳	42	31.0	64.3	2.4	2.4	0.0
	男性・40～49歳	85	32.9	58.8	1.2	3.5	3.5
	男性・50～59歳	91	25.3	71.4	1.1	0.0	2.2
男性・60～69歳	73	23.3	64.4	2.7	0.0	9.6	
男性・70歳以上	85	29.4	55.3	0.0	1.2	14.1	
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	13.5	73.0	3.6	0.9	9.0
	正社員・正規職員	315	22.5	71.1	1.6	1.9	2.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	33.3	53.8	2.6	5.1	5.1
	公務員	71	39.4	57.7	0.0	2.8	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	19.9	74.0	3.9	0.6	1.7
	学生・生徒	10	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	21.2	63.0	2.7	0.5	12.5
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	27.8	57.7	2.1	1.0	11.3
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	28.3	50.9	5.7	3.8	11.3
	無回答	21	9.5	47.6	0.0	9.5	33.3
前回調査	1,289	20.3	65.6	3.6	1.9	8.5	

(問31で「2 男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」と答えた方が回答)

問32 現実に取りづらい理由は何だと思いますか。(〇は2つまで)

- 全体では、「取ると、仕事で周囲の人に迷惑がかかる」が35.2%と最も高く、次いで「職場に取りやすい雰囲気がない」が33.3%、「男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない」が31.2%となっている。
- 性別でみると、最も差がみられた「取ると、仕事で周囲の人に迷惑がかかる」では、男性(40.9%)が女性(32.2%)より8.7ポイント高い。次いで差がみられた「仕事が忙しい」でも、男性(27.4%)が女性(19.1%)より8.3ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「取ると、仕事で周囲の人に迷惑がかかる」では、今回(35.2%)が前回(39.0%)より3.8ポイント低い。





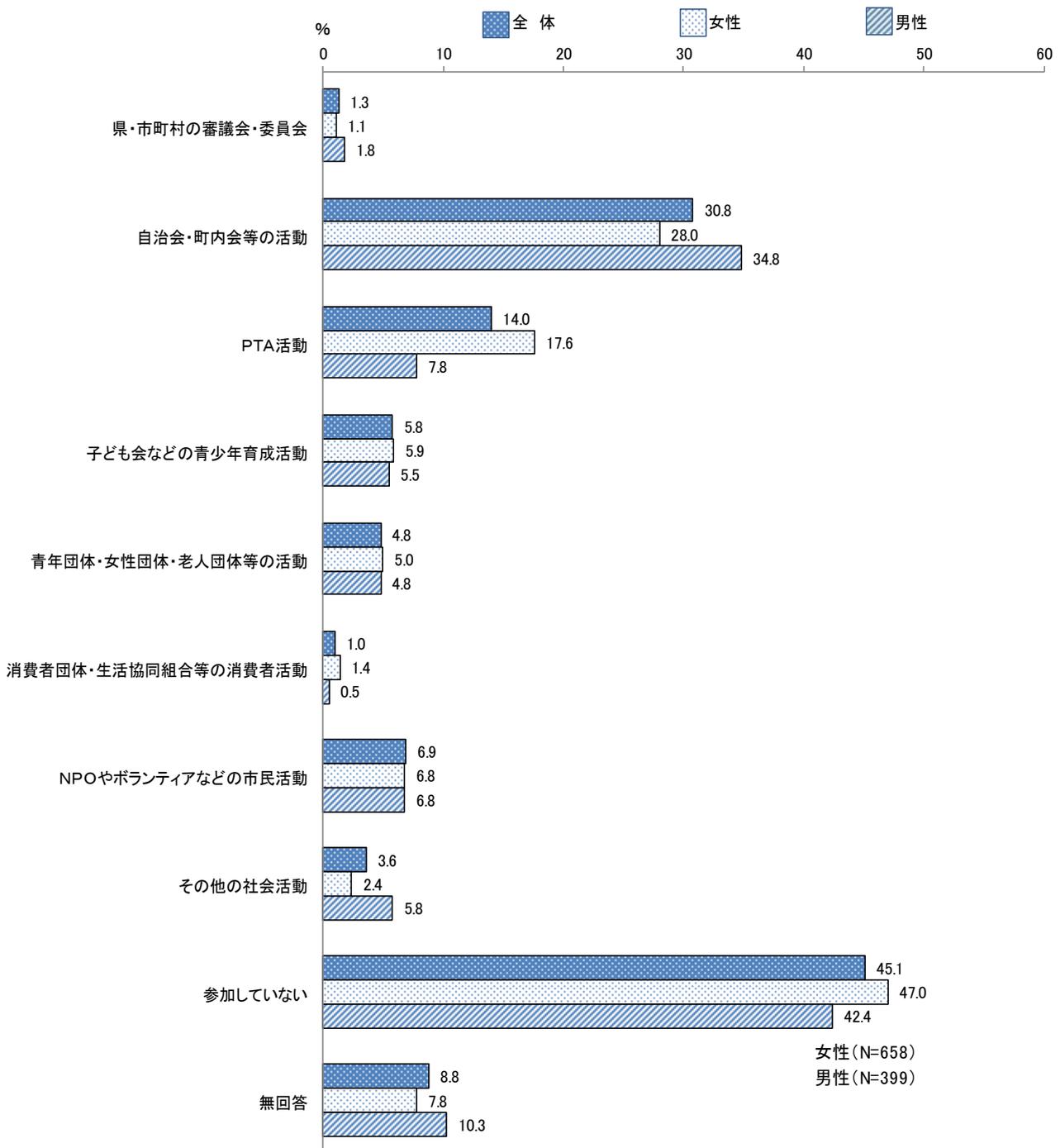
		全体	過去に周囲の男性で取った人がいない	職場に取りやすい雰囲気がない	仕事が忙しい	取ると、迷惑がかかる周囲の人	取ると悪い影響や昇給	休業補償が十分でない	認識が十分でない	男性が取ること	その他	無回答
全体		715	18.2	33.3	21.8	35.2	7.6	15.8	31.2	1.1	6.2	
性・年齢別	女性合計	450	18.4	32.7	19.1	32.2	8.2	18.7	32.0	1.6	6.7	
	女性・18～29歳	41	36.6	36.6	14.6	12.2	0.0	12.2	43.9	0.0	12.2	
	女性・30～39歳	66	22.7	37.9	19.7	30.3	10.6	28.8	21.2	3.0	6.1	
	女性・40～49歳	89	13.5	30.3	29.2	32.6	10.1	12.4	30.3	1.1	9.0	
	女性・50～59歳	113	21.2	32.7	15.0	39.8	8.8	19.5	35.4	1.8	3.5	
	女性・60～69歳	75	14.7	34.7	20.0	33.3	9.3	17.3	34.7	0.0	2.7	
	女性・70歳以上	65	9.2	24.6	13.8	30.8	6.2	21.5	29.2	3.1	10.8	
	女性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性合計	252	18.3	33.3	27.4	40.9	4.8	10.7	31.0	0.4	4.8	
	男性・18～29歳	15	6.7	26.7	46.7	20.0	13.3	20.0	40.0	0.0	0.0	
	男性・30～39歳	27	29.6	29.6	25.9	33.3	7.4	18.5	29.6	0.0	3.7	
	男性・40～49歳	50	20.0	32.0	26.0	48.0	4.0	12.0	28.0	2.0	6.0	
	男性・50～59歳	65	15.4	33.8	30.8	56.9	1.5	13.8	18.5	0.0	3.1	
	男性・60～69歳	47	19.1	27.7	29.8	40.4	6.4	6.4	42.6	0.0	0.0	
男性・70歳以上	47	17.0	44.7	14.9	23.4	4.3	2.1	38.3	0.0	12.8		
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職業	自営業またはその家族従業員	81	13.6	28.4	25.9	39.5	6.2	11.1	33.3	1.2	4.9	
	正社員・正規職員	224	26.3	32.1	24.1	36.6	6.7	19.6	22.8	1.8	6.7	
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	21	14.3	57.1	23.8	33.3	4.8	9.5	33.3	0.0	4.8	
	公務員	41	12.2	36.6	39.0	46.3	7.3	7.3	34.1	0.0	2.4	
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	134	20.9	34.3	19.4	32.1	9.0	14.9	34.3	0.0	5.2	
	学生・生徒	5	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	116	8.6	30.2	19.8	31.9	7.8	21.6	36.2	2.6	5.2	
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	56	17.9	37.5	10.7	33.9	5.4	7.1	39.3	0.0	8.9	
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	27	14.8	37.0	11.1	37.0	3.7	14.8	37.0	0.0	7.4	
	無回答	10	0.0	20.0	10.0	30.0	40.0	20.0	0.0	0.0	30.0	
	前回調査	846	16.3	33.5	19.0	39.0	7.6	19.3	34.3	1.8	-	

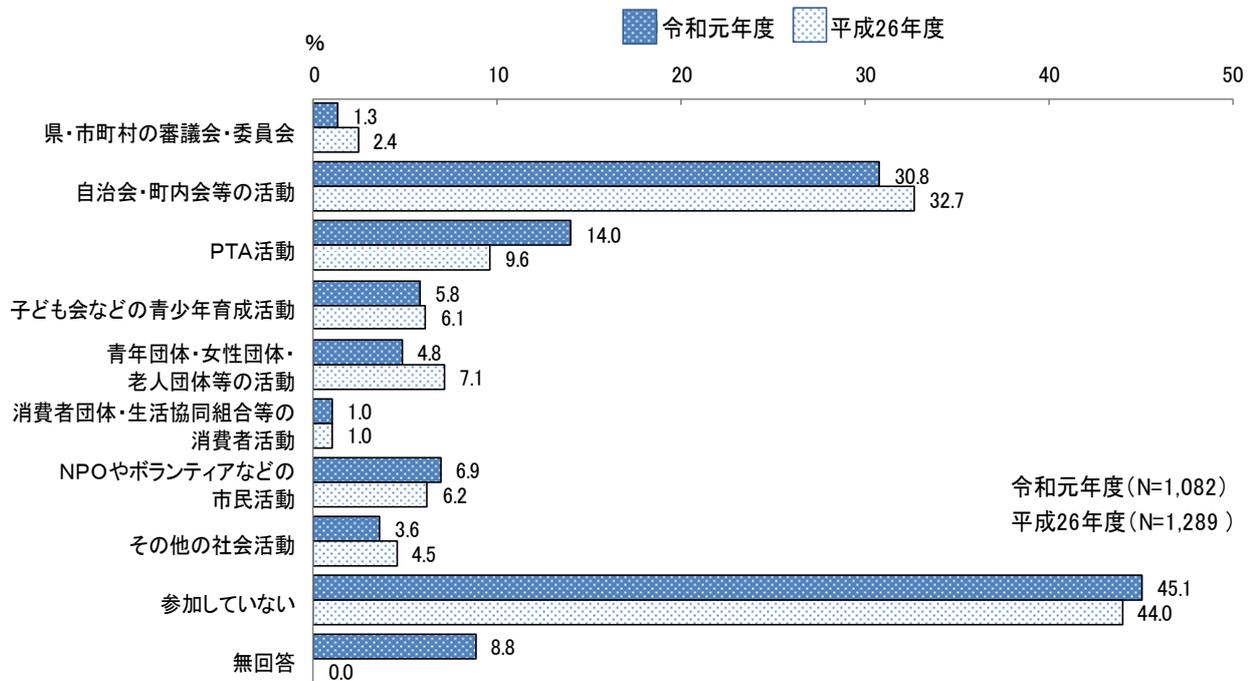
## 9. 地域活動について

(全員が回答)

問33 あなたは、次のような地域活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

- 全体では、「参加していない」が45.1%と最も高く、次いで「自治会・町内会等の活動」が30.8%、「PTA活動」が14.0%となっている。
- 性別で見ると、「自治会・町内会等の活動」では、男性(34.8%)が女性(28.0%)より6.8ポイント高い。「PTA活動」では、女性(17.6%)が男性(7.8%)より9.8ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「PTA活動」では、今回(14.0%)が前回(9.6%)より4.4ポイント高い。



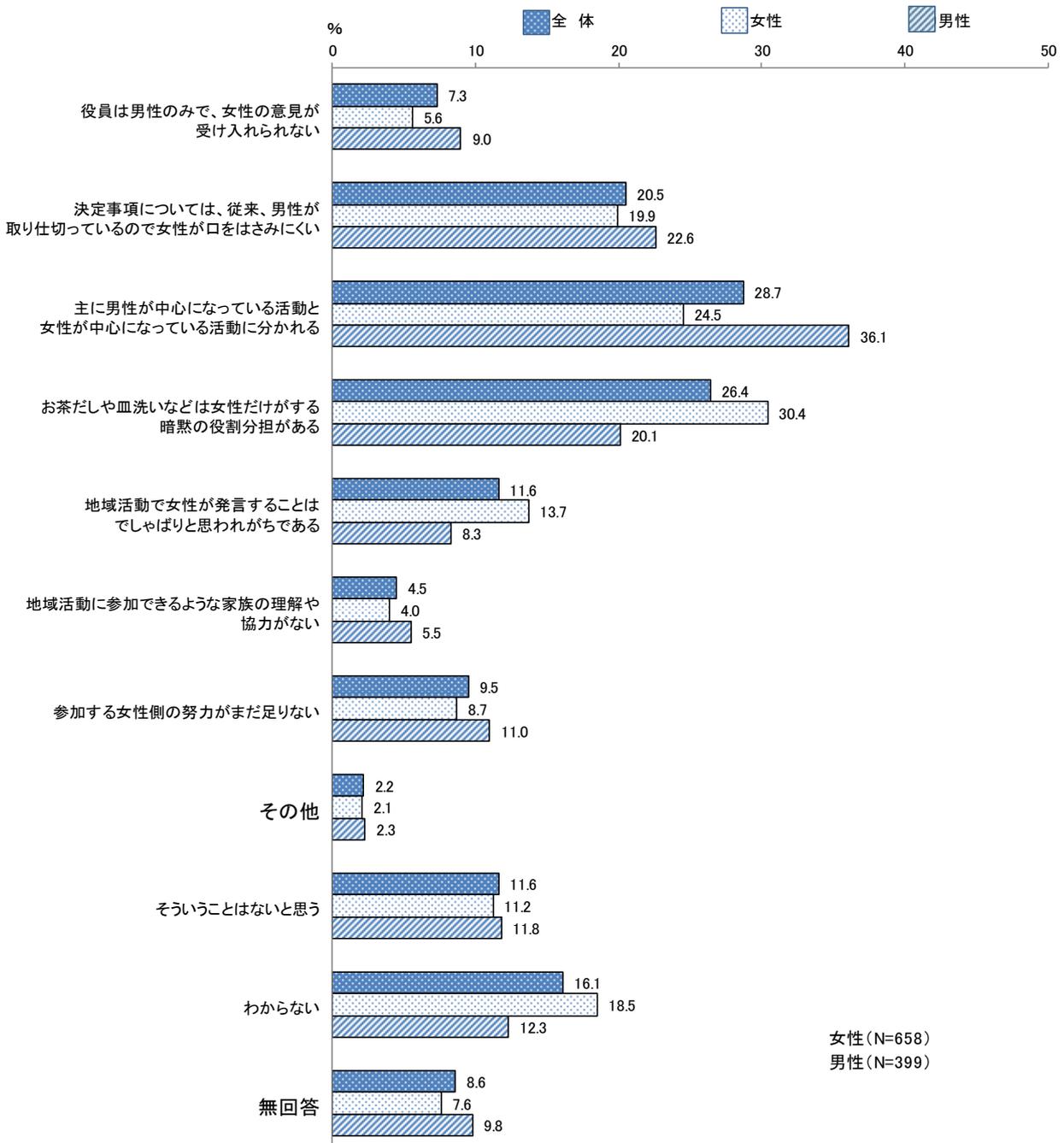


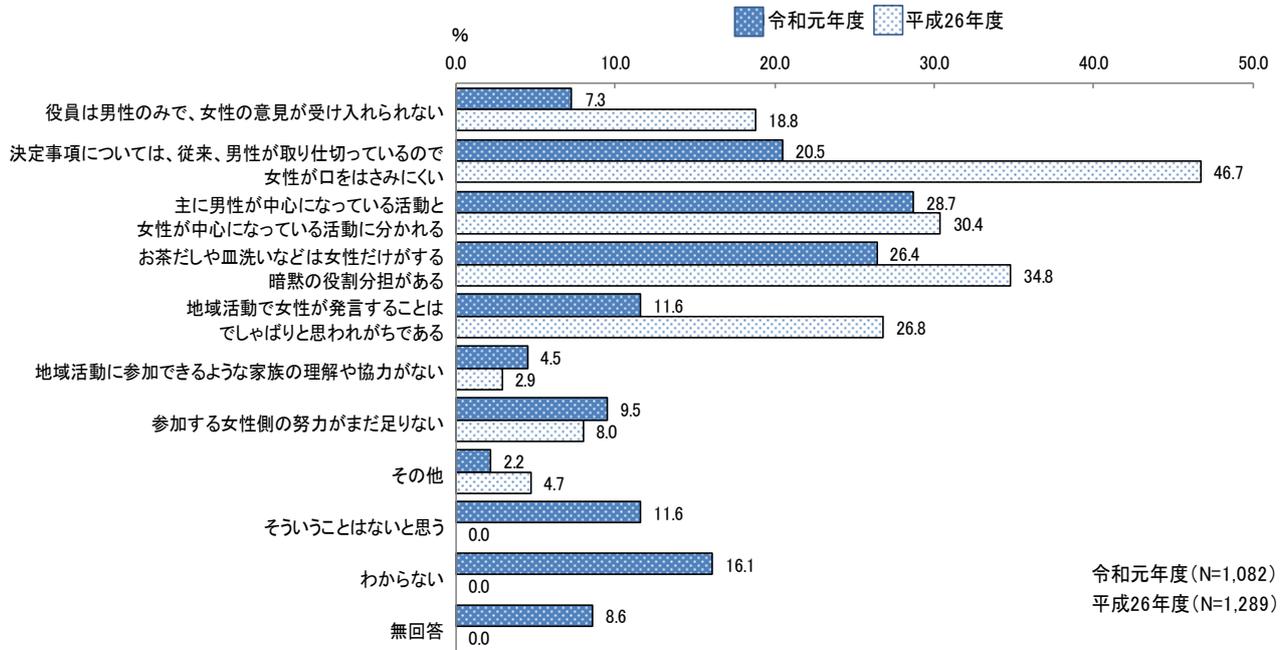
		全体	県・市町村の審議会・委員会	自治会・町内会等の活動	PTA活動	子ども会などの青少年育成活動	青年団体・女性団体・老人団体等の活動	消費者団体・生活協同組合等の消費者活動	NPOやボランティアなどの市民活動	その他の社会活動	参加していない	無回答
全体		1,082	1.3	30.8	14.0	5.8	4.8	1.0	6.9	3.6	45.1	8.8
性・年齢別	女性合計	658	1.1	28.0	17.6	5.9	5.0	1.4	6.8	2.4	47.0	7.8
	女性・18～29歳	57	0.0	10.5	5.3	1.8	5.3	0.0	3.5	0.0	80.7	1.8
	女性・30～39歳	98	1.0	24.5	36.7	12.2	0.0	0.0	5.1	0.0	49.0	2.0
	女性・40～49歳	122	2.5	29.5	41.0	13.1	0.8	0.8	5.7	2.5	38.5	0.0
	女性・50～59歳	152	0.7	33.6	14.5	5.9	2.6	2.6	6.6	1.3	50.0	4.6
	女性・60～69歳	107	0.0	36.4	2.8	0.0	11.2	0.0	11.2	4.7	38.3	13.1
	女性・70歳以上	120	1.7	22.5	0.8	0.8	10.8	3.3	6.7	5.0	42.5	22.5
	女性・無回答	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男性合計	399	1.8	34.8	7.8	5.5	4.8	0.5	6.8	5.8	42.4	10.3
	男性・18～29歳	22	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	4.5	72.7	4.5
	男性・30～39歳	42	0.0	26.2	2.4	4.8	7.1	0.0	7.1	0.0	64.3	4.8
	男性・40～49歳	85	1.2	35.3	23.5	10.6	8.2	0.0	7.1	8.2	37.6	5.9
	男性・50～59歳	91	0.0	39.6	7.7	5.5	3.3	0.0	3.3	6.6	41.8	5.5
	男性・60～69歳	73	1.4	34.2	1.4	1.4	2.7	0.0	6.8	4.1	45.2	13.7
男性・70歳以上	85	5.9	42.4	2.4	3.5	4.7	2.4	8.2	7.1	27.1	21.2	
男性・無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	3.6	44.1	9.0	6.3	10.8	3.6	11.7	2.7	33.3	9.0
	正社員・正規職員	315	1.3	28.6	18.1	4.8	3.5	1.0	5.7	2.9	49.2	5.4
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	0.0	25.6	12.8	5.1	0.0	0.0	5.1	0.0	56.4	5.1
	公務員	71	0.0	28.2	19.7	11.3	1.4	0.0	4.2	7.0	50.7	2.8
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	0.6	36.5	24.3	10.5	5.0	0.0	6.6	2.8	39.8	6.1
	学生・生徒	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	0.5	31.0	7.6	4.3	6.0	1.1	7.1	2.7	42.4	14.7
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	1.0	25.8	2.1	2.1	7.2	2.1	6.2	5.2	48.5	15.5
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	5.7	15.1	1.9	0.0	1.9	0.0	7.5	11.3	52.8	13.2
	無回答	21	0.0	38.1	19.0	9.5	0.0	0.0	9.5	4.8	23.8	19.0
	前回調査	1,289	2.4	32.7	9.6	6.1	7.1	1.0	6.2	4.5	44.0	-

(全員が回答)

問3 4 地域の中での女性の参画についてお聞きします。自治会・町内会などの地域の集まりや作業の中で、女性も男性と共に参加したり、男性と同じように発言したりすることができにくい雰囲気や状況があるのはなぜだと思いますか。(〇は2つまで)

- 全体では、「主に男性が中心になっている活動と女性为中心になっている活動に分かれる」が28.7%と最も高く、次いで「お茶だしや皿洗いなどは女性だけがする暗黙の役割分担がある」が26.4%、「決定事項については、従来、男性が取り仕切っているので女性が口をはさみにくい」が20.5%となっている。
- 性別でみると、「主に男性が中心になっている活動と女性为中心になっている活動に分かれる」では、男性(36.1%)が女性(24.5%)より11.6ポイント高い。また「お茶だしや皿洗いなどは女性だけがする暗黙の役割分担がある」では、女性(30.4%)が男性(20.1%)より10.3ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「決定事項については、従来、男性が取り仕切っているので女性が口をはさみにくい」では、今回(20.5%)が前回(46.7%)より26.2ポイント低い。「地域活動で女性が発言することはでしゃばりと思われがちである」と「役員は男性のみで、女性の意見が受け入れられない」でも前回より10ポイント以上低くなっている。





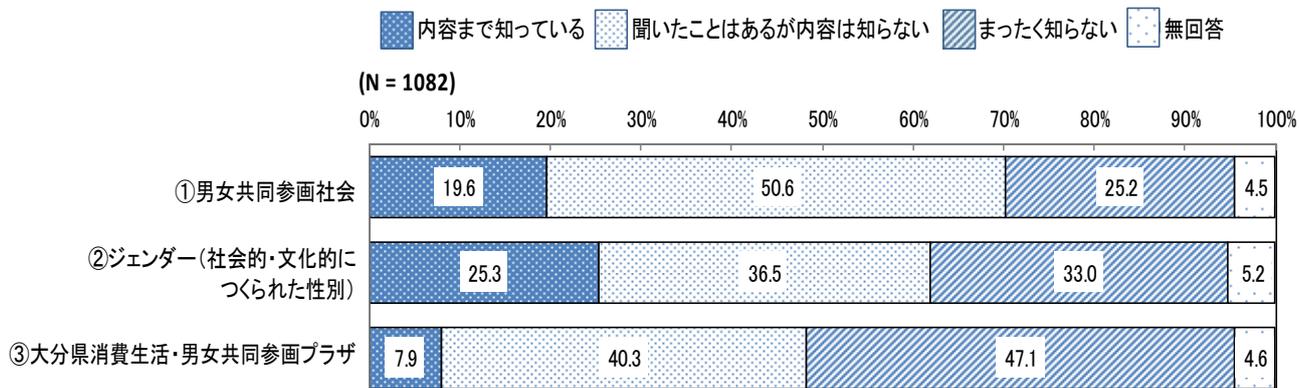
	全体	意見が受け入れられない	役員は男性のみで、女性の意見が受け入れられない	決定事項については、従来、男性が取り仕切っているのに女性が口をはさみにくい	主に男性が中心になっている活動と女性が中心になっている活動に分かれる	お茶だしや皿洗いなどは女性だけがする暗黙の役割分担がある	地域活動で女性が発言することはしゃばりと思われがちである	地域活動に参加できるような家族の理解や協力が無い	参加する女性側の努力がまだ足りない	その他	そういうことはないと思う	わからない	無回答
全体	1,082	7.3	20.5	28.7	26.4	11.6	4.5	9.5	2.2	11.6	16.1	8.6	
性・年齢別	女性合計	658	5.6	19.9	24.5	30.4	13.7	4.0	8.7	2.1	11.2	18.5	7.6
	女性・18～29歳	57	3.5	24.6	22.8	31.6	14.0	0.0	1.8	1.8	12.3	28.1	1.8
	女性・30～39歳	98	5.1	16.3	22.4	39.8	8.2	1.0	5.1	3.1	8.2	27.6	4.1
	女性・40～49歳	122	8.2	17.2	21.3	32.8	13.1	8.2	0.8	1.6	10.7	21.3	5.7
	女性・50～59歳	152	5.3	29.6	30.9	30.9	16.4	5.3	9.9	2.6	9.2	13.2	2.6
	女性・60～69歳	107	8.4	17.8	29.9	23.4	16.8	5.6	11.2	1.9	18.7	10.3	9.3
	女性・70歳以上	120	2.5	13.3	17.5	25.0	11.7	0.8	19.2	1.7	10.0	18.3	19.2
	女性・無回答	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	男性合計	399	9.0	22.6	36.1	20.1	8.3	5.5	11.0	2.3	11.8	12.3	9.8
	男性・18～29歳	22	13.6	27.3	36.4	22.7	4.5	9.1	0.0	4.5	0.0	27.3	0.0
	男性・30～39歳	42	14.3	23.8	28.6	23.8	9.5	4.8	2.4	7.1	16.7	19.0	2.4
	男性・40～49歳	85	5.9	16.5	31.8	18.8	5.9	4.7	10.6	2.4	18.8	14.1	8.2
	男性・50～59歳	91	14.3	25.3	45.1	22.0	12.1	3.3	6.6	2.2	11.0	8.8	4.4
	男性・60～69歳	73	5.5	23.3	31.5	24.7	4.1	8.2	11.0	1.4	11.0	13.7	13.7
男性・70歳以上	85	5.9	23.5	37.6	12.9	10.6	5.9	22.4	0.0	7.1	5.9	20.0	
男性・無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	7.2	23.4	29.7	21.6	11.7	7.2	16.2	1.8	11.7	9.9	9.0
	正社員・正規職員	315	9.8	21.6	27.6	24.1	10.5	4.4	6.7	2.2	12.7	17.8	6.3
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	7.7	12.8	30.8	33.3	7.7	10.3	7.7	5.1	7.7	23.1	10.3
	公務員	71	5.6	14.1	50.7	25.4	14.1	2.8	2.8	1.4	12.7	14.1	1.4
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	5.5	24.3	23.8	30.9	13.8	6.1	10.5	3.3	9.9	17.7	4.4
	学生・生徒	10	20.0	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	4.9	19.6	28.3	31.0	13.6	2.2	8.7	1.6	12.0	15.2	11.4
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	8.2	20.6	29.9	23.7	8.2	3.1	17.5	0.0	8.2	12.4	16.5
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	3.8	18.9	24.5	20.8	9.4	3.8	9.4	3.8	15.1	18.9	17.0
	無回答	21	9.5	0.0	19.0	19.0	9.5	4.8	9.5	4.8	19.0	19.0	19.0
前回調査	276	18.8	46.7	30.4	34.8	26.8	2.9	8.0	4.7	-	-	-	

## 10. 男女共同参画施策への要望について

(全員が回答)

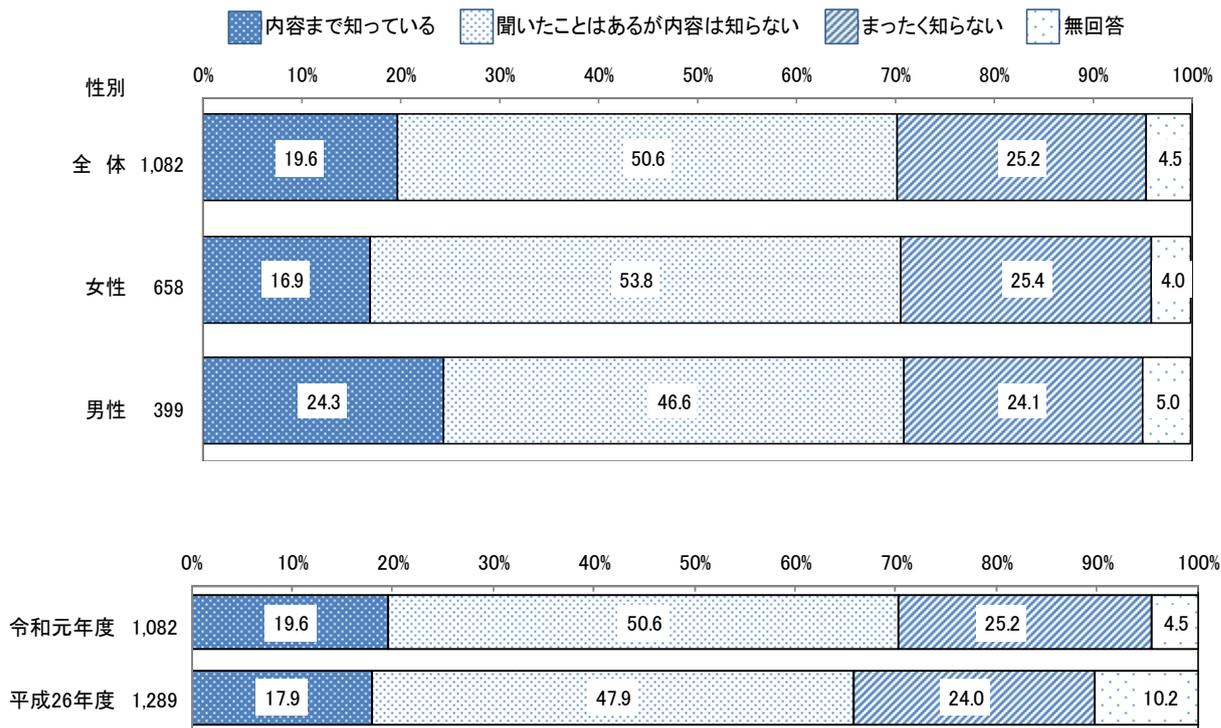
問35 あなたは次の①～③にあげることがらについて知っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

- 「内容まで知っている」は、「②ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)」が25.3%で最も高く、次いで「①男女共同参画社会」が19.6%、「③大分県消費生活・男女共同参画プラザ」が7.9%と続いた。



### ①男女共同参画社会

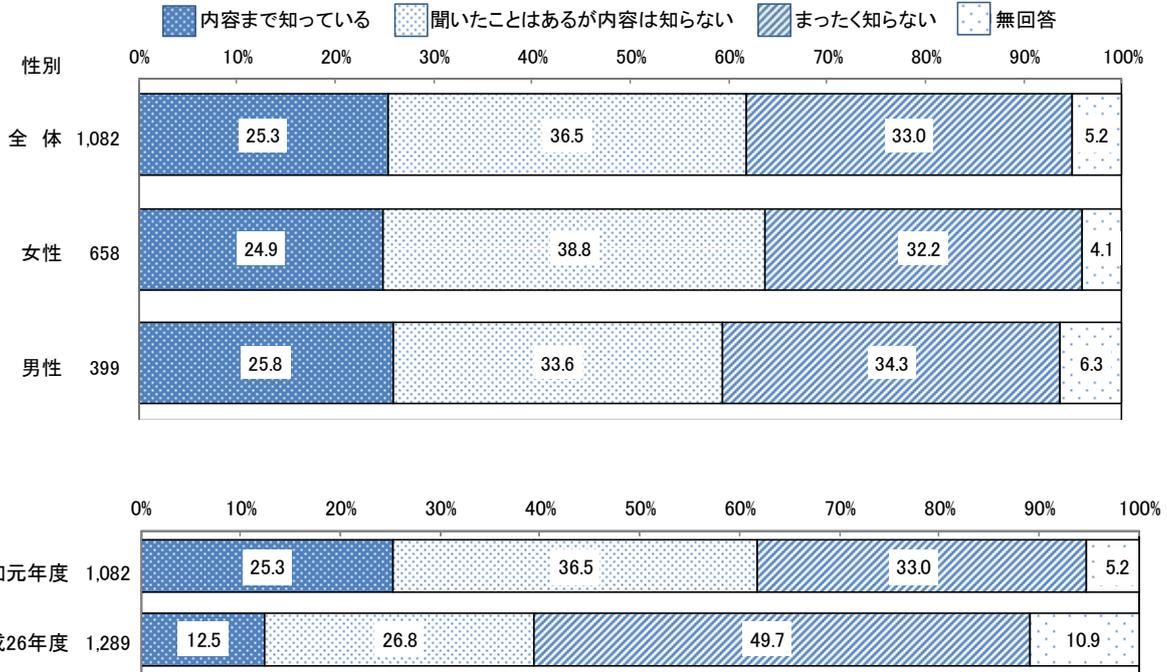
- 全体では、「聞いたことはあるが内容は知らない」が50.6%と最も高く、次いで「まったく知らない」が25.2%、「内容まで知っている」が19.6%となっている。
  - 性別で見ると、「内容まで知っている」では、男性(24.3%)が女性(16.9%)より7.4ポイント高い。
  - 前回調査と比較すると、「周知度(計)※」は、今回(70.2%)が前回(65.8%)より4.4ポイント高い。
- ※周知度(計)・・・「内容まで知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」を合算したのもの



		全 体	内容まで 知っている	聞いたことは あるが内容 は知らない	まったく知ら ない	無回答
全 体		1,082	19.6	50.6	25.2	4.5
性・年 齢 別	女性合計	658	16.9	53.8	25.4	4.0
	女性・18～29歳	57	43.9	43.9	12.3	0.0
	女性・30～39歳	98	16.3	55.1	28.6	0.0
	女性・40～49歳	122	18.9	59.0	21.3	0.8
	女性・50～59歳	152	13.8	55.3	28.3	2.6
	女性・60～69歳	107	12.1	53.3	29.0	5.6
	女性・70歳以上	120	10.0	50.8	26.7	12.5
	女性・無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性合計	399	24.3	46.6	24.1	5.0
	男性・18～29歳	22	50.0	40.9	9.1	0.0
	男性・30～39歳	42	23.8	35.7	38.1	2.4
	男性・40～49歳	85	23.5	43.5	29.4	3.5
	男性・50～59歳	91	36.3	41.8	18.7	3.3
	男性・60～69歳	73	8.2	61.6	27.4	2.7
	男性・70歳以上	85	18.8	49.4	18.8	12.9
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
職 業	自営業またはその家族従業員	111	18.9	59.5	17.1	4.5
	正社員・正規職員	315	19.0	55.2	23.8	1.9
	契約社員(職員)・派遣社員(職員)	39	7.7	61.5	28.2	2.6
	公務員	71	69.0	25.4	5.6	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用(職種は問いません)	181	10.5	56.4	30.4	2.8
	学生・生徒	10	40.0	60.0	0.0	0.0
	家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)	184	15.2	47.8	27.2	9.8
	無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)	97	15.5	48.5	27.8	8.2
	その他(上記のいずれにも該当しない方)	53	20.8	28.3	43.4	7.5
	無回答	21	9.5	38.1	42.9	9.5
前回調査		1,289	17.9	47.9	24.0	10.2

## ②ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）

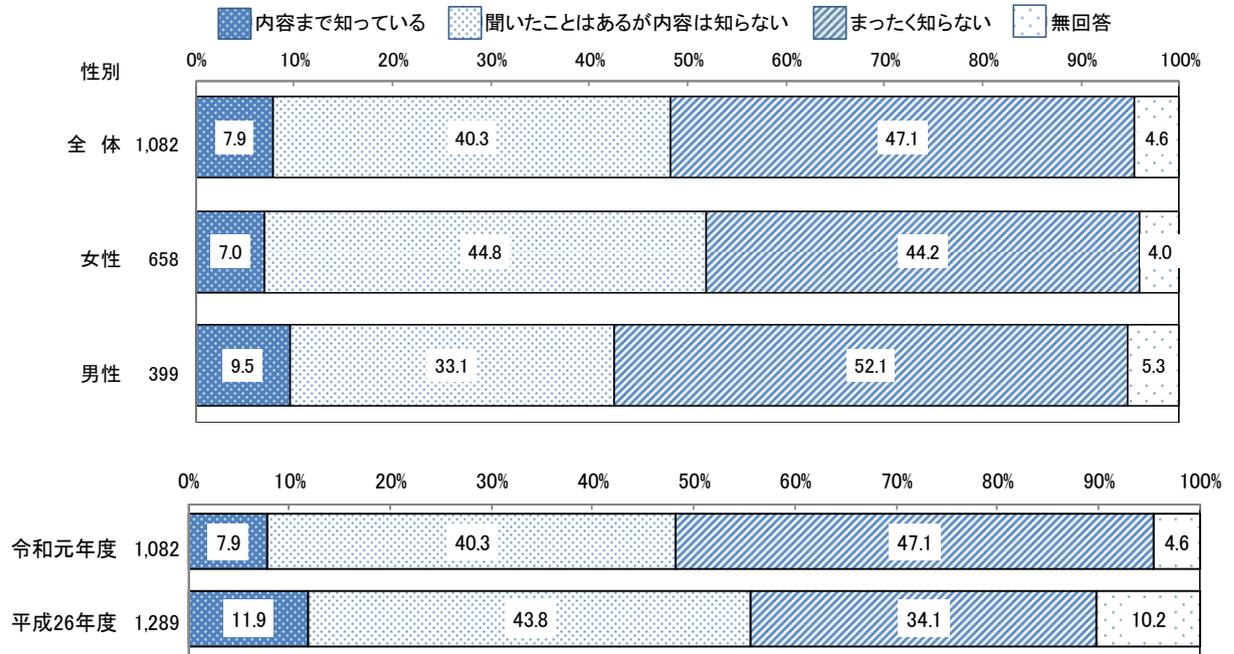
- 全体では、「聞いたことはあるが内容は知らない」が36.5%と最も高く、次いで「まったく知らない」が33.0%、「内容まで知っている」が25.3%となっている。
- 性別で見ると、「周知度（計）」は、女性（63.7%）が男性（59.4%）より4.3ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、「周知度（計）」は、今回（61.8%）が前回（39.3%）より22.5ポイント高い。



		全体	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない	無回答
全体		1,082	25.3	36.5	33.0	5.2
性・年齢別	女性合計	658	24.9	38.8	32.2	4.1
	女性・18～29歳	57	59.6	31.6	8.8	0.0
	女性・30～39歳	98	34.7	50.0	15.3	0.0
	女性・40～49歳	122	27.0	48.4	23.8	0.8
	女性・50～59歳	152	24.3	40.1	32.9	2.6
	女性・60～69歳	107	15.9	30.8	50.5	2.8
	女性・70歳以上	120	6.7	28.3	49.2	15.8
	女性・無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性合計	399	25.8	33.6	34.3	6.3
	男性・18～29歳	22	50.0	31.8	18.2	0.0
	男性・30～39歳	42	38.1	23.8	35.7	2.4
	男性・40～49歳	85	30.6	42.4	24.7	2.4
	男性・50～59歳	91	44.0	26.4	27.5	2.2
	男性・60～69歳	73	2.7	42.5	49.3	5.5
男性・70歳以上	85	8.2	30.6	42.4	18.8	
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	18.9	40.5	36.9	3.6
	正社員・正規職員	315	28.3	44.1	25.7	1.9
	契約社員（職員）・派遣社員（職員）	39	20.5	48.7	30.8	0.0
	公務員	71	73.2	18.3	8.5	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用（職種は問いません）	181	20.4	39.8	36.5	3.3
	学生・生徒	10	70.0	30.0	0.0	0.0
	家事専業（外で働いておらず、専ら家事に従事している方）	184	16.3	33.7	40.8	9.2
	無職（外で働いておらず、家事にも従事していない方）	97	12.4	28.9	45.4	13.4
	その他（上記のいずれにも該当しない方）	53	28.3	18.9	41.5	11.3
	無回答	21	14.3	19.0	47.6	19.0
前回調査	1,289	12.5	26.8	49.7	10.9	

### ③大分県消費生活・男女共同参画プラザ（愛称：アイネス）

- 全体では、「まったく知らない」が47.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が40.3%、「内容まで知っている」が7.9%となっている。
- 性別でみると、「周知度（計）」は、女性（51.8%）が男性（42.6%）より9.2ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、「周知度（計）」は、今回（48.2%）が前回（55.7%）より7.5ポイント低い。

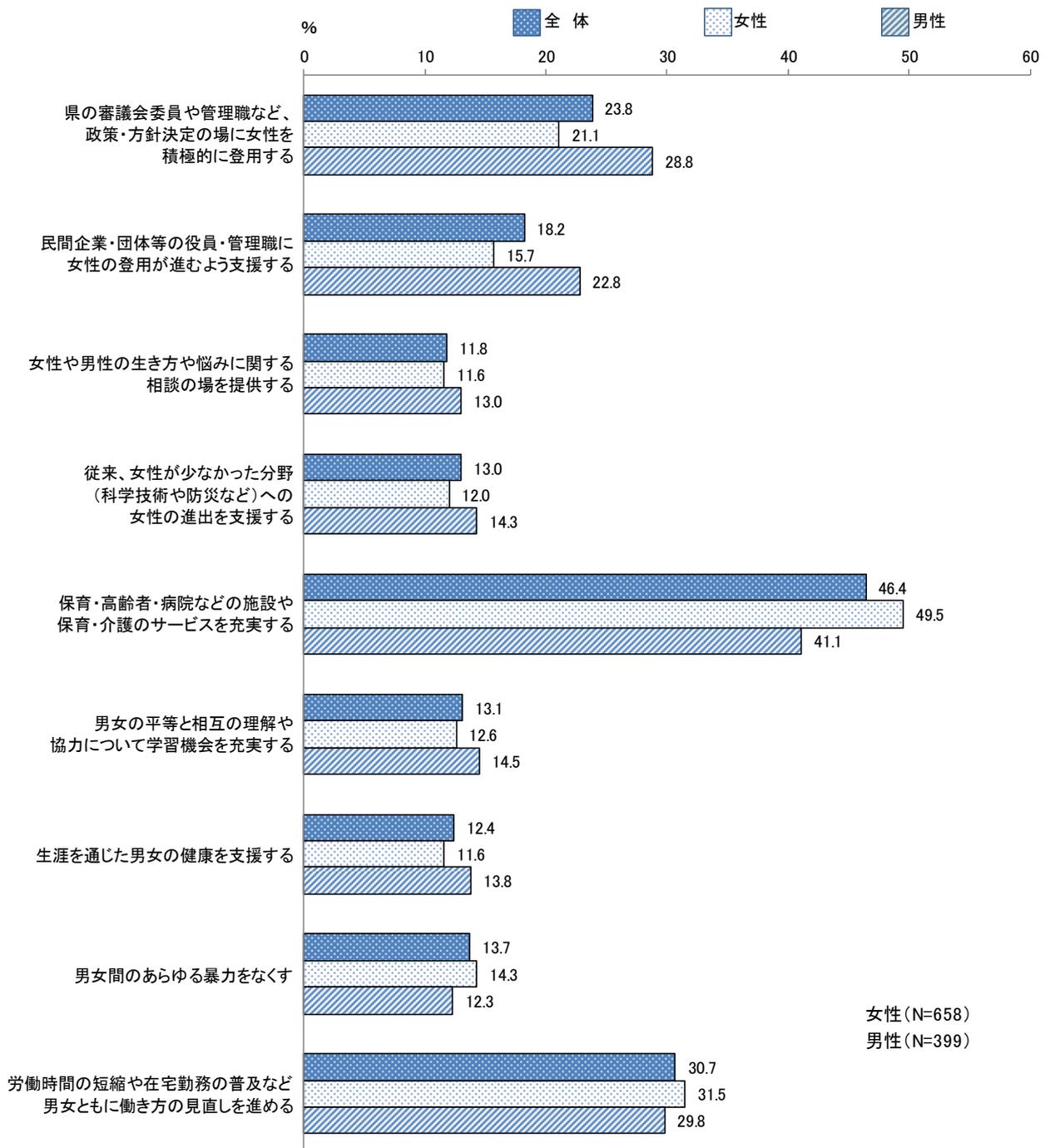


		全体	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない	無回答
全体		1,082	7.9	40.3	47.1	4.6
性・年齢別	女性合計	658	7.0	44.8	44.2	4.0
	女性・18～29歳	57	7.0	26.3	66.7	0.0
	女性・30～39歳	98	4.1	49.0	46.9	0.0
	女性・40～49歳	122	9.8	53.3	36.9	0.0
	女性・50～59歳	152	8.6	54.6	34.2	2.6
	女性・60～69歳	107	6.5	40.2	49.5	3.7
	女性・70歳以上	120	5.0	32.5	47.5	15.0
	女性・無回答	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性合計	399	9.5	33.1	52.1	5.3
	男性・18～29歳	22	4.5	22.7	72.7	0.0
	男性・30～39歳	42	4.8	31.0	61.9	2.4
	男性・40～49歳	85	14.1	37.6	45.9	2.4
	男性・50～59歳	91	14.3	41.8	41.8	2.2
	男性・60～69歳	73	4.1	30.1	61.6	4.1
男性・70歳以上	85	7.1	25.9	51.8	15.3	
男性・無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
職業	自営業またはその家族従業員	111	9.0	44.1	41.4	5.4
	正社員・正規職員	315	6.7	43.8	47.6	1.9
	契約社員（職員）・派遣社員（職員）	39	2.6	46.2	51.3	0.0
	公務員	71	35.2	31.0	33.8	0.0
	パート、アルバイト、臨時雇用（職種は問いません）	181	4.4	44.8	48.1	2.8
	学生・生徒	10	0.0	50.0	50.0	0.0
	家事専業（外で働いておらず、専ら家事に従事している方）	184	4.3	40.8	45.1	9.8
	無職（外で働いておらず、家事にも従事していない方）	97	5.2	27.8	56.7	10.3
	その他（上記のいずれにも該当しない方）	53	13.2	22.6	58.5	5.7
	無回答	21	4.8	42.9	42.9	9.5
前回調査	1,289	11.9	43.8	34.1	10.2	

(全員が回答)

問36 男女共同参画社会の実現に向けて、県は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。  
(〇は3つまで)

- 全体では、「保育・高齢者・病院などの施設や保育・介護のサービスを充実する」が46.4%と最も高く、次いで「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が37.8%、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」が30.7%となっている。
- 性別で見ると、最も差がみられた「保育・高齢者・病院などの施設や保育・介護のサービスを充実する」では、女性(49.5%)が男性(41.1%)より8.4ポイント高い。
- 前回調査と比較すると、最も差がみられた「民間企業・団体等の役員・管理職に女性の登用が進むよう支援する」では、今回(18.2%)が前回(22.6%)より4.4ポイント低い。





(全員が回答)

問37 男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に共同で参画する社会を実現するために、県に対してのご意見やご要望などがございましたら、以下の【回答欄】に自由にご記入ください。

寄せられた自由意見は、212件あり、内容は、男女共同参画、子育て支援、就労についてなど多岐にわたっている。その中から主な意見・要望を掲載した。

- (1) 男女共同参画について (58件)
- (2) 子育て支援について (26件)
- (3) 教育について (13件)
- (4) 就労について (33件)
- (5) 少子高齢化社会について (13件)
- (6) 女性の登用について (15件)
- (7) 県の男女共同参画施策について (40件)
- (8) アンケートの実施に関して (23件)
- (9) その他 (39件)

#### (1) 男女共同参画について (58件)

- 男女共同参画施策の内容について理解不足があると思います。内容について「チラシ」等を各家庭に配布し周知徹底をはかるべきではないでしょうか。
- 昔と比べると、女性も男性同様に活躍の機会が増え、大半の企業で産休育休制度も整えられて表面上は男女平等に近い状態になっていると思う。官公庁が男女平等に向けた取組をすること自体は良いことだと思うが、職場の上司等の権力をもっている人達が、固定的な性別役割分担の考え方、あるいは女性差別にあたる考え方をもっており、それを変えるのは現実的に非常に困難だと思う。
- 共働きの場合、夫婦共に職場の理解が必要。ライフワークバランスをとりやすい社会になってほしい。残業が当たり前、ではなく働き方改革や育児介護中の働き方についてもっと社会全体で勉強していくべき。そのような機会を増やして行ってほしいです。
- 単に平等を考えるだけでなく、個人の特性を考えてそれぞれの人に選択肢を与えられる社会になってもらいたい。
- 共同参画社会は時代の差であると思う。これからの若者は、理解や協力があり、男女の差も少なくなっていくと思う。

その他多数

#### (2) 子育て支援について (26件)

- 職場に保育園が併設されるケースがもっと増えると、子育て世代が安心して働けると思います。また、様々な休暇制度を取得した人の代わり、職場に残った人の労働環境にも目を向けていただけるとありがたいです。
- 育児休暇をとるのはどうして親だけなのだろうと思う。障害になるのはその上の世代なので孫育休とかも考えて若い世代と同じ立場になれば、少しは理解が増えるのではないだろうか。
- 子ども手当や、医療費の補助を18才までに拡大し、(家庭の収入に応じてでよいので) ゆとりができれば気持ちのゆとりもでて、参画しやすいと思います。
- 大分の中小企業では、いまだに出産するなら育休中の人材確保がむずかしいから早めに辞めてほしいと言われてしまうこともあります。まずは、実態の把握を急いでほしいです。

- 放課後児童育成クラブの増加と時間の見直し(特に夏休みなど)、病児保育の数をもう少し増やしてほしい。終了時間が17:30だと仕事の途中でお迎えに行かなければならず、職場に迷惑がかかる。子供に対して仕事を続けるためのサポートの充実を希望します。

その他多数

### (3) 教育について (13件)

- 大人になってからの意識を変える事は難しいので子供の時から教育で培う事が必要だと思います。
- 地域により差別感があり、同じ立場の関わりが強い為、大人達への教育が必要。
- この問題は年齢により考えが違ってくると思います。私は50代ですが、幼い頃より女性は家庭を守るべきと育てられた為、男性と同等にとは考えていません。これからの女性が、男性と同じように世に出る事に関しては大変よい事だと思います。これからは、女性も今の教育等で自然にそうなると思います。
- 潜在的に脳の構造の違いがあつての男女だと思います。その違いがある事を小さい頃から教育の場で教え、個々の人間として大切である事を伝えていってほしいです。
- 男女で教育に格差が出るのは本当にいけない事だと思います。全てのベースとなる教育経済のサポートを期待しています。

その他多数

### (4) 就労について (33件)

- 生活に追われ参画する余裕がない。最低賃金を全国レベルに上げてほしい。パート、アルバイトは仕事に対しての賃金評価が低くすぎる。余裕がないといろいろな事に参加できない。
- 共働きで、生活し、子育てするので精一杯です。地域や社会で、積極的に活動する程の時間はないのが現状！もう少し、勤務時間や収入が改善されれば、ありがたい。
- ある程度子どもが育つと就労を希望する女性が多いが、時短、土日祝は休みたい、など働いてほしい側との需要と供給がマッチングしていないように感じる。土日祝でもあずかり保育などの施設、サービスをととのえ、働く時間をふやせるようにしてほしい。
- 2人とも共働きで、子どももいて、夫は仕事が忙しく、自治会や班長会議などに出られず、いやな目などをむけられるので、自治会をどうにかしてもらいたい。
- 公立小中学校の若い先生方が、広域の異動をさせられている現状は、結婚や出産、育児に大きな負担を強いていると思います。ただでさえ激務の学校現場です。若い先生方が少しでも働きやすいようせめて異動の負担だけでも減らしてあげてほしいと思います。

その他多数

### (5) 少子高齢化社会について (13件)

- 男女共同参画施策も重要だけど、激進する少子高齢化や地域崩壊対策をもっと積極的に！
- 男女共に仕事に従事する為には介護保育の施設を充実した方が良くと思う。方法としては両施設の職員の給与を上げ、職員数を確保する事により良い循環が生まれると思う。
- 年配者には女性や若い人に対する偏見が特に多いです。まずは年配者に受け入れてもらえるようにしないと共同参画の実現は厳しいと思います。
- 保育や介護で働く人の働きやすさを考える事。それによってあずける人の負担を減し、女性が働き安く出来ると思う。
- 女性が活躍しやすい様にサポートする為に、子供や介護等の提供する場を増やしてほしい。

その他多数

#### (6) 女性の登用について (15件)

- 県・市・町・村が率先して、女性登用を推進することが肝要である。
- 女性の管理職を増やす。女性枠を設定する女性の市長や知事を誕生させる。
- 男だから、女だから、ということは関係なく能力できちんと判断すべき。能力の高い男性職員がいるのに管理職等に女性の登用を増やそうという気持ちだけで女性を登用すべきではないと思います。世の中の流れて能力の低い女性上司の下で働くのはつらい。これこそ男女差別。女性への暴力はゼロになることを願います。
- 女性を積極的に管理職などに登用するというより、平等に評価することが大事。

その他多数

#### (7) 県の男女共同参画施策について (40件)

- まず自治体や議会で女性が活躍する姿を県民に見せることが大切と思う。
- 大分県がどう言った取組みを行っているのか、わからない。広報は女性を優遇したら良い、と言う誤解を招く内容にならない様、注意してほしい。男女共に参加し、考える事が重要と思います。
- 男女それぞれ特性があり、それを自然に生かして行けるような場所や仕事があるのだということを自覚できるような「広報」活動を望みます。
- 出産～育休と介護休業の間の人材確保が非常に難しいと思います。県からのサポートがあると良いと思います。
- 子育てが終わり、これからの人生を考え、一步ふみ出したいと思った時に、親身になって相談にのってくれる人、場所があれば女性にとってとても心強いし、それが大分県にとっての大きい力となって返ってくると思います。

その他多数

#### (8) アンケートの実施に関して (23件)

- 真剣に考えないと回答できない項目ばかりでした。この調査を有意義に生かして男女共同参画社会づくりを進めてください。期待をしております。
- 意識調査の設問が女性を意識していて男性目線で作成されていると思った。意識調査に男女の格差があると感じました。
- アンケート調査をするという事は、参考にするためと思われますので、いろいろな改革があればと思います。働き方改革等は、田舎ではなかなか浸透されません。浸透される様願っています。
- 回答者は、高齢(88才)の為代理者(同居)が、聞きとりながら記入しました。高齢者にとっては難しい内容のようでした。
- こういう調査を出すとき、年代などを選んで欲しい。高齢者(85才90才)の夫婦家庭は無理な質問ばかりで困りました。

その他多数

#### (9) その他 (39件)

- 老若男女全ての人々が仲よく和やかに暮らせる社会になるよう、多方面からの施策、支援をしていただきたいと思います。
- 相談したい時にHPなどで窓口がすぐに検索できて、親身になって相談できればそれで良い。窓口へ勇気を出して行っても業務的であれば(言葉も)意味がない。

- 男性、女性ともに意識改革が必要だと思います。男性は女性が前に出ることにに対して寛容さをもつこと、女性は社会の一員として自覚をもつことが大事ではないかと思います。
- 本当に悩んでいる人達をきちんとピックアップできるしくみを作り、その人達の本当の悩みをきちんと最後までサポートする事。このアンケート自体が最初から男女差別ありを前提でされていて不自然に感じる。

その他多数

### Ⅲ 調査票



県民の皆様へ

令和元年度 大分県の男女共同参画社会づくり  
のための意識調査にご協力をお願いします。

日頃から、県民とともに築く「安心・活力・発展」の大分県づくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

大分県では、令和2年度を目標年度とする「第4次おおいた男女共同参画プラン」を策定して、男女が互いに対等な立場で、性別にかかわらず、個人が自分らしい仕事や生き方を選択できる、全ての県民にとって生きやすい男女共同参画社会の実現に向け、様々な施策を実施しております。

その施策をより効果的に進めるため、5年毎に男女共同参画社会づくりのための意識調査を行っています。

そこで、大分県内にお住まいの18歳以上の方3千人を無作為に選ばせていただき、調査票をお届けしています。

調査票を受け取られた皆様には、回答のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年9月

大分県知事 広瀬 勝貞



#### 【意識調査のご説明】

○この調査は無記名式です。ご回答いただいたことにより、個人のお名前やご住所、回答内容が特定されることはありません。

○ご回答いただいた内容は、調査目的以外に使用せず、調査終了後、責任をもって処分します。

○ご回答は、質問ごとの選択枝番号（数字）に○をつけて下さい。

問によっては、複数の○をつけていただくものもありますので、ご注意ください。

○回答後は、お手数ですが、この用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

**令和元年10月7日（月）までに、**ポストに投函してください。

○調査の対象者は、平成31年3月28日現在の選挙人名簿または住民基本台帳から抽出しています。



ご協力よろしく  
お願いします。

#### 【お問い合わせ先】

大分県 消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）

（生活環境部 県民生活・男女共同参画課）

参画推進班 担当 後藤 吉野

電話 097-534-2039 FAX 097-534-2057

はじめに、統計・分析のためにあなた自身のことについておたずねします。

※該当するものに○をつけてください。

(1) あなたの性別をお聞かせください。

1. 女性                      2. 男性                      3. 男性か女性が答えることに抵抗を感じる

(2) あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

1. 18～19歳                      2. 20～29歳                      3. 30～39歳  
4. 40～49歳                      5. 50～59歳                      6. 60～69歳                      7. 70歳以上

(3) あなたの職業についてお尋ねします。

1. 自営業またはその家族従業員                      2. 正社員・正規職員  
3. 契約社員（職員）・派遣社員（職員）                      4. 公務員  
5. パート、アルバイト、臨時雇用（職種は問いません）                      6. 学生・生徒  
7. 家事専業（外で働いておらず、専ら家事に従事している方）  
8. 無職（外で働いておらず、家事にも従事していない方）  
9. その他（1～8のいずれにも該当しない方）

(4) あなたは結婚されていますか。（結婚には、入籍していない事実婚も含みます。）

1. 結婚している（事実婚を含む）                      2. 結婚していない  
3. 結婚していたが、離婚死別した

(5) (4)で「1. 結婚している（事実婚を含む）」を選んだ方にお聞きします。  
あなたは共働きされていますか。（夫婦とも収入の伴う仕事をしていること。  
パート・アルバイトなどを含む）

1. 共働きである                      2. 共働きでない                      3. 夫婦共に働いていない

(6) あなたのご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。

1. ひとり暮らし                      2. 夫婦のみ                      3. 親と未婚の子（二世帯世帯）  
4. 親と子ども夫婦（二世帯世帯）                      5. 親と子と孫（三世帯世帯）  
6. その他の世帯（1～5のいずれにもあてはまらない世帯）

(7) お子さんがおられる方にお聞きします。

別居しているお子さんを含め、あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 乳児（1歳未満）                      2. 幼児（1歳以上）                      3. 小学生  
4. 中学生                      5. 高校生、大学生（高専、短大専門学校を含む）  
6. 学校を卒業した未婚の子ども                      7. 結婚した子ども

(8) あなたはどちらにお住まいですか。

1. 大分市    2. 別府市    3. 中津市    4. 日田市    5. 佐伯市  
6. 臼杵市    7. 津久見市    8. 竹田市    9. 豊後高田市    10. 杵築市  
11. 宇佐市    12. 豊後大野市    13. 由布市    14. 国東市  
15. 姫島村    16. 日出町    17. 九重町    18. 玖珠町

## 1 男女の意識について

問 1	「男は仕事、女は家庭」のように性別によって役割を固定する考え方がありますが、あなたはその考え方をどう思いますか。 <u>(○は1つだけ)</u>
-----	--

- 1 同感する      2 同感しない      3 どちらともいえない      4 わからない

問 2	あなたは、次の①～⑦にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。 <u>(○はそれぞれ1つずつ)</u>
-----	---

(○はそれぞれ1つずつ)	男性の方が非常に 優遇されている	のど ちらか といえ ば男 性	平 等 で あ る	のど ちらか といえ ば女 性	女性の方が非常に 優遇されている	わ か ら な い
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会全体	1	2	3	4	5	6

〈現在、結婚している方（事実婚を含む）におたずねします。〉  
 → それ以外の方は問4にお進みください

問 3	あなたのご家庭では、次の①～⑩にあげるような家庭内の役割を、主にどなたがしていますか。(1)【現状】と右側の(2)【理想】からそれぞれお答えください。あてはまらない項目については記入する必要はありません。(〇はそれぞれ1つずつ)
-----	--

(〇はそれぞれ1つずつ)	(1) 【 現 状 】						(2) 【 理 想 】					
	主 に 夫 ※1	主 に 妻 ※2	夫 婦 共 同 で	主 に 父 ※3	主 に 母 ※4	そ の 他	主 に 夫 ※1	主 に 妻 ※2	夫 婦 共 同 で	主 に 父 ※3	主 に 母 ※4	そ の 他
① 家計の管理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
② 食料品などの買い物	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
③ 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
④ 食事の片づけ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑤ 掃除・洗濯	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑥ 育児（乳幼児の世話）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑦ 子どもの教育としつけ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑧ PTAへの出席	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑨ 町内行事等への参加	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑩ 高齢者の世話・介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

※1・※2は、回答者ご自身のことを示します。  
 ※3・※4は、回答者のご両親あるいは義理のご両親を示します。

問 4	今後、男性が女性とともに家庭生活（家事、育児、介護）や地域活動等へ参加をしていくために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)
-----	---

- 1 男性が家事などに参加することへの男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事などに参加することへの女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること
- 4 職場の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動について理解し、支援すること
- 5 勤務時間の短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間を多くもてるようにすること
- 6 男性による家事、子育て、介護、地域活動について、社会の中でその評価を高めること
- 7 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
- 8 男性が育児や介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進めること
- 9 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
- 10 その他（具体的に \_\_\_\_\_）
- 11 特に必要なことはない

## 2 教育について

問5 子どものしつけや教育について、次の①～④ではどのような考え方をお持ちですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

(〇はそれぞれ1つずつ)	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない
① 女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる方がよい	1	2	3	4	5
② 男の子にも炊事・掃除・洗濯など、家庭に必要な技術を身につけさせる方がよい	1	2	3	4	5
③ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5
④ 男の子は理科系、女の子は文化系に進んだ方がよい	1	2	3	4	5

問6 あなたは子どもの学歴は、次の①と②についてどこまで必要だと思えますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

(〇はそれぞれ1つずつ)	高等学校	専門学校	短大・ 高专	大学以上	その他
① 男の子ども	1	2	3	4	5
② 女の子の子ども	1	2	3	4	5

## 3 ドメスティック・バイオレンス（配偶者・恋人間の暴力）について

ドメスティック・バイオレンスは、明確な定義はありませんが、多くの場合、「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」（内閣府）という意味で使用されています。これについておたずねします。

問7 あなたの配偶者または恋人が、次の①～⑫にあげるようなことをした場合、それを暴力だと思えますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

(〇はそれぞれ1つずつ)	どんな場合も暴力 にあたると思う	暴力の場合とそう でない場合がある	暴力にあたると思 わない
① 手で打つ	1	2	3
② ものを投げつける	1	2	3
③ なぐるふりをして、おどす	1	2	3
④ 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
⑤ 大声でどなる	1	2	3
⑥ 何を言っても無視し続ける	1	2	3
⑦ 人格を否定するような暴言を吐く	1	2	3
⑧ 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
⑨ いやがっているのに性的行為を強要する	1	2	3
⑩ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という	1	2	3
⑪ 生活費を渡さない	1	2	3
⑫ 交友関係や電話、メールを細かくチェックする	1	2	3

問 8 あなたはこれまでに、配偶者や恋人など親密な人間関係にある人との間で、次の①～⑤のようなことを受けたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

(〇はそれぞれ1つずつ)		何度も あった	1、2度 あった	まった くない
① 身体的暴力 たたかれる。殴られる。蹴られる。ものを投げつけられる。 首をしめられる。刃物などでおどされる。など		1	2	3
② 精神的暴力 無視される。大声でどなられる。人前でバカにされる。 人格を否定されるような暴言を吐かれる。脅迫される。など		1	2	3
③ 性的暴力 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる。 いやがっているのに性的行為を強要される。避妊に協力して くれない。など		1	2	3
④ 経済的暴力 生活費を渡さない・使わせない。借金を強要される。「誰の おかげで生活できるんだ」などと言下される。など		1	2	3
⑤ 社会的暴力 外出を制限される。交友関係、電話やメールを細かくチェック される。など		1	2	3

〈問8で1つでも「何度もあった」または「1、2度あった」と答えた方におたずねします。〉

問 9 あなたは、その受けた行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇は1つだけ)

- 1 相談した (問10へ進む)
- 2 相談しなかった (問12へ進む)

〈問9で「1 相談した」と答えた方におたずねします。〉

問10 あなたが相談した人(場所)を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 警察
- 2 配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所、消費生活・男女共同参画プラザ)
- 3 その他公的機関(市町村の相談窓口など)
- 4 人権擁護委員、民生委員、自治委員など
- 5 民間の専門家や専門機関(弁護士、被害者支援団体など)
- 6 医療関係者(医師、看護師、助産師など)
- 7 学校関係者(教員、養護教員、スクールカウンセラーなど)
- 8 家族や親せき
- 9 友人、知人
- 10 その他(具体的に )

〈問9で「1 相談した」と答えた方におたずねします。〉

問11	相談した結果、状況はどうになりましたか。 <u>(○は1つだけ)</u>
-----	--------------------------------------

- 1 問題が解決された
- 2 良い方向に向かった
- 3 あまり変わらなかった
- 4 かえって悪くなった
- 5 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

〈問9で「2 相談しなかった」と答えた方におたずねします。〉

問12	あなたが、誰（どこ）にも相談しなかったのはなぜですか。 <u>(○はいくつでも)</u>
-----	--

- 1 誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから
- 2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
- 3 相談してもむだだと思ったから
- 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 5 加害者に「誰にもいうな」とおどされたから
- 6 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 7 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 8 世間体が悪いから
- 9 他人をまきこみたくなかったから
- 10 他人に知られると、これまでどおりの付き合い（仕事や学校、地域などの人間関係）ができなくなると思ったから
- 11 そのことについて思い出したくなかったから
- 12 自分にも悪いところがあると思ったから
- 13 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 14 相手と別れた後の自立に不安があったから（経済的なこと、子どものことなど）
- 15 相談するほどのことではないと思ったから
- 16 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

#### 4 性暴力について

「性暴力」とは  
望まない性的行為は、すべて性暴力です。  
例えば、レイプ、性虐待、DV、痴漢、盗撮、のぞきなどの他、直接的な脅迫だけでなく立場を利用するなどして売春、援助交際をさせるなど、これらも性暴力にあたります。

子どもの頃も含めて、これまでの経験についてお聞きします。

問13	あなたはこれまでに、相手の性別を問わず、無理やり（暴力や脅迫を用いられたものに限りません）に性交等（性交、肛門性交又は口腔性交）をされたことがありますか。（〇は1つだけ）
-----	---

- 1 1人からあった
- 2 2人以上からあった
- 3 まったくない ※ 「3 まったくない」と答えた方は問16へ

〈問13で「1 1人からあった」又は「2 2人以上からあった」と答えた方〉

問14	あなたはこれまでの被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（〇はいくつでも）
-----	---

- 1 性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口（いわゆるワンストップ支援センター）に相談した
- 2 配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所等）や男女共同参画センターに相談した
- 3 警察に連絡・相談した
- 4 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
- 5 上記（1～4）以外の公的な機関（市役所など）に相談した
- 6 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した
- 7 医療関係者（医師、看護師など）に相談した
- 8 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した
- 9 職場・アルバイトの関係者（上司、同僚、部下、取引先など）に相談した
- 10 家族や親戚に相談した
- 11 友人・知人に相談した
- 12 その他（具体的に \_\_\_\_\_）
- 13 どこ（だれ）にも相談しなかった

※ 1～12のどれかを答えた方は問16へ

<問14で「13 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方>

問15	どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)
	1 どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
	2 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
	3 相談してもむだだと思ったから
	4 相談するほどのことではないと思ったから
	5 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
	6 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
	7 自分にも悪いところがあると思ったから
	8 そのことについて思い出したくなかったから
	9 仕返しが怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
	10 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから
	11 世間体が悪いと思ったから
	12 他人を巻き込みたくなかったから
	13 他人に知られると、これまで通りのつき合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから
	14 相手の行為は愛情表現だと思ったから
	15 その他(具体的に )

問16	あなたは、「おおいた性暴力救援センター・すみれ」を知っていますか。 (〇は1つだけ)
	1 支援などの内容まで知っている
	2 聞いたことはあるが支援などの内容は知らない
	3 まったく知らない

「おおいた性暴力救援センター・すみれ」とは  
大分県が協力医療機関や臨床心理士、弁護士等関係機関と連携して設置する、性暴力被害にあわれた方への総合的な支援を行う機関です。  
専任の相談員による電話や面接での相談のほか、被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療やカウンセリング、弁護士法律相談など必要な支援につなげています。(詳細は、ホームページにて <https://oita-sumire.jp>)

相談専用電話 : 097-532-0330  
※ 相談時間 : 9時 ~ 20時(土日祝、年末年始除く)  
※ 相談は無料です。秘密は守られますので、安心してご相談ください。

## 5 人権について

問17	あなたはこれまでに、次の①～②のようなことを受けたことがありますか。 (〇はそれぞれ1つずつ)
-----	--

(〇はそれぞれ1つずつ)	何度も あった	1、2度 あった	まったく ない
① ストーカー つきまといや待ち伏せ、押し掛けたりされる。メールを毎日 何十通も送りつける。無言電話、面会・交際の要求 など	1	2	3
② セクシュアルハラスメント 結婚や出産など、プライベートなことについてしつこく言う。 地位や権限を利用して、性的関係を迫ってくる。性的な話や 冗談、性的な内容の手紙やメール、電話をしてくる など	1	2	3

〈問17で1つでも「何度もあった」または「1、2度あった」と答えた方におたずねします。〉

問18	あなたは、その受けた行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)
-----	--

- 1 警察に連絡・相談した
- 2 配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所、消費生活・男女共同参画プラザ)に相談した
- 3 その他公的機関(労働局雇用環境・均等室、市町村の相談窓口など)に相談した
- 4 民間の専門家や専門機関(弁護士、被害者支援団体など)に相談した
- 5 上司、同僚や職場内の相談窓口相談した
- 6 友人、知人に相談した
- 7 家族や親せきに相談した
- 8 その他(具体的に
- 9 誰(どこ)にも相談しなかった → (問20へ進む)

(問19へ進む)

〈問18で、1～8のどれかに〇をつけた方におたずねします。〉

問19	相談した結果、状況はどうになりましたか。(〇は1つだけ)
-----	------------------------------

- 1 問題が解決された
- 2 良い方向に向かった
- 3 あまり変わらなかった
- 4 かえって悪くなった
- 5 その他(具体的に



残り半分です。  
頑張ってください!



問20	性犯罪、売買春（援助交際を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の暴力をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。（〇はいくつでも）
-----	---

- 1 家庭で保護者が子どもに対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う
- 2 学校で児童・生徒・学生に対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う
- 3 職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う
- 4 地域で、防止啓発のための研修会、イベントなどを行う
- 5 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
- 6 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
- 7 加害者への罰則を強化する
- 8 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、パソコンソフトなど）を取り締まる
- 9 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
- 10 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う
- 11 その他（具体的に ）

問21	妊娠・出産を担う女性は、男性とは異なった体や心の問題に直面することがありますが、女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために、どのようなことが大事だと思いますか。（〇は3つまで）
-----	---

- 1 ライフステージ(思春期、妊娠・出産、更年期、高齢期)に合わせた健康づくりの推進
- 2 成人以降のライフステージに応じた健康に関する情報や学習機会などの提供
- 3 自分の健康を保持促進するために、自ら運動等を行う習慣をもつこと
- 4 妊娠・出産・避妊・中絶・性感染症などに関する情報提供
- 5 女性が性生活について、主体的・総合的に判断できる力をつけること
- 6 受診機会の少ない女性が健康診断を受診できるような環境づくり
- 7 心身にわたる様々な悩みに対応する相談体制の充実
- 8 不妊に関する悩みに対応する相談機関の充実
- 9 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施
- 10 その他（具体的に ）
- 11 特にない
- 12 わからない

問22	テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどメディアでの固定的な性別役割分担の表現（男は仕事、女は家庭など）や暴力、性の表現について、あなたはどのようにお考えですか。 <u>（〇はいくつでも）</u>
-----	---

- 1 女性の身体や姿態を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
- 2 社会全体の性に関する道徳観・倫理観を損なう表現をしている
- 3 女性に対する犯罪を助長するおそれがある
- 4 子どもが性についてゆがんだ意識を持つおそれがある
- 5 女性や男性のイメージについて偏った表現をしている
- 6 性別によって役割を固定する表現や女性に対する暴力・性の表現をのそまない人や子どもの目に触れないような配慮がたりない
- 7 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）
- 8 特に問題はない
- 9 わからない

## 6 女性の活躍について

問23	一般的に、女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか。 <u>（〇は1つだけ）</u>
-----	--

- 1 結婚や出産にかかわらず仕事もち続けた方がよい
- 2 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
- 4 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
- 5 仕事をもたない方がよい
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）
- 7 わからない

問24	あなたは女性が仕事をもち続けていくためには、どのような支援や改善が必要だと思いますか。(〇は3つまで)
-----	---

- 1 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること
- 2 育児や介護のための施設（保育所、介護施設など）を充実すること
- 3 育児や介護の休業利用者が不利な扱いを受けず、身分保障がされていること
- 4 給与、昇格、昇進の面などで性別による格差をなくすこと
- 5 意欲や能力に応じた適材適所な配置や役員・管理職への登用などを行うこと
- 6 パート・アルバイトや契約社員・派遣社員などの労働条件をよくすること
- 7 在宅勤務やフレックスタイム制度（始業終業時刻を労働者意思で決定）を導入すること
- 8 起業（新しく事業を起こすこと）する人への支援を充実させること
- 9 勤務地や職種を選択する制度を導入すること
- 10 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）
- 11 特に条件整備、支援や改善は必要ない

〈現在、就業（パート・アルバイト含む）されている方におたずねします〉  
 → 現在就業されていない方は、問26にお進みください。

問25	あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。(〇はいくつでも)
-----	------------------------------------

- 1 募集・採用の機会に格差がある
- 2 賃金に格差がある
- 3 女性に補助的な業務や雑用（お茶汲み等）に従事させる傾向がある
- 4 昇進、昇格に格差がある
- 5 役員・管理職への登用に格差がある
- 6 結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある
- 7 女性は定年まで勤めにくい雰囲気がある
- 8 社内研修や教育訓練・出張や視察などの機会に差がある
- 9 育児休業や介護休業の取りやすさに差がある
- 10 同じ職場で夫と妻が共に働いている場合、一方が働き続けにくい雰囲気がある
- 11 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）
- 12 特に性別により処遇が異なっていることはない

〈現在、就業されていない方におたずねします。〉  
→ それ以外の方は問28にお進みください

問26	あなたは、今後のご自身の仕事についてどうお考えですか。 <u>(○は1つだけ)</u>
-----	---

- 1 すぐに働きたいので、現在就職活動を行っている (問28へ進む)
- 2 すぐに働きたいが、まだ就職活動は行っていない (問27へ進む)
- 3 将来働きたい (問27へ進む)
- 4 働くつもりはない (問28へ進む)
- 5 わからない (問28へ進む)

〈問26で「2 すぐに働きたいが、まだ就職活動を行っていない」、または「3 将来働きたい」と答えた方におたずねします。〉 → それ以外の方は問28にお進みください

問27	現在、就職活動をされていない理由は何ですか？ <u>(○は2つまで)</u>
-----	--

- 1 病気・けがのため働けない
- 2 希望する、またはやりたい内容の仕事の募集がない
- 3 知識・能力に自信がない
- 4 自分がなにに向いているかわからない
- 5 希望する時間帯の仕事がない
- 6 家族の同意が得られていない
- 7 育児を行っているため
- 8 家族の介護・看護を行っているため
- 9 大学や専門学校等へ通っているため
- 10 学校以外で進学や資格取得などの勉強をしている
- 11 急いで仕事につく必要がない
- 12 その他(具体的に )



あと少しです。  
頑張ってください！

問28	女性の社会進出が進んでいますが、議員、審議会委員や役員・管理職などの指導的地位や自治会・町内会の長などに占める女性の割合はまだまだ低いのが現状です。このように指導的地位等に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。 (〇は3つまで)
-----	---

- 1 男性優位の社会の仕組みや制度がある
- 2 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある
- 3 女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない
- 4 「女は出過ぎるものではない」という社会通念がある
- 5 女性の登用に対する認識や理解がたりない
- 6 自治会長・町内会長や議員などの政策方針決定の場に出られるような女性の人材がいない
- 7 男性になる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い
- 8 女性自身が指導的地位に対する関心やチャレンジ精神がない
- 9 家族の理解や協力が得にくい
- 10 その他(具体的に )

## 7 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)とは「誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる」(内閣府)こととされています。これについておたずねします。

問29	あなたの希望について、お聞きします。「仕事」、「家庭生活」(家事・育児・介護等)、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)について、優先したいものはどれですか。(〇は1つだけ)
-----	--

- 1 「仕事」
- 2 「家庭生活」
- 3 「地域・個人の生活」
- 4 「仕事」と「家庭生活」
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」
- 8 考えたことがない
- 9 わからない

問30	問29では、希望をお聞きしましたが、あなたの現在の生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）について、現実に関心しているものはどれですか。（〇は1つだけ）
-----	---

- 1 「仕事」
- 2 「家庭生活」
- 3 「地域・個人の生活」
- 4 「仕事」と「家庭生活」
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」
- 8 考えたことがない
- 9 わからない

問31	男性も育児・介護休業を取ることができますが、このことについてあなたはどのように思いますか。（〇は1つだけ）
-----	---

- 1 男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである（問33へ進む）
- 2 男性も育児・介護休業を取るとは賛成だが、現実には取りづらいと思う（問32へ進む）
- 3 育児・介護は女性がすべきであり、男性が休みを取る必要はない（問33へ進む）
- 4 その他（具体的に ）（問33へ進む）

〈問31で「2 男性も育児・介護休業を取るとは賛成だが、現実には取りづらいと思う」を答えた方におたずねします。〉

問32	現実に取りづらい理由は何だと思われますか。（〇は2つまで）
-----	-------------------------------

- 1 過去に周囲の男性で取った人がいない
- 2 職場に取りやすい雰囲気がない
- 3 仕事が忙しい
- 4 取ると、仕事で周囲の人に迷惑がかかる
- 5 取ると人事評価や昇給などに悪い影響がある
- 6 休業補償が十分でないので経済的に困る
- 7 男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない
- 8 その他（具体的に ）

## 8 地域活動について

問33	あなたは、次のような地域活動を行っていますか。 <u>(〇はいくつでも)</u>
-----	--

- 1 県・市町村の審議会・委員会
- 2 自治会・町内会等の活動
- 3 PTA活動
- 4 子ども会などの青少年育成活動
- 5 青年団体・女性団体・老人団体等の活動
- 6 消費者団体・生活協同組合等の消費者活動
- 7 NPOやボランティアなどの市民活動
- 8 その他の社会活動（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 9 参加していない

問34	地域の中での女性の参画についてお聞きします。自治会・町内会などの地域の集まりや作業の中で、女性も男性と共に参加したり、男性と同じように発言したりすることができにくい雰囲気や状況があるのはなぜだと思いますか。 <u>(〇は2つまで)</u>
-----	---

- 1 役員は男性のみで、女性の意見が受け入れられない
- 2 決定事項については、従来、男性が取り仕切っているので女性が口をはさみにくい
- 3 主に男性が中心になっている活動と女性が中心になっている活動に分かれる
- 4 お茶だしや皿洗いなどは女性だけがする暗黙の役割分担がある
- 5 地域活動で女性が発言することはしゃばりと思われがちである
- 6 地域活動に参加できるような家族の理解や協力が無い
- 7 参加する女性側の努力がまだ足りない
- 8 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 9 そういったことはないと思う
- 10 わからない



令和元年度  
男女共同参画社会づくりのための意識調査  
報告書

発行 大分県 生活環境部 県民生活・男女共同参画課  
住所 〒870-0037  
大分県大分市東春日町1番1号 N s 大分ビル1階  
電話 097-534-2039